

「町田市子どもマスタープラン25-34」
策定のためのアンケート調査報告書

2025年3月

町田市

目 次

第1章 調査の概要.....	6
1 調査の目的	6
2 調査対象	6
3 調査期間	6
4 調査方法	6
5 回収状況	6
6 調査項目	7
7 調査結果の表示方法	8
第2章 調査結果.....	9
1 共通設問の比較	9
(1) 子どもの育ちをめぐる環境について	9
(2) 子育ての悩みについて	13
(3) 保護者の就労状況について	16
(4) 子育て支援事業の利用状況について	18
(5) 「子どもの権利」について	27
(6) 子育て施策全般について	30
(7) 悩み事や相談先について	33
(8) 学校生活について	34
(9) 放課後や休みの日の過ごし方について	36
(10) 町田市について	39
(11) 自身の考えについて	40
2 【調査①】就学前児童保護者	41
(1) 家族の状況について	41
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	44
(3) 子育ての悩みについて	50
(4) 保護者の就労状況について	53
(5) 職場のワークライフバランス支援制度について	59
(6) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況について	61
(7) 土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の利用希望について	71
(8) 病気の際の対応について	75
(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	79
(10) 子育て支援事業の利用状況について	85
(11) 放課後の過ごし方について	98
(12) 子どもの居場所について	102
(13) 「子どもの権利」について	104
(14) 子育て施策全般について	105

3	【調査②】 小学校低学年保護者	1 1 2
	(1) 家族の状況について	1 1 2
	(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	1 1 5
	(3) 子育ての悩みについて	1 2 1
	(4) 保護者の就労状況について	1 2 4
	(5) 子育て支援事業の利用状況について	1 3 0
	(6) 放課後の過ごし方について	1 4 0
	(7) 子どもの居場所について	1 4 4
	(8) 学童保育クラブについて	1 4 6
	(9) 「子どもの権利」について	1 4 8
	(10) 子育て施策全般について	1 4 9
4	【調査③】 小学校高学年保護者	1 5 5
	(1) 家族の状況について	1 5 5
	(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	1 5 8
	(3) 子育ての悩みについて	1 6 4
	(4) 保護者の就労状況について	1 6 7
	(5) 子育て支援事業の利用状況について	1 7 3
	(6) 放課後の過ごし方について	1 8 2
	(7) 子どもの居場所について	1 8 5
	(8) 学童保育クラブについて	1 8 7
	(9) 「子どもの権利」について	1 8 9
	(10) 子育て施策全般について	1 9 0
5	【調査④】 小学校高学年本人	1 9 6
	(1) 悩み事や相談先について	1 9 6
	(2) 学校生活について	1 9 7
	(3) 放課後や休みの日の過ごし方について	1 9 9
	(4) 町田市について	2 0 4
	(5) 「子どもの権利」について	2 0 4
	(6) 自身の考えについて	2 0 5
6	【調査⑤】 中学生・高校生（12～18歳の市民）	2 0 7
	(1) 家族の状況について	2 0 7
	(2) 悩み事や相談先について	2 1 0
	(3) インターネット等について	2 1 7
	(4) 学校生活について	2 2 1
	(5) 放課後や休日の過ごし方について	2 2 5
	(6) 町田市について	2 3 1
	(7) 「子どもの権利」について	2 3 3
	(8) 自身の考えや将来像について	2 3 5
7	総括	2 4 2

第3章	資料（調査票等）	243
1	【調査①】就学前児童保護者	243
2	【調査②】小学校低学年保護者	255
3	【調査③】小学校高学年保護者	263
4	【調査④】小学校高学年本人	271
5	【調査⑤】中学生・高校生	275

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「町田市子どもマスタープラン25-34」策定のための基礎資料及び子ども・子育て施策の参考とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

区分	調査対象	
調査①	就学前児童保護者	町田市在住の小学校就学前児童の保護者(対象児童を無作為抽出)
調査②	小学校低学年保護者	町田市在住の小学校低学年児童の保護者(対象児童を無作為抽出)
調査③	小学校高学年保護者	町田市在住の小学校高学年児童の保護者(対象児童を無作為抽出)
調査④	小学校高学年本人	町田市在住の小学校高学年児童(調査③で無作為抽出した児童)
調査⑤	中学生・高校生	12～18歳の市民から無作為抽出

3 調査期間

- 2024年5月7日(火)～21日(火)

4 調査方法

- 郵送による配布
- 紙またはWEB回答(選択)

5 回収状況

本調査の回収状況は以下のとおりです。

区分	調査対象	発送数	回収数 (回収率)	有効回答数 (回答率)
調査①	就学前児童保護者	2,000	1,094 (54.7%)	1,092 (54.6%)
調査②	小学校低学年保護者	1,500	797 (53.1%)	795 (53.0%)
調査③	小学校高学年保護者	1,500	724 (48.3%)	720 (48.0%)
調査④	小学校高学年本人	1,500	510 (34.0%)	510 (34.0%)
調査⑤	中学生・高校生	1,500	513 (34.2%)	512 (34.1%)
計		8,000	3,638 (45.5%)	3,629 (45.4%)

※調査③と調査④の有効回答数のうち、保護者と本人両方の回答があったものは494件、保護者のみ回答があったものは226件、本人のみ回答があったものは16件

6 調査項目

(1) 保護者

項番	主な設問項目	調査①	調査②	調査③
		就学前児童 保護者	小学校低学年 保護者	小学校高学年 保護者
1	家族の状況	○	○	○
2	子どもの育ちをめぐる環境	○	○	○
3	子育ての悩み	○	○	○
4	保護者の就労状況	○	○	○
5	職場のワークライフバランス支援制度	○	—	—
6	平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況	○	—	—
7	土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の利用希望	○	—	—
8	病気の際の対応	○	—	—
9	不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況	○	—	—
10	子育て支援事業の利用状況	○	○	○
11	放課後の過ごし方	○	○	○
12	子どもの居場所	○	○	○
13	学童保育クラブ	—	○	○
14	「子どもの権利」	○	○	○
15	子育て施策全般	○	○	○

(2) 子ども

項番	主な設問項目	調査④	調査⑤
		小学校高学年 本人	中学生・高校生
1	家族の状況	—	○
2	悩み事や相談先	○	○
3	インターネットなど	—	○
4	学校生活	○	○
5	放課後や休日の過ごし方	○	○
6	町田市	○	○
7	「子どもの権利」	○	○
8	考えや将来像	○	○

7 調査結果の表示方法

- 回答は各設問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の設問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- 回答者数が30未満の場合、選択肢ごとの比率に差が生じやすくなるため、調査結果を掲載しない場合があります。
- 次頁以降の「2019年度調査」は、2019年度に実施した「新・町田市子どもマスタープラン（後期）策定のためのアンケート調査」を指しています。
- 次頁以降の「フルタイム」「パートタイム・アルバイトなど」については、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）」「パートタイム・アルバイトなど（フルタイム以外）」を指します。

第2章 調査結果

1 共通設問の比較

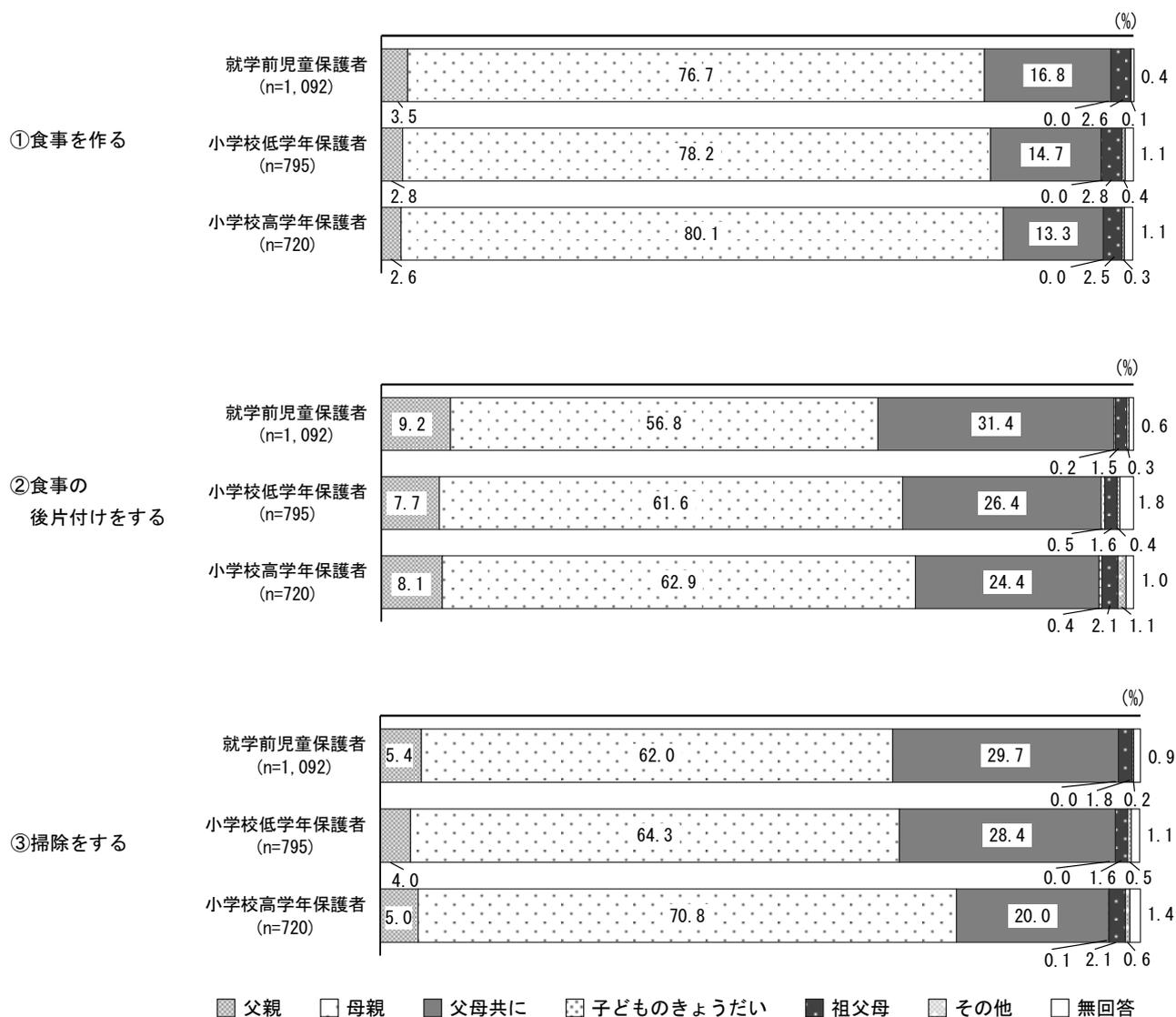
(1) 子どもの育ちをめぐる環境について

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問6

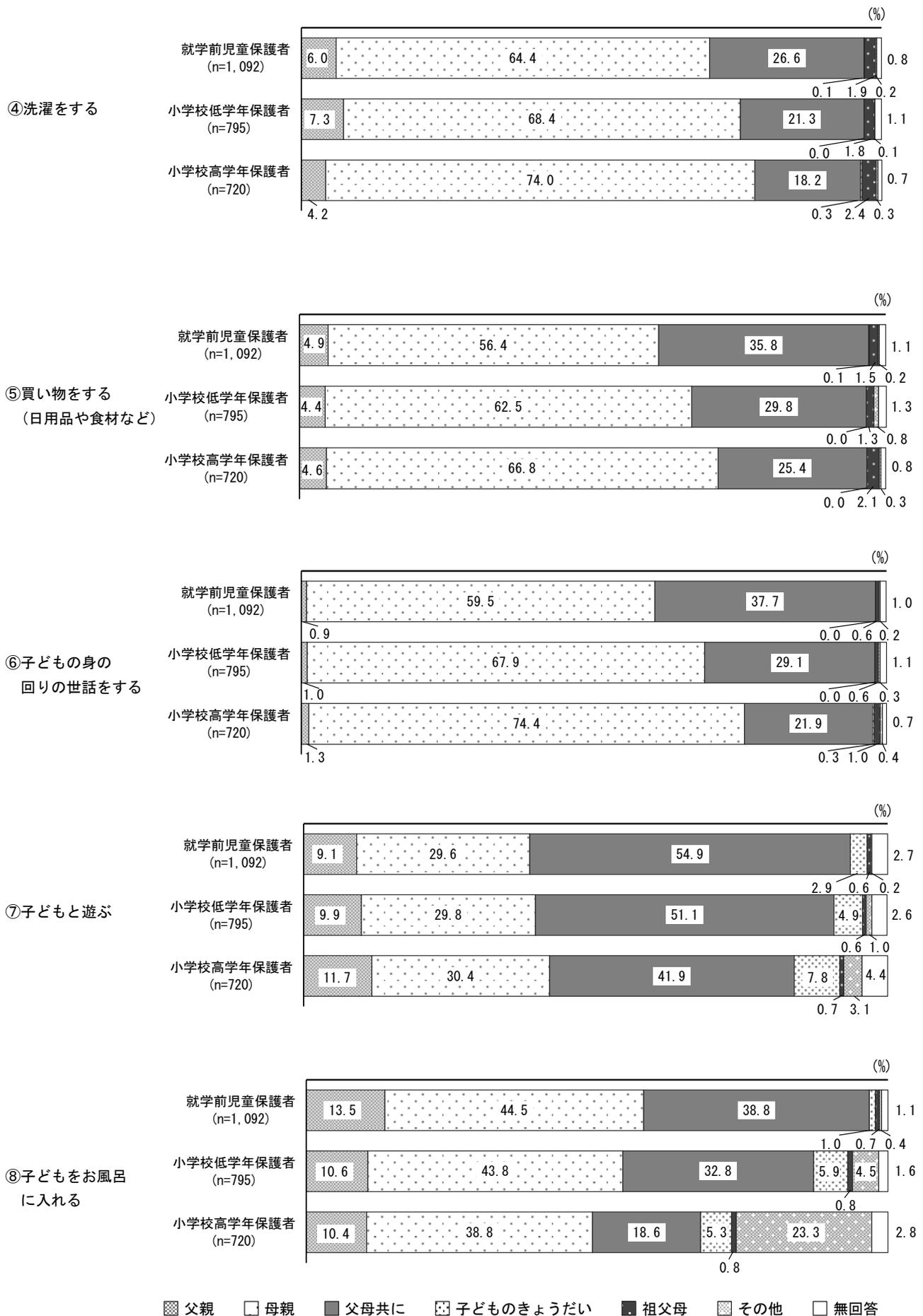
家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。

- 子どもの年齢が上がるにつれて、すべての項目で「父母共に」の割合が減少し、ほとんどの項目で「母親」の割合が増加しています。「母親」の割合が増加している項目の中では、『⑥子どもの身の回りの世話をする』の増加率が最も大きくなっています。

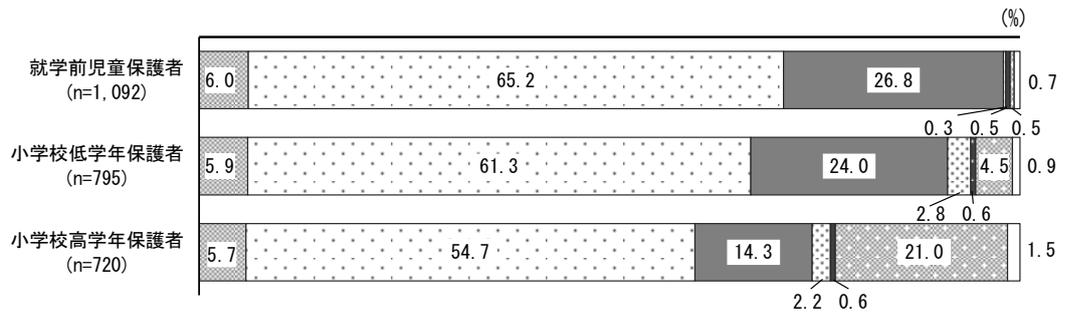
家事や子育てを主に行っている人



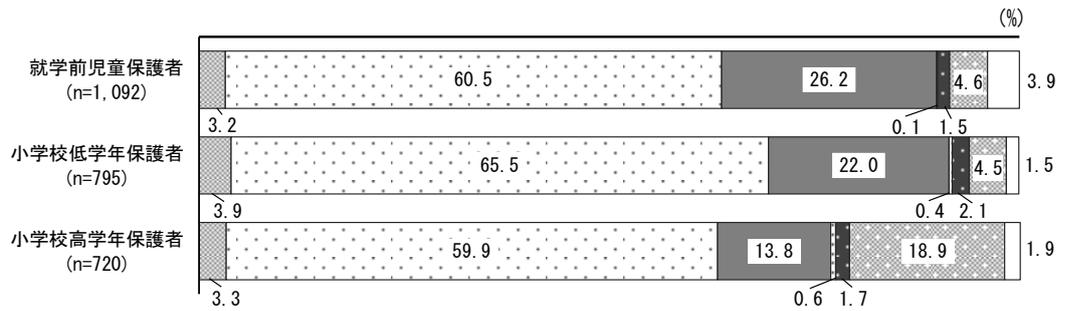
第2章 調査結果 1 共通設問の比較



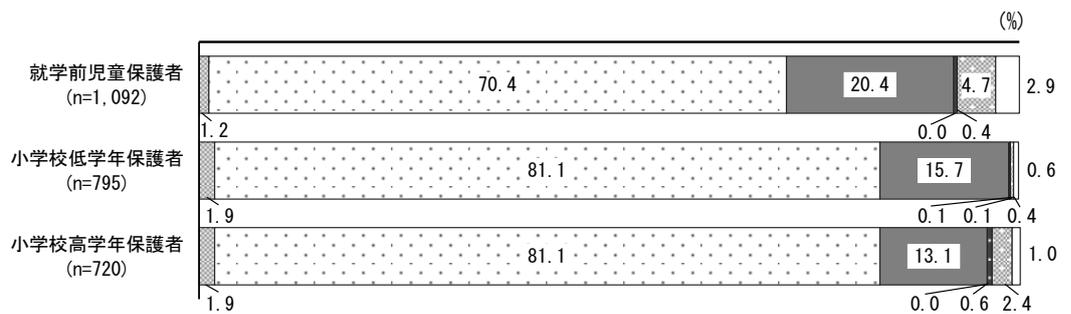
⑨子どもの寝かしつけをする



⑩保育所、幼稚園や学校、学童保育クラブなどの送迎をする



⑪保育所、幼稚園や学校の保護者会などに参加する

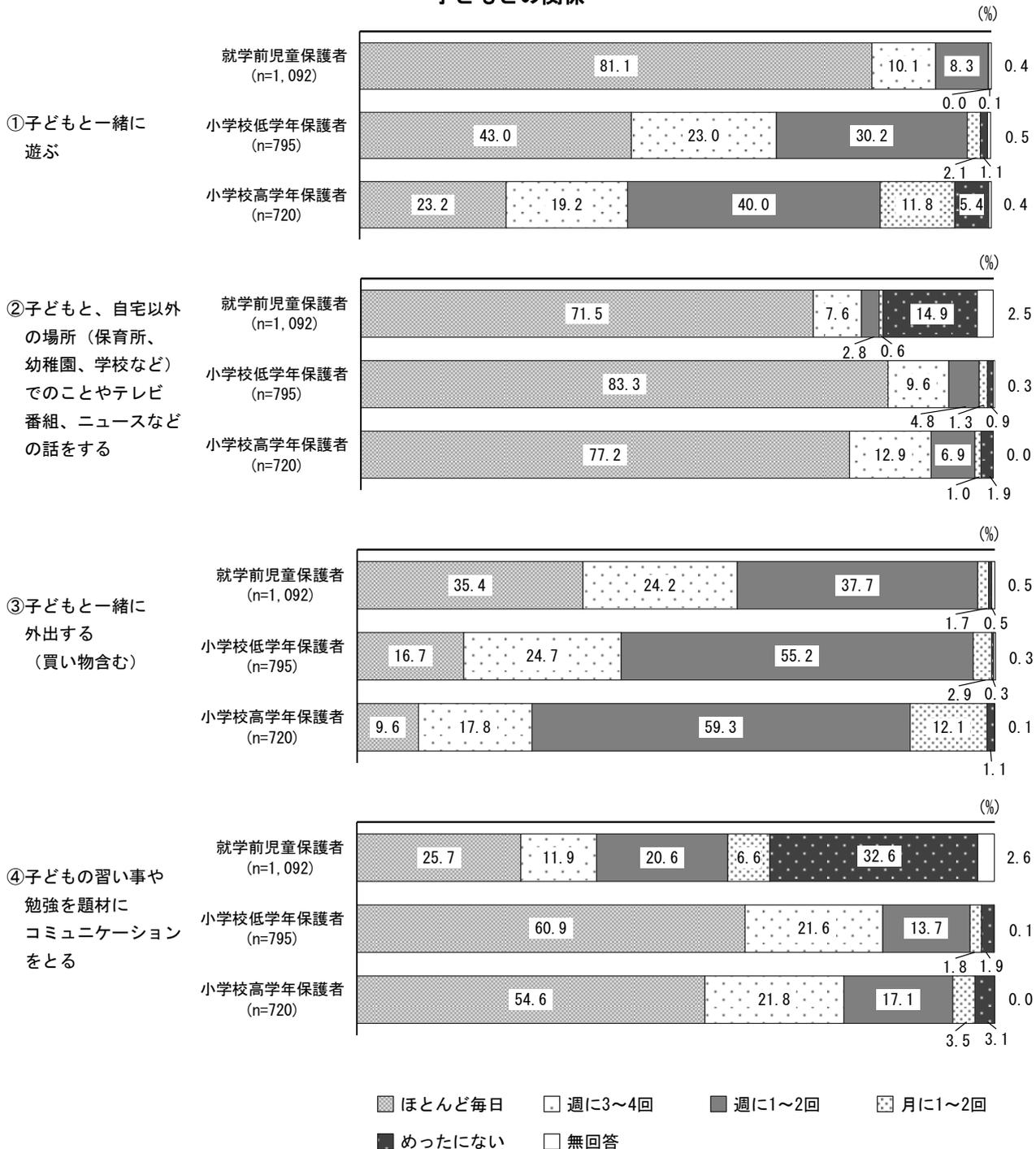


父親
 母親
 父母共に
 子どものきょうだい
 祖父母
 その他
 無回答

就学前児童保護者：問10 / 小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問9
 あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
 あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。

- 『①子どもと一緒に遊ぶ』『③子どもと一緒に外出する（買い物含む）』は、子どもの年齢が上がるとつれて「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。
- 『②子どもと、自宅以外の場所（保育所、幼稚園、学校など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする』は、子どもの年齢に関わらず「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。

子どもとの関係



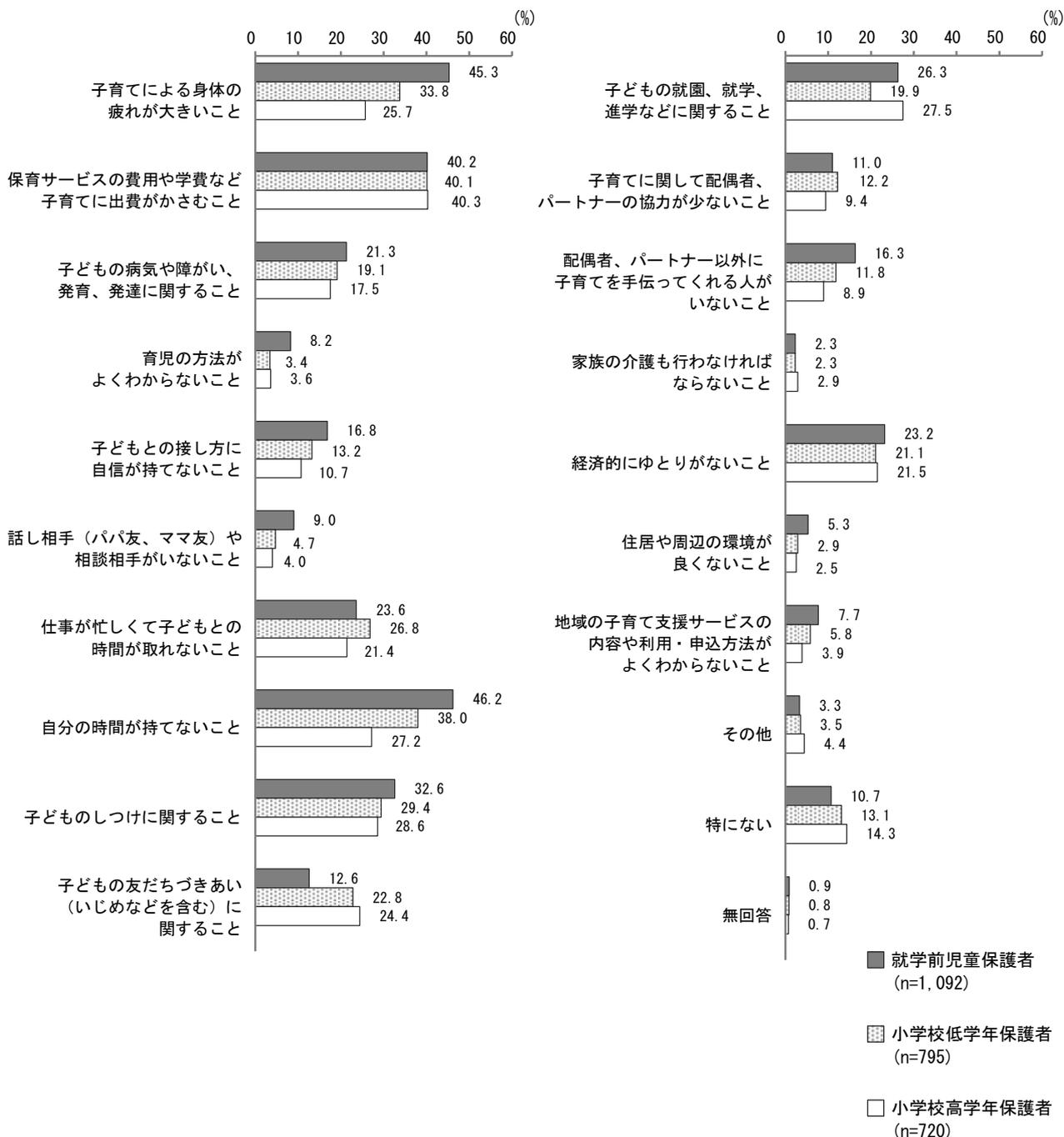
(2) 子育ての悩みについて

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問1 1

子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

- 「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「自分の時間が持てないこと」の割合は、子どもの年齢が低いほど高くなっており、他の項目と比較して対象ごとの差が大きくなっています。
- 「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」は、子どもの年齢に関わらず比較的高い割合となっています。

子育ての悩み
(複数回答)

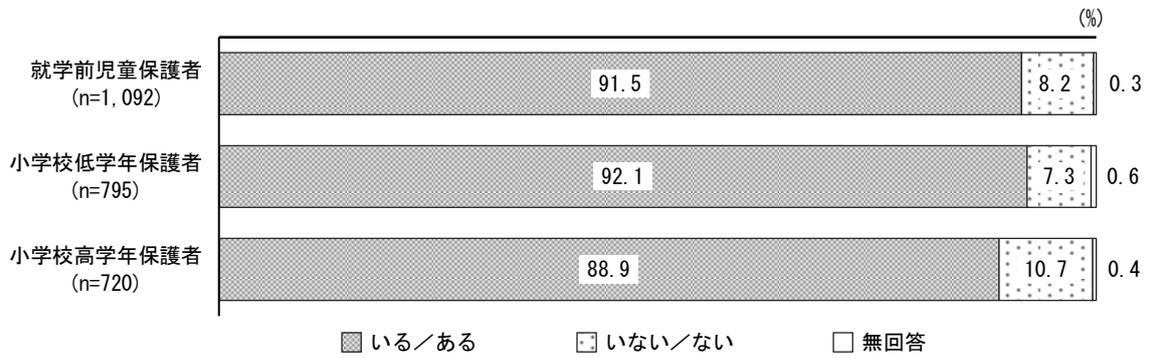


就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問12

あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所がありますか）。

- どの対象でも、相談相手がいる（相談場所がある）割合が9割程度となっています。

相談相手（相談場所）の有無



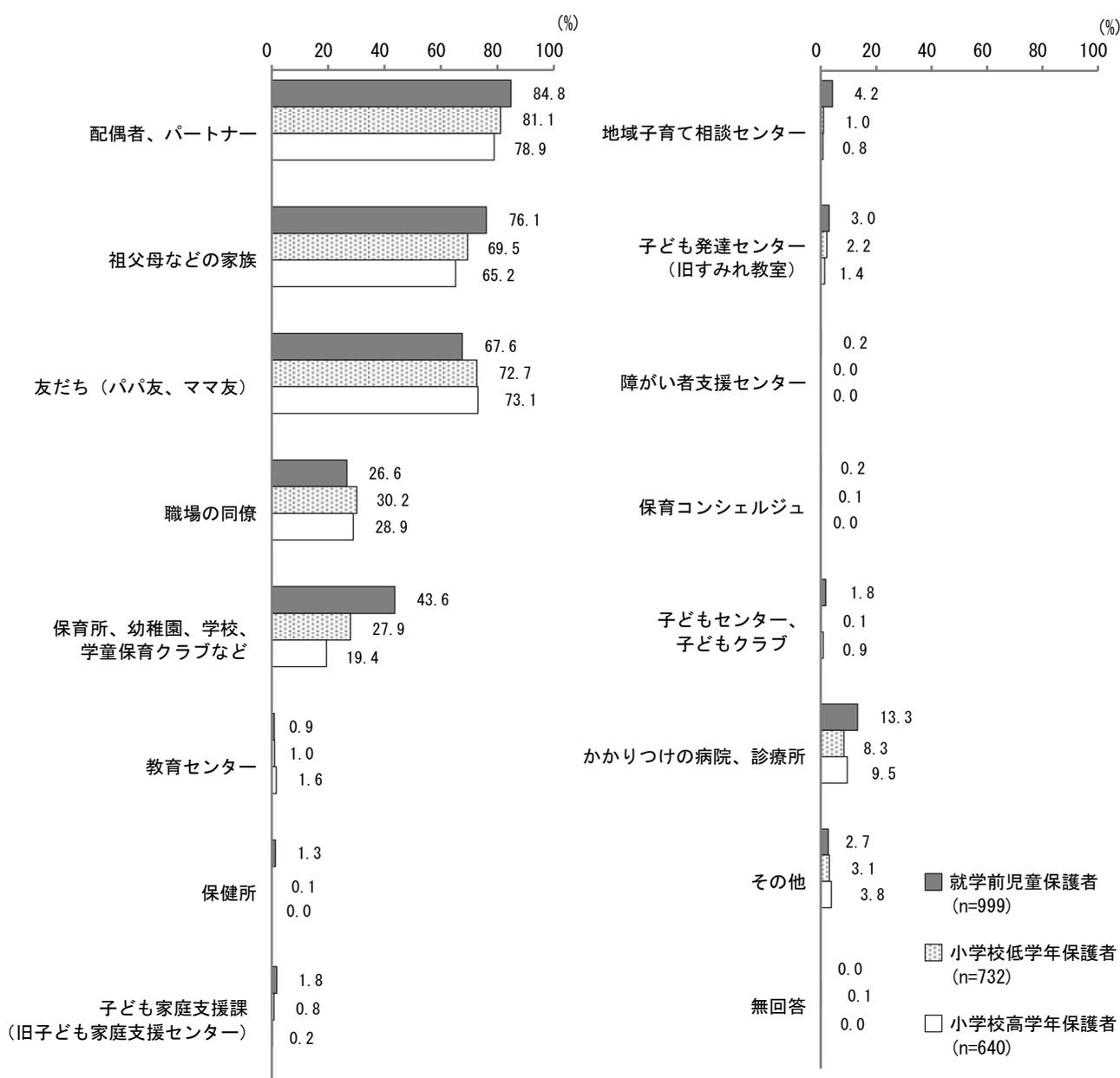
※問12-1は、問12で「いる／ある」を選択した人のみ回答

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問12-1

あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

- 回答の多かった項目については、子どもの年齢が上がるにつれて「友だち（パパ友、ママ友）」の割合が増加し、「配偶者、パートナー」「祖父母などの家族」「保育所、幼稚園、学校、学童保育クラブなど」の割合が減少しています。

相談相手（相談場所）
（複数回答）

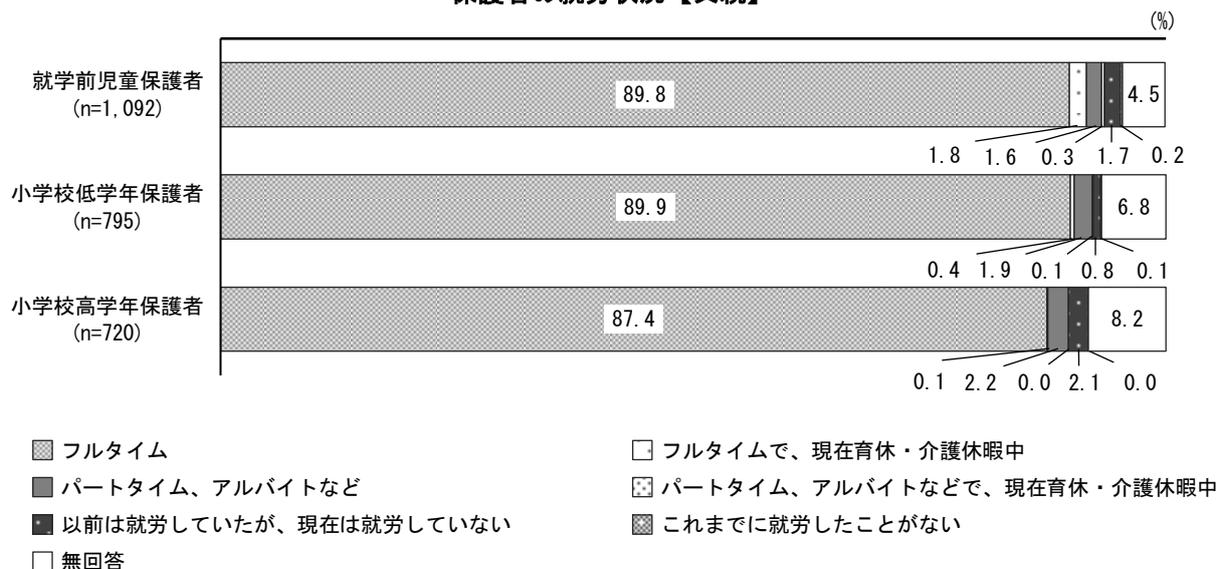


(3) 保護者の就労状況について

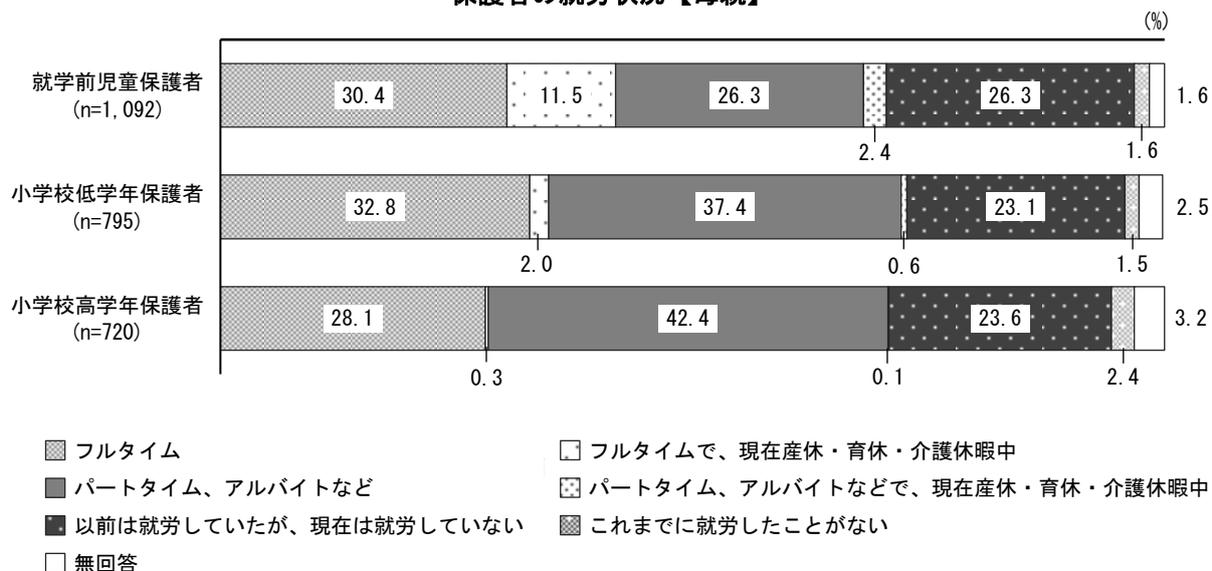
就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問13
現在の就労状況をお答えください。

- 父親の就労状況は、対象ごとで大きな差は見られません。
- 母親の就労状況は、子どもの年齢が上がるにつれて「パートタイム、アルバイトなど」の割合が増加しています。

保護者の就労状況【父親】



保護者の就労状況【母親】

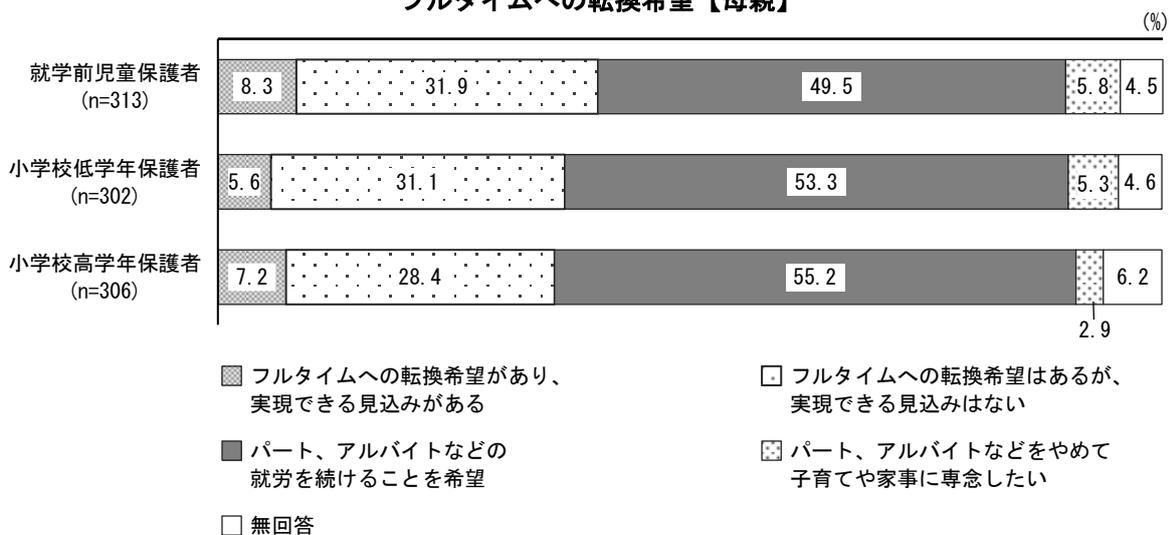


※問13-1は、問13で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」を選択した人のみ回答

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問13-1
フルタイムへの転換希望はありますか。

- 子どもの年齢が上がるにつれて「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」の割合が増加し、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」の割合が減少しています。

フルタイムへの転換希望【母親】

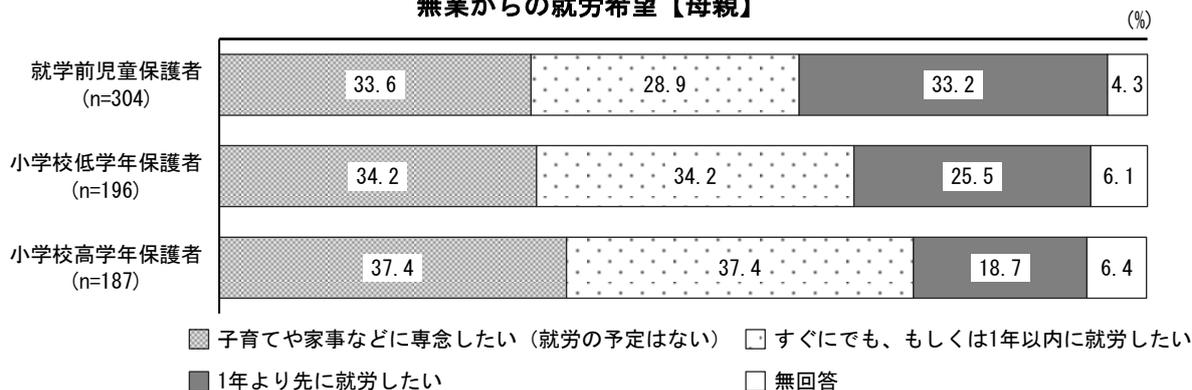


※問13-2は、問13で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選択した人のみ回答

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問13-2
就労希望はありますか。

- 子どもの年齢が上がるにつれて「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加し、「1年より先に就労したい」の割合が減少しています。

無業からの就労希望【母親】

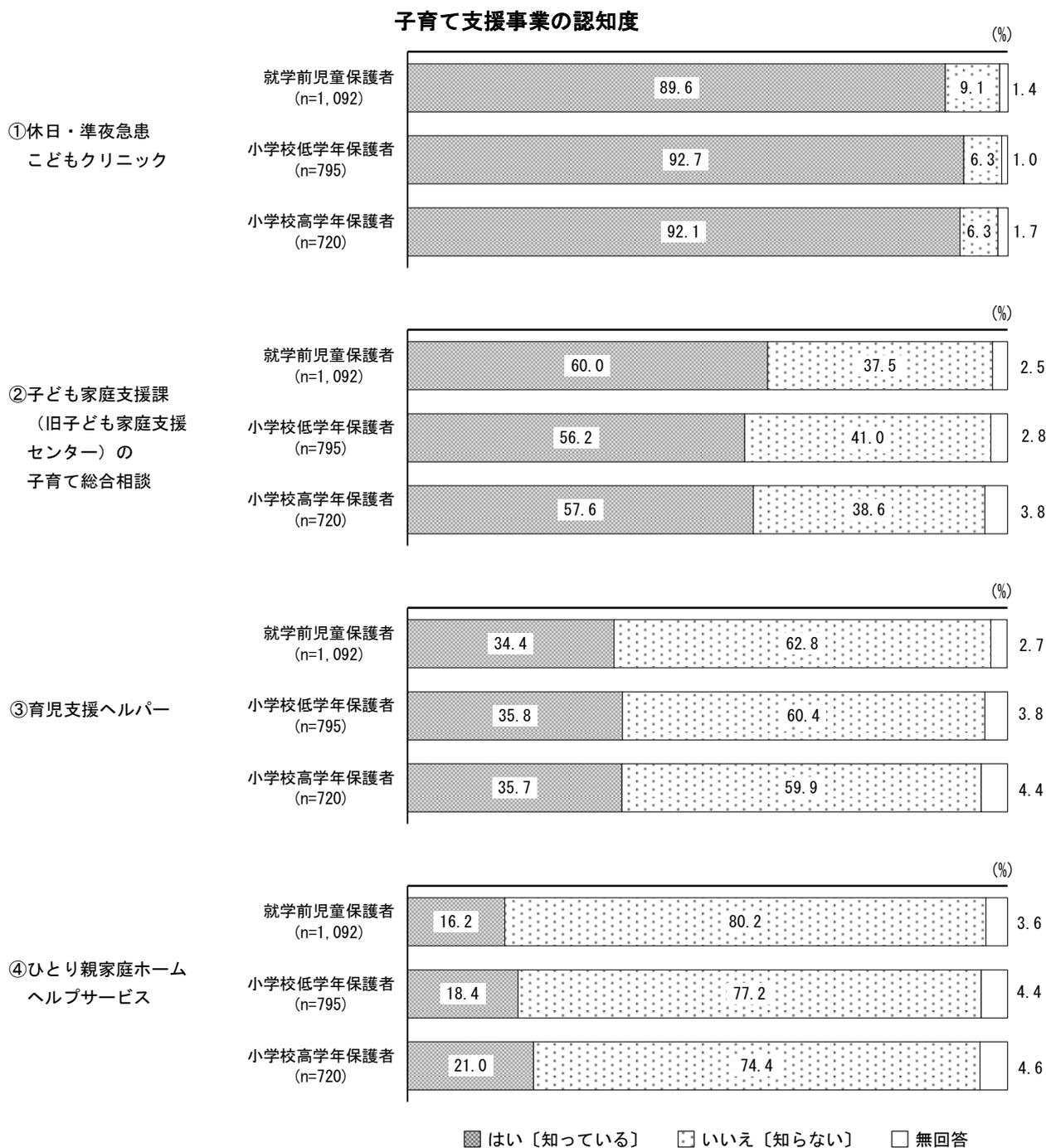


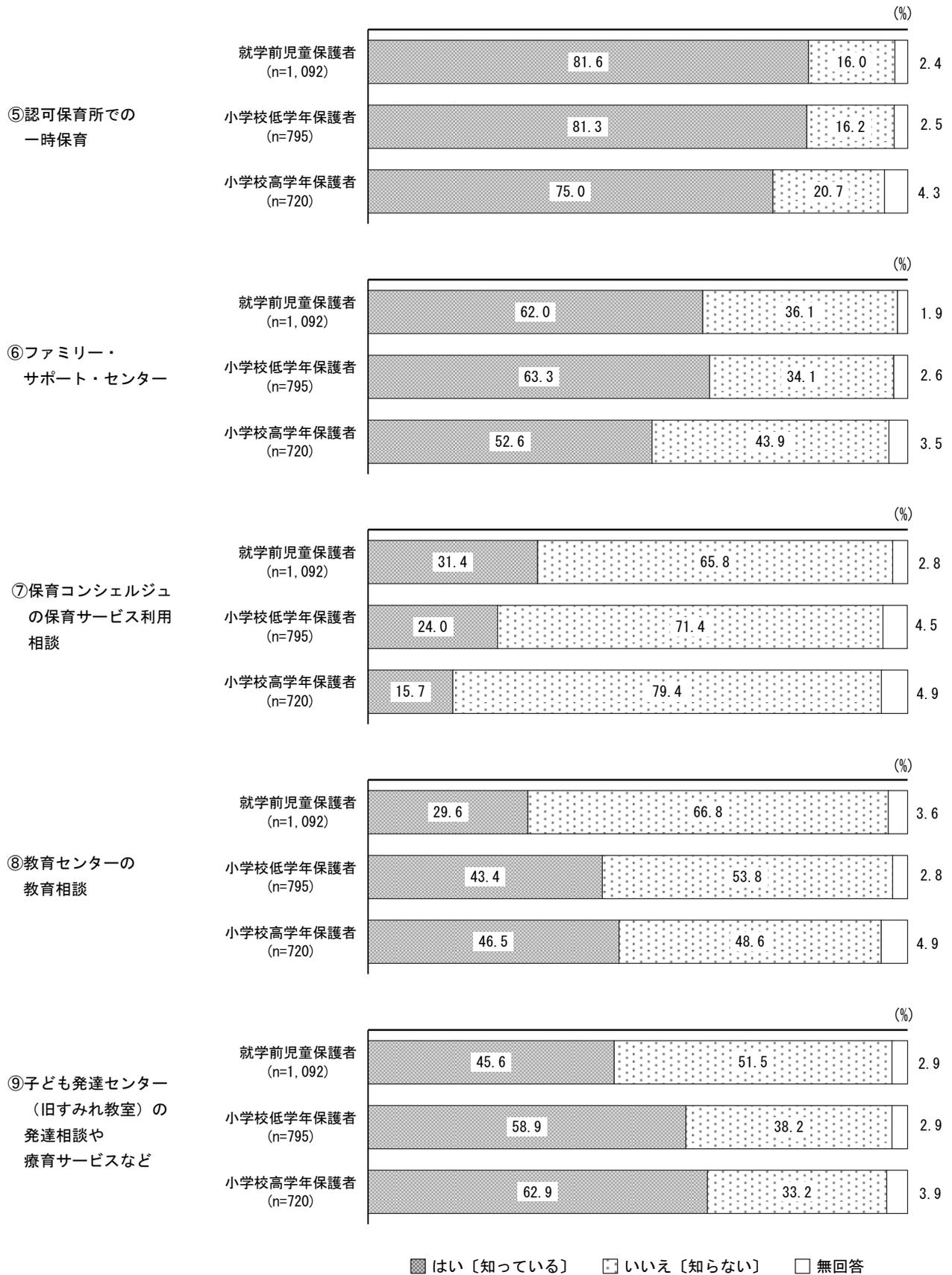
(4) 子育て支援事業の利用状況について

就学前児童保護者：問25 / 小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問15
 下記のサービスについて、お答えください。

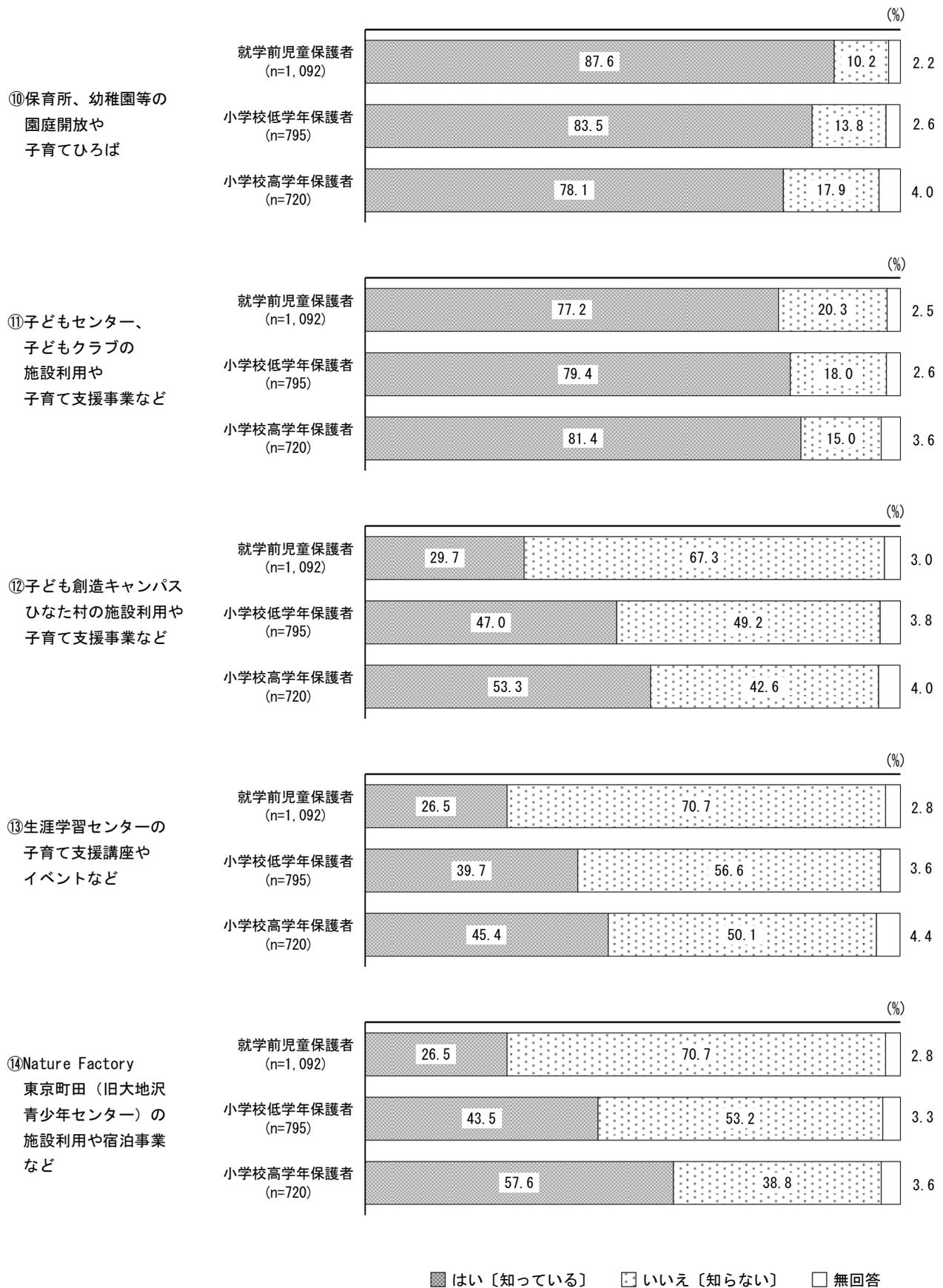
【A 認知度】

- 半数の項目で、子どもの年齢が上がるほど知っている人の割合が高くなっていますが、『⑤認可保育所での一時保育』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』では、子どもの年齢が低いほど知っている人の割合が高くなっています。





第2章 調査結果 1 共通設問の比較

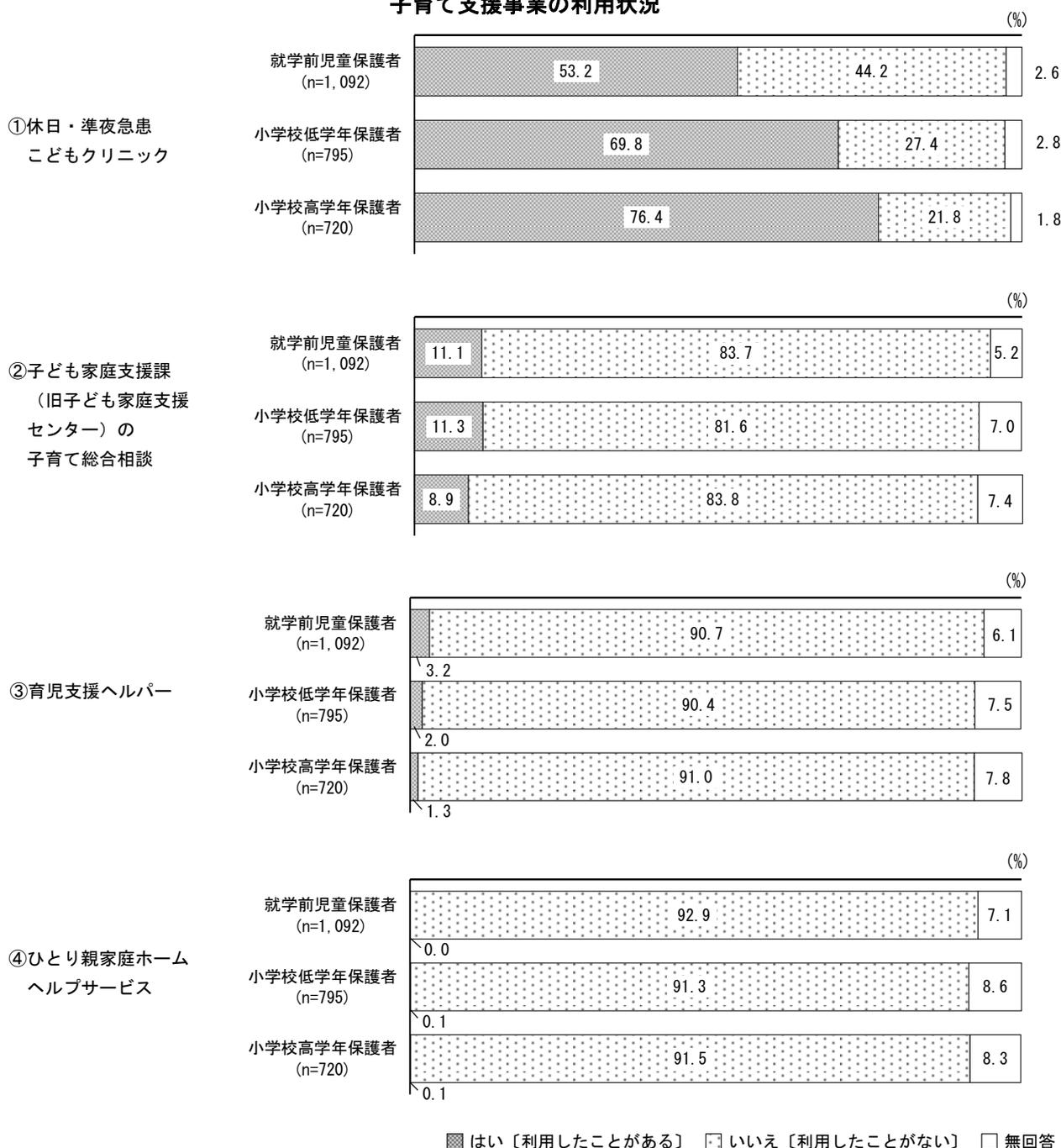


■ はい【知っている】 □ いいえ【知らない】 □ 無回答

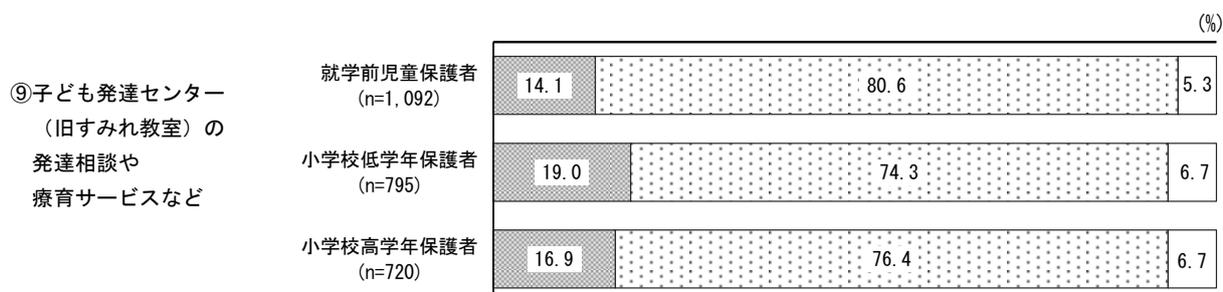
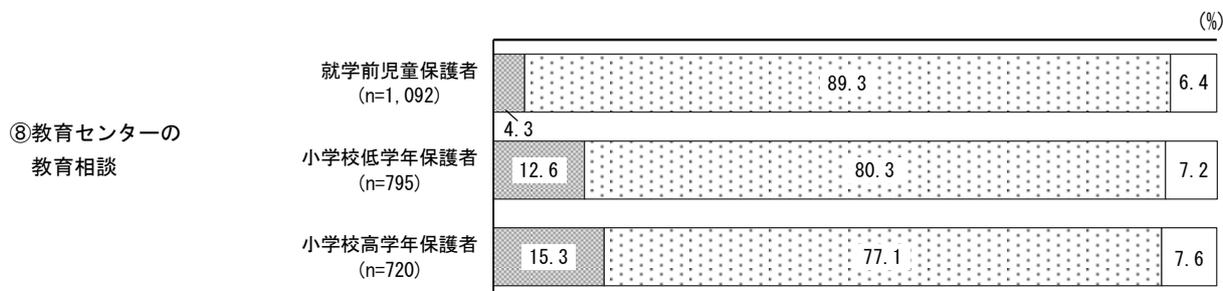
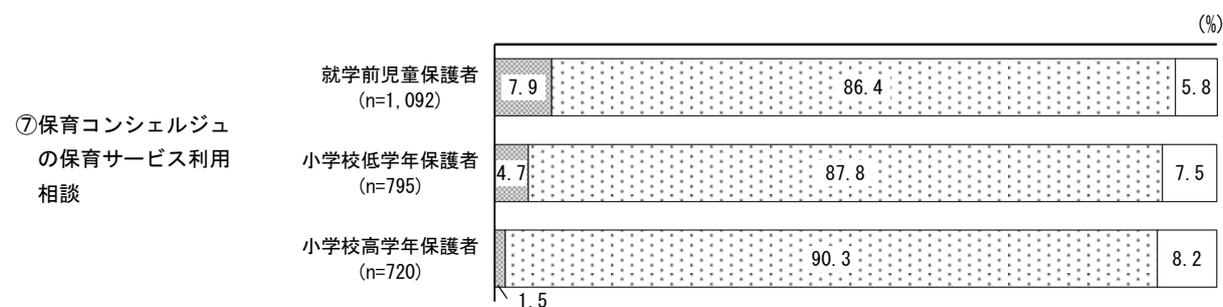
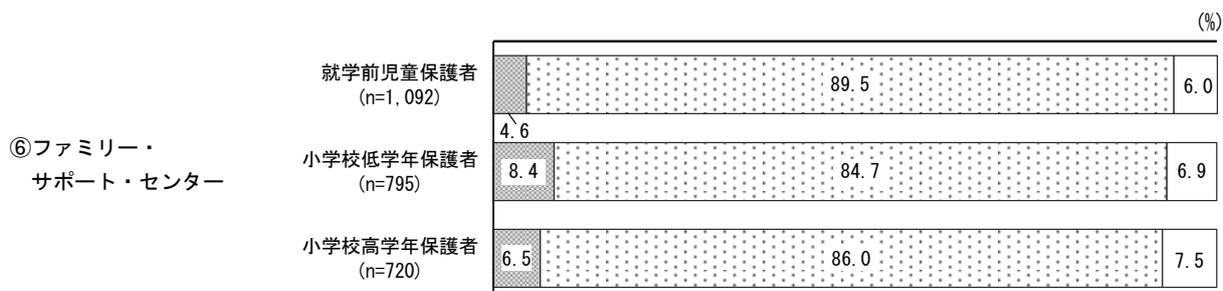
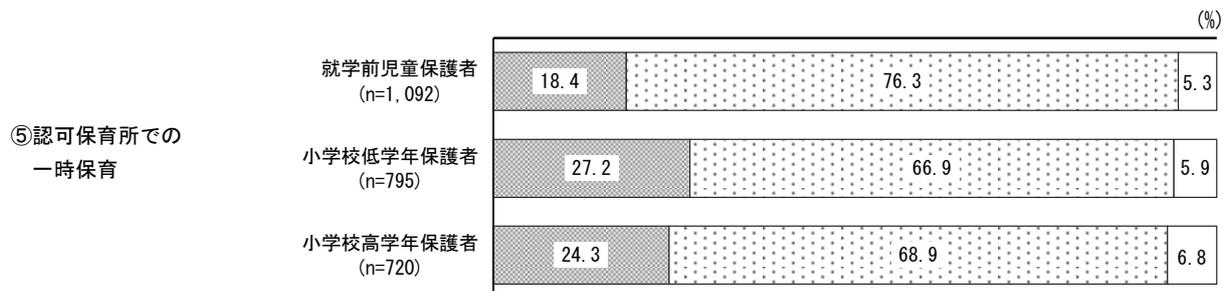
【B 利用状況】

- 14項目中6項目(①⑧⑩⑫⑬⑭)で、子どもの年齢が上がるにつれて、利用したことがある人の割合が高くなっています。どの対象でも、利用されている割合が最も高いのは『①休日・準夜急患こどもクリニック』で、次いで、就学前児童保護者では『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』、それ以外では『⑩子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』で割合が高くなっています。
- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑩子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』を除くすべての事業で、利用したことがない人の割合が高くなっています。

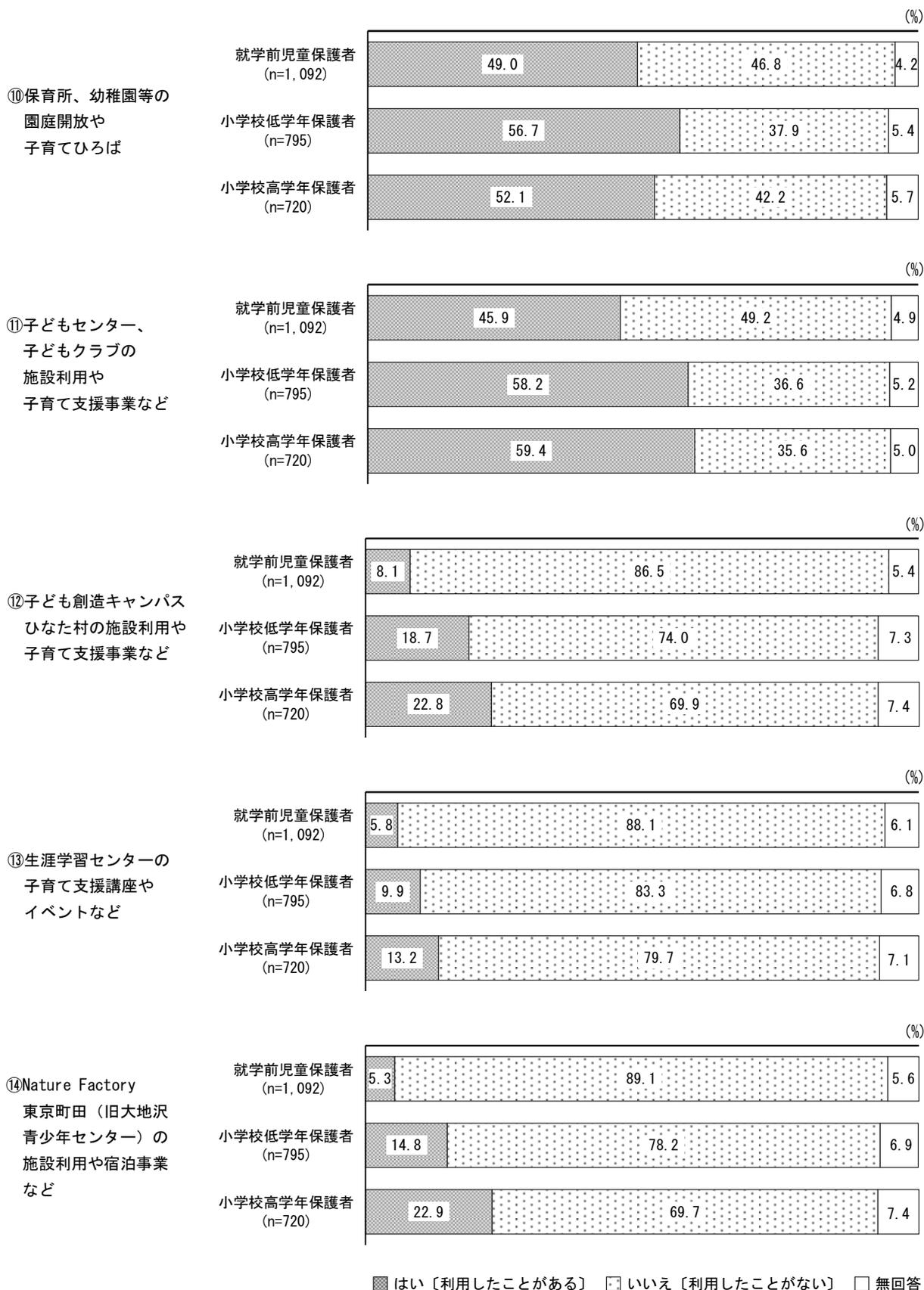
子育て支援事業の利用状況



第2章 調査結果 1 共通設問の比較



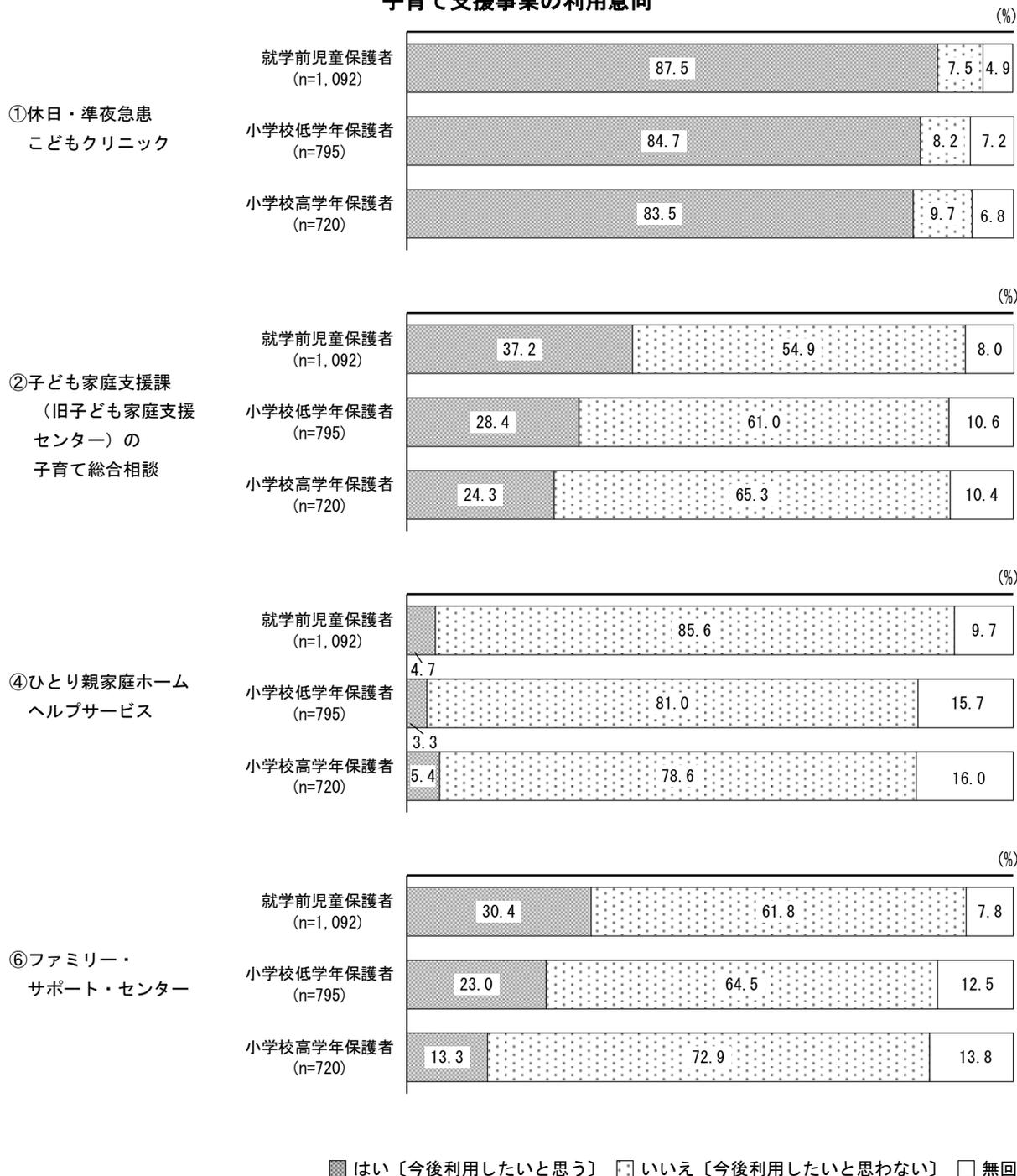
■ はい [利用したことがある] □ いいえ [利用したことがない] □ 無回答

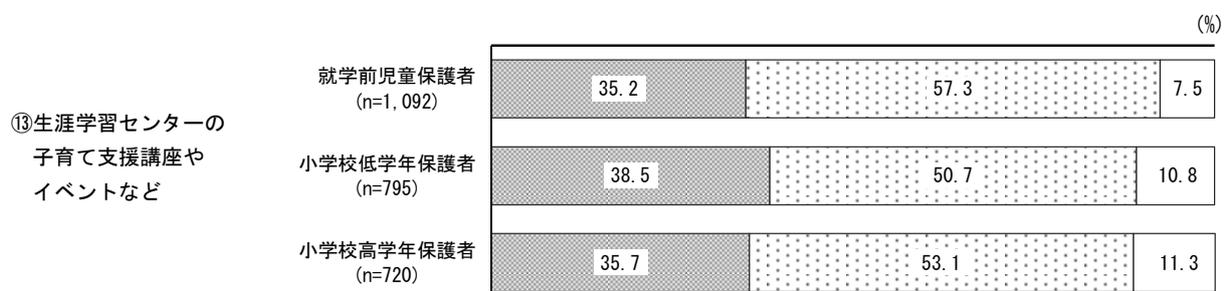
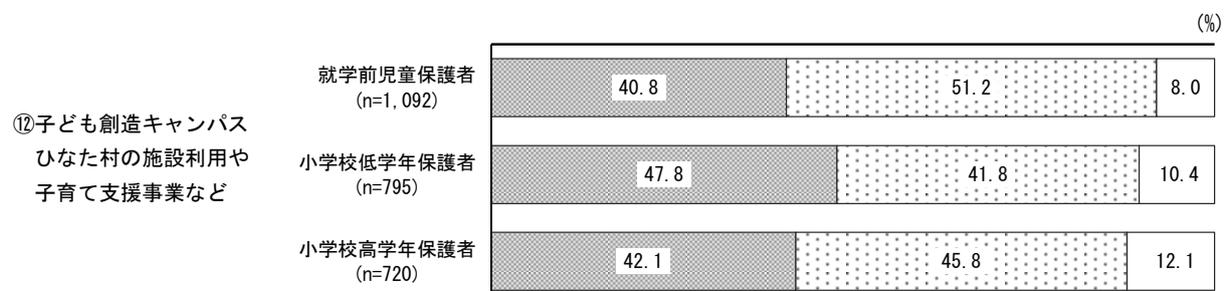
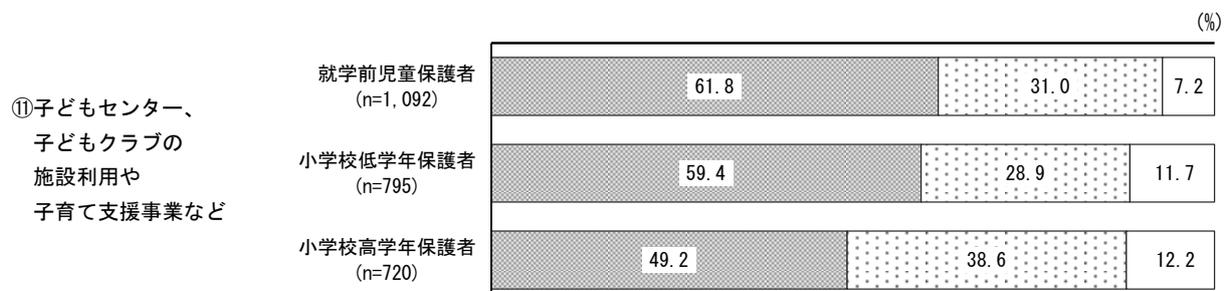
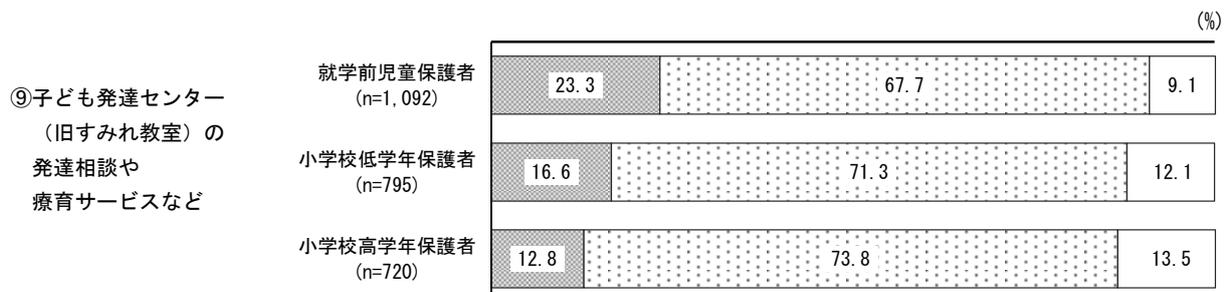
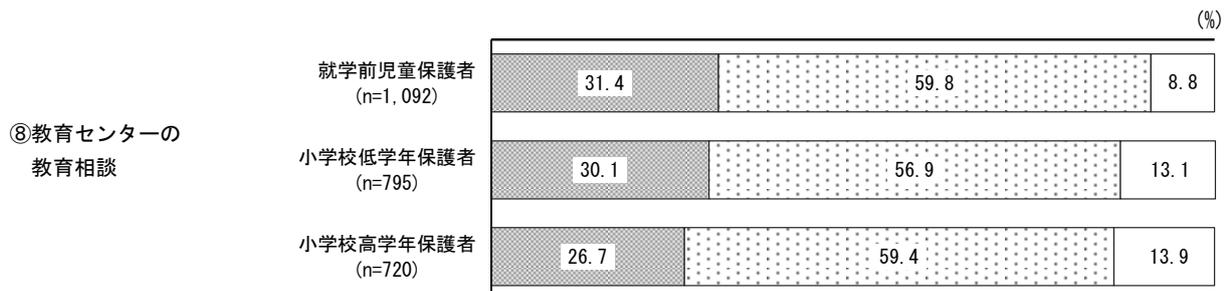


【C 利用意向】

- 多くの項目で、子どもの年齢が上がるほど今後利用したい人の割合が低くなっていますが、『⑭Nature Factory東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』では、子どもの年齢が上がるにつれて今後利用したい人の割合が高くなっています。

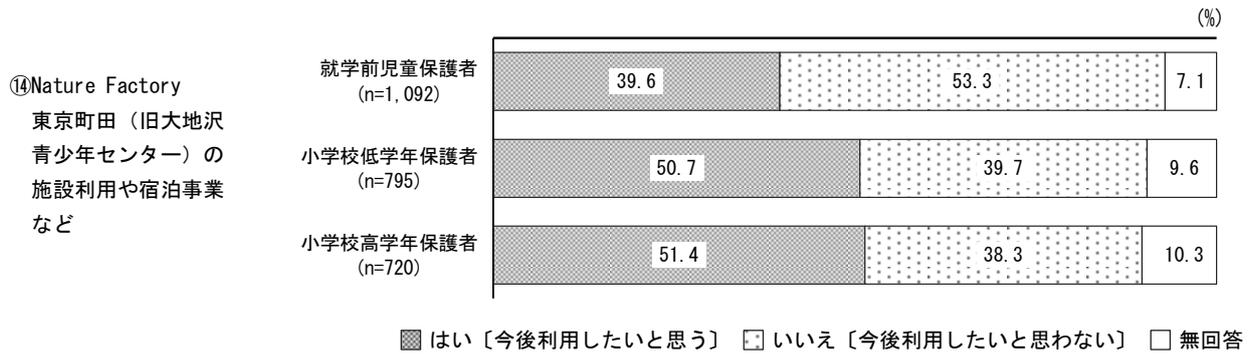
子育て支援事業の利用意向





■ はい【今後利用したいと思う】 □ いいえ【今後利用したいと思わない】 □ 無回答

第2章 調査結果 1 共通設問の比較

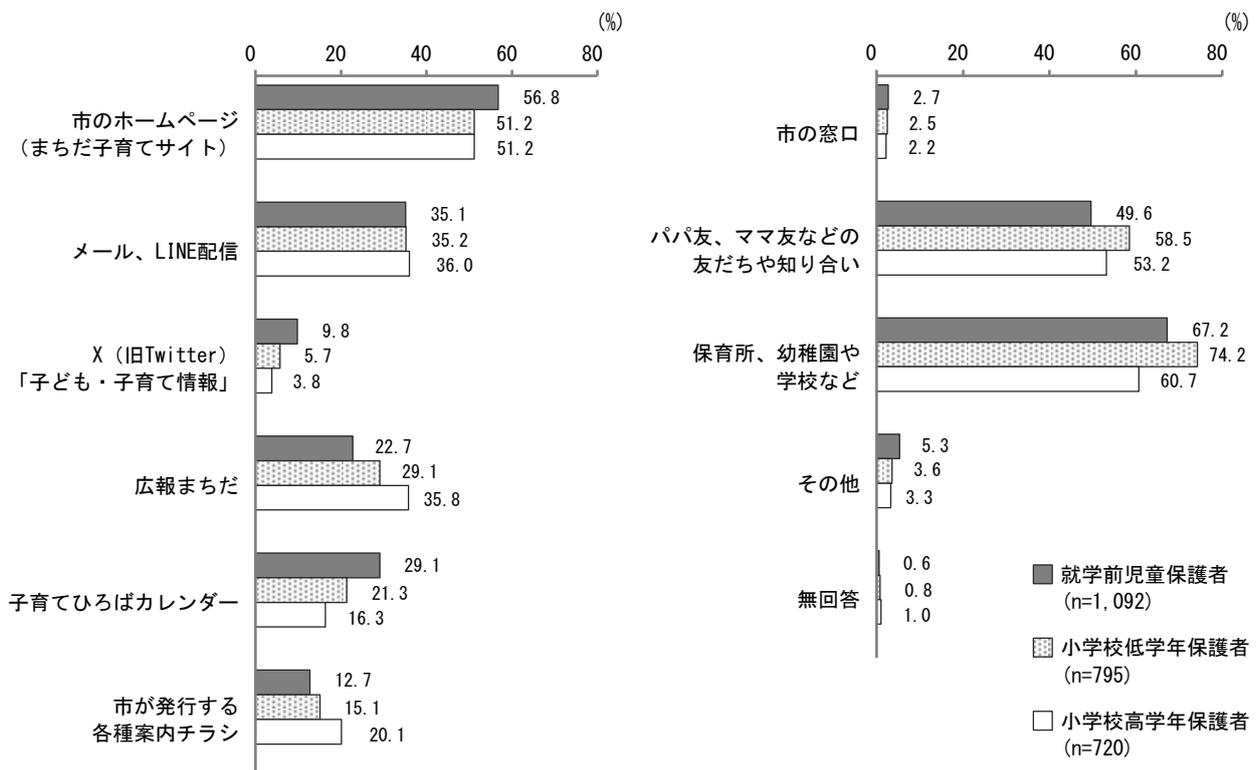


※「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は、就学前児童対象の事業のため、小学校低学年保護者と小学校高学年保護者では、利用意向は未調査。

就学前児童保護者：問26 / 小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問16
子育てに関する情報をどのように得ていますか。

- どの対象でも「保育所、幼稚園や学校など」の割合が最も高く、次いで、就学前児童保護者では「市のホームページ（まちだ子育てサイト）」、それ以外では「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が高くなっています。
- 「メール、LINE配信」「広報まちだ」「市が発行する各種案内チラシ」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて高くなっています。反対に「X（旧Twitter）」「子ども・子育て情報」「子育てひろばカレンダー」「市の窓口」の割合は、子どもの年齢が低いほど高くなっています。

子育て情報の入手方法
(複数回答)



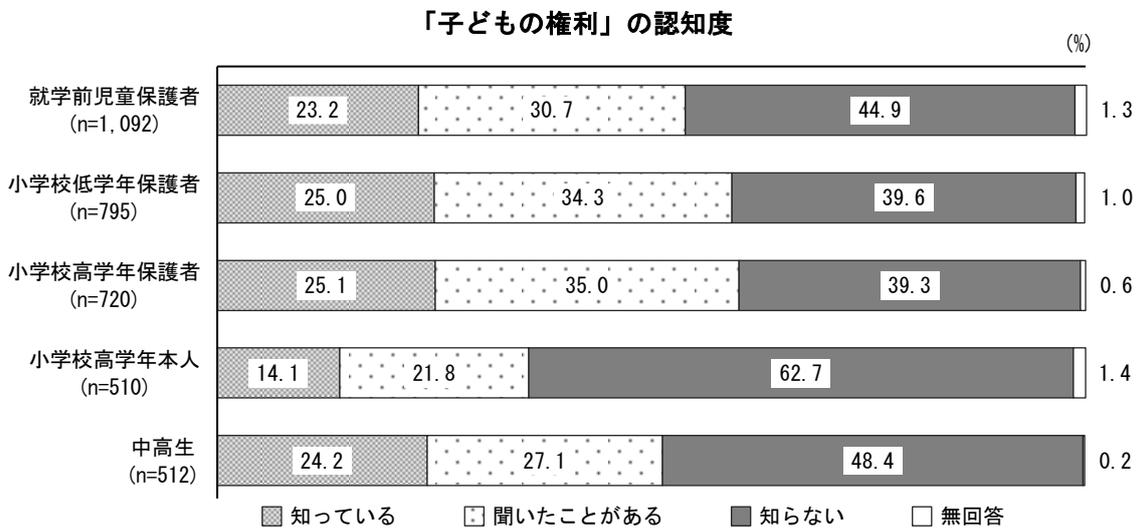
(5) 「子どもの権利」について

就学前児童保護者：問30／小学校低学年保護者：問24／小学校高学年保護者：問23
 小学校高学年本人：問7／中高生：問20

子どもには大切な「子どもの権利」があります。
 町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
 あなたは、これらについて知っていますか。

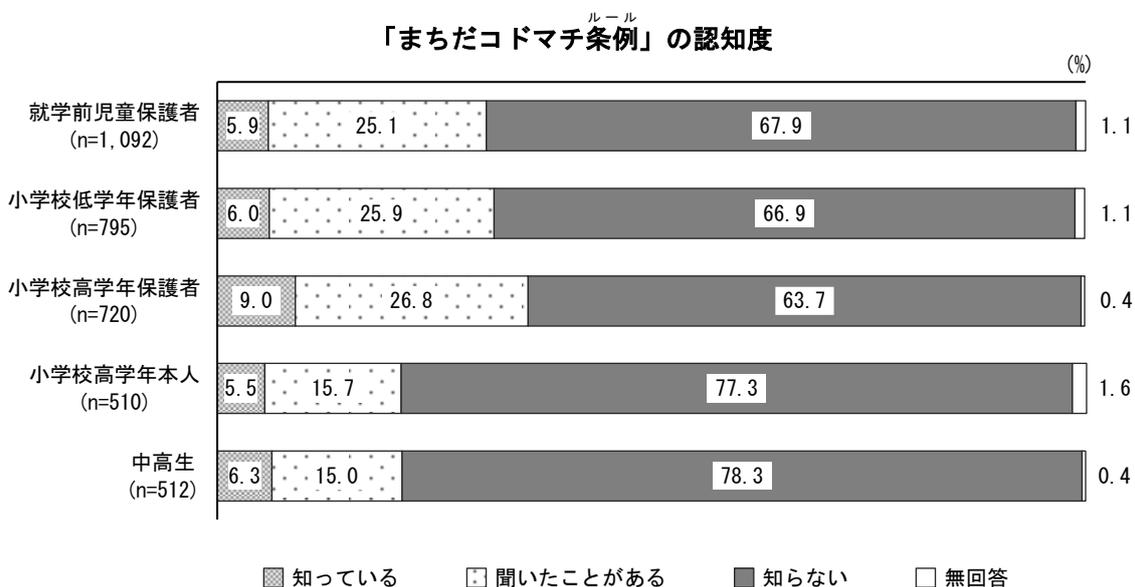
【子どもの権利】

- 保護者と比較して、子どもの認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）の方が低くなっています。特に小学校高学年本人では「知らない」が6割程度となっています。



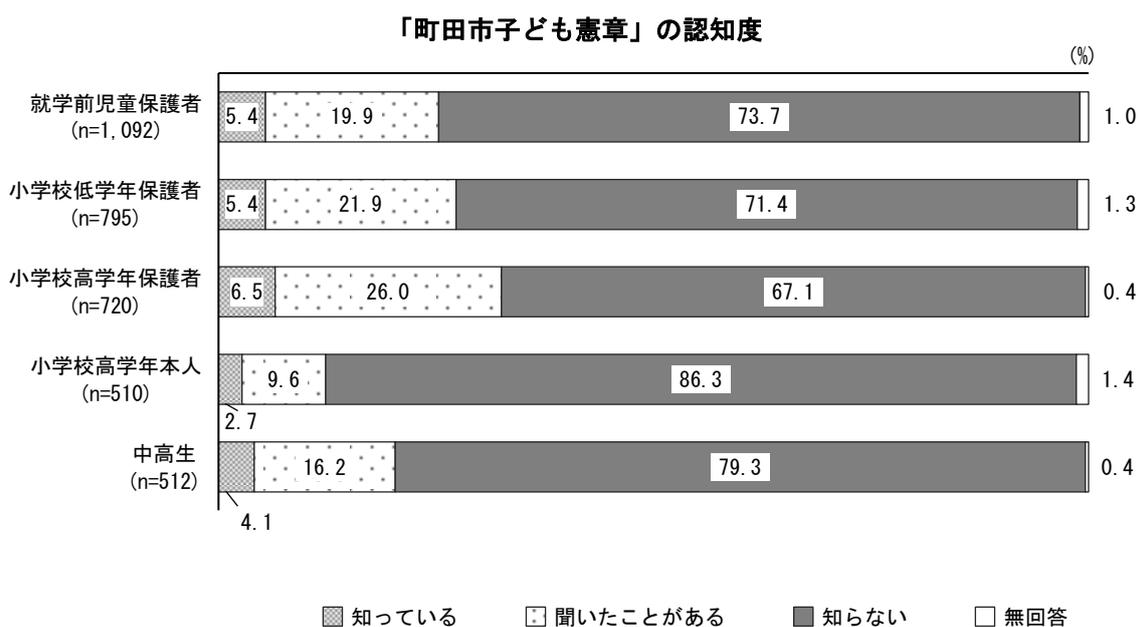
【町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）】

- 保護者と比較して、子どもの認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）の方が低くなっており、子どもでは「知らない」が8割弱となっています。



【町田市子ども憲章】

- 保護者の認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）は3割前後となっていますが、子どもの認知度は、小学校高学年本人で1割台、中高生で2割台と比較的低くなっています。

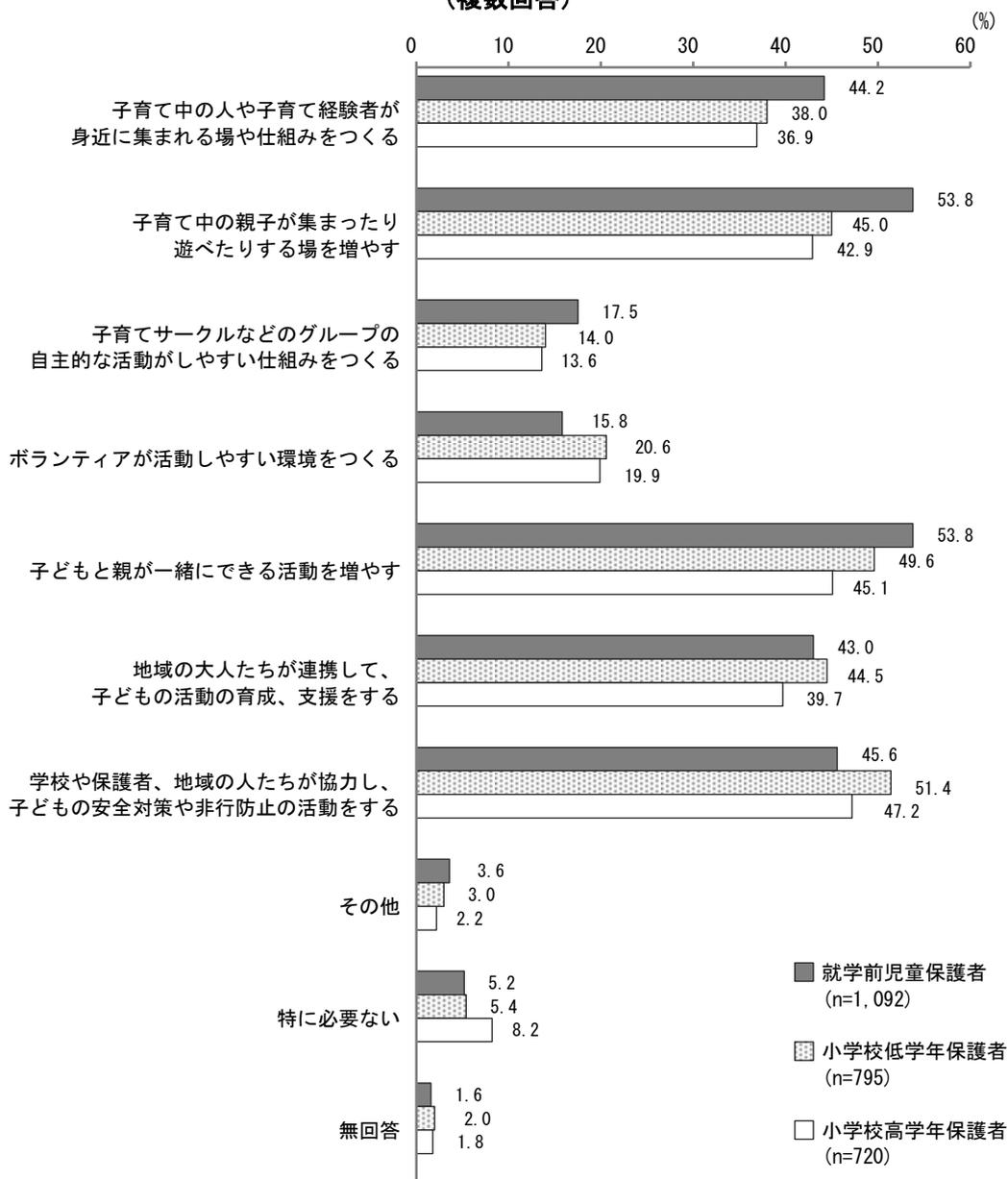


(6) 子育て施策全般について

就学前児童保護者：問32 / 小学校低学年保護者：問26 / 小学校高学年保護者：問25
 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。

- 対象別に比較すると、就学前児童保護者では「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」、それ以外では「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が最も高くなっています。

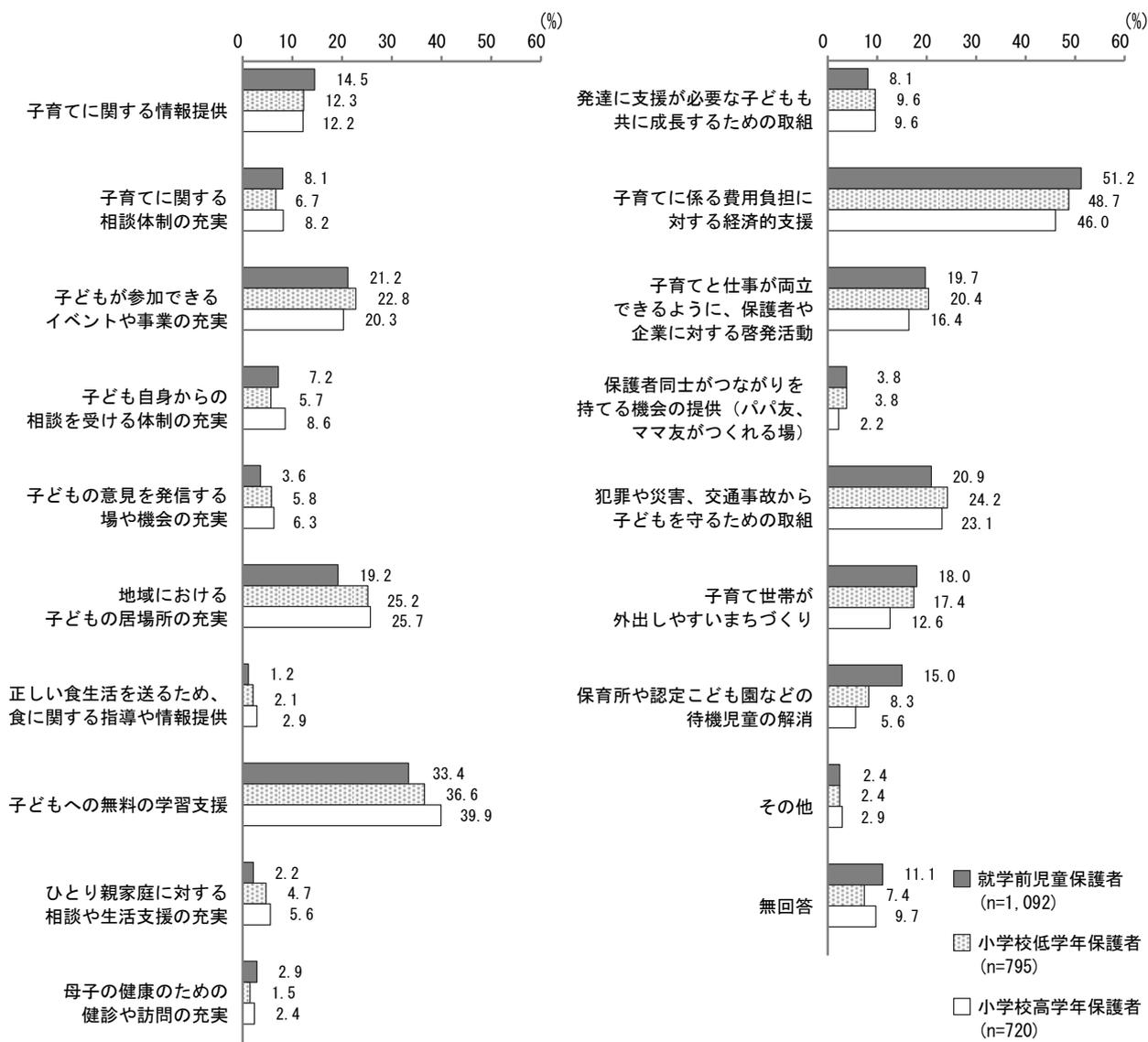
安心して子育てをするために必要だと思う取組
 (複数回答)



就学前児童保護者：問33 / 小学校低学年保護者：問27 / 小学校高学年保護者：問26
 市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。

- すべての対象で「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」の割合が最も高く、次いで「子どもへの無料の学習支援」が高くなっています。

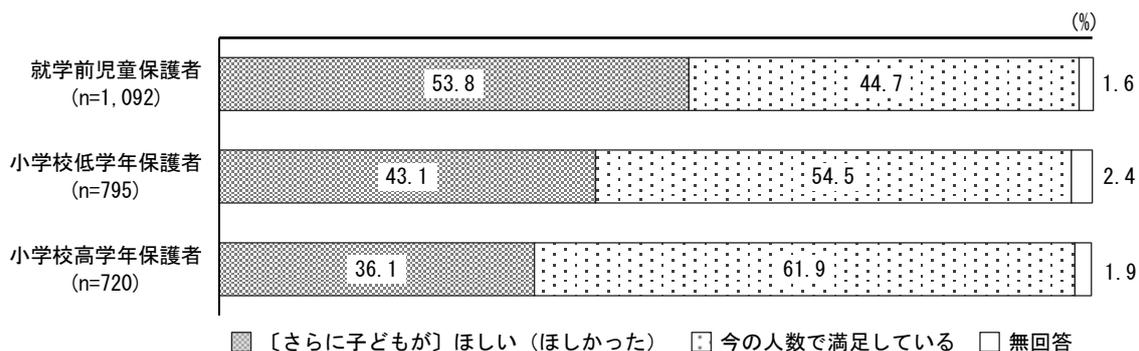
市に期待する支援や取組
 (複数回答/3つまで)



就学前児童保護者：問34 / 小学校低学年保護者：問28 / 小学校高学年保護者：問27
 市の子育て支援への取組や少子化対策が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。

- 就学前児童保護者では「ほしい（ほしかった）」の割合が半数以上となっていますが、子どもの年齢が上がるにつれて低くなり、小学校高学年保護者では3割台となっています。

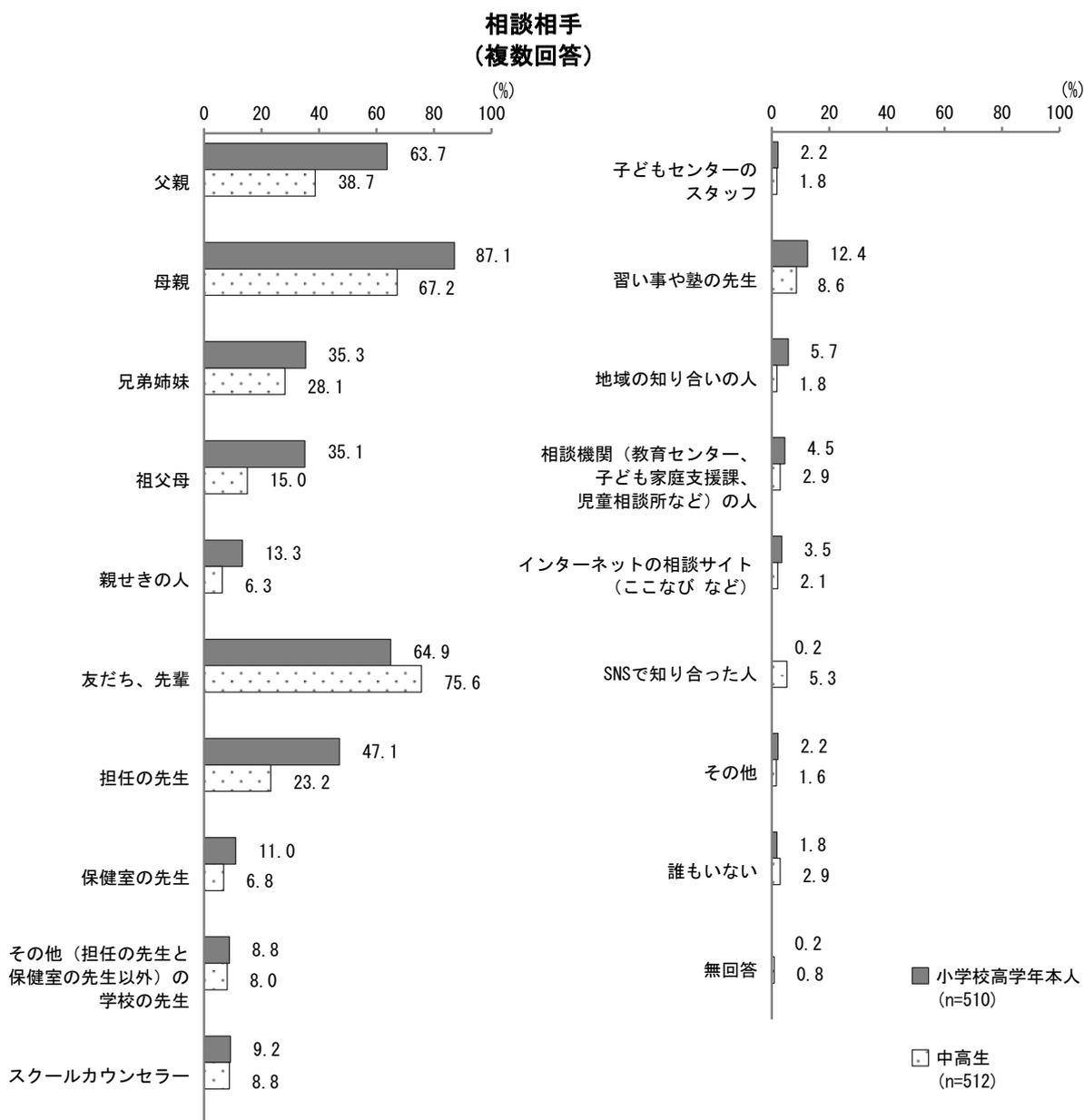
取組が充実した場合の希望



(7) 悩み事や相談先について

小学校高学年本人：問1 / 中高生：問8
 何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手はいますか。

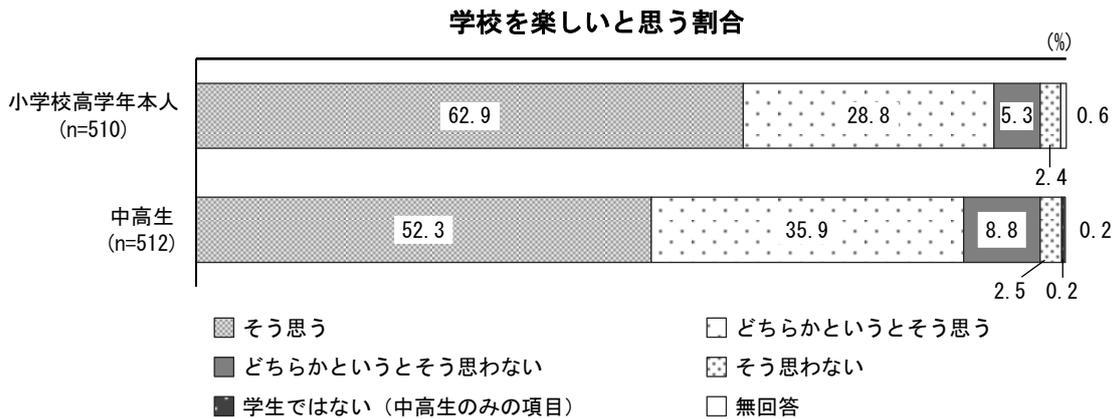
- 小学校高学年本人は中高生と比較して、「父親」「母親」「祖父母」「担任の先生」の割合が20ポイント前後高くなっていますが、「友だち、先輩」の割合は10.7ポイント低くなっています。



(8) 学校生活について

小学校高学年本人：問2 / 中高生：問13
 学校は楽しいと思いますか。

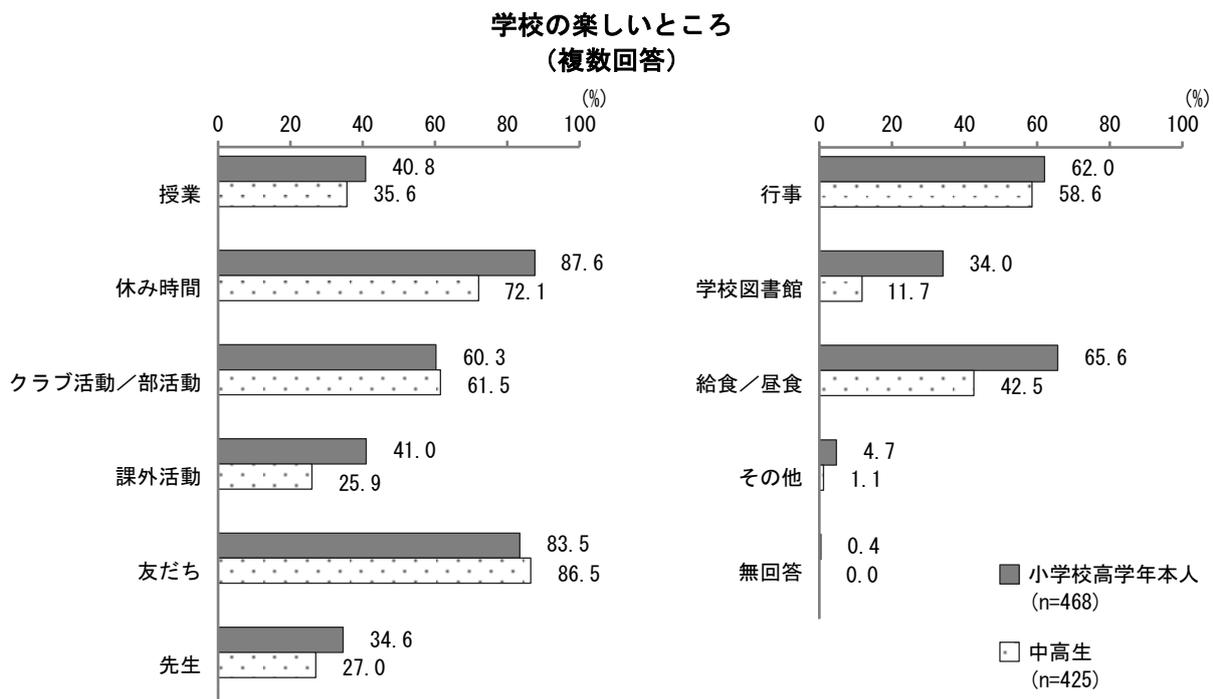
- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合計した割合は、どちらの対象も9割程度と高くなっていますが、中高生では「どちらかというと思わない」の割合が小学校高学年本人よりも高くなっています。



※問2-1 / 問13-1は、問2 / 問13で「そう思う」または「どちらかというと思う」を選択した人のみ回答

小学校高学年本人：問2-1 / 中高生：問13-1
 どのようなところが楽しいですか。

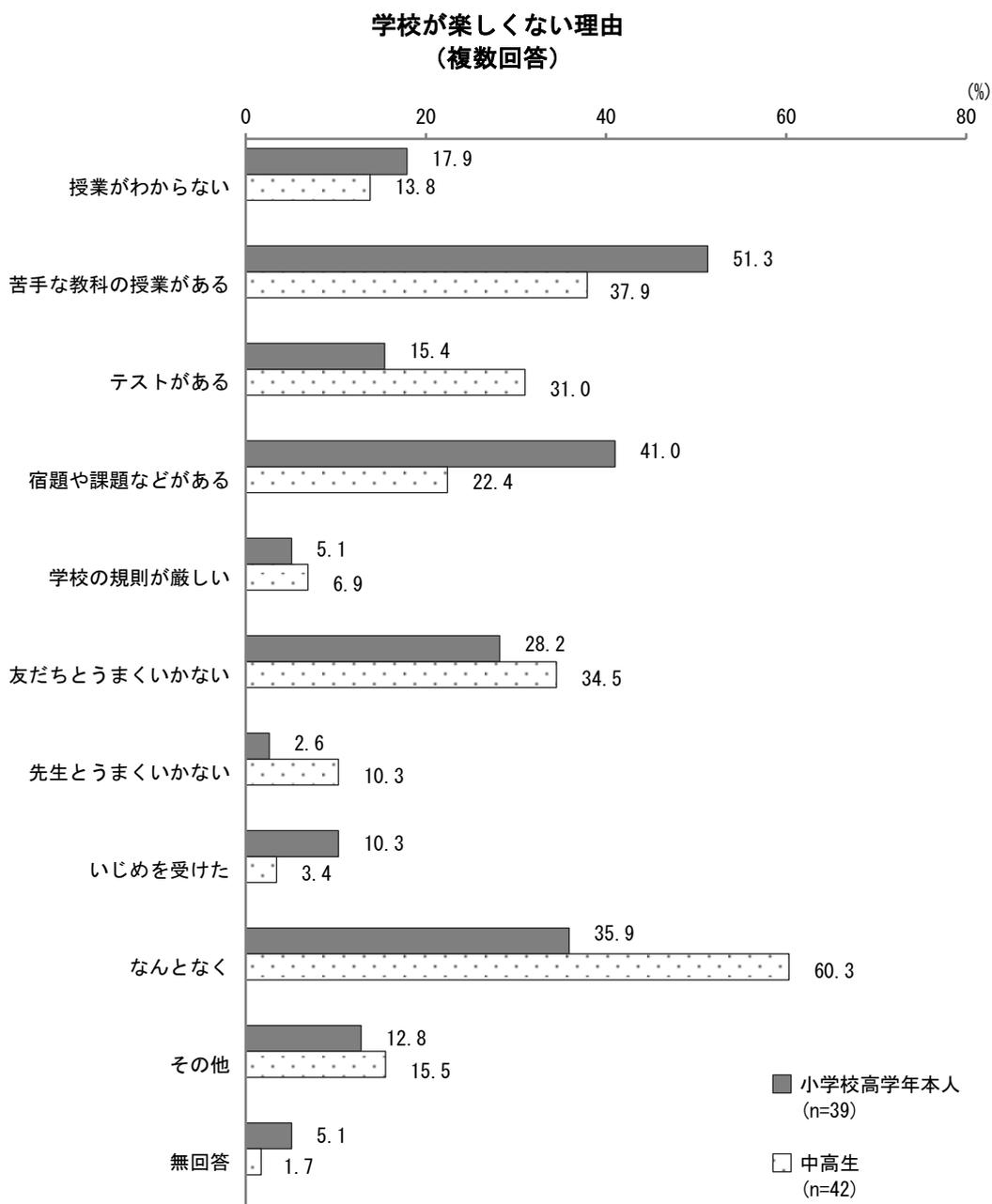
- 小学校高学年本人では「休み時間」、中高生では「友だち」の割合が最も高く、「給食/昼食」の割合は、小学校高学年本人で比較的高くなっています。



※問2-2/問13-2は、問2/問13で「どちらかというと思わない」または「思わない」を選択した人のみ回答

小学校高学年本人：問2-2/中高生：問13-2
 そう思わない理由は何ですか。

- 小学校高学年本人では「苦手な教科の授業がある」「宿題や課題などがある」の割合が、中高生を大きく上回っています。
- 中高生では「なんとなく」の割合が、小学校高学年本人よりも24.4ポイント高くなっています。

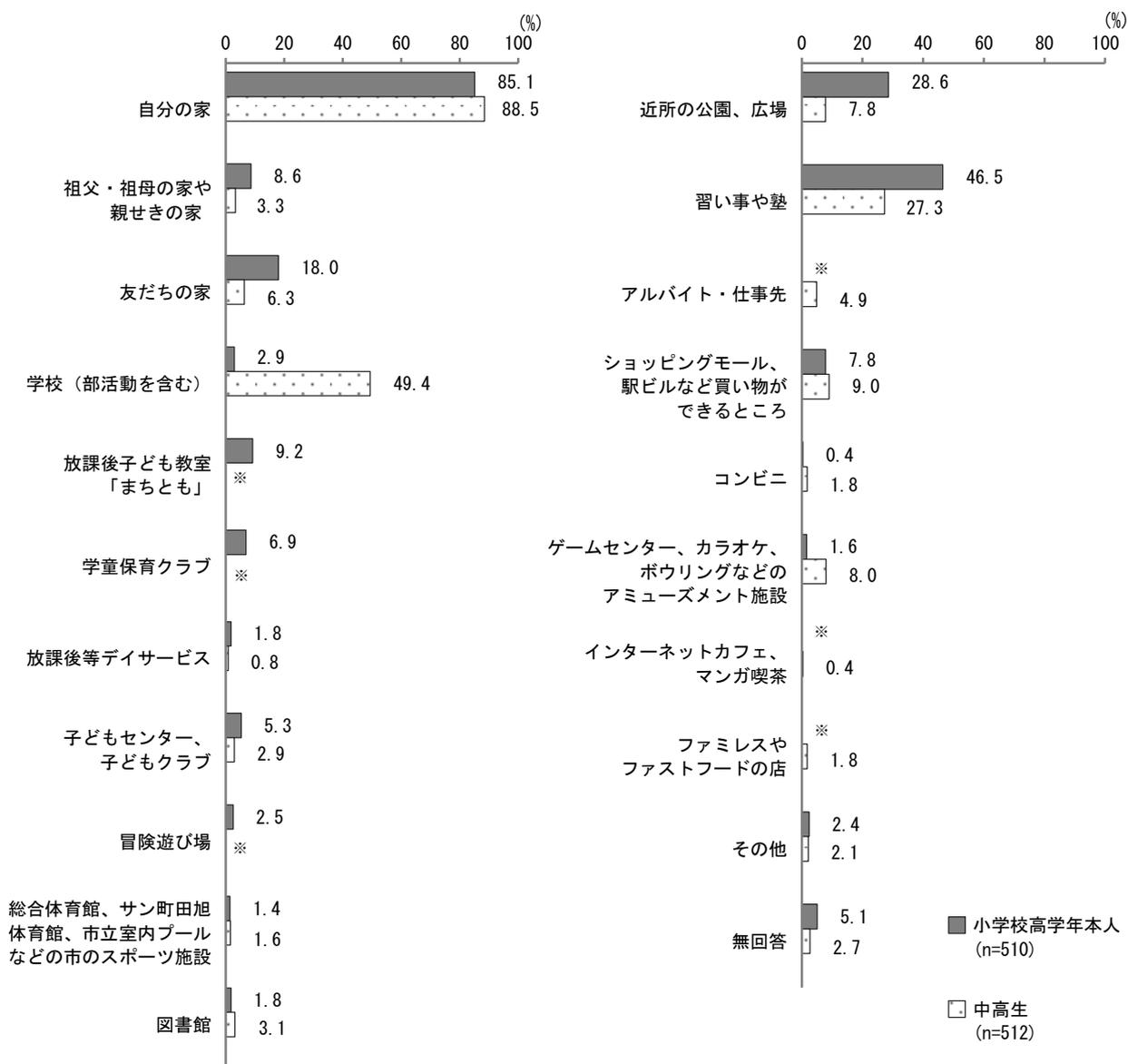


(9) 放課後や休みの日の過ごし方について

小学校高学年本人：問3 / 中高生：問14
 放課後（夕方）や休日はどこにすることが多いですか。

- どちらの対象でも「自分の家」が9割弱と最も多くなっています。
- 小学校高学年本人では「近所の公園、広場」「習い事や塾」の割合が、中高生よりも約20ポイント高くなっています。
- 中高生では「学校（部活動を含む）」の割合が、小学校高学年本人よりも46.5ポイント高くなっています。

放課後（夕方）や休日によくいる場所
 （複数回答／3つまで）



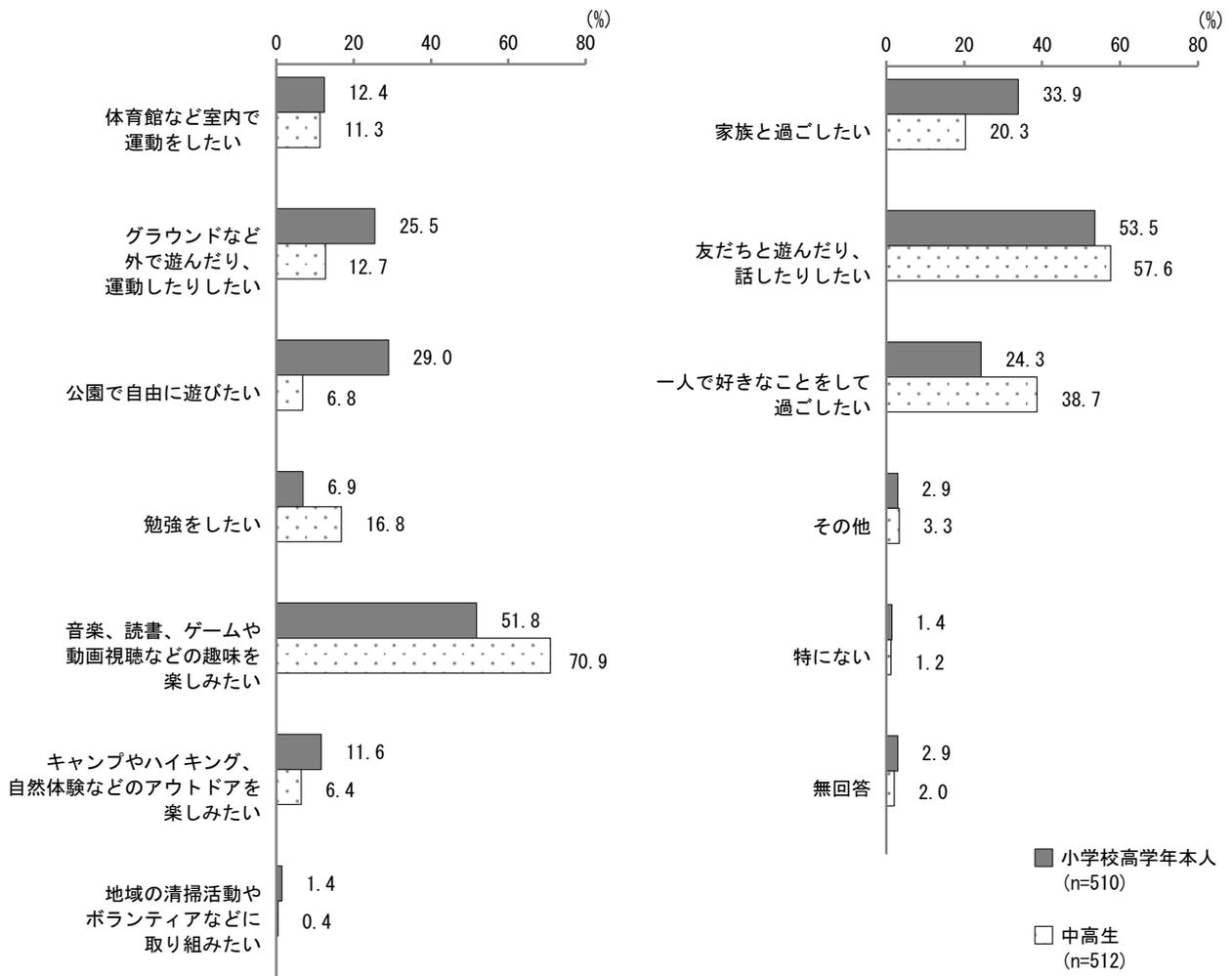
※「放課後子ども教室「まちとも」」「学童保育クラブ」「冒険遊び場」は、小学校高学年本人のみの項目。
 「アルバイト・仕事先」「インターネットカフェ、マンガ喫茶」「ファミレスやファストフードの店」は、中高生のみの項目。

小学校高学年本人：問4 / 中高生：問15

放課後（夕方）や休日にはどのように過ごしたいですか。

- 小学校高学年本人では「友だちと遊んだり、話したりしたい」、中高生では「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」の割合が最も高くなっています。
- 「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」の割合は、中高生の方が小学校高学年本人よりも19.1ポイント高くなっています。

放課後（夕方）や休日に希望する過ごし方
（複数回答／3つまで）

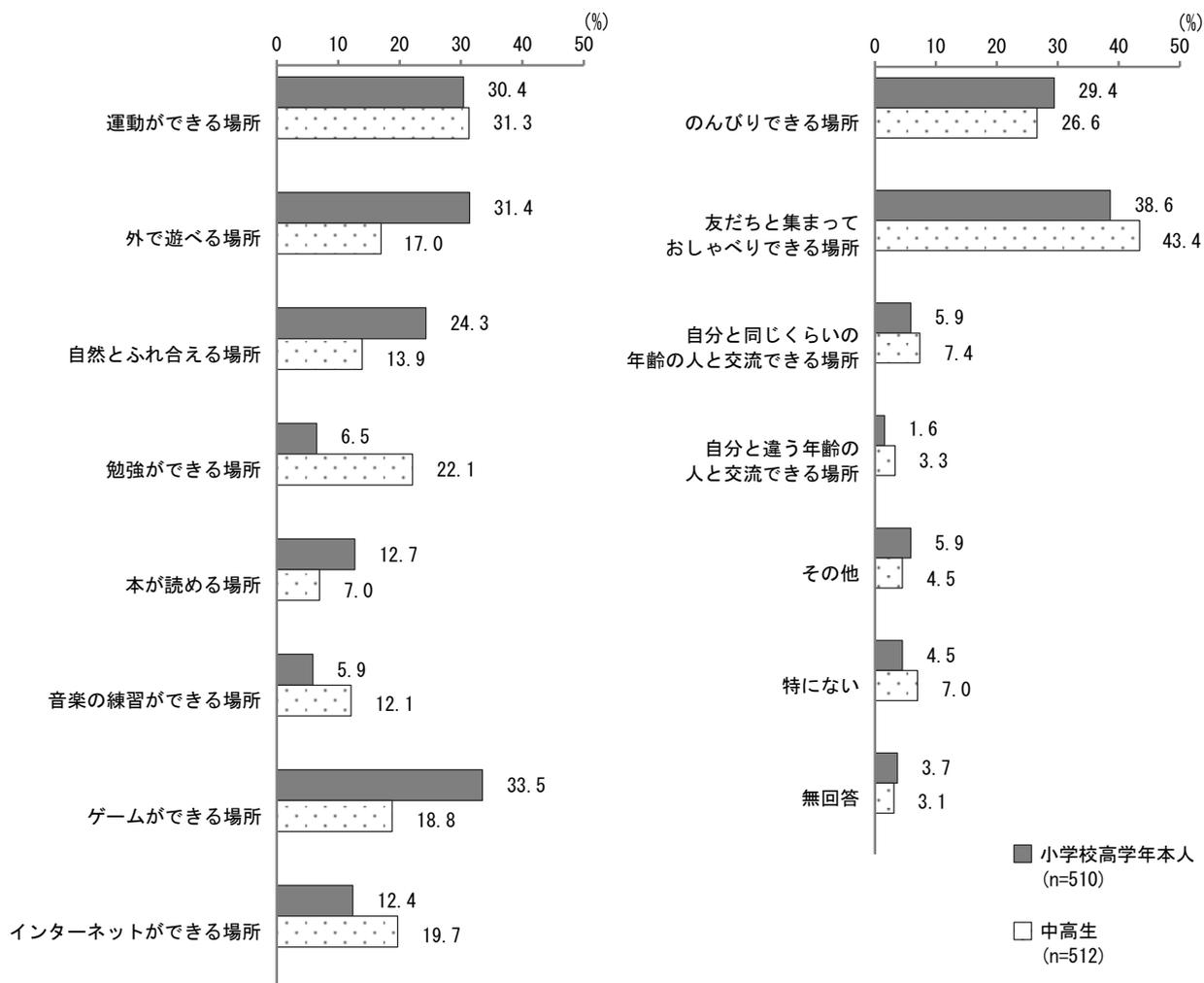


小学校高学年本人：問5 / 中学生：問16

放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものがありますか。

- 「友だちと集まっておしゃべりできる場所」「運動ができる場所」は、どちらの対象でも比較的高くなっています。
- 小学校高学年本人では「外で遊べる場所」「ゲームができる場所」の割合が、中学生よりも約1.4ポイント高くなっています。
- 中学生では、「勉強ができる場所」の割合が、小学校高学年本人よりも15.6ポイント高くなっています。

放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所
（複数回答 / 3つまで）

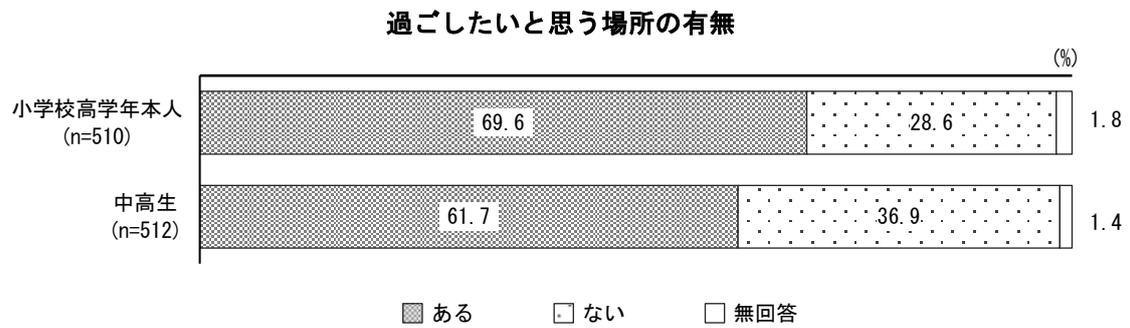


(10) 町田市について

小学校高学年本人：問6・中高生：問17

家と学校以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が町田市にありますか。

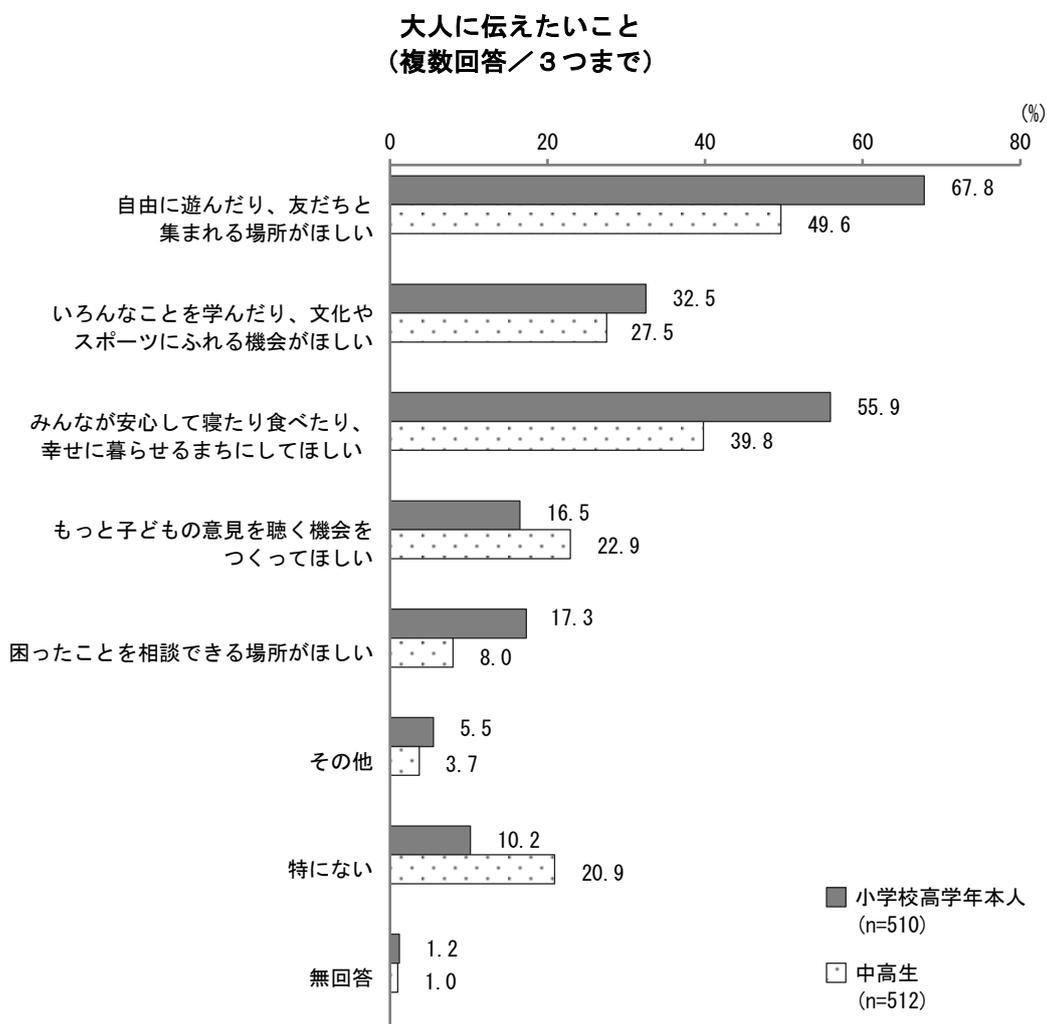
- どちらの対象でも「ある」が6割台となっていますが、小学校高学年本人の方が、中高生よりも高い割合となっています。



(11) 自身の考えについて

小学校高学年本人：問10 / 中高生：問25
 あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。

- どちらの対象でも「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」の割合が最も高く、次いで「みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」の割合が高くなっています。
- 「もっと子どもの意見を聴く機会をつくってほしい」の割合は、他の項目に比べて、中高生の方が小学校高学年本人よりも高くなっています。



2 【調査①】就学前児童保護者

(1) 家族の状況について

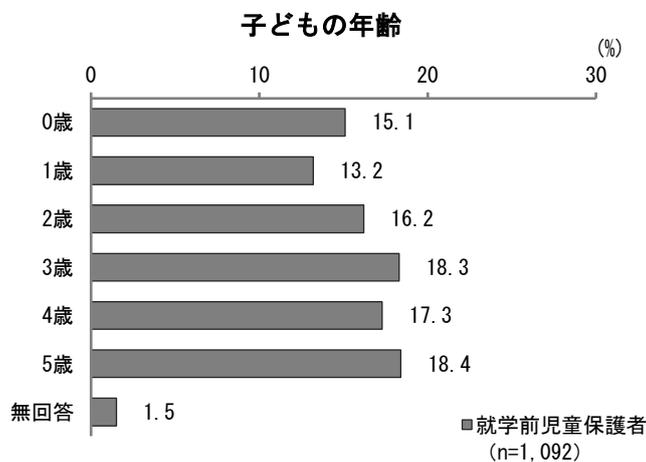
問1 お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

- 「南地域」が28.8%と最も多く、次いで「鶴川地域」が21.0%、「町田地域」が18.8%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

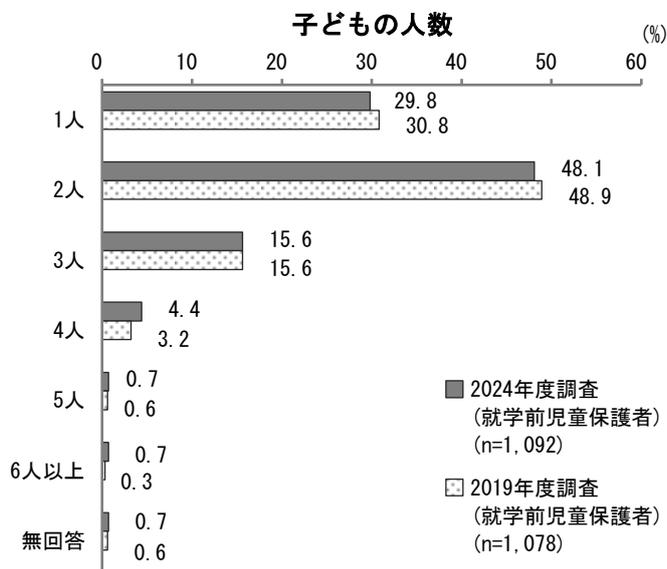
- 「5歳」が18.4%と最も多く、次いで「3歳」が18.3%、「4歳」が17.3%となっています。



問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
 あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
 2人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

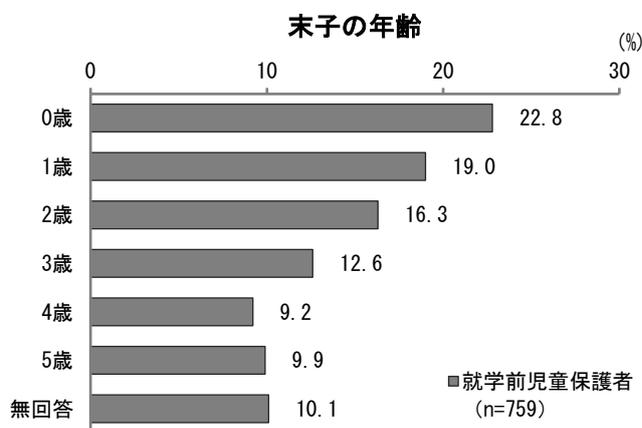
【子どもの人数】

- 「2人」が48.1%と最も多く、次いで「1人」が29.8%、「3人」が15.6%となっています。
- 2019年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



【末子の年齢】

- 「0歳」が22.8%と最も多く、次いで「1歳」が19.0%、「2歳」が16.3%となっています。

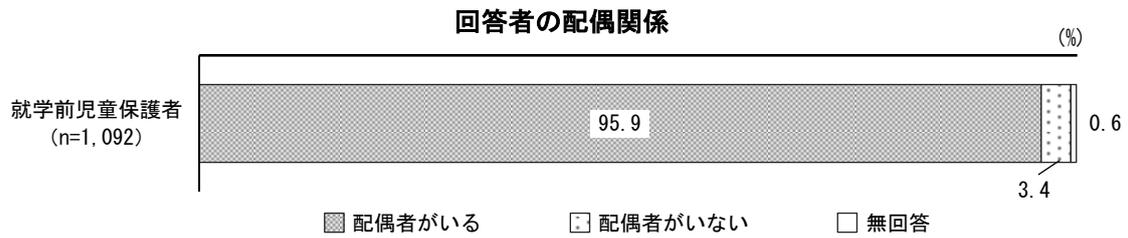


問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【〇は1つだけ】



※問5は、問4で「父親」または「母親」を選択した人のみ回答

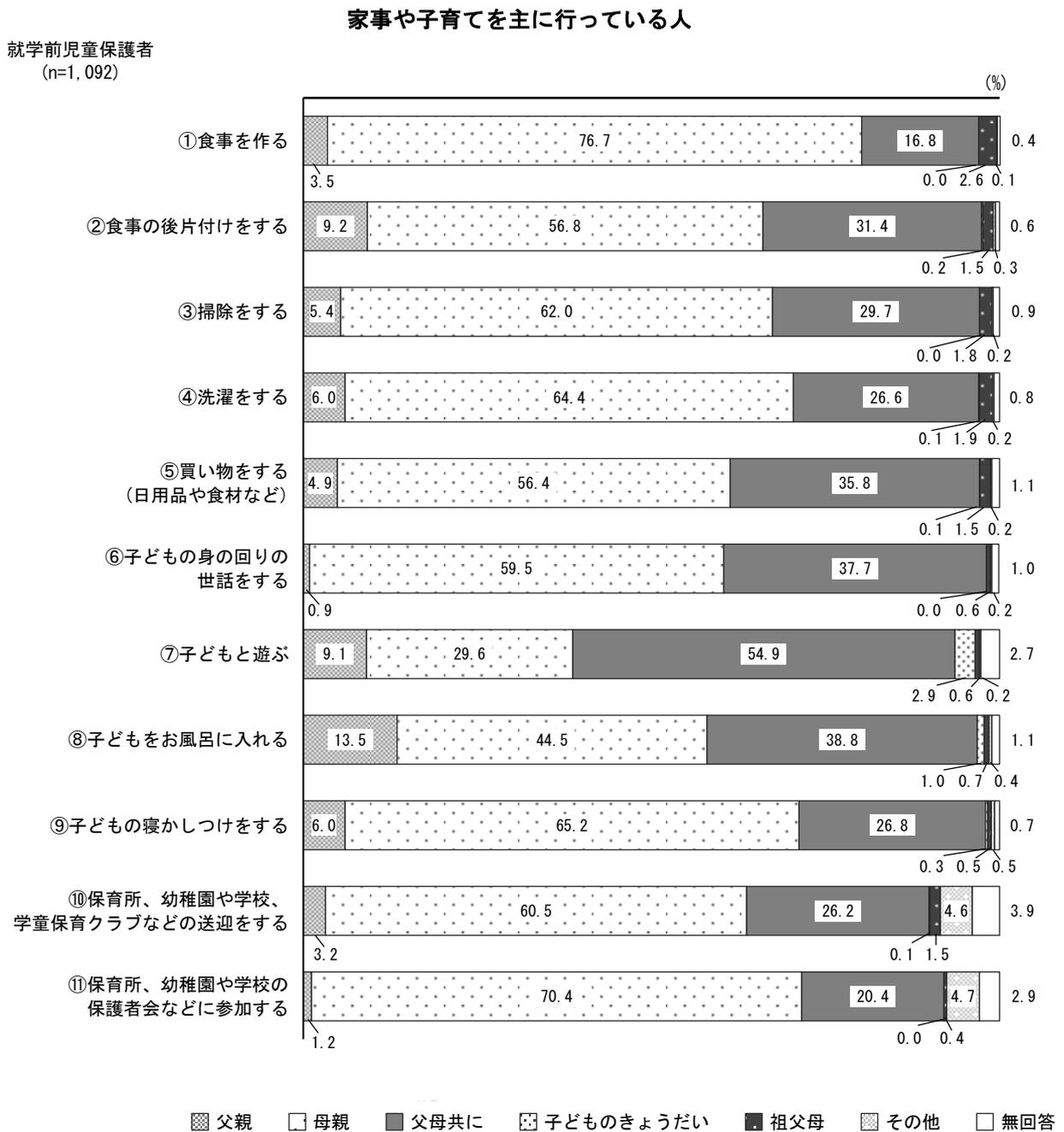
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、教えてください。
【〇は1つだけ】



(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

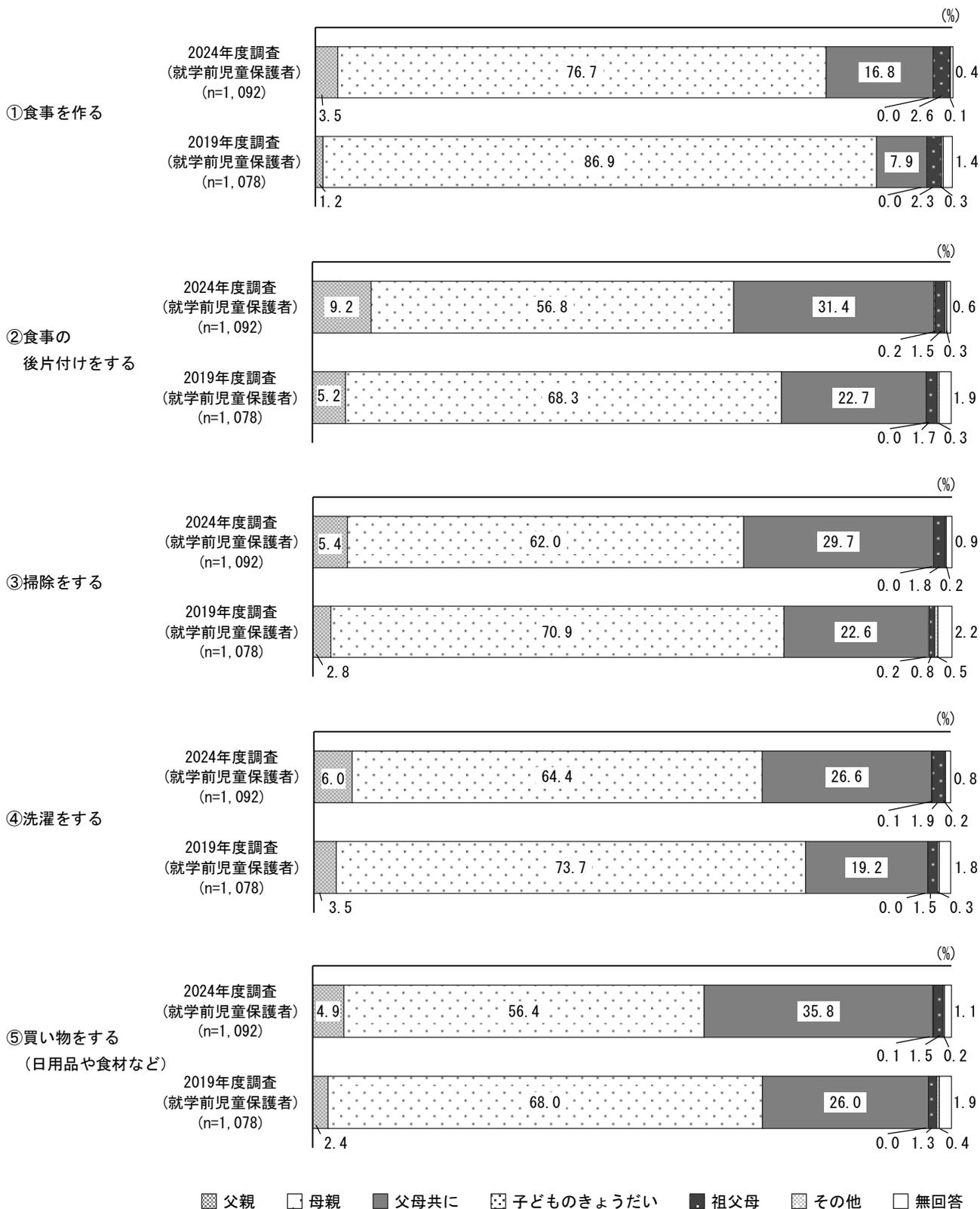
問6 家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。
①～⑪について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『⑦子どもと遊ぶ』を除くすべての項目で、「母親」の割合が最も高くなっています。
- 『⑧子どもをお風呂に入れる』では「父親」の割合が13.5%と、他の項目に比べて高くなっています。

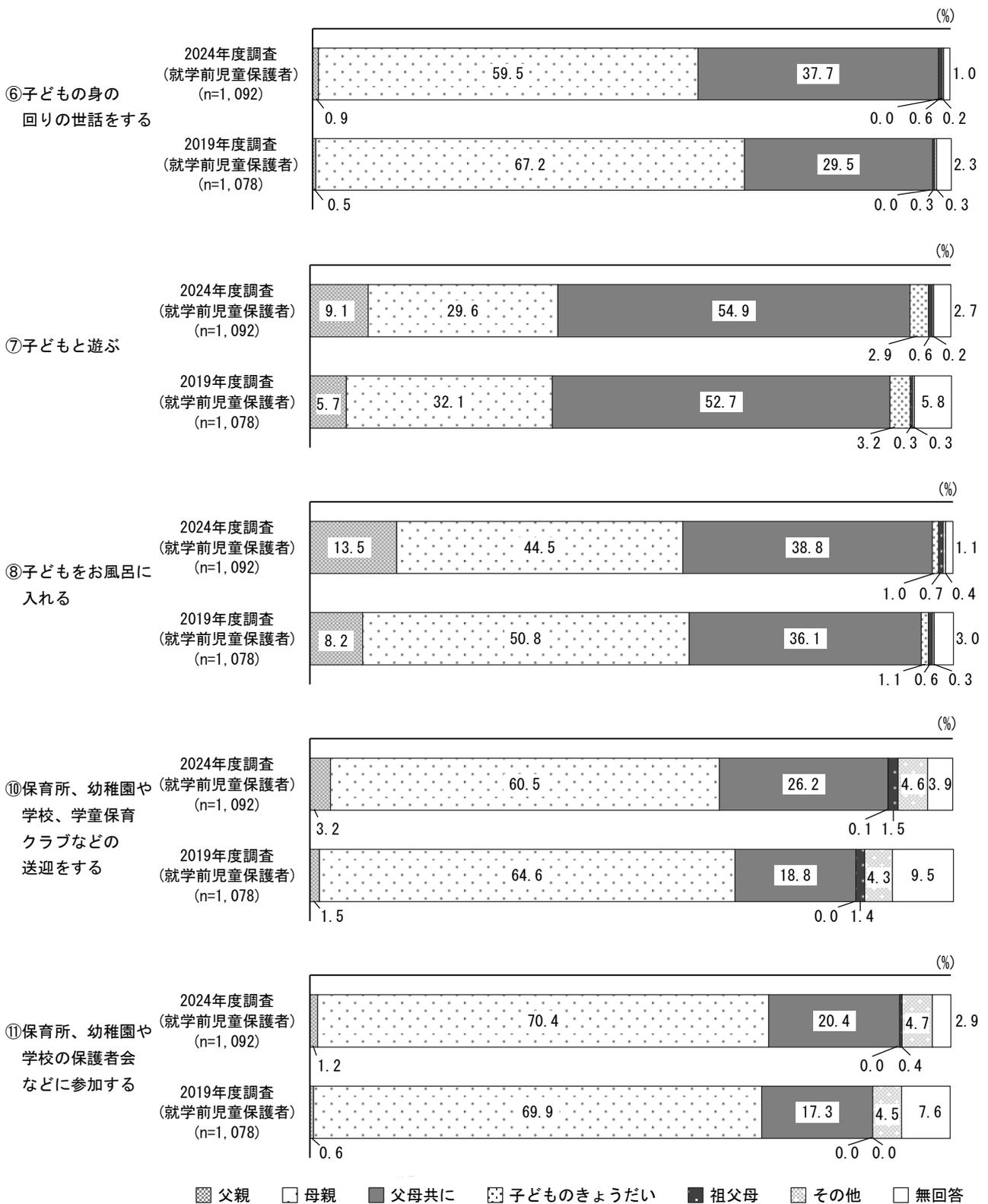


○ 2019年度調査との比較

- すべての項目で、「父親」「父母共に」の割合が増加しています。



第2章 調査結果 2 【調査①】就学前児童保護者

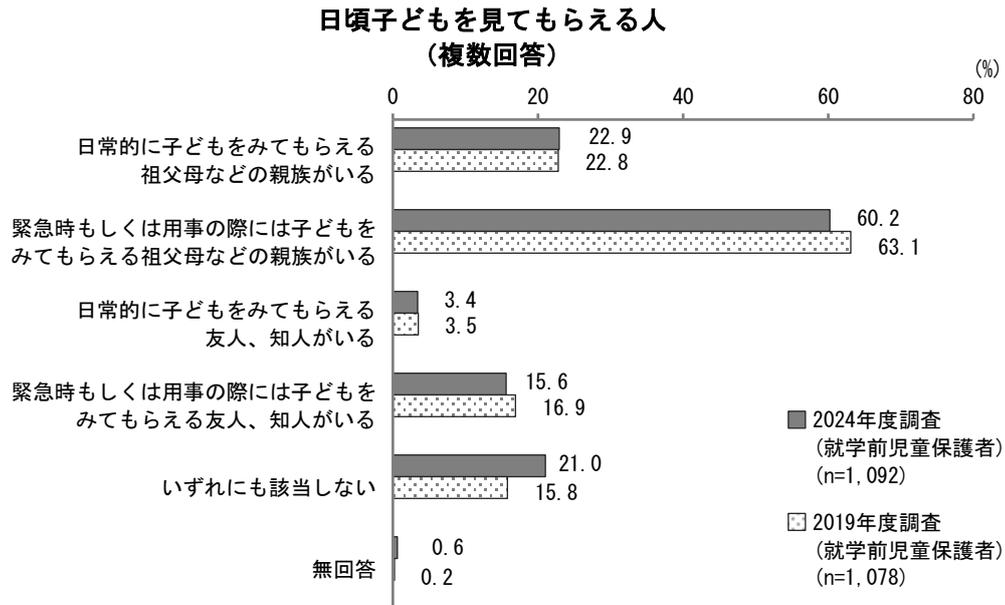


※「⑨子どもの寝かしつけをする」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族、知人はいますか。

【あてはまるものすべてに○】

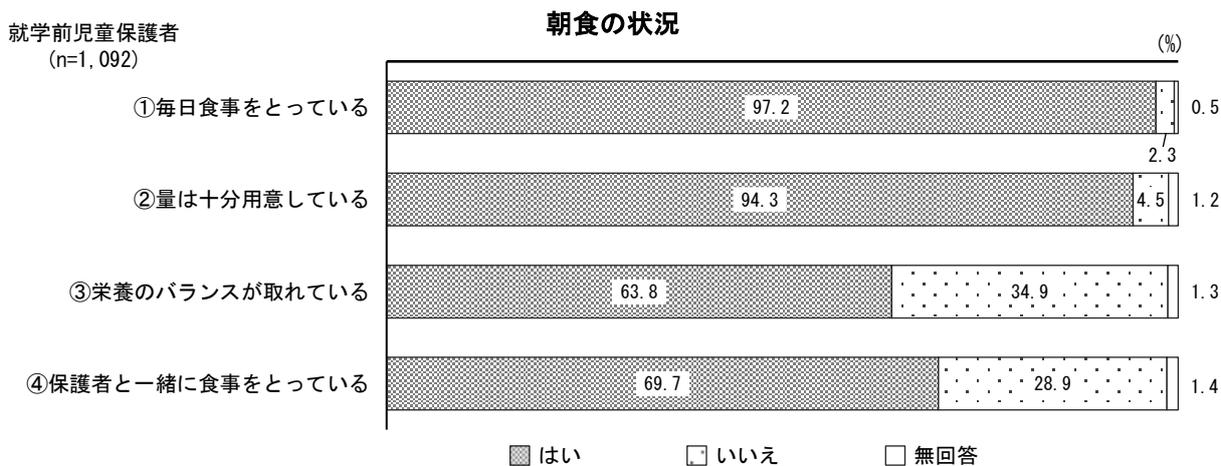
- 「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母などの親族がいる」が60.2%と最も多く、次いで「日常的に子どもをみてもらえる祖父母などの親族がいる」が22.9%、「いずれにも該当しない」が21.0%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「いずれにも該当しない」が比較的大きく増加しています。



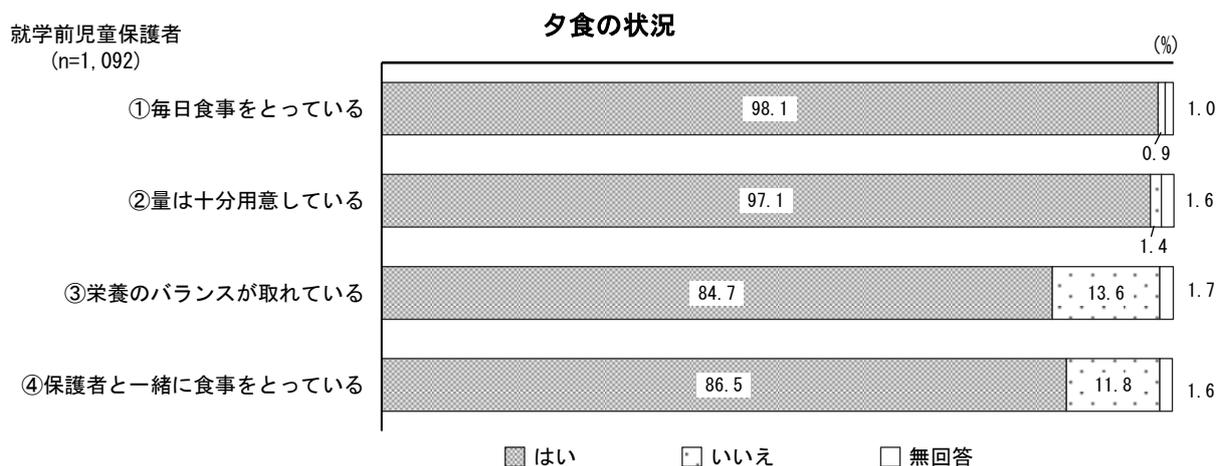
問8 あて名のお子さんの食事について、お答えください。
 ①～④ごとに、A・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 朝食】

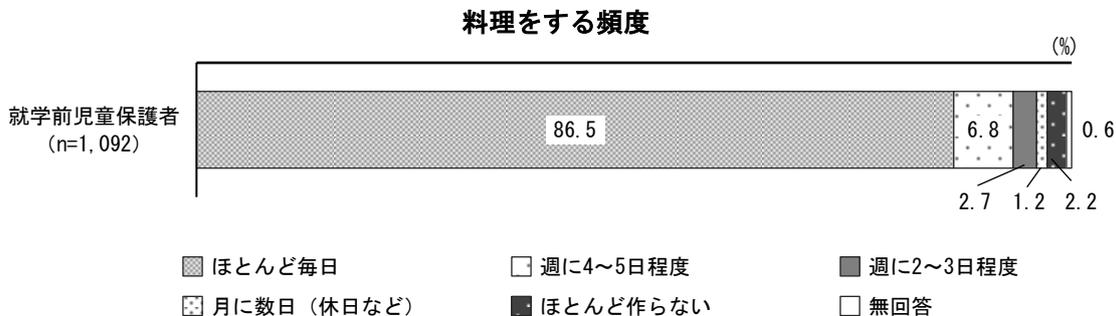
- 「はい」の割合は、『①毎日食事をとっている』『②量は十分用意している』では、9割以上と高くなっていますが、『③栄養のバランスが取れている』『④保護者と一緒に食事をとっている』では、6割台と比較的低くなっています。



【B 夕食】

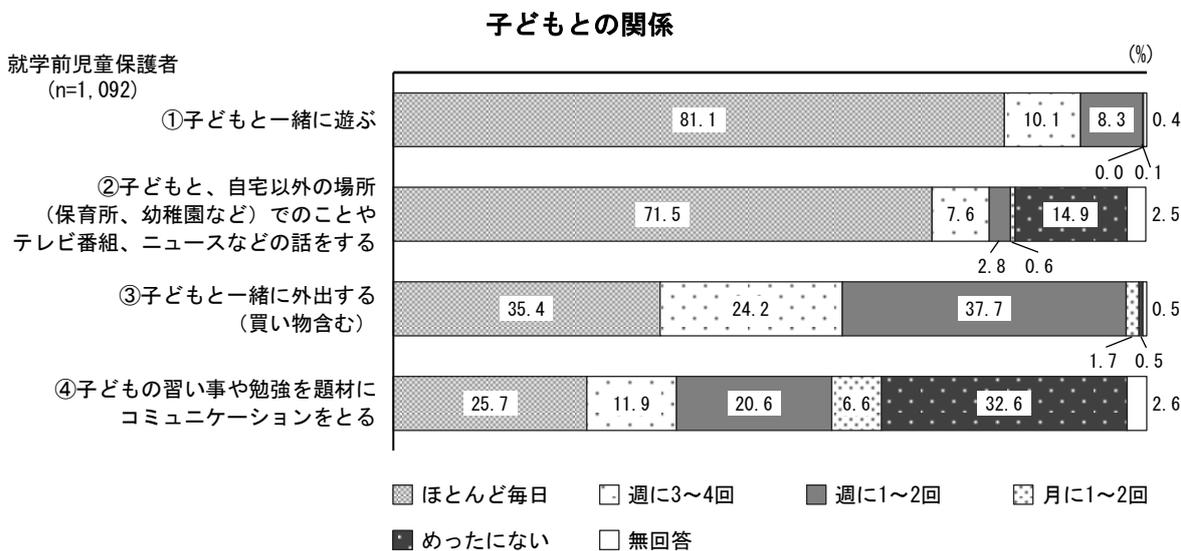


問9 あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る（料理する）ことがどのくらいありますか。【〇は1つだけ】
 ※食事を作る（料理する）には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。



問10 あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
 あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。
 ①～④について、それぞれ1つに〇をつけてください。

- 『①子どもと一緒に遊ぶ』『②子どもと、自宅以外の場所（保育所、幼稚園など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする』では「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。
- 『③子どもと一緒に外出する（買い物含む）』『④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる』では、他の項目に比べて特定の頻度に偏りが見られません。

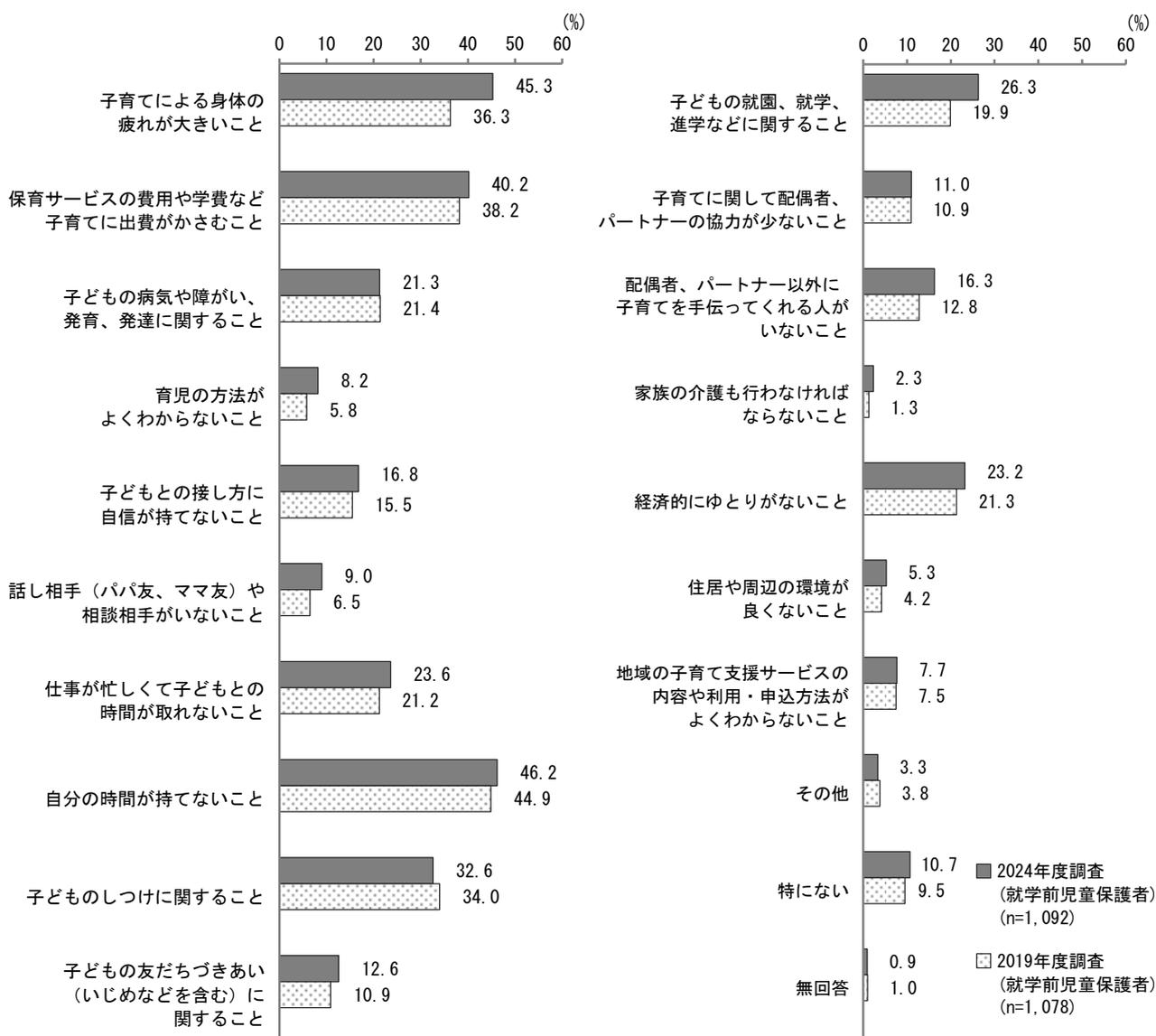


(3) 子育ての悩みについて

問11 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「自分の時間が持てないこと」が46.2%と最も多く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が45.3%、「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」が40.2%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「子どもの就園、就学、進学などに関すること」の割合が、他の項目よりも大きく増加しています。

子育ての悩み
(複数回答)



【母親の就労状況別】

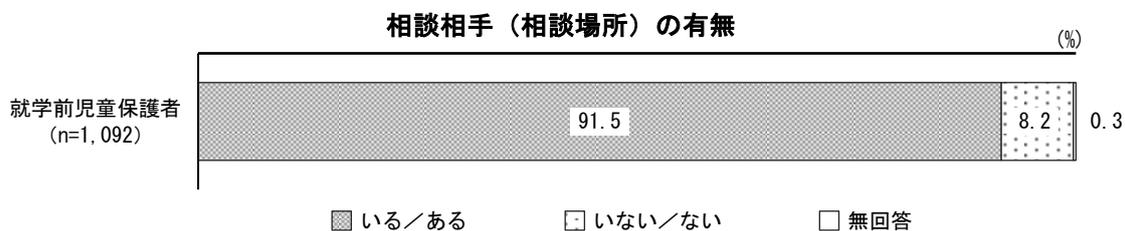
- 母親の就労状況別でみると、『フルタイム』『パートタイム、アルバイトなど』では、どちらも「自分の時間が持てないこと」の割合が最も高くなっています。次いで、『フルタイム』では「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」、『パートタイム、アルバイトなど』では「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が高くなっています。
- 『フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中』『パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中』『以前は就労していたが、現在は就労していない』では、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が最も高くなっています。

子育ての悩み【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手(パパ友、ママ友)や相談相手がいらないこと	仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関すること	子どもの友だちづきあい(いじめなどを含む)に関すること	子どもの就園、就学、進学などに関すること	子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと	配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	家族の介護も行わなければならないこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特になし	無回答
フルタイム	332	41.9	41.0	18.7	7.2	15.7	8.4	51.5	55.7	30.4	14.2	25.0	13.6	14.8	1.2	21.4	4.5	6.9	3.0	9.9	0.3
フルタイムで、 現在産休・育休・ 介護休暇中	126	54.8	41.3	23.8	8.7	12.7	11.1	10.3	43.7	35.7	4.8	35.7	7.1	23.0	2.4	14.3	4.8	9.5	2.4	7.1	1.6
パートタイム、 アルバイトなど	287	42.9	44.9	19.5	7.3	19.2	8.0	20.2	46.3	32.8	13.9	23.3	11.1	16.0	1.7	28.9	5.6	7.3	3.5	10.8	1.0
パートタイム、 アルバイトなどで、 現在産休・育休・ 介護休暇中	26	46.2	42.3	23.1	7.7	11.5	-	7.7	34.6	26.9	11.5	30.8	-	15.4	3.8	23.1	-	7.7	-	11.5	-
以前は就労 していたが、 現在は就労 していない	287	50.2	36.6	24.7	10.8	18.8	11.1	2.8	40.4	35.2	13.2	26.8	10.8	16.7	3.8	23.3	6.6	8.4	3.8	10.8	1.0
これまでに 就労した ことがない	17	17.6	17.6	23.5	-	5.9	-	11.8	11.8	11.8	11.8	29.4	11.8	5.9	-	17.6	5.9	-	-	47.1	5.9

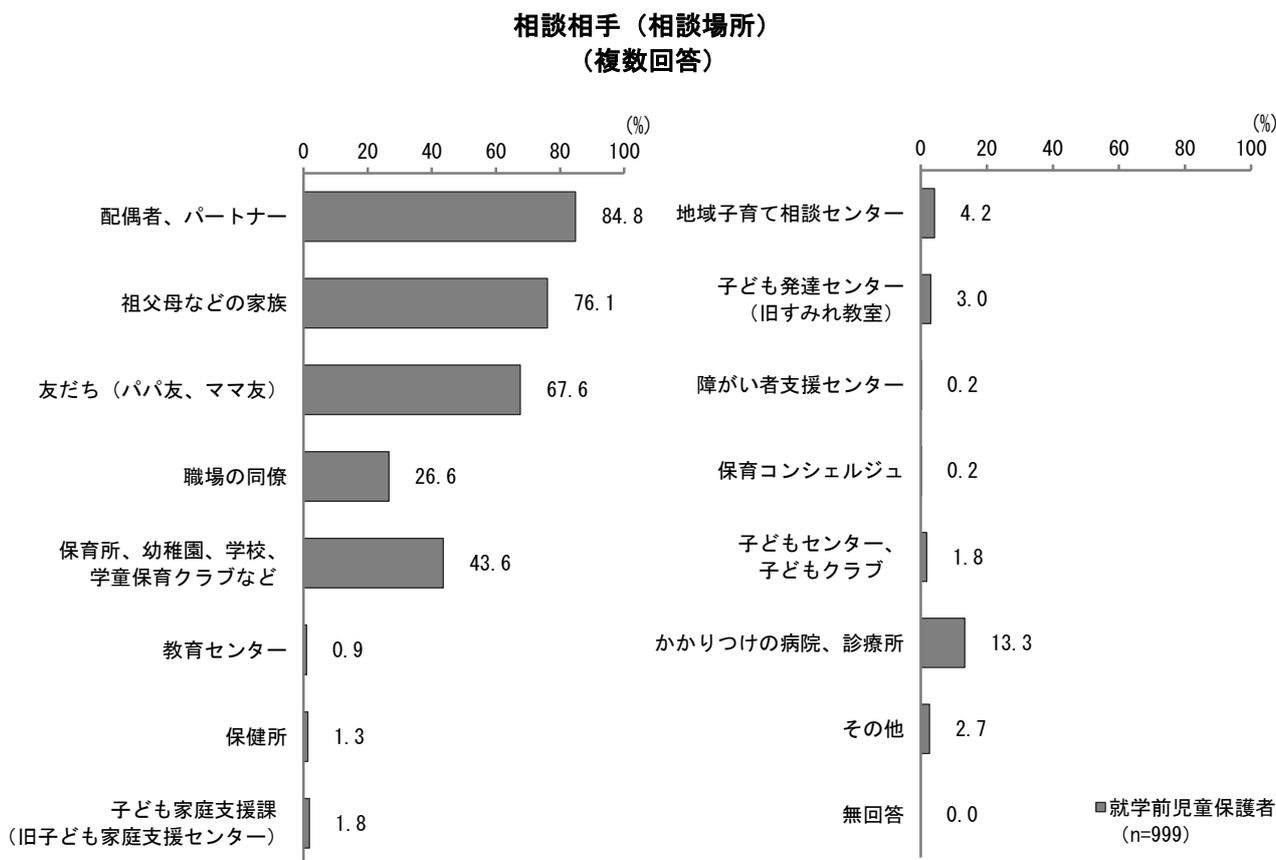
問12 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所がありますか）。
【○は1つだけ】



※問12-1は、問12で「いる／ある」を選択した人のみ回答

問12-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「配偶者、パートナー」が84.8%と最も多く、次いで「祖父母などの家族」が76.1%、「友だち（パパ友、ママ友）」が67.6%となっています。

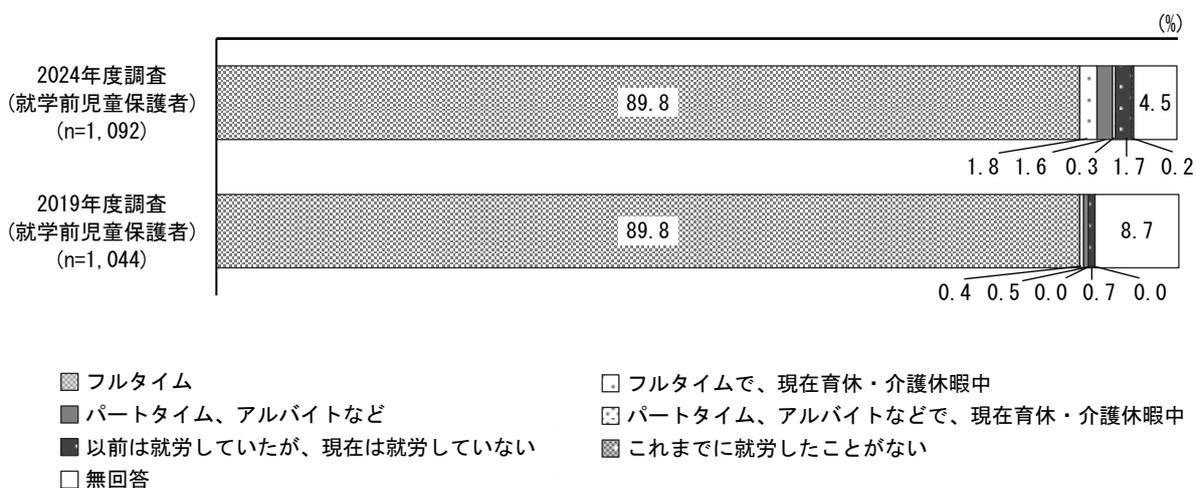


(4) 保護者の就労状況について

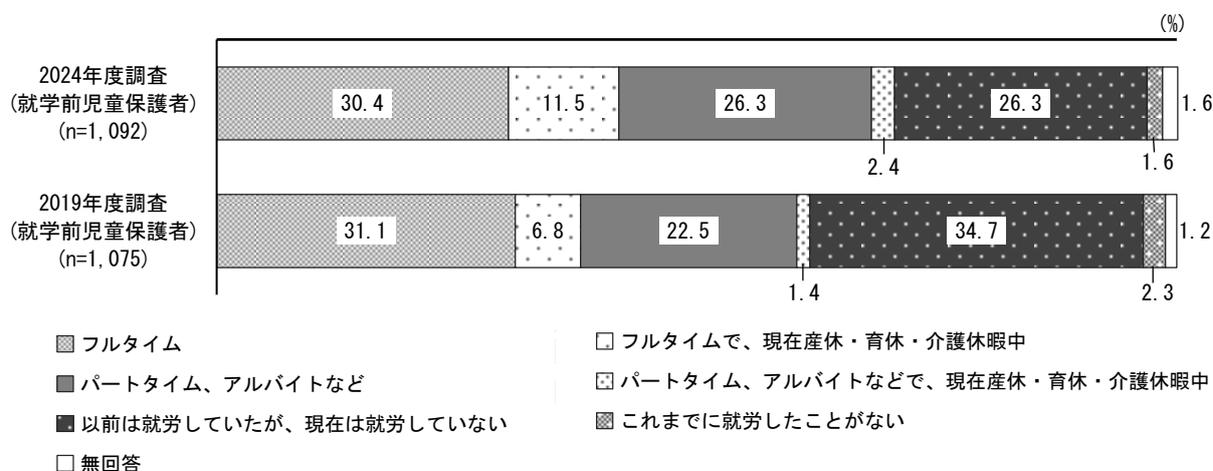
問13 現在の就労状況をお答えください。【それぞれ〇は1つだけ】

- 父親は「フルタイム」が89.8%と最も多くなっています。
2019年度調査と比較すると、育休・介護休暇中の人の割合が増加しています。
- 母親は、「フルタイム」が30.4%と最も多く、次いで「パートタイム、アルバイトなど」
「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.3%となっています。
2019年度調査と比較すると、「フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中」の割合が最も増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が最も減少しています。

保護者の就労状況【父親（就学前児童）】



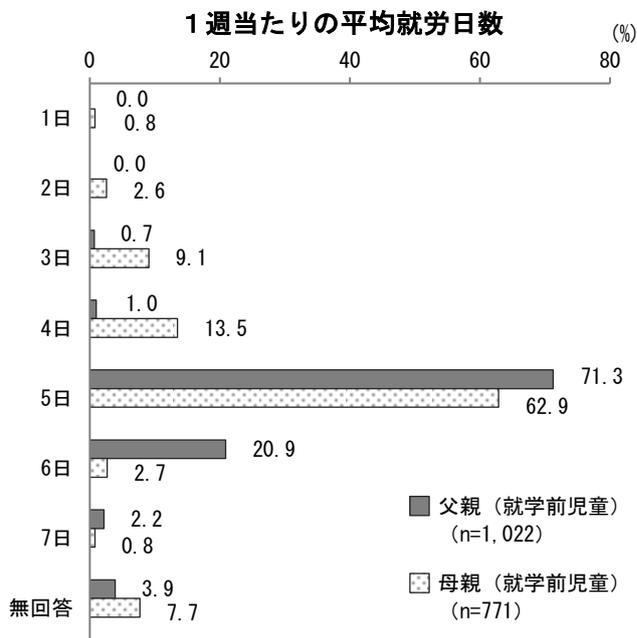
保護者の就労状況【母親（就学前児童）】



※【1週当たりの就労日数】から【帰宅時間】については、問13で就労中（現在、産休・育休・介護休暇中）の項目を選択した人のみ回答

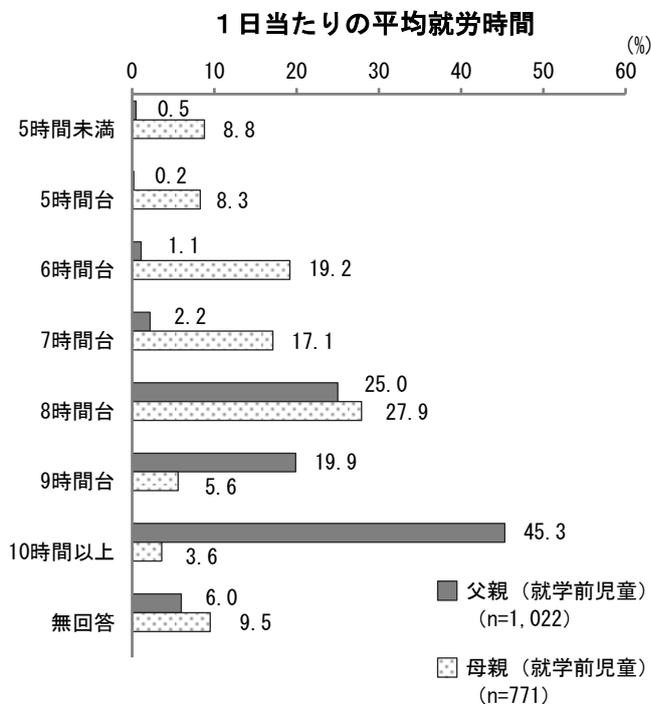
【1週当たりの平均就労日数】

- 父親、母親どちらも「5日」が最も多く、次いで父親では「6日」、母親では「4日」が多くなっています。



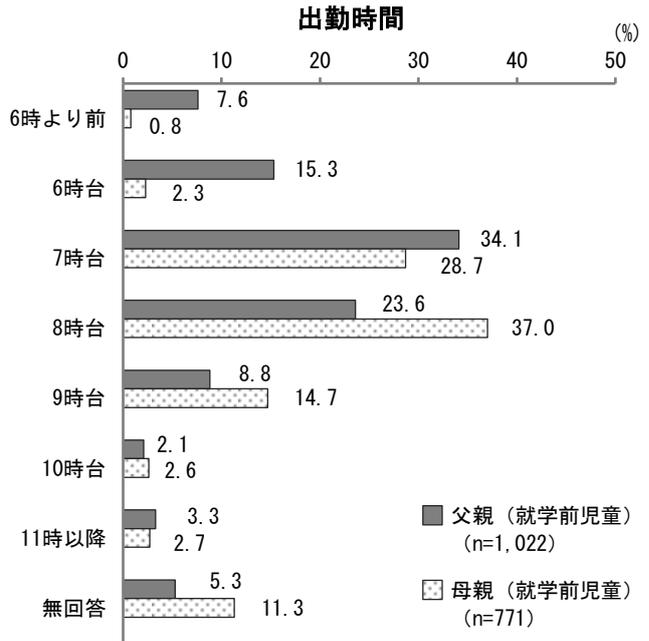
【1日当たりの平均就労時間】

- 父親では「8時間台」以上の割合が比較的高く、「10時間以上」が45.3%と最も高くなっています。また、「5時間台」が0.2%と最も低くなっています。
- 母親では「6～8時間台」の割合が比較的高く、「8時間台」が27.9%と最も高くなっています。また、「10時間以上」が3.6%と最も低くなっています。



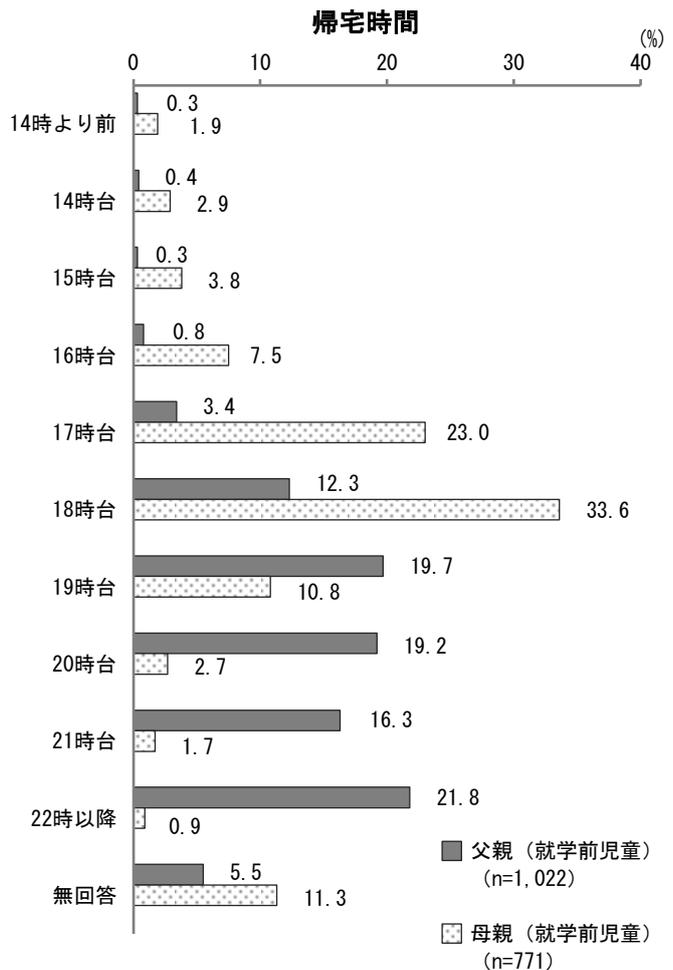
【出勤時間】

- 父親、母親どちらも「7～8時台」の割合が高くなっています。
- 父親では「7時台」が34.1%と最も高く、「10時台」が2.1%と最も低くなっています。
- 母親では「8時台」が37.0%と最も高く、「6時より前」が0.8%と最も低くなっています。



【帰宅時間】

- 父親では「19時台」以降の割合が比較的高く、「22時以降」が21.8%と最も高くなっています。また、「14時より前」「15時台」が0.3%と最も低くなっています。
- 母親では「17～19時台」の割合が比較的高く、「18時台」が33.6%と最も高くなっています。また、「22時以降」が0.9%と最も低くなっています。

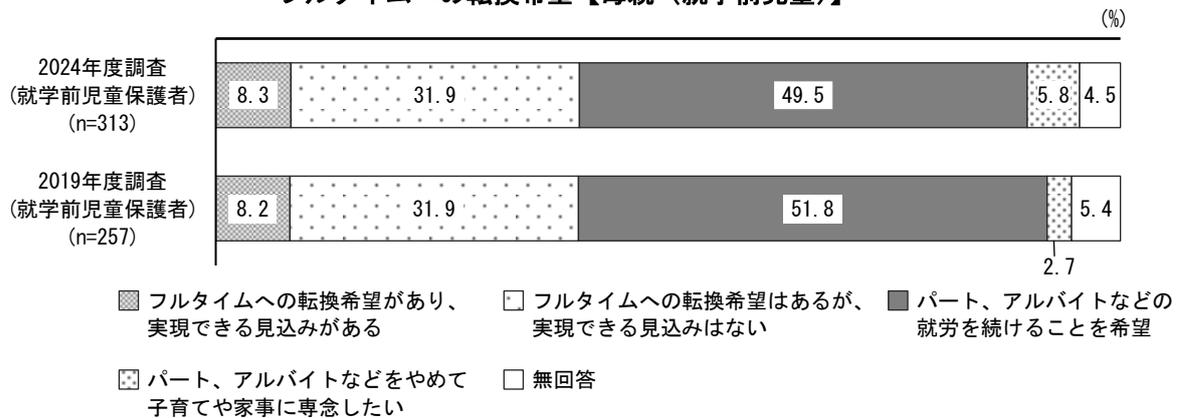


※問13-1は、問13で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中」を選択した人のみ回答

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】

- 母親は、「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」が49.5%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が31.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.3%となっています。
- 2019年度調査と比較して、母親は「パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」の割合が最も増加しています。

フルタイムへの転換希望【母親（就学前児童）】

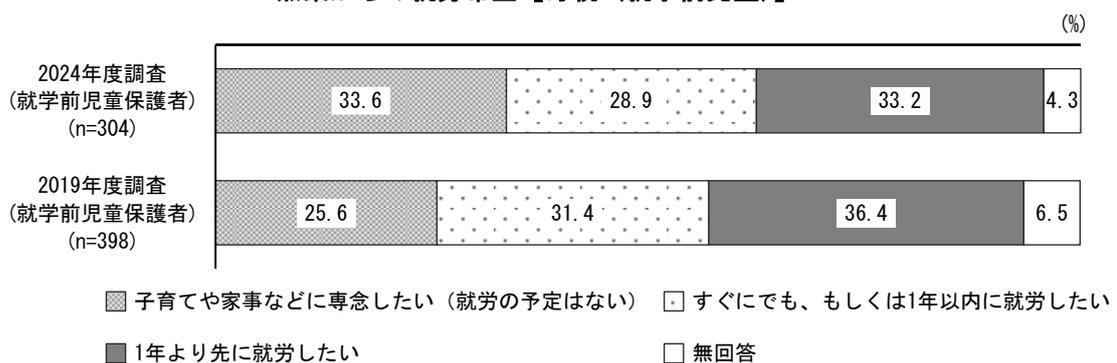


※問13-2は、問13で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」のいずれかを選択した人のみ回答

問13-2 就労希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】
「1年より先に就労したい」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

- 母親は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が33.6%と最も多く、次いで「1年より先に就労したい」が33.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が28.9%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加し、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先に就労したい」の割合は減少しています。

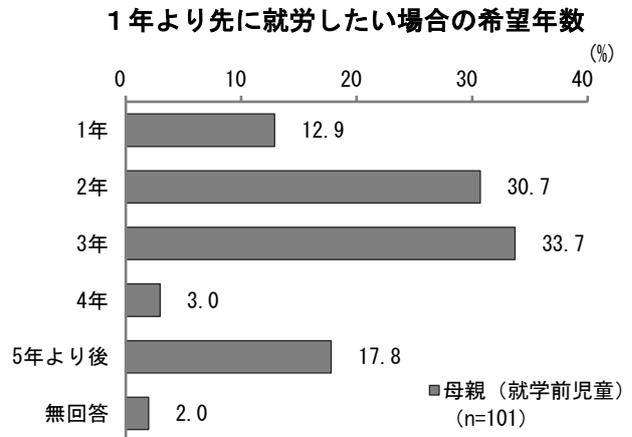
無業からの就労希望【母親（就学前児童）】



※【1年より先に就労したい場合の希望年数】は、問13-2で「1年より先に就労したい」を選択した人のみ回答

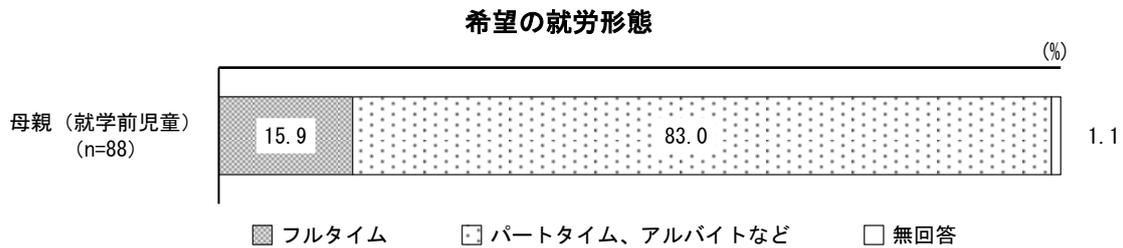
【1年より先に就労したい場合の希望年数】

- 「3年」が33.7%と最も多く、次いで「2年」が30.7%、「5年より後」が17.8%となっています。



※【希望の就労形態】は、問13-2で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した人のみ回答

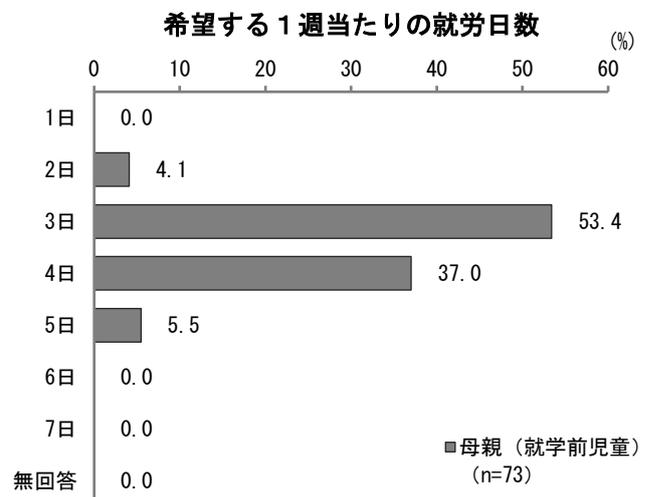
【希望の就労形態】



※【希望する1週当たりの就労日数】【希望する1日当たりの就労時間】は、【希望の就労形態】で「パートタイム、アルバイトなど」を選択した人のみ回答

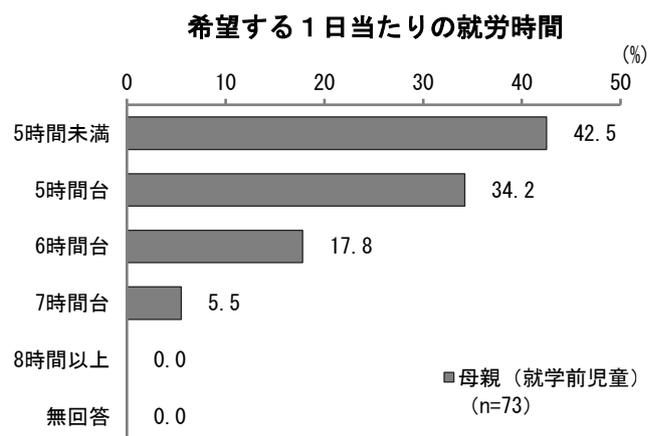
【希望する1週当たりの就労日数】

- 「3日」が53.4%と最も多く、次いで「4日」が37.0%、「5日」が5.5%となっています。



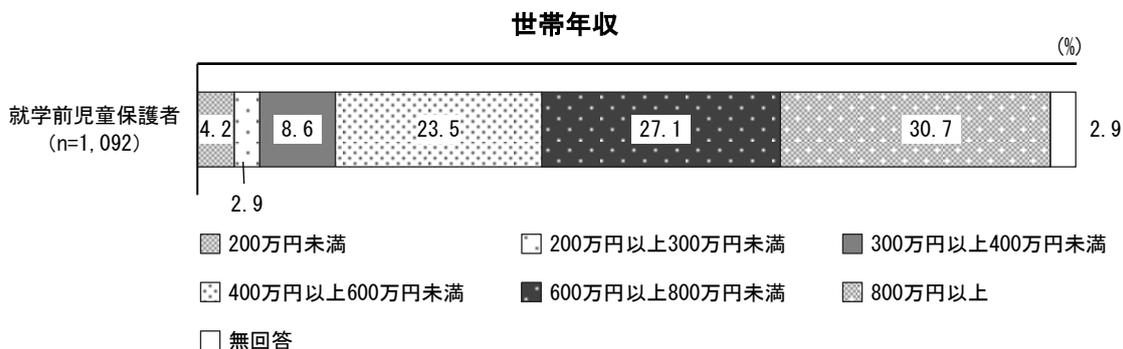
【希望する1日当たりの就労時間】

- 「5時間未満」が42.5%と最も多く、次いで「5時間台」が34.2%、「6時間台」が17.8%となっています。



問14 2023年の世帯合計の年間総収入額（手当、養育費、生活保護費などを含む）をお答えください。【〇は1つだけ】

- 「800万円以上」が30.7%と最も多く、次いで「600万円以上800万円未満」が27.1%、「400万円以上600万円未満」が23.5%となっています。

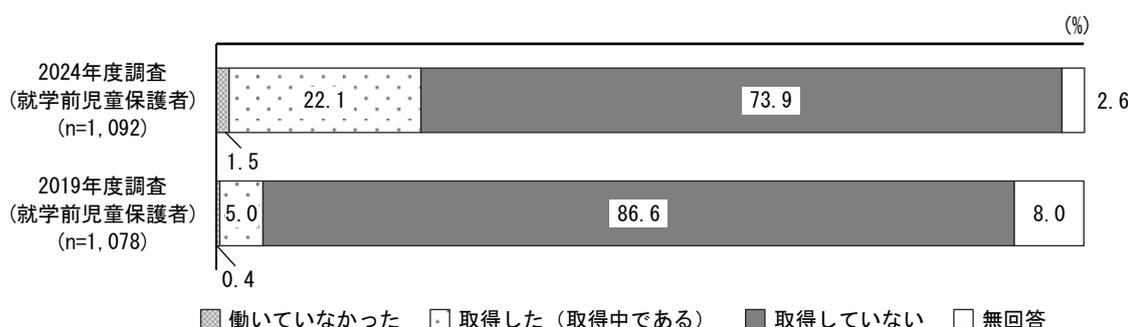


(5) 職場のワークライフバランス支援制度について

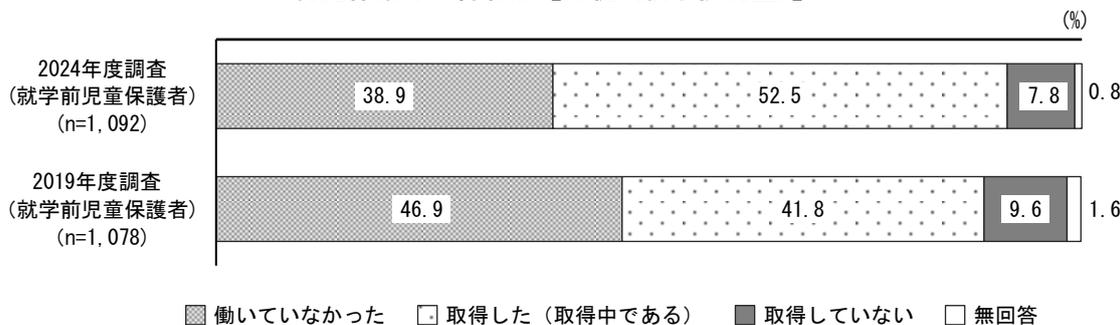
問15 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。【〇は1つだけ】

- 父親は、「取得していない」が73.9%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が22.1%、「働いていなかった」が1.5%となっています。
- 母親は、「取得した（取得中である）」が52.5%と最も多く、次いで「働いていなかった」が38.9%、「取得していない」が7.8%となっています。
- 2019年度調査と比較して、父親、母親どちらも「取得した（取得中である）」の割合が増加しており、特に父親は4倍以上増加しています。

育児休業の取得有無【父親（就学前児童）】



育児休業の取得有無【母親（就学前児童）】

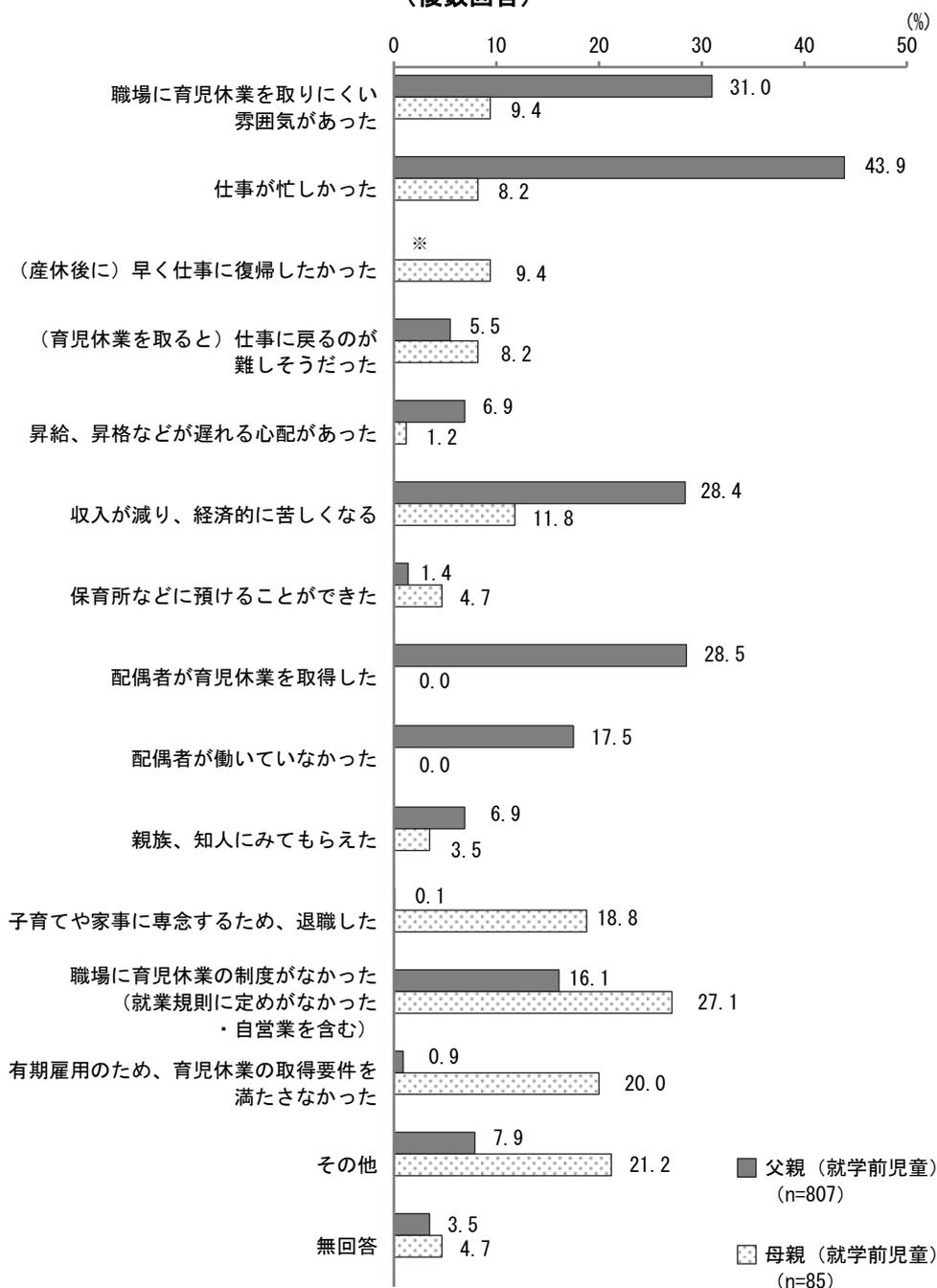


※問15-1は、問15で「取得していない」を選択した人のみ回答

問15-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 父親は、「仕事が忙しかった」が43.9%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.0%、「配偶者が育児休業を取得した」が28.5%となっています。
- 母親は、「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった・自営業を含む）」が27.1%と最も多く、次いで「有期雇用のため、育児休業の取得要件を満たさなかった」が20.0%、「子育てや家事に専念するため、退職した」が18.8%となっています。

育児休業を取得しなかった理由
(複数回答)

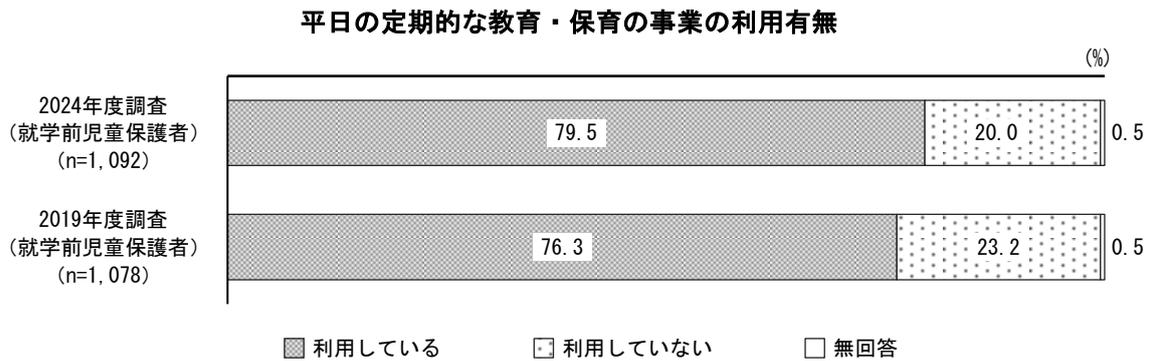


※「(産休後に) 早く仕事に復帰したかった」は、母親のみの項目。

(6) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況について

問16 あて名のお子さんは現在、保育所、幼稚園等の定期的な教育・保育事業等を利用していますか。【○は1つだけ】

- 2019年度調査と比較して大きな変化は見られませんが、「利用している」の割合が微増しています。



【地域別】

- 地域別でみると、「利用している」の割合は南地域で最も高く、「利用していない」の割合は堺地域で最も高くなっています。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用有無【地域別】 (%)

区分	回答者数 (件)	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
町田地域	205	79.0	20.0	1.0
南地域	315	80.6	19.0	0.3
鶴川地域	229	79.9	19.7	0.4
忠生地域	199	78.9	20.1	1.0
堺地域	130	76.2	23.8	-

【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別で見ると、0歳以外は「利用している」の割合が高く、年齢が上がるにつれて割合が増加しています。
- 2019年度調査と比較して、1～3歳で「利用している」の割合が増加しています。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用有無【子どもの年齢別】

(%)

区分	2024年度調査				2019年度調査			
	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
0歳	165	27.9	72.1	-	158	28.5	70.3	1.3
1歳	144	61.8	36.8	1.4	164	52.4	47.6	-
2歳	177	80.2	19.8	-	165	69.1	30.9	-
3歳	200	97.5	1.0	1.5	178	97.2	2.8	-
4歳	189	97.9	2.1	-	179	99.4	-	0.6
5歳	201	99.0	0.5	0.5	217	99.1	-	0.9

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別で見ると、就労していて現在産休・育休・介護休暇中の場合は「利用していない」の割合が高く、それ以外では「利用している」の割合が高くなっています。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用有無【母親の就労状況別】

(%)

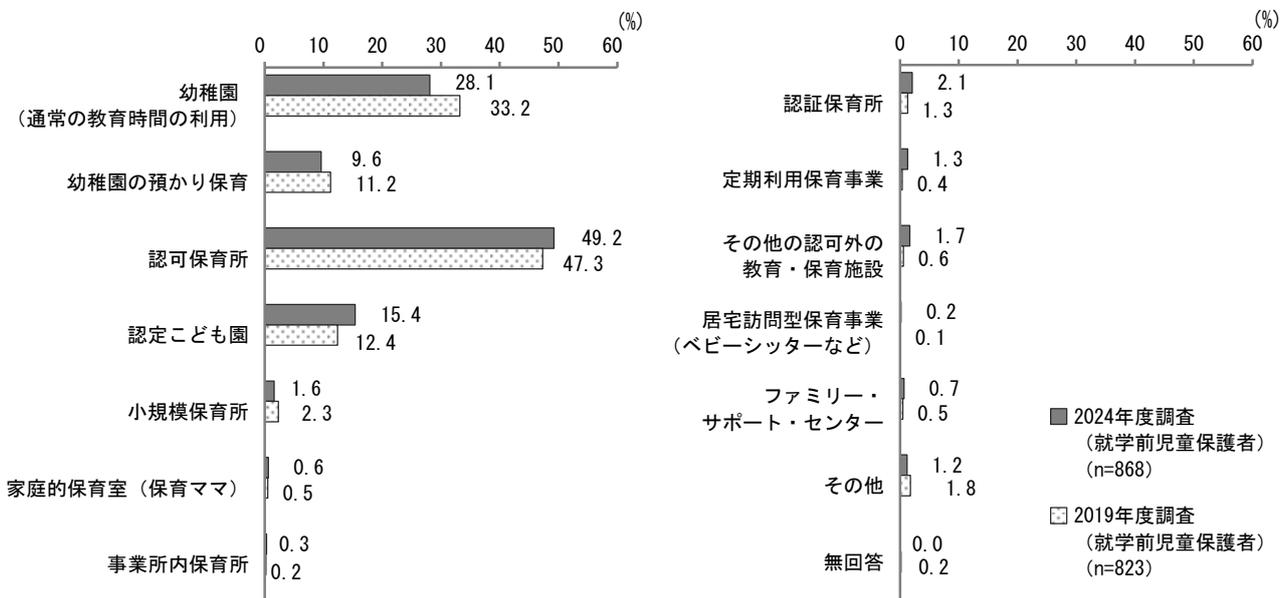
区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
フルタイム	332	98.5	0.9	0.6
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	126	42.9	56.3	0.8
パートタイム、アルバイトなど	287	94.8	4.5	0.7
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	26	30.8	69.2	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	287	63.1	36.9	-
これまでに就労したことがない	17	70.6	29.4	-

※問16-1～3は、問16で「利用している」を選択した人のみ回答

問16-1 平日、どのような教育・保育事業等を利用していますか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「認可保育所」が49.2%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用）」が28.1%、「認定こども園」が15.4%となっています。
- 2019年度調査と比較すると、利用が多い事業については、「認可保育所」「認定こども園」の割合が微増し、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」の割合が微減しています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業
(複数回答)



【地域別】

- 地域別でみると、他の地域に比べて、南地域では「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合、忠生地域では「認定こども園」の割合が特に高くなっています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業【地域別】

(%)

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育室（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）	ファミリー・センター	その他	無回答
町田地域	162	25.9	13.0	51.2	14.2	3.7	1.2	0.6	2.5	1.2	1.2	0.6	0.6	-	-
南地域	254	32.7	7.1	50.0	9.1	1.6	-	0.4	2.4	1.6	3.5	0.4	1.2	2.0	-
鶴川地域	183	28.4	13.7	46.4	15.3	1.6	-	0.5	1.1	2.2	0.5	-	1.1	0.5	-
忠生地域	157	22.3	5.7	46.5	27.4	-	1.3	-	2.5	0.6	-	-	-	1.3	-
堺地域	99	28.3	7.1	52.5	16.2	1.0	1.0	-	2.0	-	2.0	-	-	1.0	-

【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、0～1歳は「認可保育所」の割合が7～8割と多数を占めており、3～4歳では、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が最も高くなっています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業【子どもの年齢別】

(%)

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育室（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）	ファミリー・センター	その他	無回答
0歳	46	-	-	82.6	2.2	2.2	4.3	-	4.3	2.2	4.3	-	-	-	-
1歳	89	1.1	-	75.3	4.5	6.7	-	2.2	2.2	5.6	1.1	-	2.2	1.1	-
2歳	142	13.4	2.8	57.7	14.1	4.2	1.4	0.7	3.5	2.8	2.8	-	0.7	2.1	-
3歳	195	41.5	11.3	40.5	15.9	0.5	-	-	2.6	-	1.0	-	0.5	2.1	-
4歳	185	40.0	15.1	39.5	17.8	-	-	-	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-
5歳	199	34.2	14.1	40.2	22.1	-	0.5	-	1.0	-	2.5	0.5	0.5	0.5	-

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、母親が就労している家庭では「認可保育所」の割合が高く、母親が就労していない家庭では「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	幼稚園(通常の教育時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育室(保育ママ)	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業(ベビーマスターなど)	ファミリー・センター	その他	無回答
フルタイム	327	6.4	4.9	75.5	10.7	2.1	-	0.3	1.5	0.9	2.1	-	0.6	-	-
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	54	3.7	-	64.8	14.8	3.7	-	-	5.6	5.6	3.7	-	1.9	-	-
パートタイム、アルバイトなど	272	25.7	17.6	43.4	22.4	1.1	1.8	0.7	2.2	1.8	1.8	0.4	-	0.4	-
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	8	25.0	12.5	50.0	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	181	75.1	8.8	7.2	16.0	1.1	-	-	0.6	-	0.6	0.6	1.1	4.4	-
これまでに就労したことがない	12	75.0	8.3	8.3	-	-	-	-	8.3	-	-	-	-	8.3	-

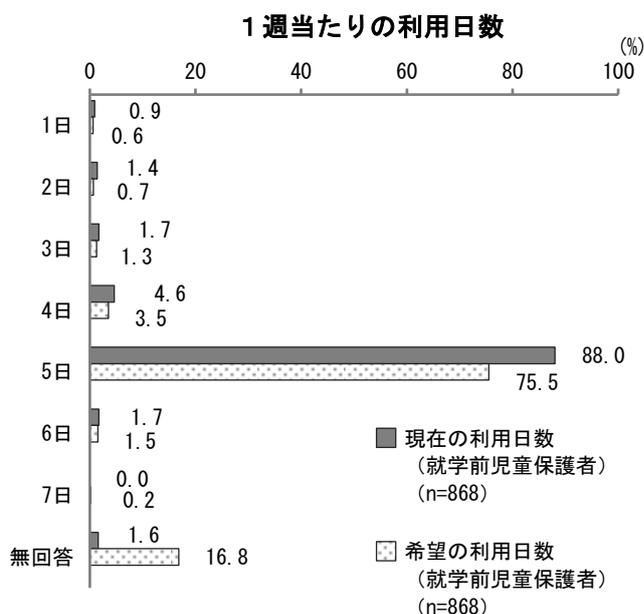
問16-2 平日に定期的に利用している主な教育・保育事業等について、どのくらい利用していますか。また、利用したいですか。

①～③ごとに、A・B*のそれぞれについて、数字でご記入ください。

※Aは現在の利用状況（現状）、Bは希望の利用時間等を表す。

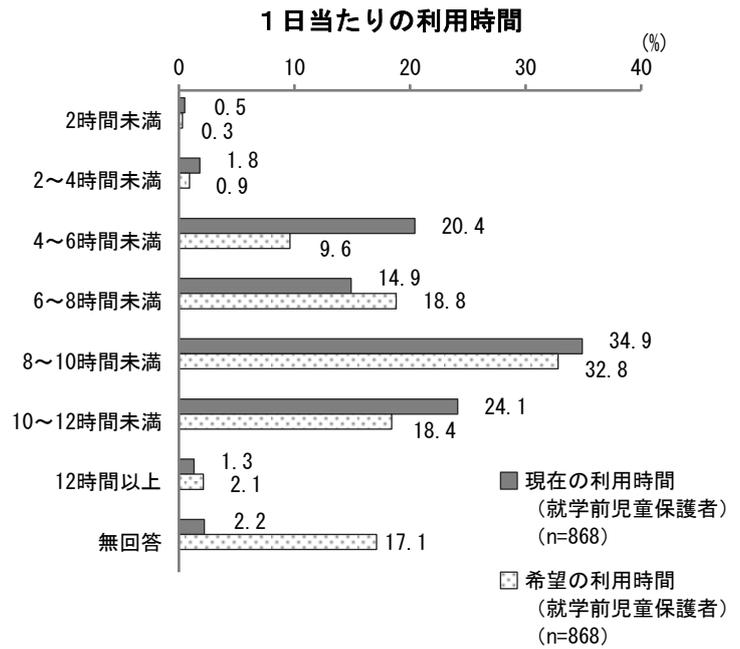
【① 1週当たりの利用日数】

- 現状の利用日数は、「5日」が88.0%と最も多く、次いで「4日」が4.6%、「3日」「6日」が1.7%となっています。
- 希望の利用日数は、「5日」が75.5%と最も多く、次いで「4日」が3.5%、「6日」が1.5%となっています。
- 現状と希望の傾向に大きな差は見られませんが、現状の方が「5日」の割合が12.5ポイント高くなっています。



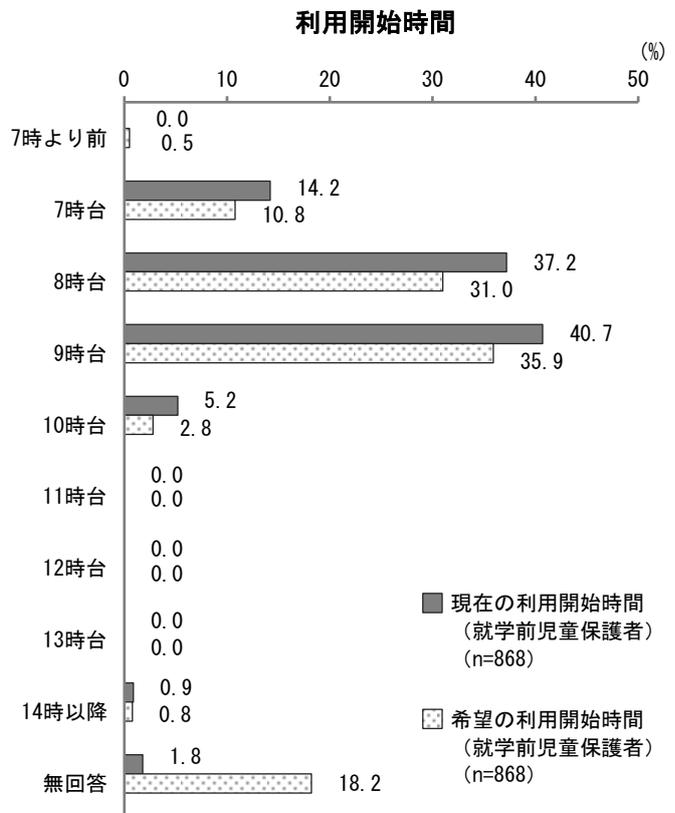
【② 1日当たりの利用時間】

- 現状の利用時間は、「8～10時間未満」が34.9%と最も多く、次いで「10～12時間未満」が24.1%、「4～6時間未満」が20.4%となっています。
- 希望の1日当たりの利用時間は、「8～10時間未満」が32.8%と最も多く、次いで「6～8時間未満」が18.8%、「10～12時間未満」が18.4%となっています。
- 現状と希望を比較すると、「4～6時間未満」で、割合の差が大きくなっています。



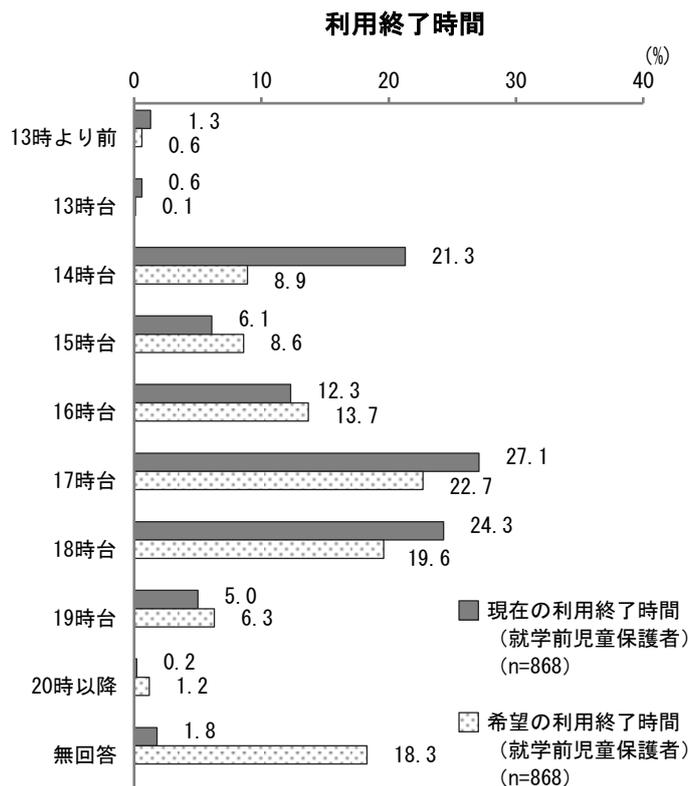
【③-1 利用開始時間】

- 現状の利用開始時間は、「9時台」が40.7%と最も多く、次いで「8時台」が37.2%、「7時台」が14.2%となっています。
- 希望の利用開始時間は、「9時台」が35.9%と最も多く、次いで「8時台」が31.0%、「7時台」が10.8%となっています。
- 現状と希望の傾向に大きな差は見られません。



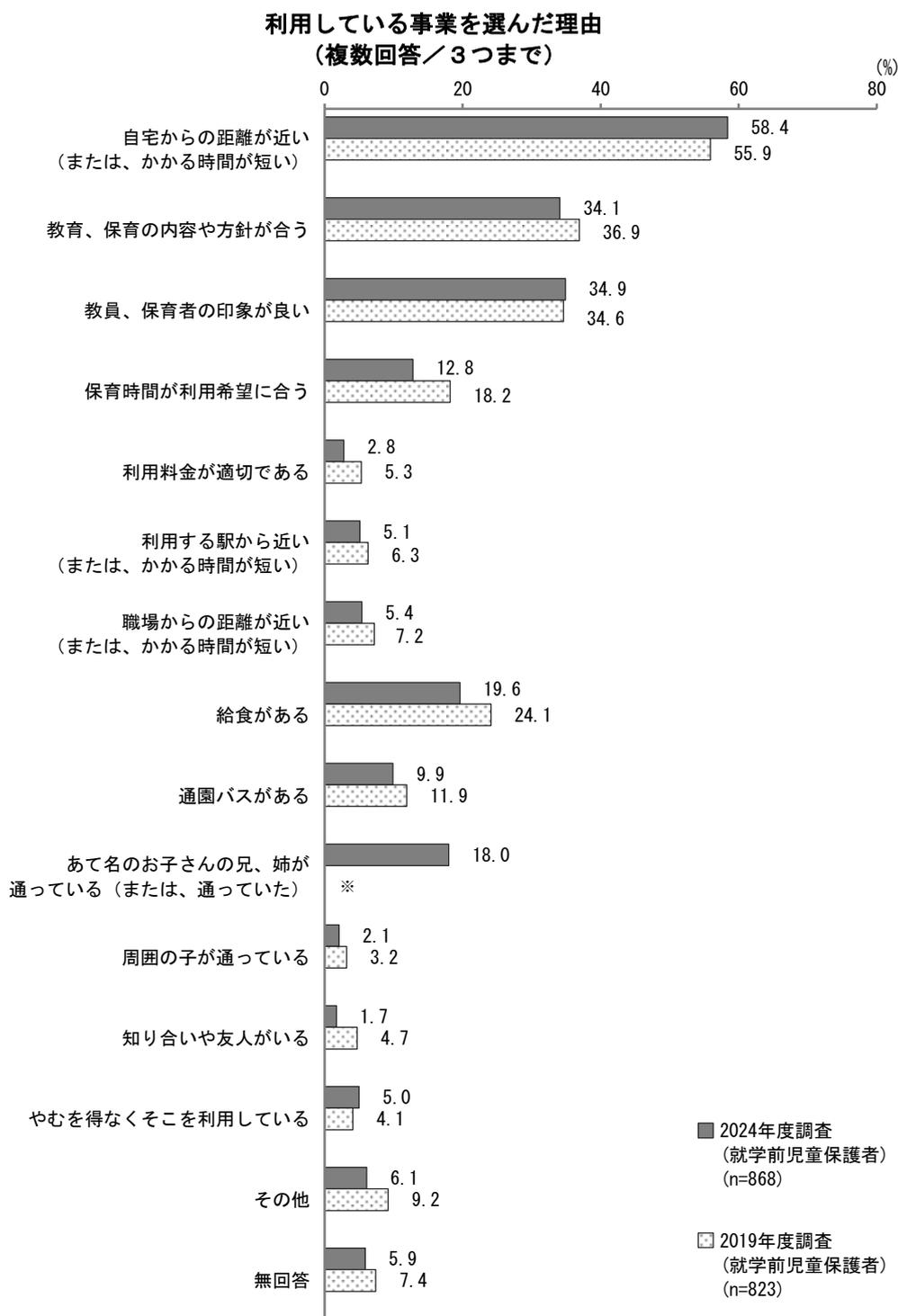
【③-2 利用終了時間】

- 現状の利用終了時間は、「17時台」が27.1%と最も多く、次いで「18時台」が24.3%、「14時台」が21.3%となっています。
- 希望の利用終了時間は、「17時台」が22.7%と最も多く、次いで「18時台」が19.6%、「16時台」が13.7%となっています。
- 現状と希望を比較すると、「14時台」の割合が現状の方が高く、差が12.4ポイントと大きくなっています。



問16-3 利用している事業の決め手となった理由は何ですか。【〇は3つまで】

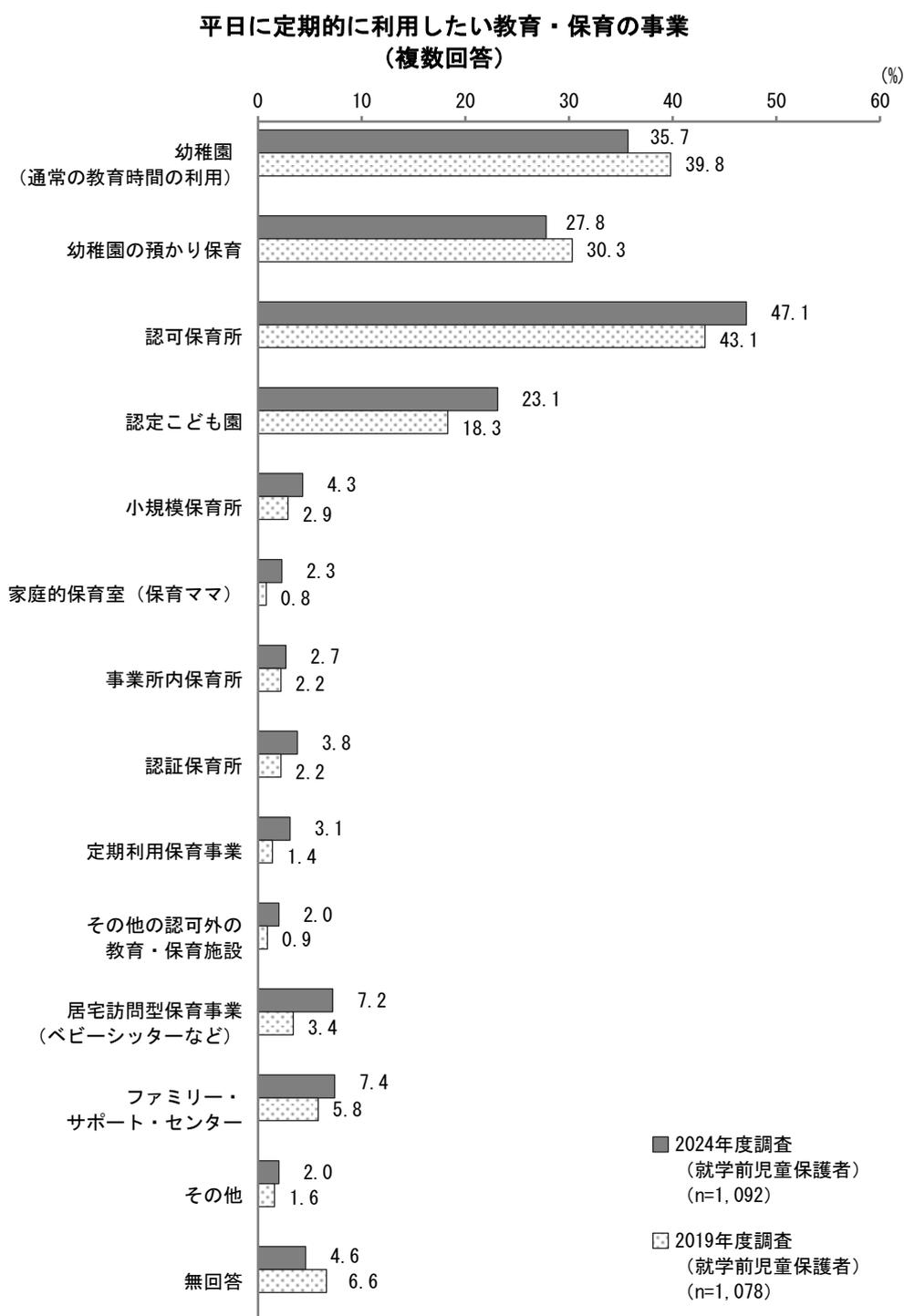
- 「自宅からの距離が近い（または、かかる時間が短い）」が58.4%と最も多く、次いで「教員、保育者の印象が良い」が34.9%、「教育、保育の内容や方針が合う」が34.1%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「保育時間が利用希望に合う」「給食がある」の割合が、他の項目よりも大きく減少しています。



※「あて名のお子さんの兄、姉が通っている（または、通っていた）」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に定期的に利用したい事業はどれですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「認可保育所」が47.1%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用）」が35.7%、「幼稚園の預かり保育」が27.8%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「認定こども園」の割合が最も増加し、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が最も減少しています。



【地域別】

- 地域別でみると、すべての地域で「認可保育所」の割合が最も高くなっています。次いで、町田地域では「幼稚園の預かり保育」、それ以外の地域では「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。

平日に定期的に利用したい教育・保育の事業【地域別】

(%)

区分	回答者数 (件)	幼稚園 教育時間（通常 の利用）	幼稚園の 預かり保育	認可 保育所	認定 こども園	小規模 保育所	（家庭 的保育 室 （保育 ママ）	事業 所内保 育所	認証 保育所	定期 利用保 育事業	その 他の認 可外の 教育・ 保育施 設	居宅 訪問型 保育事 業 （ベビ ーシッ ターな ど）	ファミ リー・ センタ ー	その 他	無回 答
町田地域	205	29.8	31.7	45.9	22.0	6.3	2.9	1.5	3.4	2.9	3.4	10.7	9.8	1.5	4.9
南地域	315	38.4	30.2	48.6	23.8	4.8	1.9	3.8	3.8	3.2	2.2	8.3	7.3	2.2	2.9
鶴川地域	229	39.3	29.7	49.3	20.1	4.4	1.3	2.6	6.1	3.5	2.2	7.9	5.7	0.9	3.9
忠生地域	199	32.2	18.1	43.2	27.1	1.0	1.5	2.5	1.5	1.0	0.5	4.0	6.5	3.0	6.0
堺地域	130	37.7	26.9	46.9	21.5	5.4	5.4	2.3	3.1	5.4	0.8	3.8	8.5	3.1	6.2

※問17-1は、問17で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ、「認可保育所」「認定こども園」などの幼稚園以外の教育・保育事業を選択した人のみ回答

問17-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【○は1つだけ】

特に幼稚園の利用を希望する割合

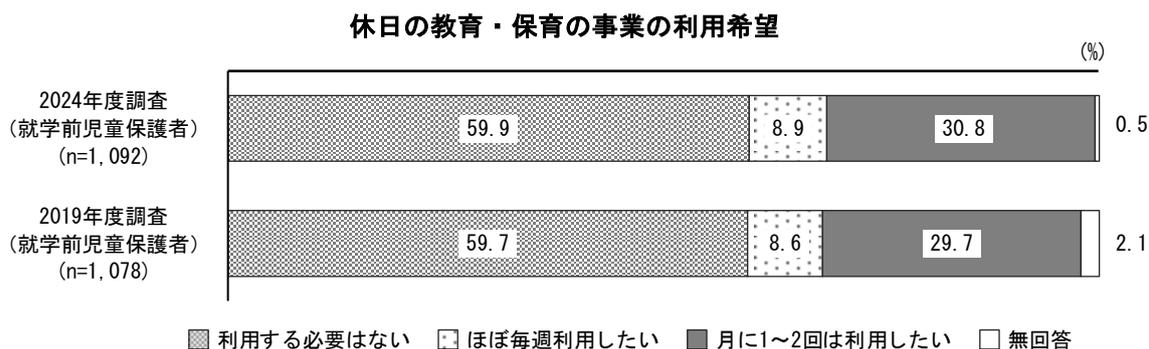
(%)



(7) 土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の利用希望について

問18 土曜日と日曜・祝日に、保育所、幼稚園等の定期的な教育・保育事業等の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。【○は1つだけ】
希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

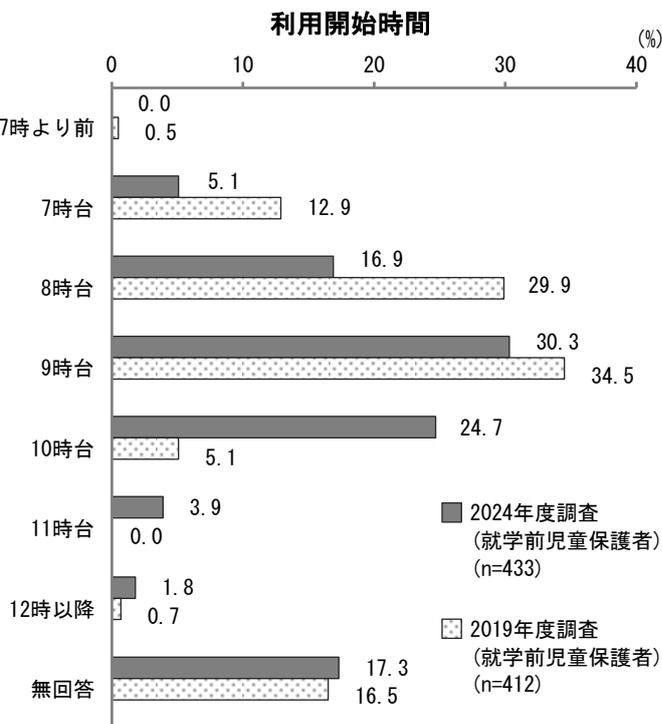
- 「利用する必要はない」が59.9%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が30.8%、「ほぼ毎週利用したい」が8.9%となっています。
- 2019年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



※ 【利用開始時間】と【利用終了時間】は、問18で「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」を選択した人のみ回答

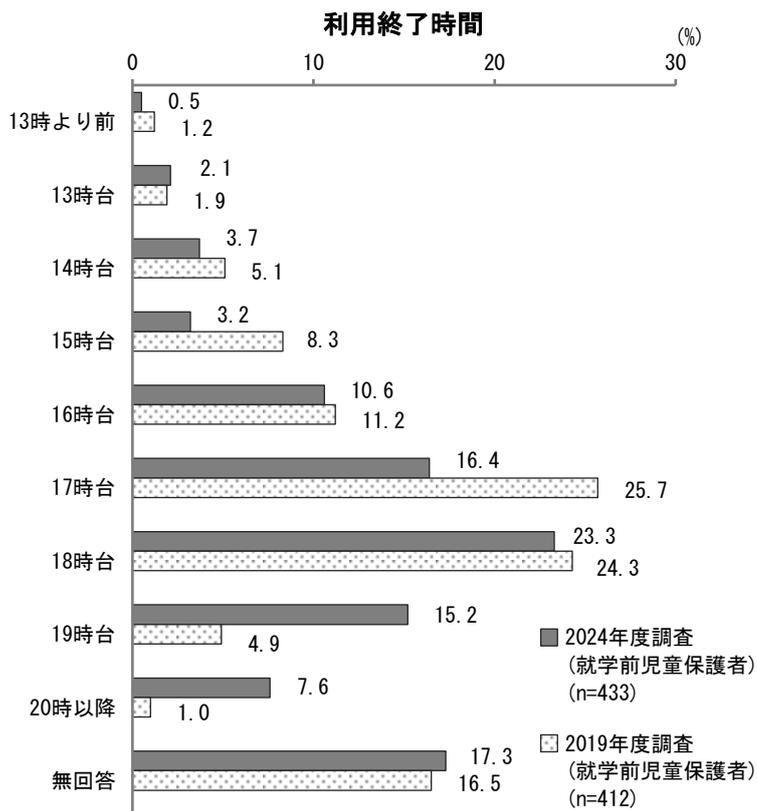
【利用開始時間】

- 「9時台」が30.3%と最も多く、次いで「10時台」が24.7%、「8時台」が16.9%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「10時台」の割合が大きく増加し、「7時台」「8時台」の割合が大きく減少しています。



【利用終了時間】

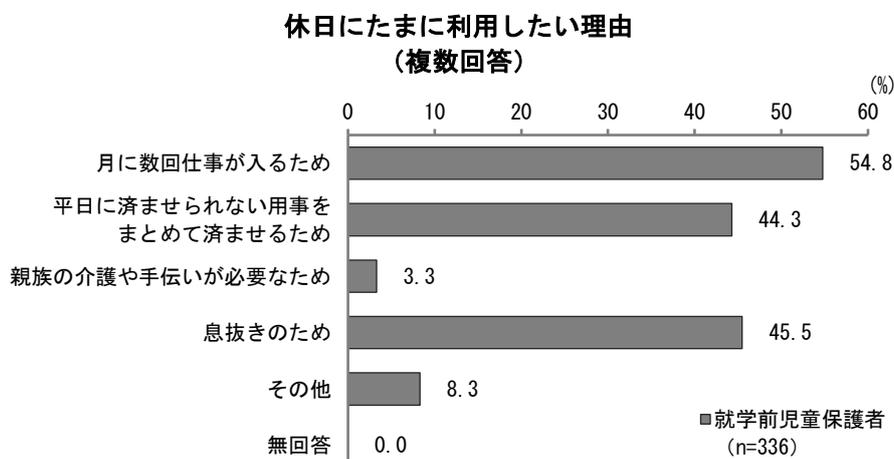
- 「18時台」が23.3%と最も多く、次いで「17時台」が16.4%、「19時台」が15.2%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「19時台」「20時以降」の割合が大きく増加し、「15時台」「17時台」の割合が大きく減少しています。



※問18-1は、問18で「月に1~2回は利用したい」を選択した人のみ回答

問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「月に数回仕事が入るため」が54.8%と最も多く、次いで「息抜きのため」が45.5%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が44.3%となっています。

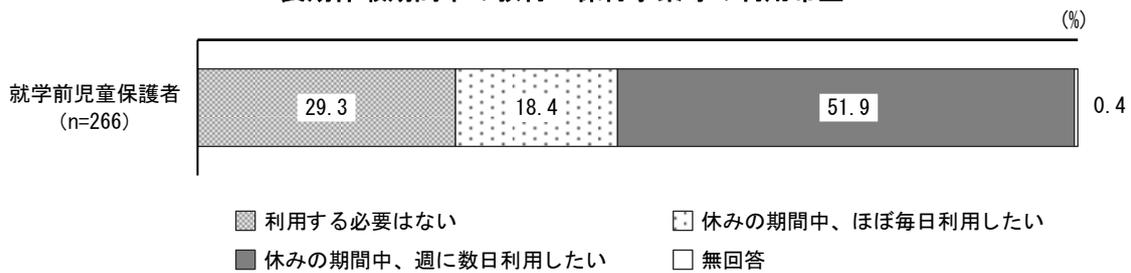


※問19は、現在「幼稚園」を利用している人のみ回答

問19 あて名のお子さんについて、夏休み、冬休みなどの長期休暇期間中に、教育・保育事業等の利用を希望しますか。【〇は1つだけ】
希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

- 「休みの期間中、週に数日利用したい」が51.9%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が29.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が18.4%となっています。

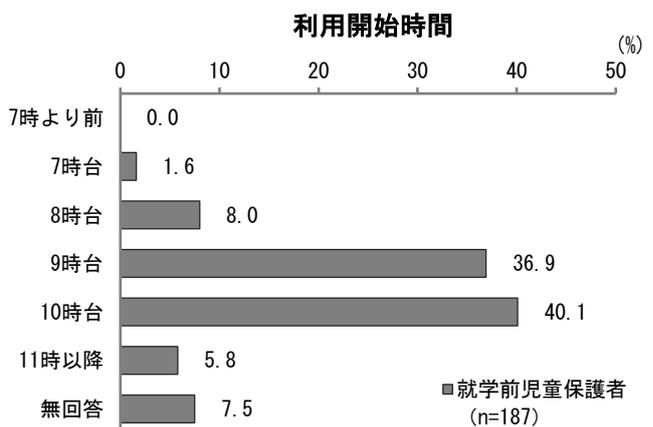
長期休暇期間中の教育・保育事業等の利用希望



※【利用開始時間】と【利用終了時間】は、問19で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「休みの期間中、週に数日利用したい」を選択した人のみ回答

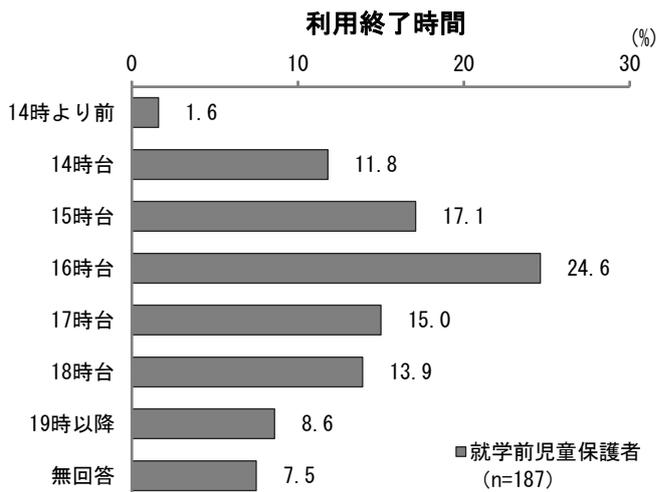
【利用開始時間】

- 「10時台」が40.1%と最も多く、次いで「9時台」が36.9%、「8時台」が8.0%となっています。



【利用終了時間】

- 「16時台」が24.6%と最も多く、次いで「15時台」が17.1%、「17時台」が15.0%となっています。

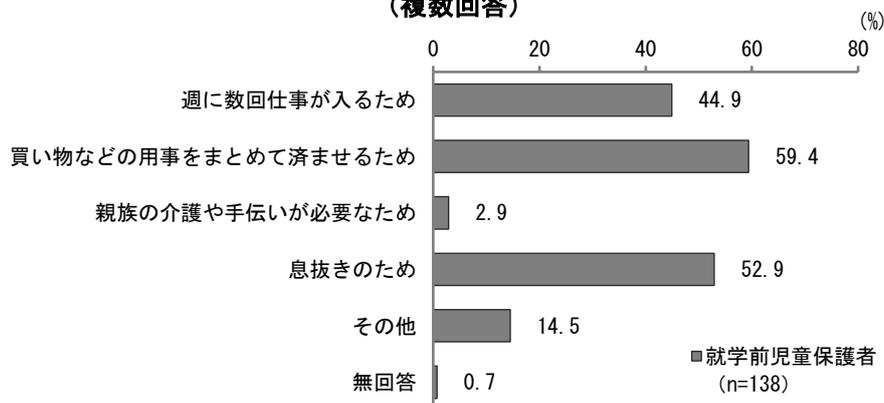


※問19-1は、問19で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選択した人のみ回答

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が59.4%と最も多く、次いで「息抜きのため」が52.9%、「週に数回仕事が入るため」が44.9%となっています。

長期休暇期間中にたまに利用したい理由 (複数回答)

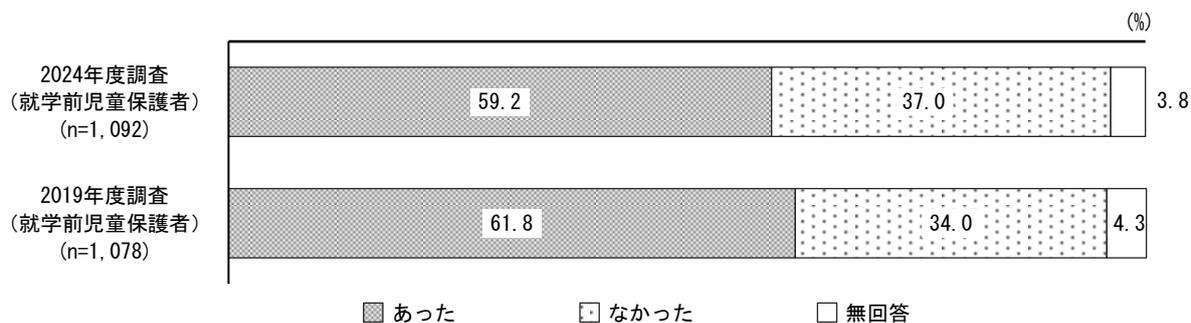


(8) 病気の際の対応について

問20 この1年間に、あて名のお子さんの病気やケガで保育所、幼稚園等を利用できなかったことはありますか。【〇は1つだけ】

- 「あった」の割合が6割弱となっており、2019年度調査と比較して、大きな変化は見られません。

病気やケガで保育所、幼稚園等を利用できなかったことの有無



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別で見ると、0歳以外では「あった」の割合が高く、特に3～5歳では7割を超えて高くなっています。

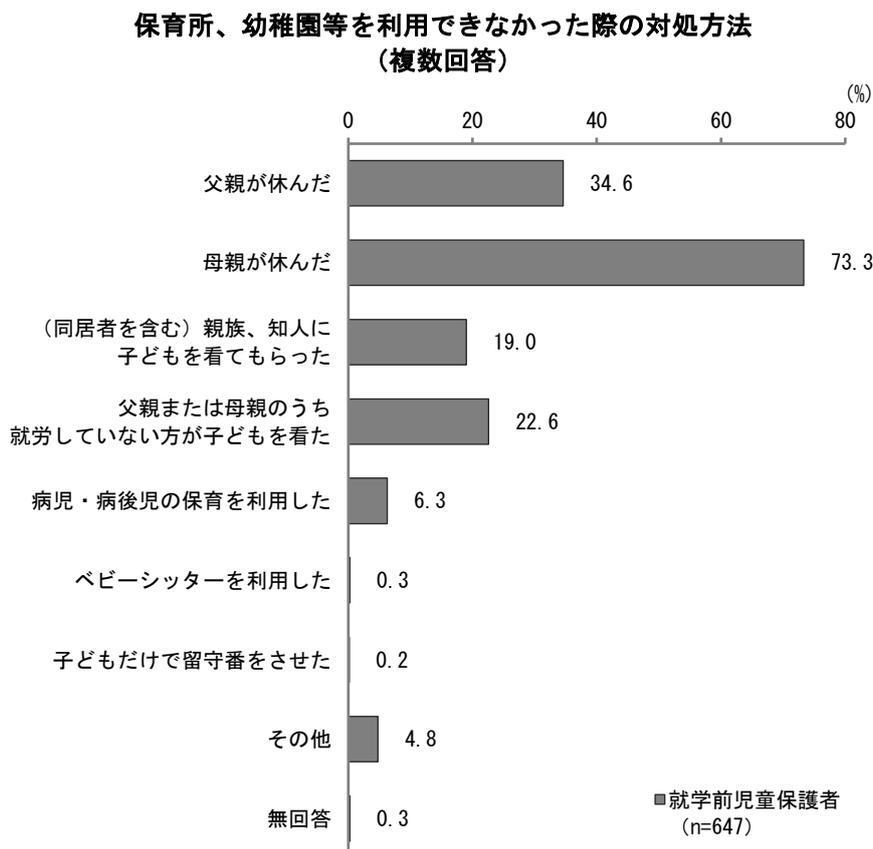
病気やケガで保育所、幼稚園等を利用できなかったことの有無【子どもの年齢別】

区分	回答者数 (件)	あった (%)	なかった (%)	無回答 (%)
0歳	165	20.0	66.1	13.9
1歳	144	46.5	45.1	8.3
2歳	177	58.8	39.0	2.3
3歳	200	71.0	28.5	0.5
4歳	189	75.7	24.3	-
5歳	201	74.1	25.4	0.5

※問20-1は、問20で「あった」を選択した人のみ回答

問20-1 どのように対処しましたか。【あてはまるものすべてに○】
 あてはまる場合は、対処された年間の日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

- 「母親が休んだ」が73.3%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が34.6%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」が22.6%となっています。



【1年間の対処日数】

- 2019年度調査と比較して、『父親が休んだ』『母親が休んだ』のどちらも5日以上休んで対処した割合が増加し、「1～4日」の割合は減少しています。

1年間の対処日数

(%)

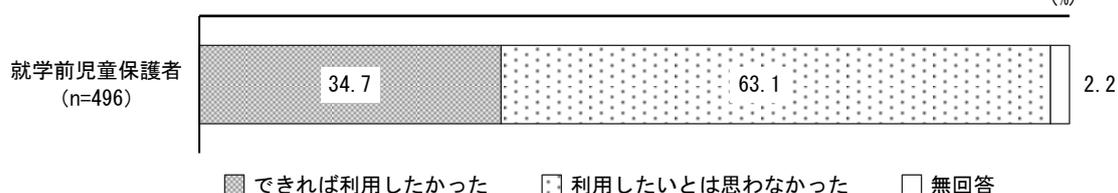
区分		回答者数 (件)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 日 以上	無 回 答
父親が休んだ	2024年度	224	47.3	32.6	10.7	2.2	4.5	2.7
	2019年度	188	59.0	23.4	7.4	0.5	1.1	8.5
母親が休んだ	2024年度	474	15.2	25.7	22.8	6.1	24.3	5.9
	2019年度	471	34.4	18.7	18.9	4.9	7.4	15.7
(同居者を含む)親族、知人に 子どもを看てもらった	2024年度	123	33.3	18.7	23.6	6.5	8.9	8.9
	2019年度	164	40.9	19.5	15.2	2.4	4.9	17.1
父親または母親のうち 就労していない方が子どもを看た	2024年度	146	14.4	8.2	15.8	10.3	37.0	14.4
	2019年度	169	24.9	24.3	16.6	3.6	8.3	22.5
病児・病後児の保育を利用した	2024年度	41	39.0	31.7	14.6	-	7.3	7.3
	2019年度	34	58.8	11.8	11.8	-	5.9	11.8
ベビーシッターを利用した	2024年度	2	50.0	-	-	-	50.0	-
	2019年度	-	-	-	-	-	-	-
子どもだけで留守番をさせた	2024年度	1	100.0	-	-	-	-	-
	2019年度	2	100.0	-	-	-	-	-
その他	2024年度	31	12.9	19.4	35.5	-	19.4	12.9
	2019年度	12	25.0	33.3	8.3	-	16.7	16.7

※問20-2は、問20-1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選択した人のみ回答

問20-2 病児・病後児保育を利用したいと思いましたが。【○は1つだけ】
「できれば利用したかった」を選んだ場合は、利用したかった年間の日数(おおよそ)を数字でご記入ください。

病児・病後児保育の利用希望

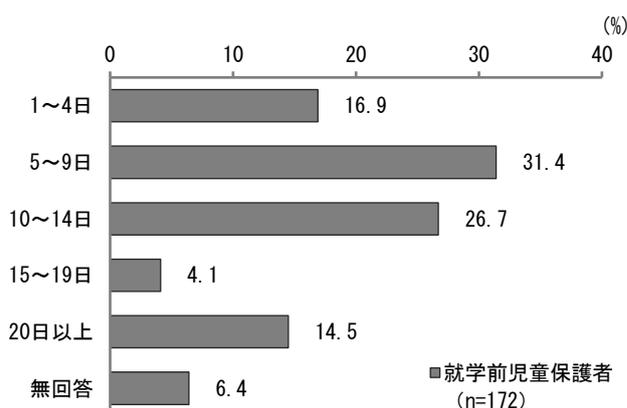
(%)



【病児・病後児保育を利用したかった日数】

- 「5～9日」が31.4%と最も多く、次いで「10～14日」が26.7%、「1～4日」が16.9%となっています。

病児・病後児保育を利用したかった日数



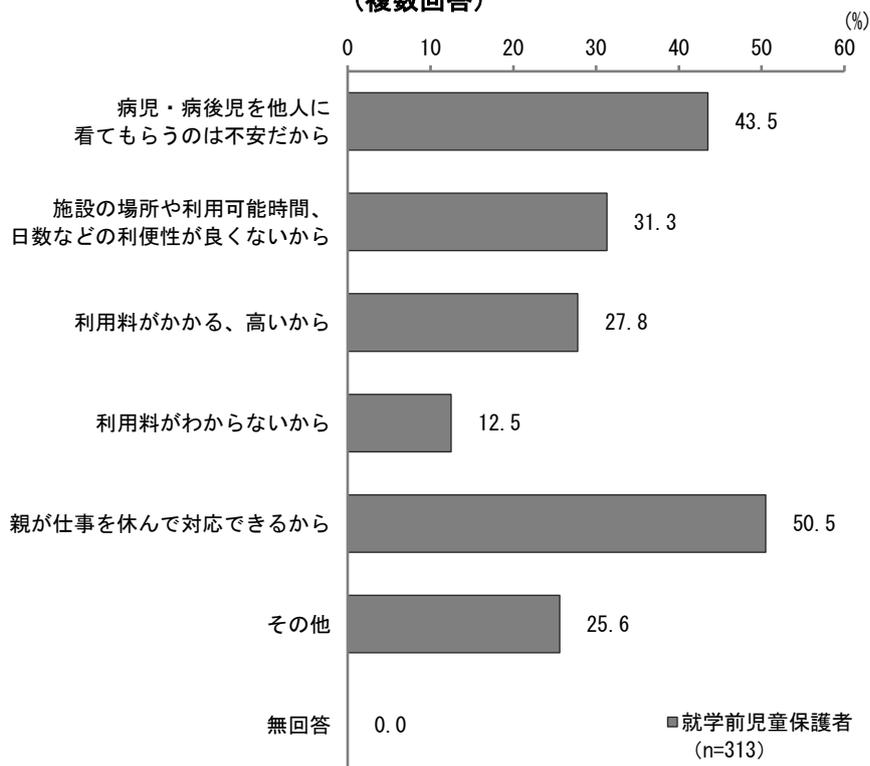
※問20-3は、問20-2で「利用したいとは思わなかった」を選択した人のみ回答

問20-3 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- 「親が仕事を休んで対応できるから」が50.5%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから」が43.5%、「施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性が良くないから」が31.3%となっています。

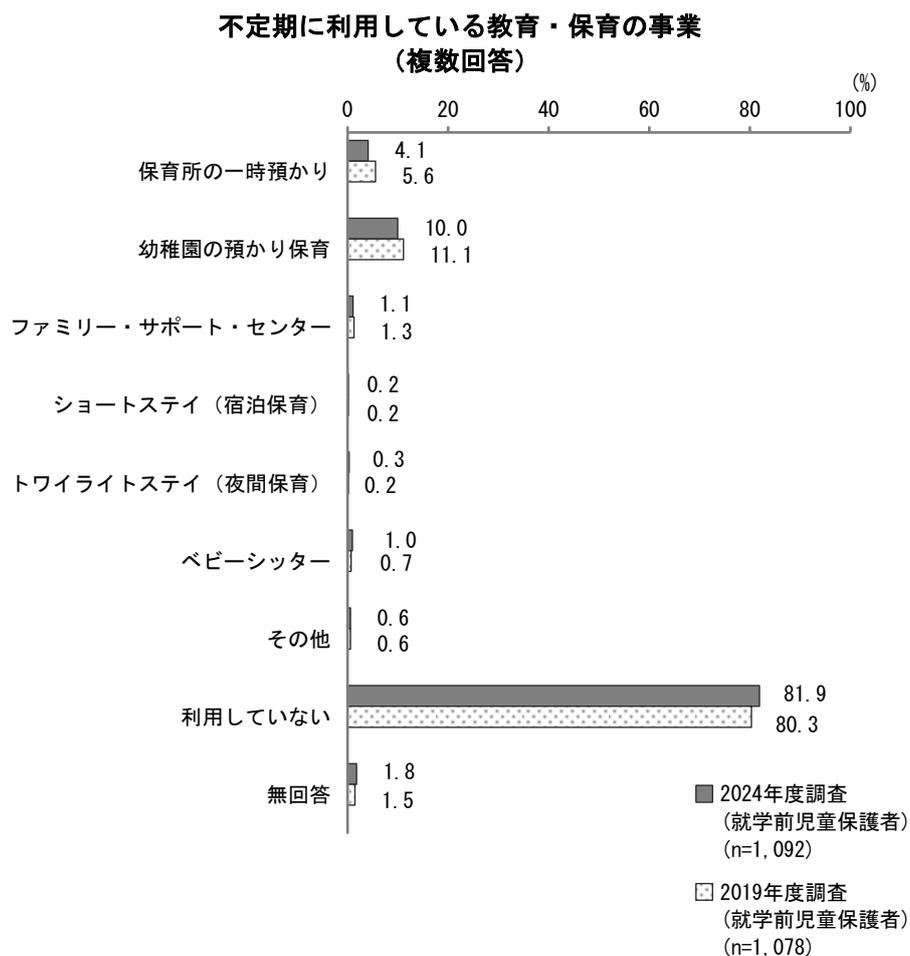
病児・病後児保育を利用したいと思わない理由 (複数回答)



(9) 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問21 親の通院、不特定の就労や私用、リフレッシュなどの目的で不定期に利用している事業はありますか。【あてはまるものすべてに○】
 ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

- 「利用していない」が81.9%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が10.0%、「保育所の一時預かり」が4.1%となっています。
- 2019年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、3～5歳で「幼稚園の預かり保育」の割合が他と比べて高くなっています。
- 「利用していない」の割合は、0～2歳で約9割となっています。

不定期に利用している教育・保育の事業【子どもの年齢別】

(%)

区分	回答者数(件)	保育所の一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ショートステイ(宿泊保育)	トワイライトステイ(夜間保育)	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
0歳	165	4.2	0.6	-	0.6	0.6	2.4	1.8	89.1	1.8
1歳	144	8.3	0.7	0.7	-	-	0.7	-	88.2	1.4
2歳	177	5.6	2.8	1.1	0.6	0.6	-	-	89.3	1.1
3歳	200	3.5	11.5	2.5	-	-	1.5	0.5	81.5	1.5
4歳	189	3.2	20.6	0.5	-	0.5	1.6	0.5	71.4	2.6
5歳	201	1.5	19.9	1.5	-	-	-	1.0	73.6	2.5

【不定期に教育・保育の事業を利用している年間日数】

- 『保育所の一時預かり』では、「1～4日」の割合が最も高く、次いで「20日以上」の割合が高くなっています。
- 『幼稚園の預かり保育』では、「20日以上」の割合が最も高く、次いで「10～14日」の割合が高くなっています。

不定期に教育・保育の事業を利用している年間日数

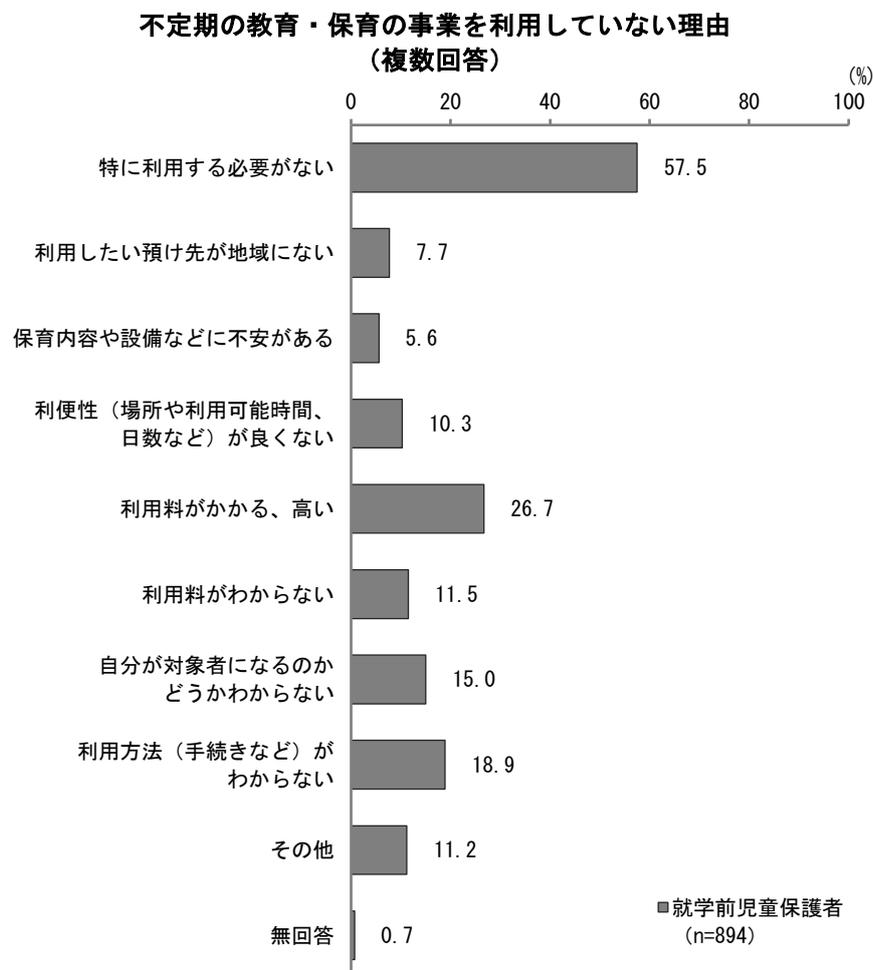
(%)

区分	回答者数(件)	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
保育所の一時預かり	45	31.1	15.6	11.1	4.4	28.9	8.9
幼稚園の預かり保育	109	13.8	13.8	20.2	4.6	33.9	13.8
ファミリー・サポート・センター	12	33.3	8.3	8.3	-	41.7	8.3
ショートステイ(宿泊保育)	2	50.0	-	-	-	-	50.0
トワイライトステイ(夜間保育)	3	-	66.7	-	-	-	33.3
ベビーシッター	11	27.3	18.2	9.1	9.1	36.4	-
その他	7	14.3	-	42.9	-	14.3	28.6

※問21-1は、問21で「利用していない」を選択した人のみ回答

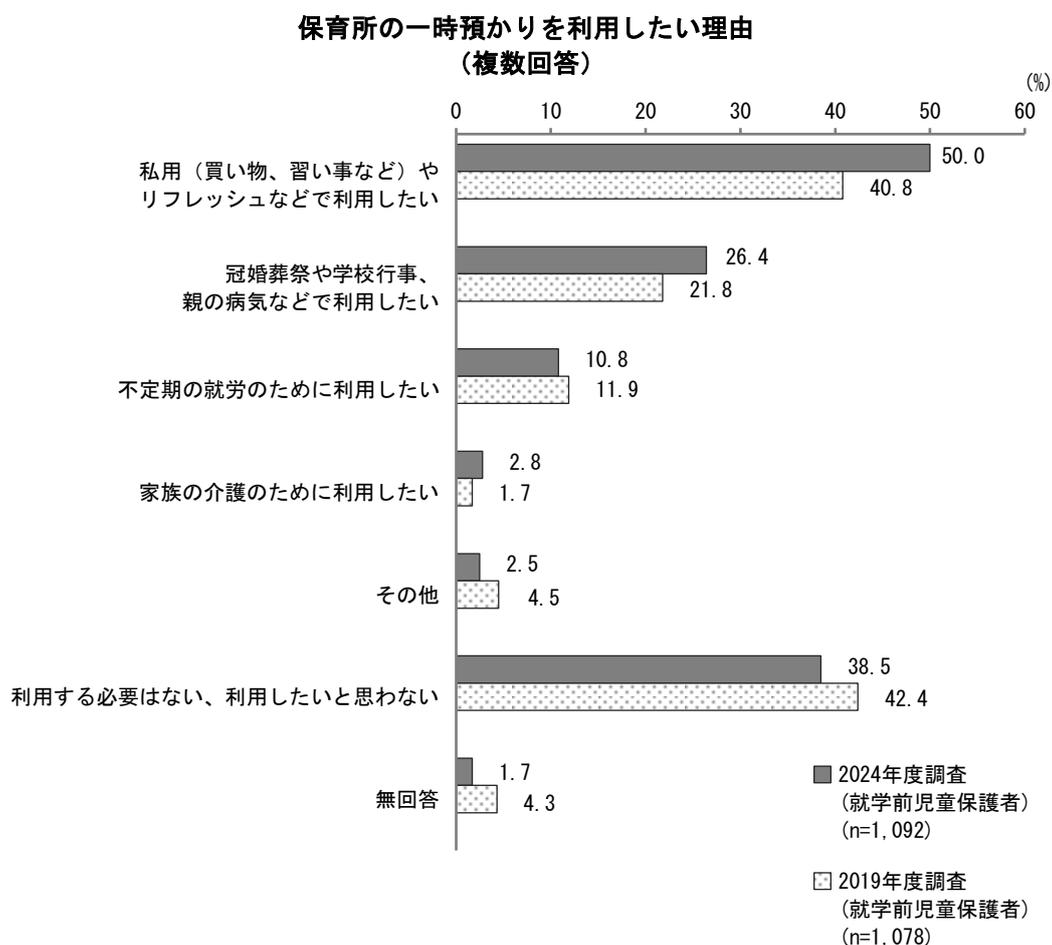
問21-1 現在利用していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「特に利用する必要がない」が57.5%と最も多く、次いで「利用料がかかる、高い」が26.7%、「利用方法（手続きなど）がわからない」が18.9%となっています。



問22 私用やリフレッシュ、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、あて名のお子さんに保育所の一時預かりを利用したいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】
 利用したい場合、利用希望の年間の日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

- 「私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい」が50.0%と最も多く、次いで「利用する必要はない、利用したいと思わない」が38.5%、「冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい」が26.4%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい」の割合が最も増加し、「利用する必要はない、利用したいと思わない」の割合が最も減少しています。



【保育所の一時預かりを利用したい年間日数】

- 『私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい』では「10～14日」の割合が最も高く、次いで「20日以上」の割合が高くなっています。
- 『冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい』では「1～4日」の割合が最も高く、次いで「5～9日」の割合が高くなっています。
- 『不定期の就労のために利用したい』では「20日以上」の割合が最も高く、次いで「10～14日」の割合が高くなっています。

保育所の一時預かりを利用したい年間日数

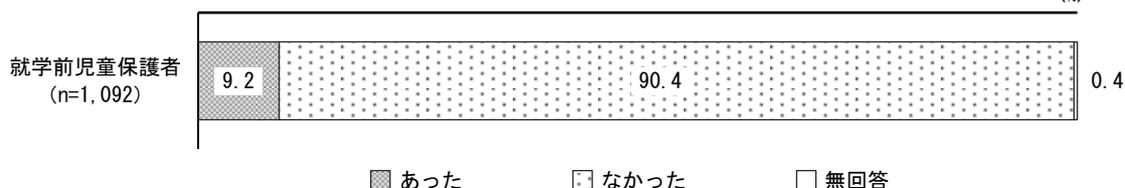
(%)

区分	回答者数 (件)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 日 以上	無 回 答
私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい	546	9.2	15.9	43.2	2.4	22.9	6.4
冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい	288	29.5	29.2	22.9	1.0	9.7	7.6
不定期の就労のために利用したい	118	6.8	11.9	21.2	0.8	50.8	8.5
家族の介護のために利用したい	31	6.5	12.9	41.9	3.2	29.0	6.5
その他	27	7.4	14.8	22.2	3.7	25.9	25.9

問23 この1年間に、泊りがけで家族以外にあて名のお子さんをみてもらわなければならないことはありましたか。【○は1つだけ】
※預け先が見つからなかった場合も含みます。

泊りがけで家族以外に子どもを見てもらう必要の有無

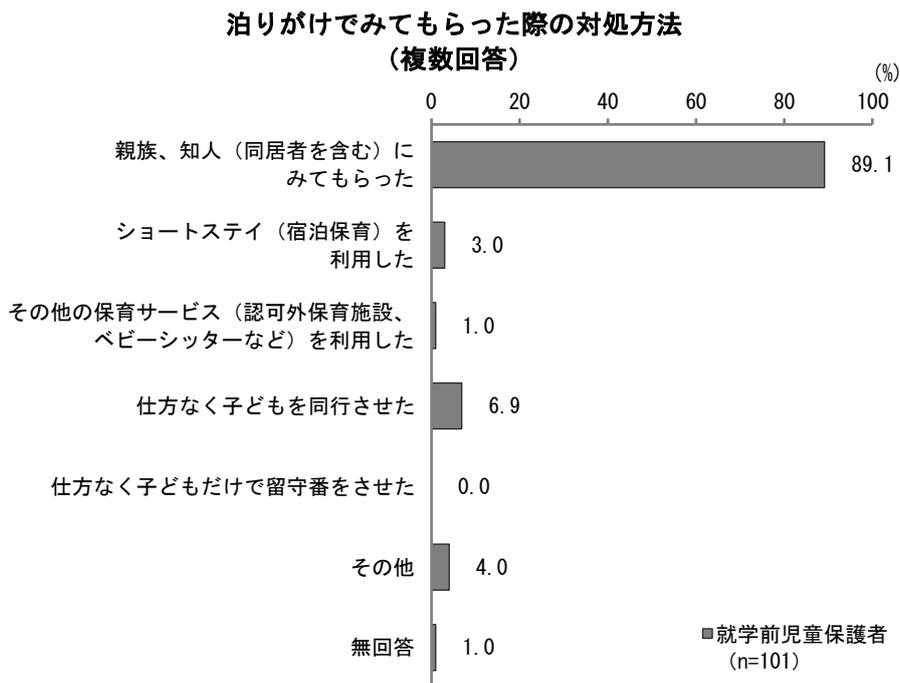
(%)



※問23-1は、問23で「あった」を選択した人のみ回答

問23-1 家族以外にみてもらわなければならないときはどうしましたか。
 【あてはまるものすべてに○】
 対処方法としてあてはまる場合、1年間の泊数(おおよそ)を数字でご記入ください。

- 「親族、知人(同居者を含む)にみてもらった」が89.1%と最も多く、他の項目は1割未満となっています。



【泊りがけで子どもをみてもらった際の年間泊数】

- 『親族、知人(同居者を含む)にみてもらった』では「1~4泊」の割合が最も高く、次いで「5~9泊」の割合が高くなっています。

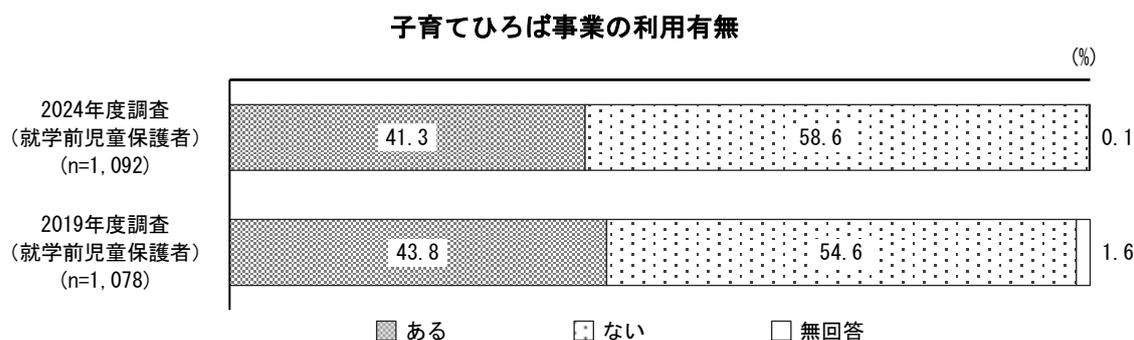
泊りがけで子どもをみてもらった際の年間泊数

区分	回答者数(件)	泊数 (%)					
		1~4泊	5~9泊	10~14泊	15~19泊	20泊以上	無回答
親族、知人(同居者を含む)にみてもらった	90	48.9	27.8	11.1	-	8.9	3.3
ショートステイ(宿泊保育)を利用した	3	66.7	33.3	-	-	-	-
その他の保育サービス(認可外保育施設、ベビーシッターなど)を利用した	1	-	100.0	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	7	85.7	14.3	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	-	-	-	-	-	-
その他	4	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0

(10) 子育て支援事業の利用状況について

問24 子育てひろば事業についてお答えください。
 問24(1) 子育てひろば事業を利用したことはありますか。【○は1つだけ】
 ある場合、利用回数を数字でご記入ください。

- 2019年度調査と比較して、「ない」の割合が微増していますが、大きな変化は見られません。



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別で見ると、1歳のみで「ある」の方が高い割合となっています。
- 4～5歳では「ある」の割合が3割台で、他の年齢より低くなっています。

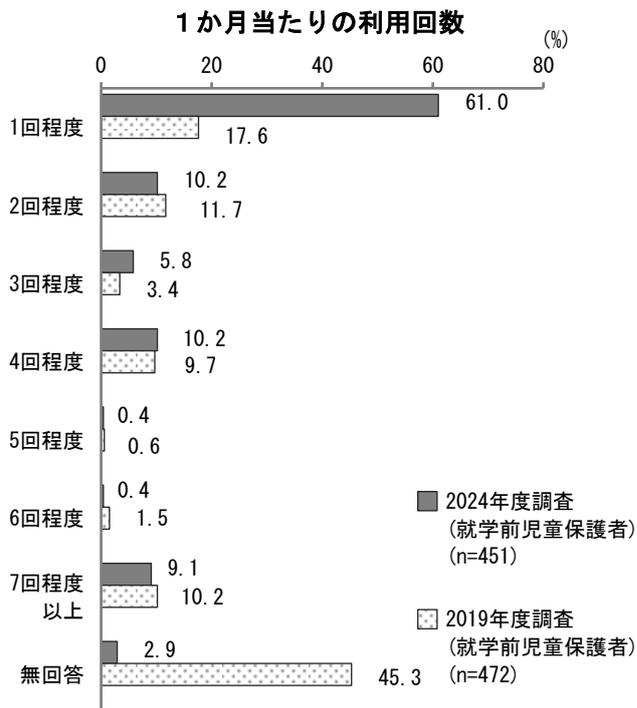
子育てひろば事業の利用有無【子どもの年齢別】

区分	回答者数(件)	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
0歳	165	46.7	53.3	-
1歳	144	52.1	47.9	-
2歳	177	43.5	56.5	-
3歳	200	42.0	58.0	-
4歳	189	35.4	64.6	-
5歳	201	31.8	67.7	0.5

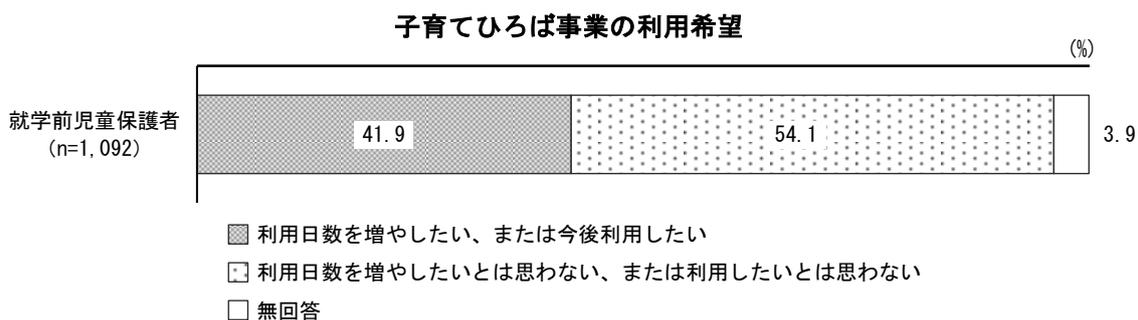
※【1か月当たりの利用回数】は、問24（1）で「ある」を選択した人のみ回答

【1か月当たりの利用回数】

- 「1回程度」が61.0%と最も多く、次いで「2回程度」「4回程度」が10.2%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「1回程度」が43.4ポイント増加しています。



問24（2） 子育てひろば事業を今後利用したいと思いますか。【○は1つだけ】
利用したい場合、利用回数を数字でご記入ください。



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別で見ると、0～1歳では「利用日数を増やしたい、または今後利用したい」の割合が高く、それ以外では「利用日数を増やしたいとは思わない、または利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

子育てひろば事業の利用希望【子どもの年齢別】

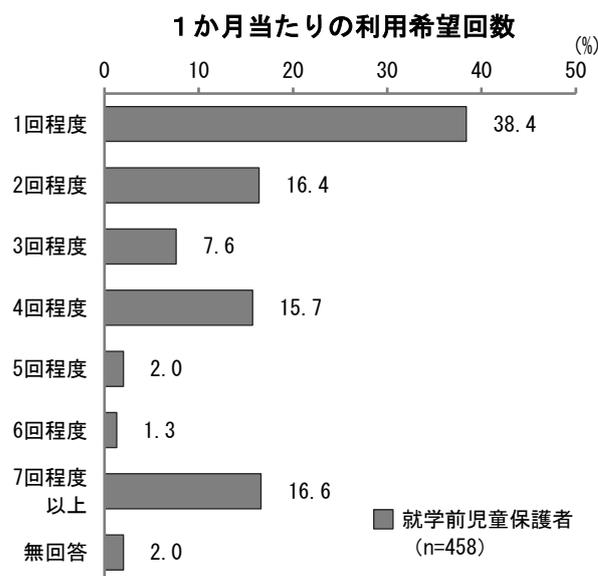
(%)

区分	回答者数 (件)	利用日数を増やしたい、 または今後利用したい	利用日数を増やしたいとは思わ ない、または利用したいと思 わない	無回答
0歳	165	63.0	32.7	4.2
1歳	144	52.1	43.8	4.2
2歳	177	41.8	54.8	3.4
3歳	200	35.5	61.5	3.0
4歳	189	35.4	59.8	4.8
5歳	201	29.4	66.2	4.5

※【1か月当たりの利用希望回数】は、問24(2)で「利用日数を増やしたい、または今後利用したい」を選択した人のみ回答

【1か月当たりの利用希望回数】

- 「1回程度」が38.4%と最も多く、次いで「7回程度以上」が16.6%、「2回程度」が16.4%となっています。



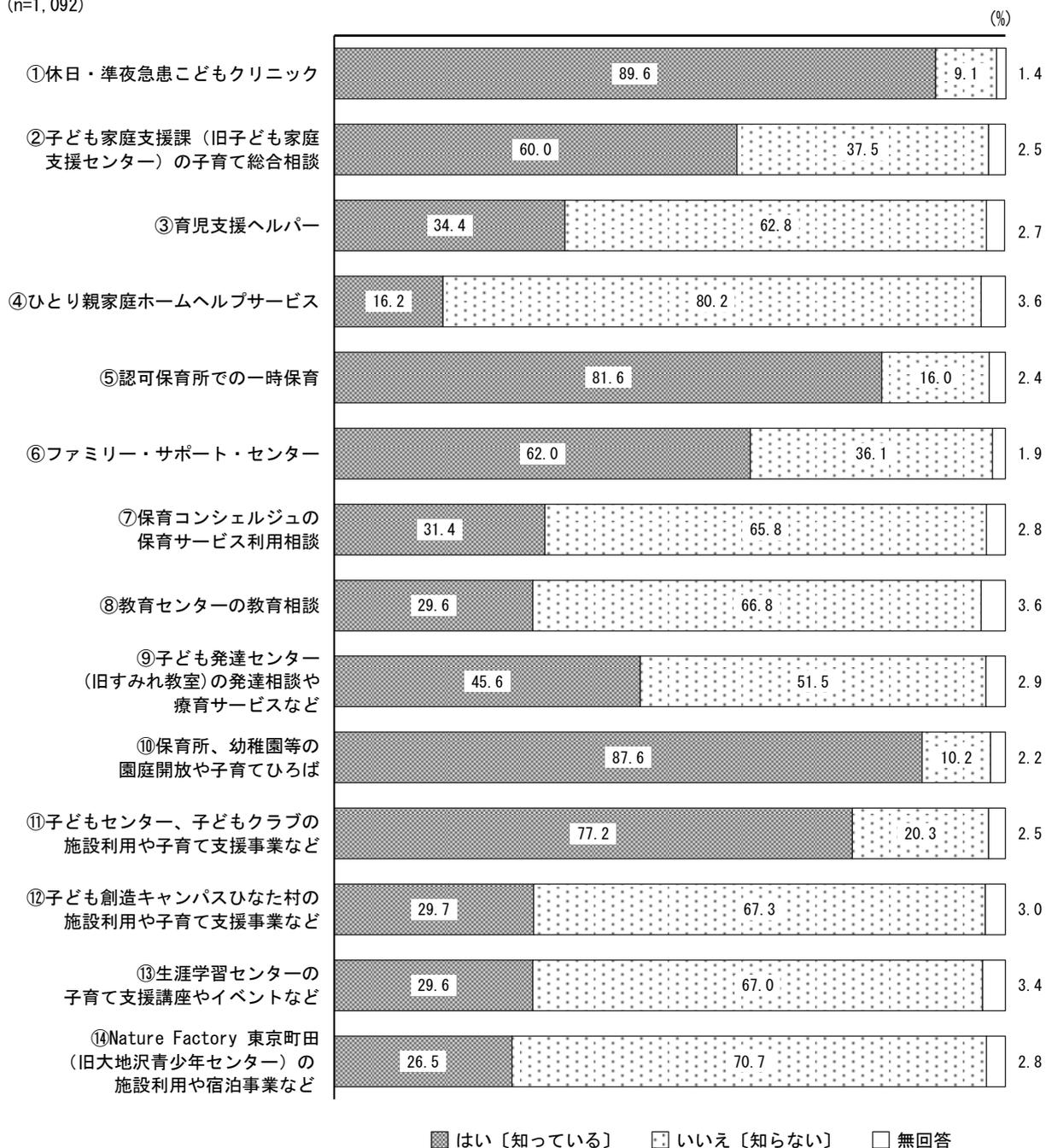
問25 下記のサービスについて、お答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 認知度】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑤認可保育所での一時保育』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』は、知っている人の割合が8割以上と高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』は知らない人の割合が80.2%となっています。

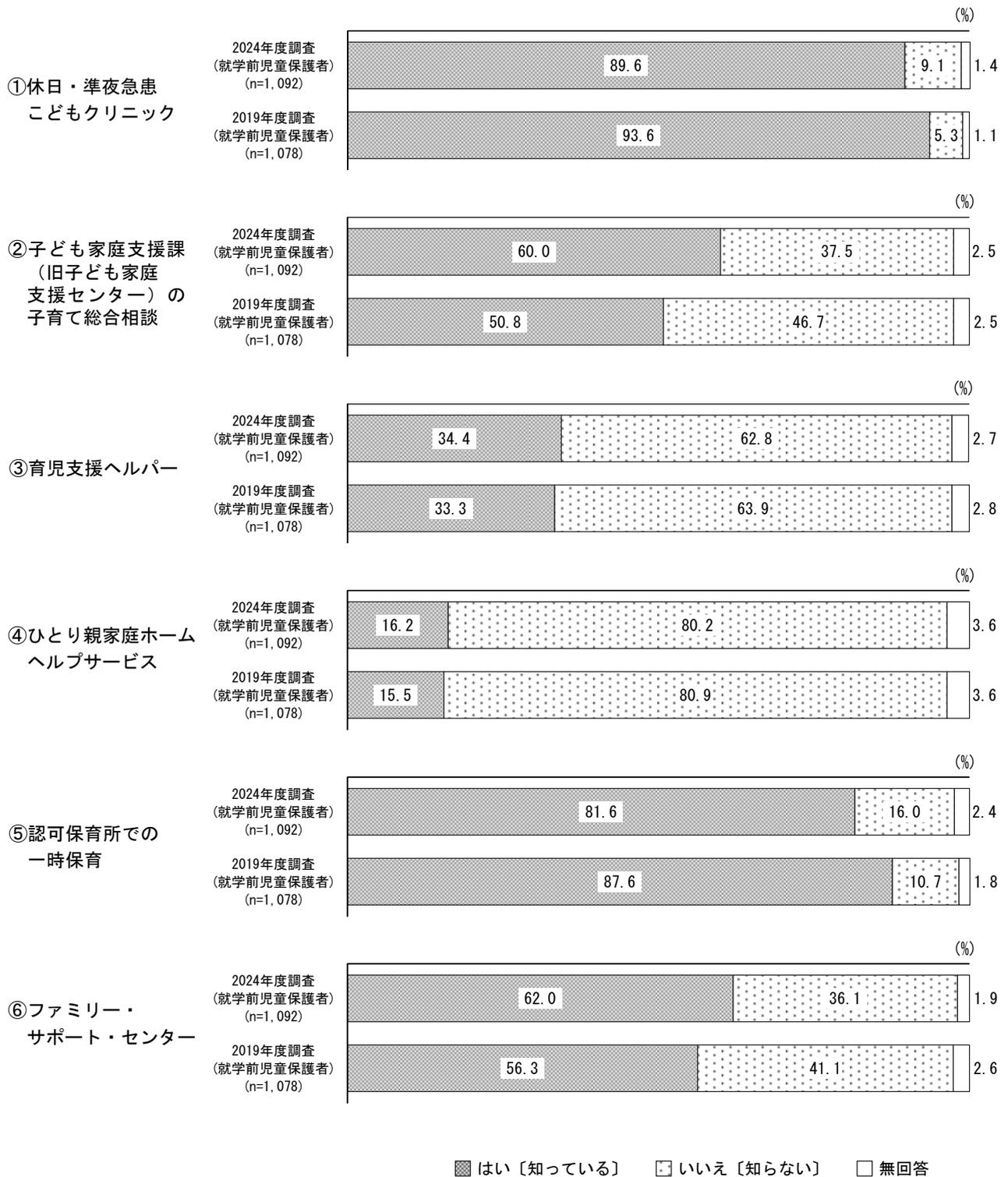
就学前児童保護者
(n=1,092)

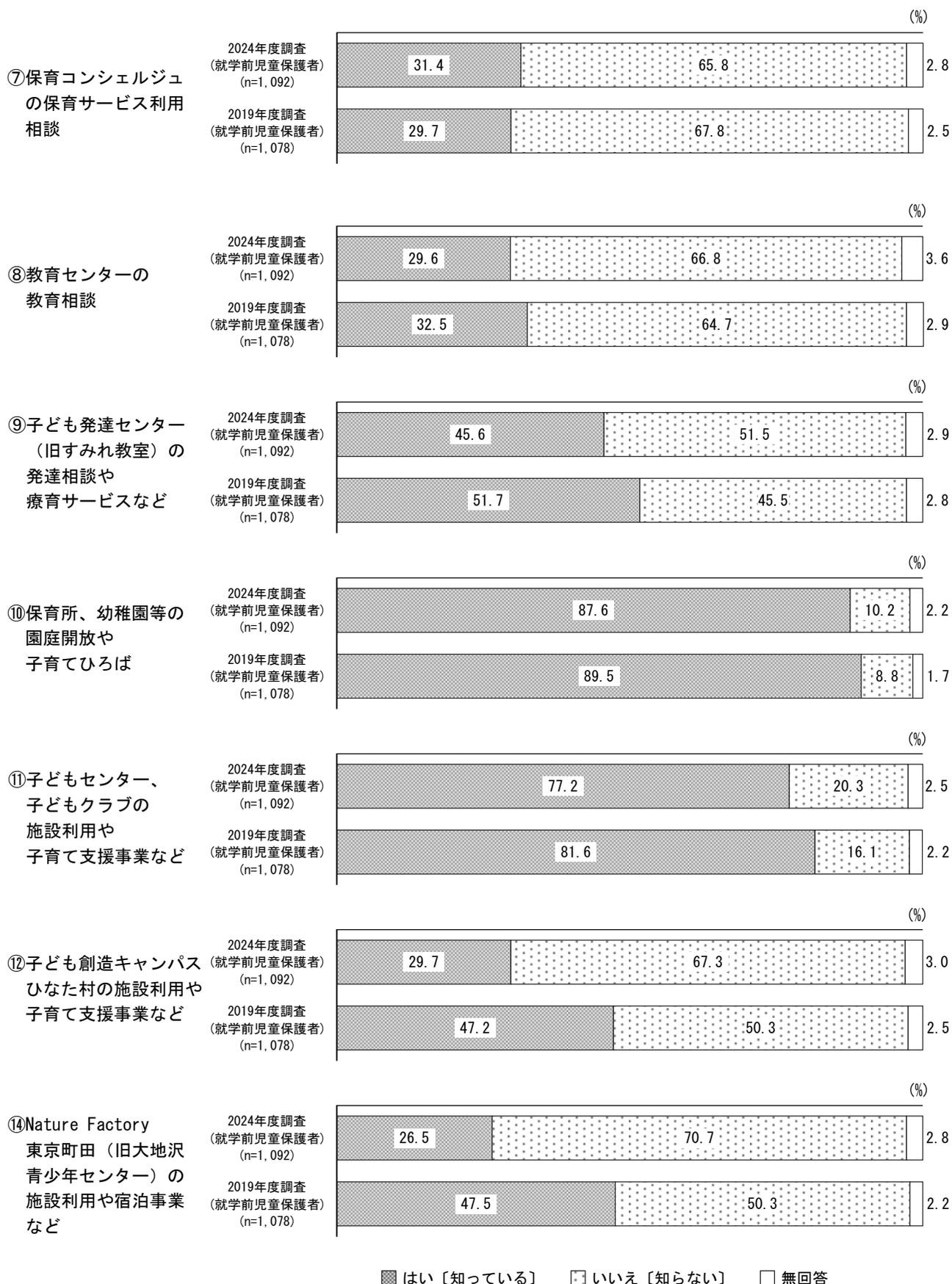
子育て支援事業の認知度



○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、知っている人の割合は、『②子ども家庭支援課（旧子ども家庭支援センター）の子育て総合相談』が最も増加し、『⑭Nature Factory東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』が最も減少しています。





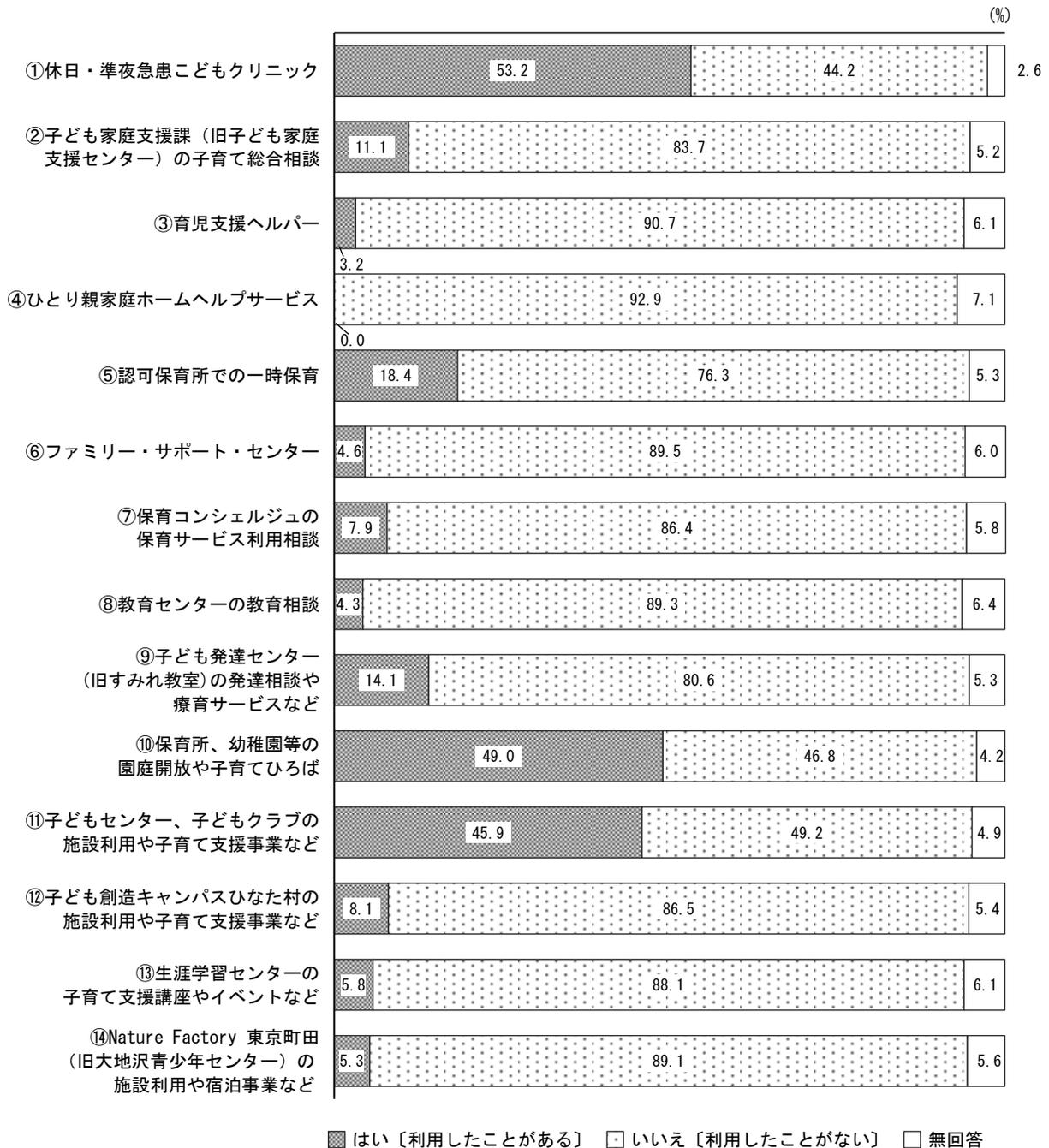
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【B 利用状況】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』は利用したことがある人の割合が5割程度と、他の項目に比べて高くなっています。
- 上記の項目と『⑤認可保育所での一時保育』を除いたすべての項目で、利用したことがない人の割合が8割以上となっています。

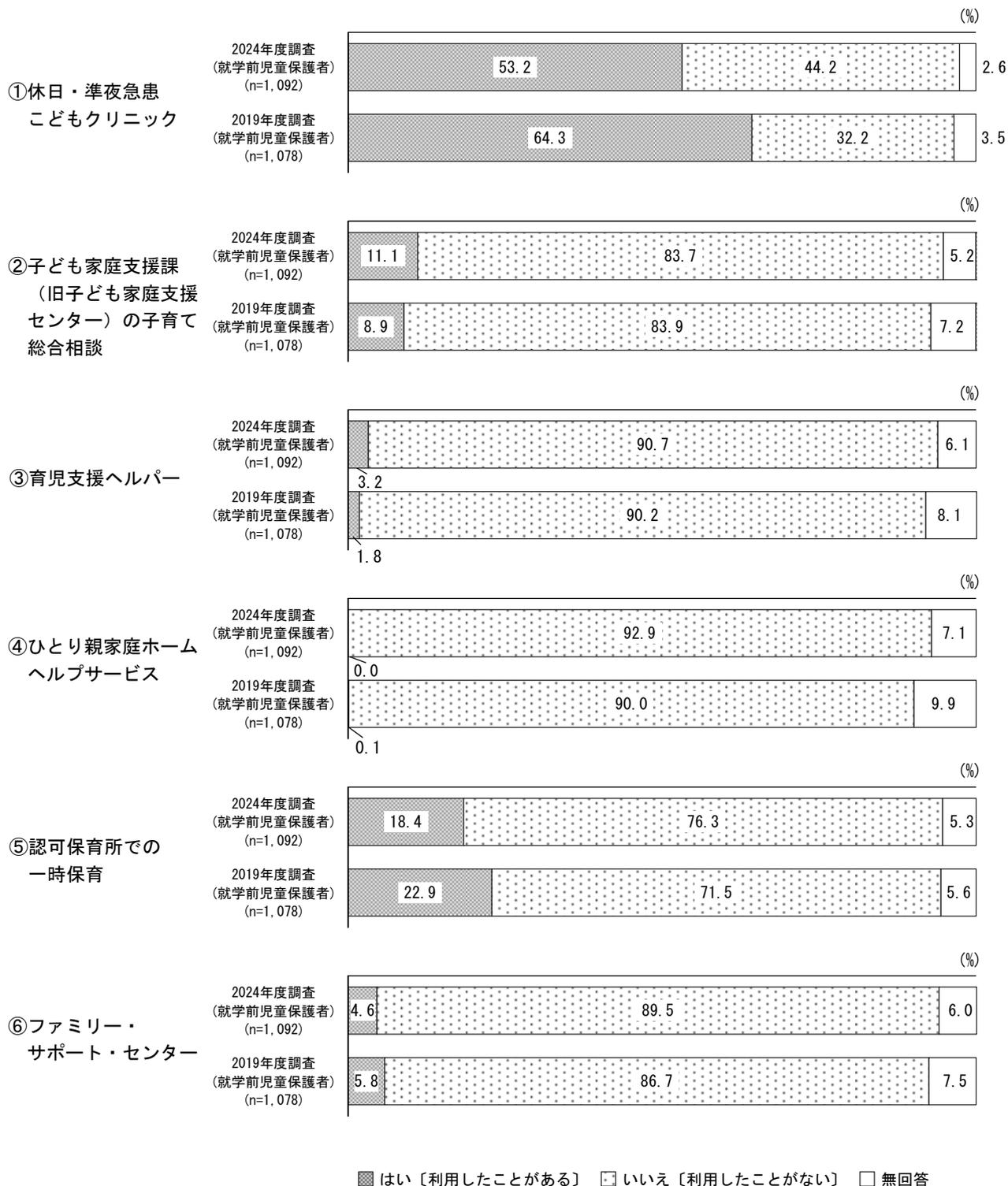
就学前児童保護者
(n=1,092)

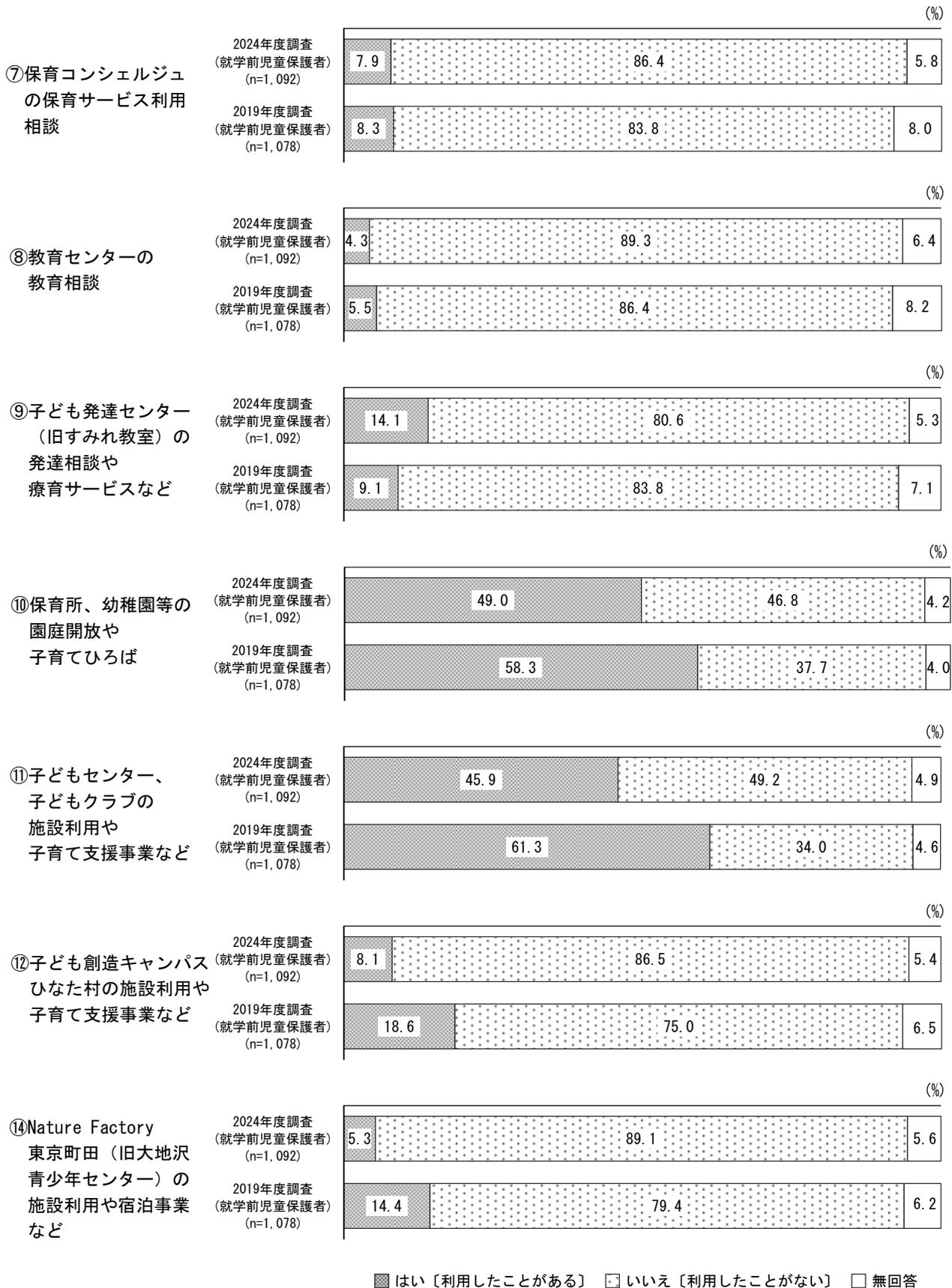
子育て支援事業の利用状況



○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、利用したことがある人の割合は、『⑨子ども発達支援センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』が最も増加し、『⑩子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』が最も減少しています。





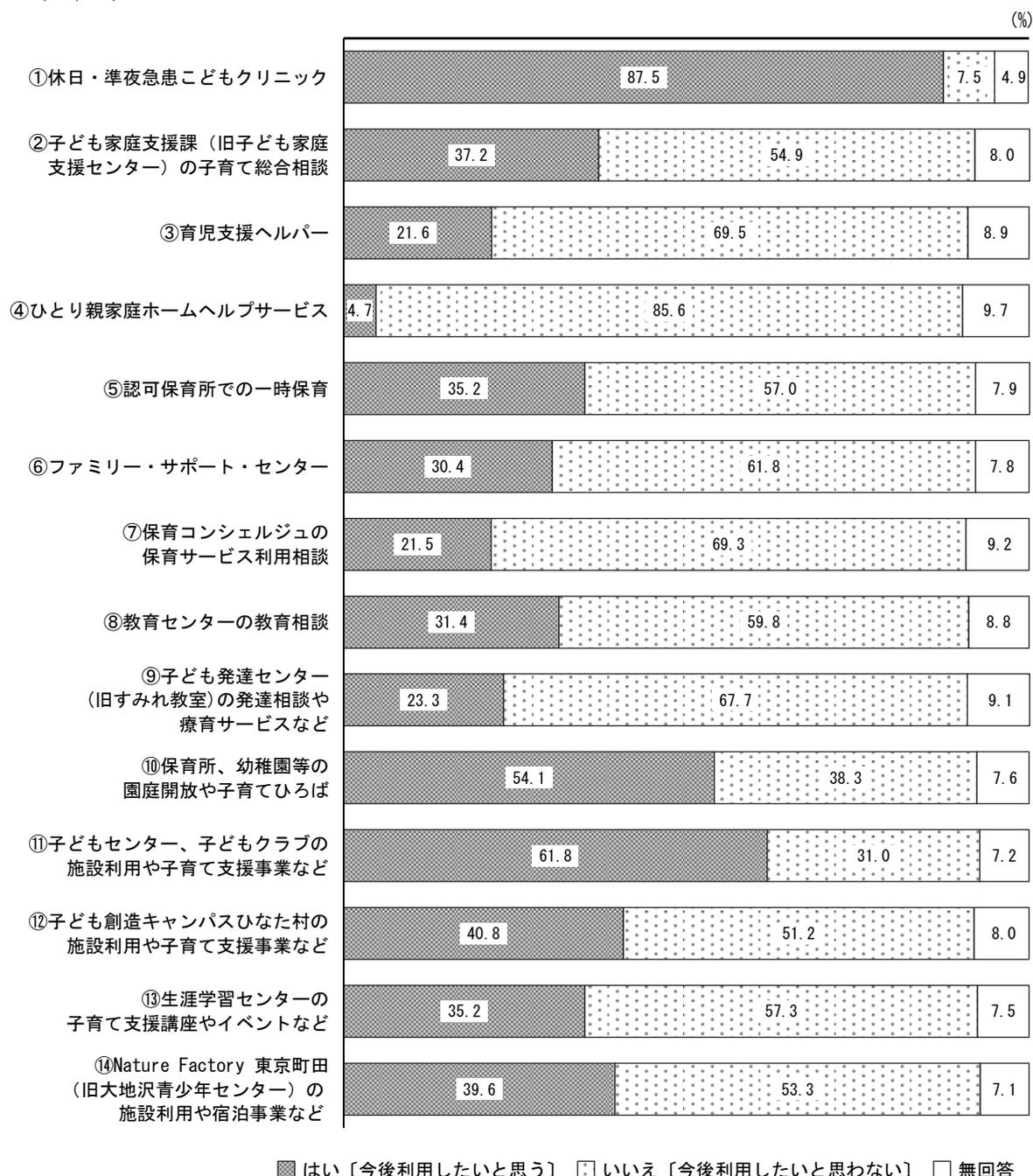
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【C 利用意向】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』は今後利用したいと思う人の割合が87.5%と、最も利用意向が高くなっています。
- 『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』は、今後利用したいと思う人の割合が3割以下と低くなっています。

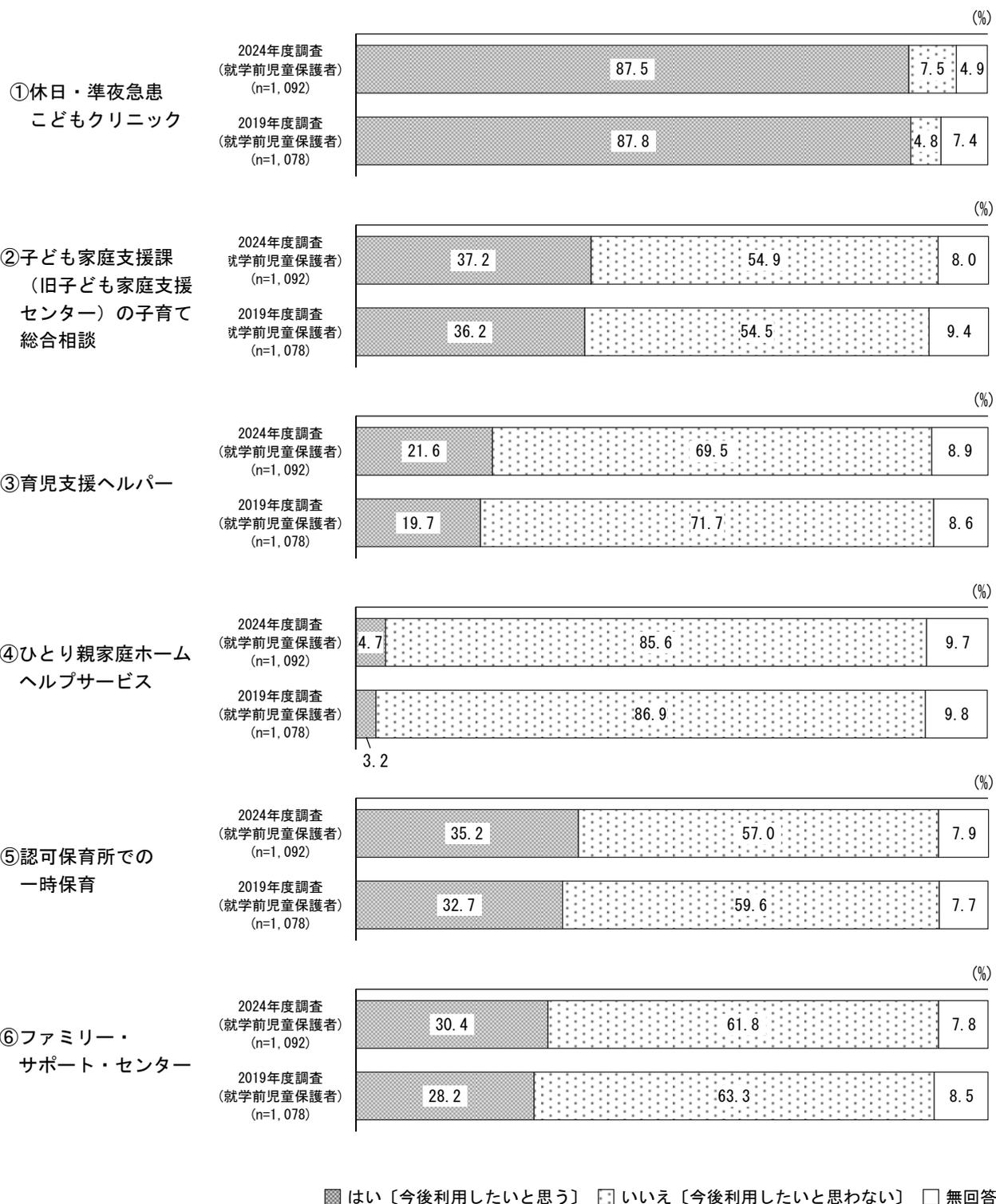
就学前児童保護者
(n=1,092)

子育て支援事業の利用意向



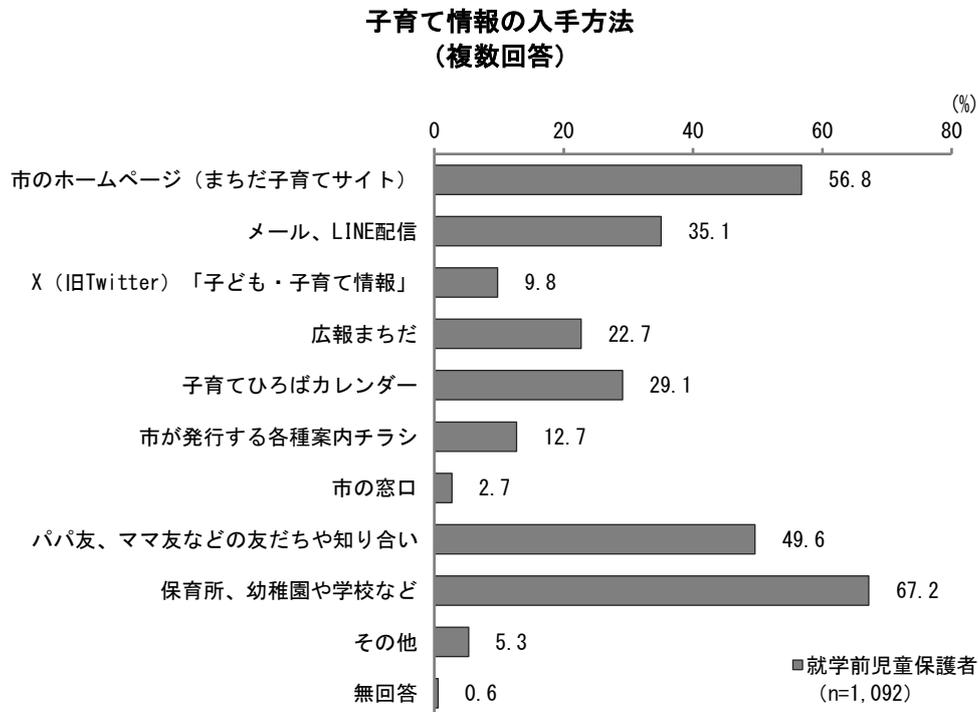
○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、今後利用したいと思う人の割合は、『⑤認可保育所での一時保育』が最も増加し、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』が最も減少しています。



問26 子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

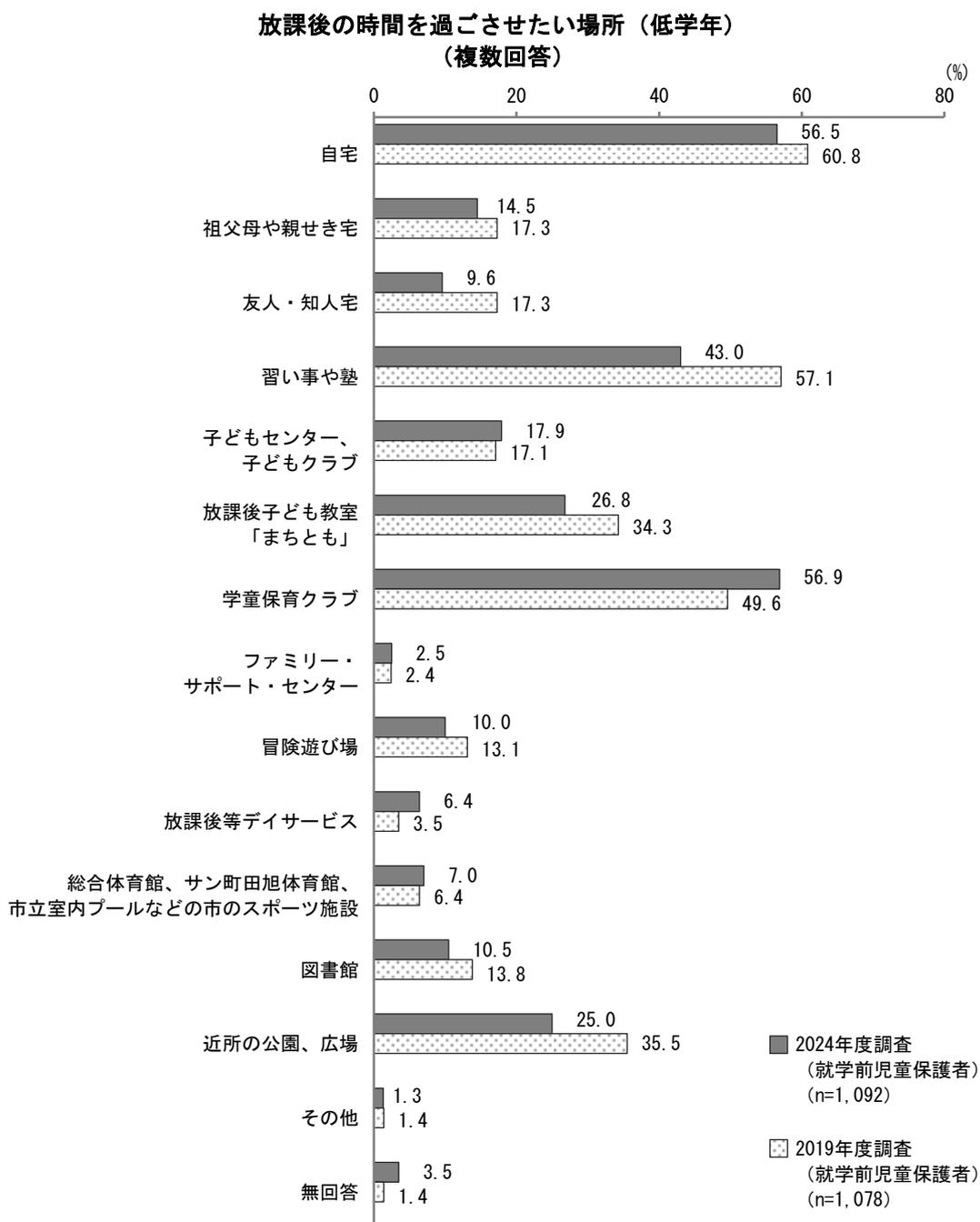
- 「保育所、幼稚園や学校など」が67.2%と最も多く、次いで「市のホームページ（まちだ子育てサイト）」が56.8%、「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が49.6%となっています。



(11) 放課後の過ごし方について

問27 あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
 過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「学童保育クラブ」が56.9%と最も多く、次いで「自宅」が56.5%、「習い事や塾」が43.0%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「習い事や塾」「近所の公園、広場」の割合が10ポイント以上減少しています。



【1週当たりの希望日数】

- ほとんどの場所で「1日」または「2日」の割合が最も高くなっています。
- 『学童保育クラブ』『放課後等デイサービス』では「5日」の割合が最も高くなっており、特に『学童保育クラブ』では約半数となっています。

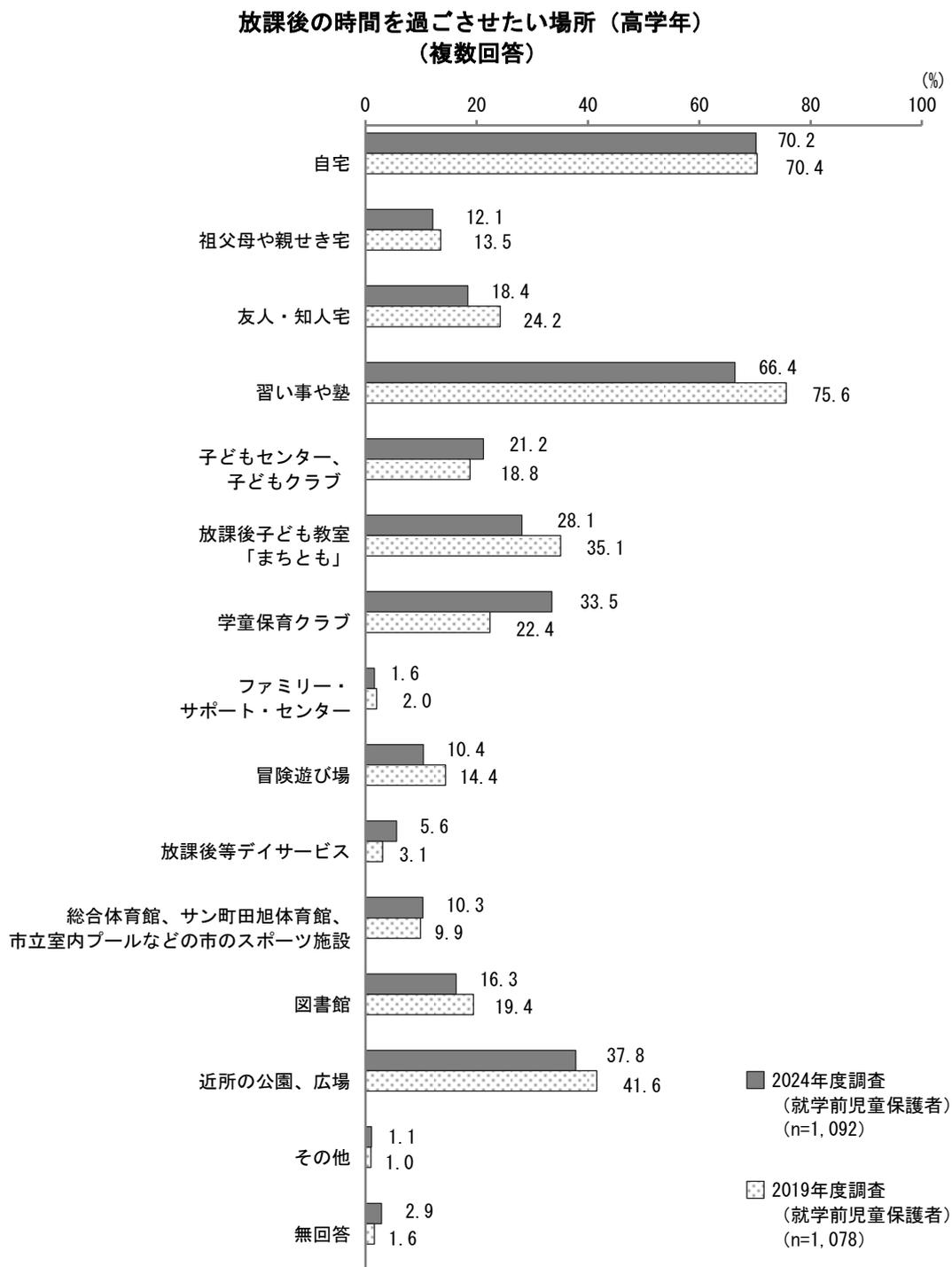
過ごさせたい1週当たりの日数（低学年）

（%）

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	617	12.2	25.0	21.1	8.8	19.6	0.8	3.4	9.2
祖父母や親せき宅	158	44.3	20.9	13.3	0.6	7.6	-	1.9	11.4
友人・知人宅	105	44.8	30.5	5.7	-	1.9	-	1.0	16.2
習い事や塾	470	37.9	42.8	10.6	1.1	1.3	-	-	6.4
子どもセンター、子どもクラブ	196	35.2	26.5	11.2	1.5	13.8	-	0.5	11.2
放課後子ども教室「まちとも」	293	26.3	23.9	19.5	3.4	19.1	0.7	-	7.2
学童保育クラブ	621	7.1	10.5	16.6	9.7	48.3	1.3	-	6.6
ファミリー・サポート・センター	27	33.3	29.6	3.7	-	14.8	-	-	18.5
冒険遊び場	109	45.0	24.8	9.2	-	4.6	0.9	-	15.6
放課後等デイサービス	70	21.4	18.6	21.4	2.9	24.3	1.4	-	10.0
総合体育館、サン町田旭体育館、 市立室内プールなどの市のスポーツ施設	76	61.8	19.7	1.3	-	1.3	-	-	15.8
図書館	115	60.9	15.7	8.7	-	1.7	-	-	13.0
近所の公園、広場	273	23.1	27.8	23.1	4.8	8.4	0.4	1.5	11.0
その他	14	7.1	28.6	-	7.1	21.4	-	-	35.7

問28 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
 過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「自宅」が70.2%と最も多く、次いで「習い事や塾」が66.4%、「近所の公園、広場」が37.8%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「学童保育クラブ」の割合が最も増加し、「習い事や塾」の割合が最も減少しています。



【1週当たりの希望日数】

- 多くの場所で「1日」または「2日」の割合が最も高くなっていますが、『学童保育クラブ』では「5日」が約3割で最も高くなっています。

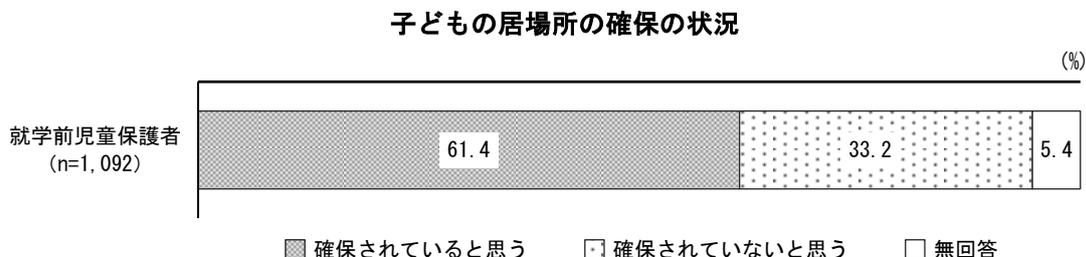
過ごさせたい1週当たりの日数（高学年）

（%）

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	767	15.9	26.2	19.4	5.7	20.1	0.9	2.5	9.3
祖父母や親せき宅	132	43.2	22.7	7.6	1.5	11.4	0.8	1.5	11.4
友人・知人宅	201	48.8	23.9	9.0	2.5	1.5	-	0.5	13.9
習い事や塾	725	24.8	40.8	21.4	2.6	2.2	0.3	0.1	7.7
子どもセンター、子どもクラブ	232	30.2	26.7	15.1	3.0	9.5	-	0.4	15.1
放課後子ども教室「まちとも」	307	22.5	21.2	26.1	3.9	15.0	0.3	-	11.1
学童保育クラブ	366	9.0	20.5	21.0	7.1	30.1	1.1	-	11.2
ファミリー・サポート・センター	18	38.9	16.7	11.1	-	16.7	-	-	16.7
冒険遊び場	114	39.5	23.7	10.5	0.9	3.5	0.9	-	21.1
放課後等デイサービス	61	21.3	19.7	23.0	3.3	23.0	1.6	-	8.2
総合体育館、サン町田旭体育館、 市立室内プールなどの市のスポーツ施設	113	42.5	25.7	13.3	-	1.8	0.9	-	15.9
図書館	178	53.4	16.3	11.2	-	2.2	-	-	16.9
近所の公園、広場	413	22.3	26.4	21.3	5.8	9.4	0.2	1.2	13.3
その他	12	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	-	-	41.7

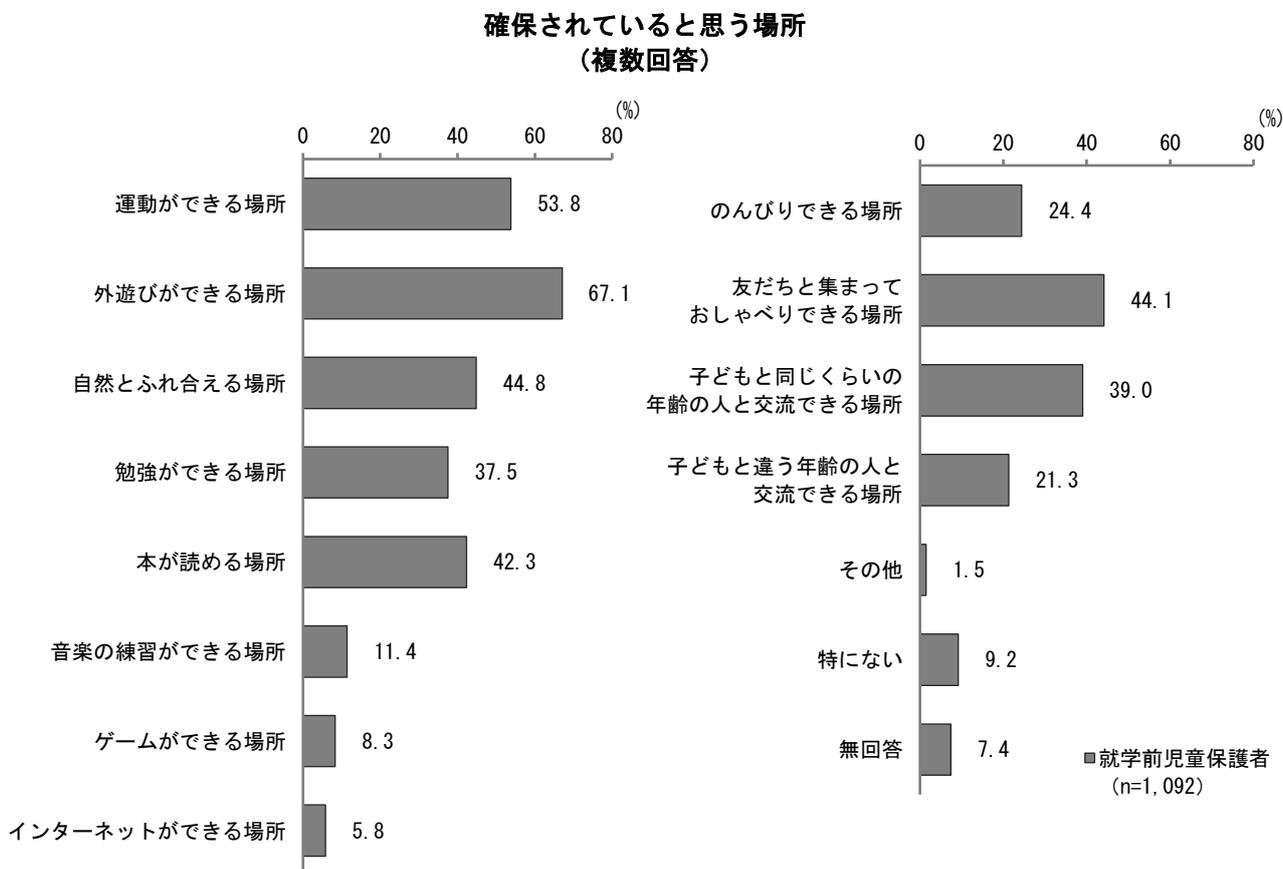
(12) 子どもの居場所について

問29 町田市では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。【○は1つだけ】
 ※家と学校は除きます。



問29-1 子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。【あてはまるものすべてに○】

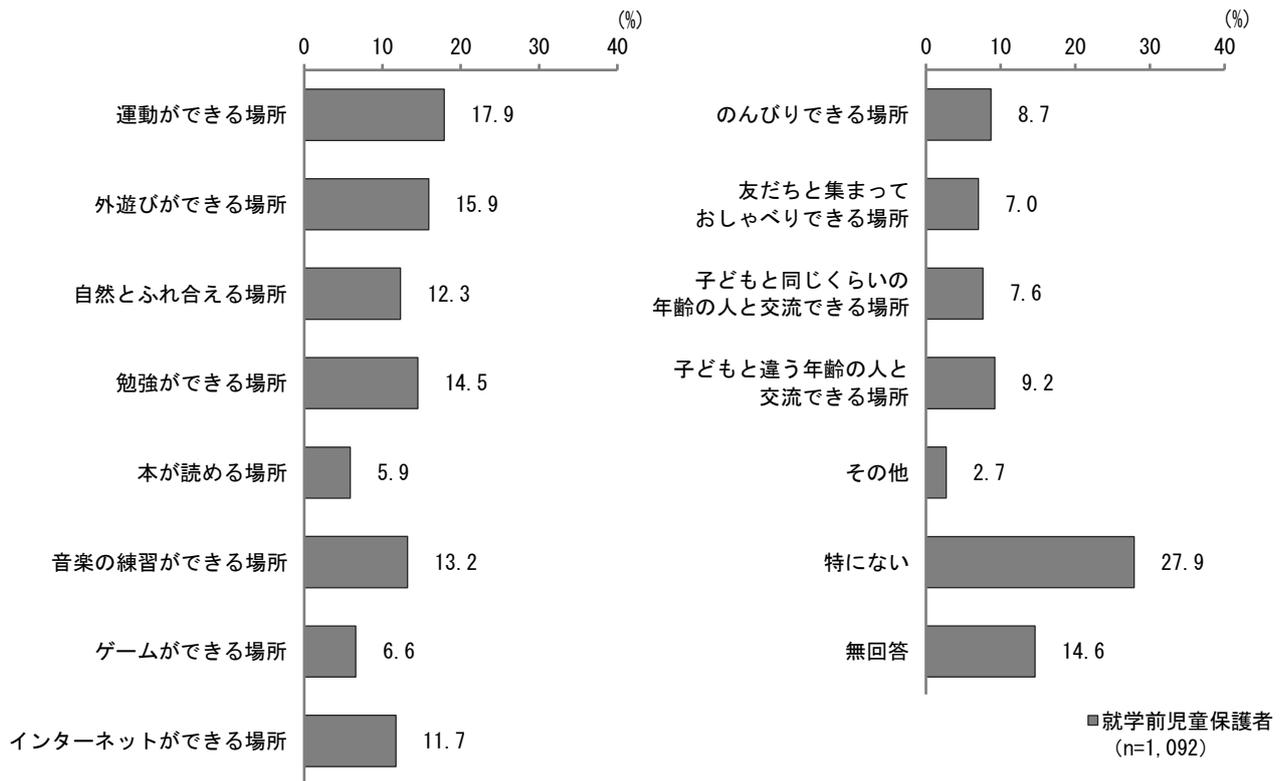
- 「外遊びができる場所」が67.1%と最も多く、次いで「運動ができる場所」が53.8%、「自然とふれ合える場所」が44.8%となっています。



問29-2 子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。【〇は3つまで】

- 「特にない」が27.9%と最も多く、次いで「運動ができる場所」が17.9%、「外遊びができる場所」が15.9%となっています。

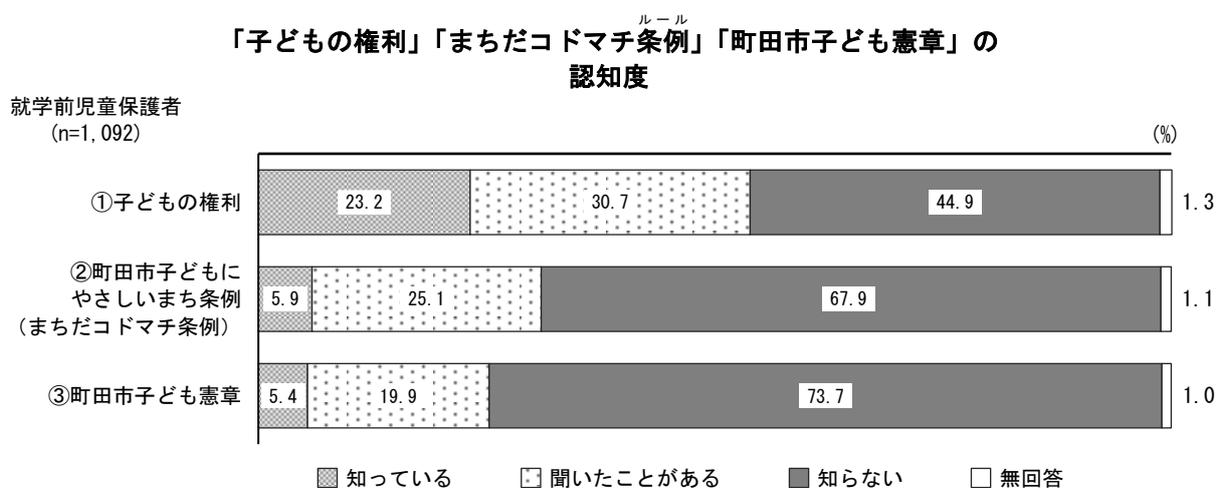
確保されていないと思う場所
(複数回答/3つまで)



(13) 「子どもの権利」について

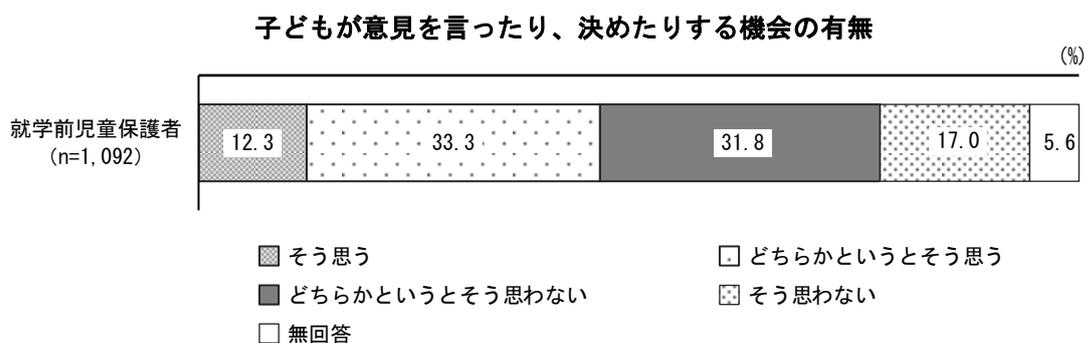
問30 子どもには大切な「子どもの権利」があります。
 町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、
 子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
 あなたは、これらについて知っていますか。
 ①～③について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が5割を超えているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコードマチ条例）』『③町田市子ども憲章』の認知度は3割程度となっています。



問31 「子どもの権利」の1つに「参加する権利」があります。
 「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることが含まれます。
 町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会があると思いますか。【○は1つだけ】

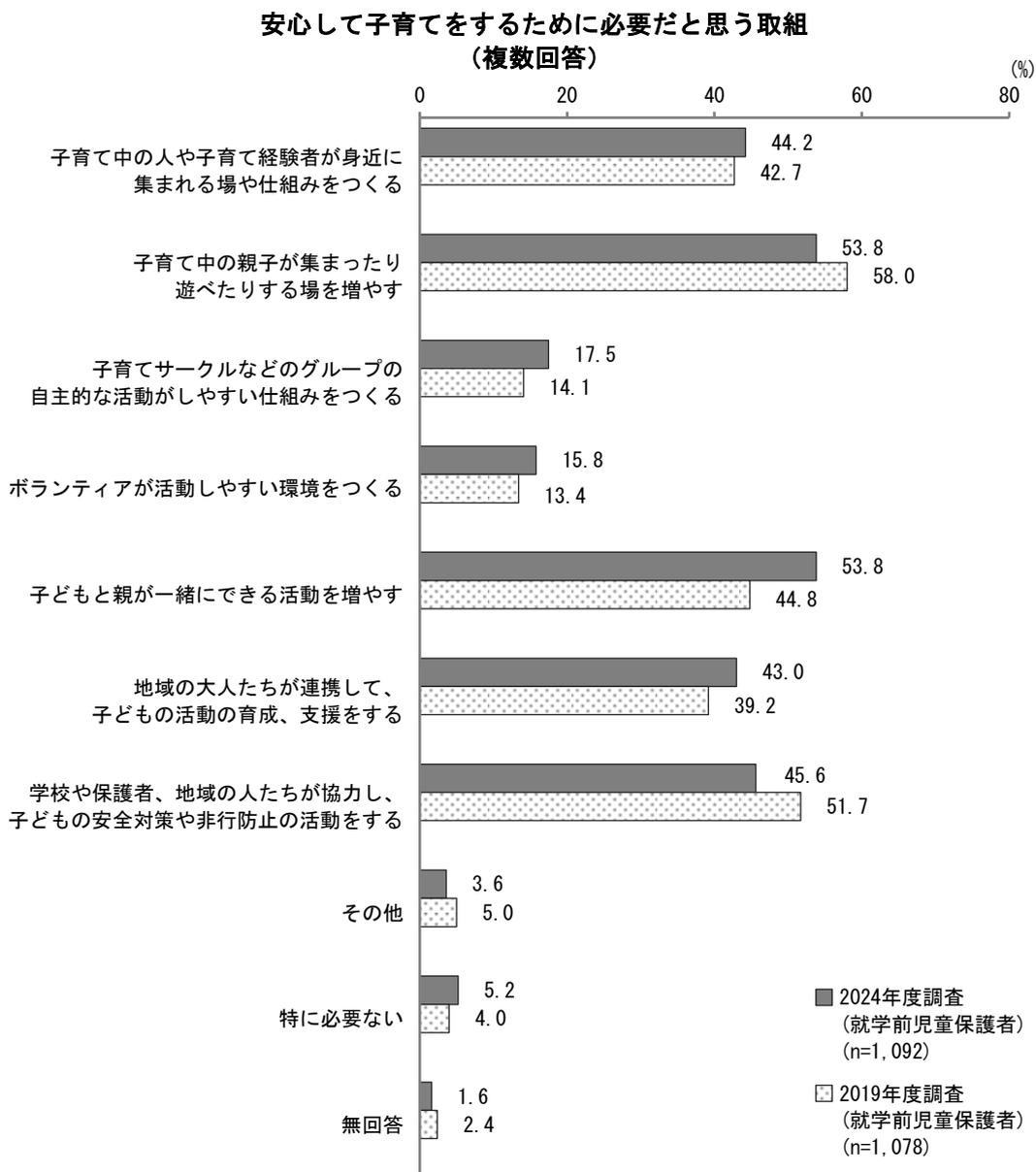
- 「どちらかというと思う」が33.3%と最も多く、次いで「どちらかというと思わない」が31.8%、「そう思わない」が17.0%となっています。



(14) 子育て施策全般について

問32 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

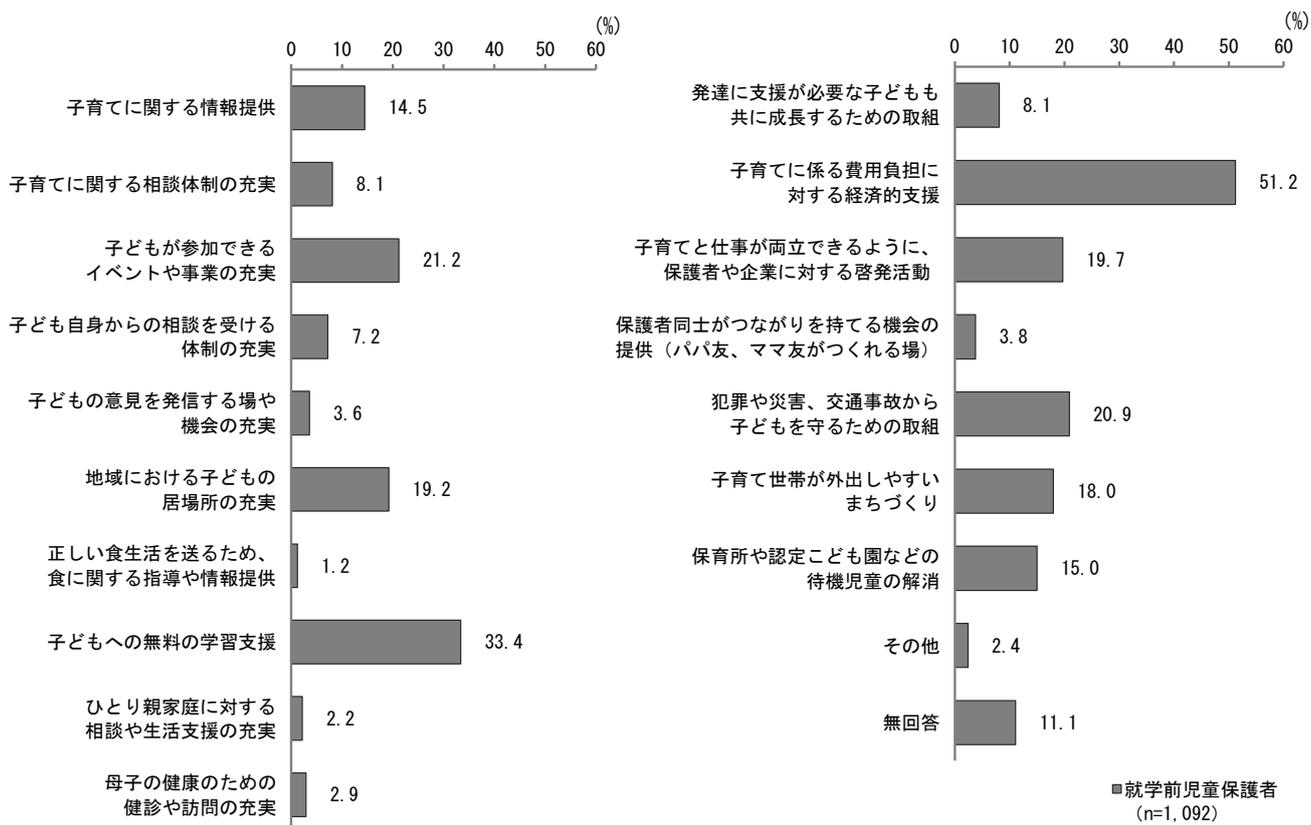
- 「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が53.8%と最も多く、次いで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が45.6%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」の割合が最も増加し、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が最も減少しています。



問33 市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。
【〇は3つまで】

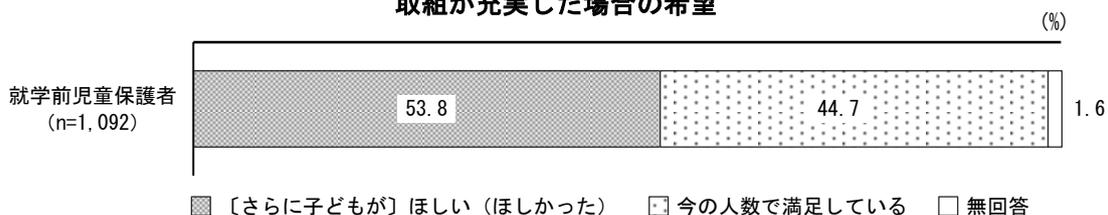
- 「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が51.2%と最も多く、次いで「子どもへの無料の学習支援」が33.4%、「子どもが参加できるイベントや事業の充実」が21.2%となっています。

市に期待する支援や取組
(複数回答/3つまで)



問34 問33の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい (ほしかった) と思いますか。【〇は1つだけ】

取組が充実した場合の希望



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、0～2歳は「ほしい（ほしかった）」の割合が高く、3～5歳は「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【子どもの年齢別】

(%)

区分	回答者数 (件)	(ほしい ほしかった)	今の人数で 満足している	無回答
0歳	165	65.5	32.1	2.4
1歳	144	58.3	38.9	2.8
2歳	177	59.3	39.5	1.1
3歳	200	48.5	51.0	0.5
4歳	189	47.1	51.3	1.6
5歳	201	47.8	50.7	1.5

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、就労している（現在、産休・育休・介護休暇中を含む）場合は「ほしい（ほしかった）」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数 (件)	(ほしい ほしかった)	今の人数で 満足している	無回答
フルタイム	332	58.1	41.0	0.9
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	126	64.3	33.3	2.4
パートタイム、アルバイトなど	287	54.0	43.9	2.1
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	26	50.0	42.3	7.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	287	47.4	51.9	0.7
これまでに就労したことがない	17	11.8	82.4	5.9

問35 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、421人の方から、計671件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
1 保育所・幼稚園等について	51
(1) 保育所・幼稚園等の受け入れ（利用条件）について	16
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所について、自宅からの距離を考慮してもらうシステムになると良い。 ・ 姉弟で同じところに入所できるようにしてほしい。 	
(2) 保育所・幼稚園等の夜間・休日、長期休暇の受け入れについて	2
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園で預かり保育を利用することがあるが、土曜日は保育時間が短く、仕事をするには不便。もう少し、土曜日の保育が充実していると助かる。 	
(3) 保育所・幼稚園等の利用に関する費用について	14
<ul style="list-style-type: none"> ・ 0～3歳までの保育料の無償化または少額化を希望。 ・ 幼稚園にかかる費用が高い。第2子、第3子への支援を充実することで少子化は対策できるのではないか。幼稚園の特別費にもあてられる補助金がほしい。保育所に入所できない第2子以降への補助をプラスしてほしい。 	
(4) 保育所・幼稚園等の質の向上について	10
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認可保育所について、質が保育所によって違うのは、保育料が同じだけに複雑に感じる。 	
(5) 待機児童・施設設備について	9
<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労したいが、子どもを預ける所がない。(近くに保育所はあるが、どこもいっぱいに入所できない) 	
2 小学校就学後の生活について	69
(1) 小学校について	31
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車通りの多い交差点を子どもだけで渡ることに不安を感じる。4月中だけでも集団登校を行ったり、交通量の多い場所での見守り等があると良い。 ・ 6学年差の子どもがいるが、第2子の給食費無償化が、上の子が高校に入るまでのため、3年生までの無償化となる。第2子は学年差関係なく、無償化にしてほしい。 	
(2) 学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	38
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期休みの学童保育クラブのオープン時間を午前7時（もしくは午前7時半）にしてほしい。フルタイムで就労していると、長期休みの預け先が見つからない。 ・ 新1年生4月から、「まちとも」を利用できるようにしてほしい。 	

【主な意見】

回答分類	件数
3 子育て支援全般について	168
(1) 子どもの居場所やイベント（親子イベント、子どもセンター、子育てひろば事業など）について	37
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てひろば（保育所の室内開放など）は、予約なしで出入りできる場所が少なく、子どもの気分や体調に合わせたスケジュールを立てにくい。もっと自由に出入りできる施設を増やしてほしい。 ・イベントがあっても遠くて行けないため、小学校や中学校の体育館を借りてイベントを行うことができれば、歩いて行けるのと思う。 	
(2) 病児・病後児保育や障がい児への支援について	33
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが4歳くらいまでは病気がちで、仕事を簡単に休めず苦勞したため、病児保育の充実を希望する。施設を増やすこと、病児保育時間を7時～19時頃までにするなど。また、利用したくても事前登録が必要など、制約も大きい。 ・グレーゾーンを含む発達に支援が必要な子どもたちを受け入れてくれる、預かりサポート等のサービスを増やしてほしい。また、特別支援学級の数も少ないと思う。 	
(3) 子育て支援に関する情報、相談先について	31
<ul style="list-style-type: none"> ・市が行っているサービスは何かとハードルが高く感じる。出産直後は何に対しても不安だったため、タイムリーに、気軽にLINEで相談できるシステムがほしかった。 ・育児支援の拠点に行くと、手厚いサポートが受けられるとわかっているが、拠点が少なく、施策の概要や詳細がわからないことが多い。 	
(4) 子どもを預けられる場所の充実について	67
<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育の予約が取りにくく、利用できない。 ・2か月までの赤ちゃんを預かってくれるショートステイや、デイケアをもっと増やしてほしい。 ・乳児期に子どもを預けたいと思ったが、条件を満たせず、預けられなくてつらかった。保育士が、市の補助で安価に家まで来てくれるサービスや、子どもセンターなどに立ち寄ると、乳児を2時間くらい見てくれて、その間に親が仮眠を取るなどして、リフレッシュできるサービスがあったら良いと思う。 	
4 子育て環境について	221
(1) 公園・遊び場・外出について	68
<ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶ場所が小さい公園しかないため、いつも家の近くで遊ぶことが多い。子どもが楽しく過ごせる場所がほしい。 ・近隣の公園の遊具が老朽化している。安全性と衛生状況の向上を願う。 ・駅周辺で、屋外や室内で遊べる施設をもっと増やしてほしい。 	
(2) 公共施設等について	11
<ul style="list-style-type: none"> ・授乳室（鍵付き、個室）、オムツ交換する場所を増やしてほしい。 ・子どもと親がゆっくと楽しめる図書館をつくってほしい。 	

【主な意見】

回答分類	件数
(3) 医療費補助・医療・健診体制について	42
<ul style="list-style-type: none"> ・1歳半検診のような自治体主体の検診の日程を、土日も選べるようにしてほしい。有給休暇は子の看病で消化しているので、欠勤する必要がある。 ・近くに小児科がなく、子ども2人を連れて、遠方の小児科まで行くのが大変。毎回タクシーを利用すると経済的負担が大きい。車がない世帯もあるため、受診の際にかかる交通費の負担を補助してほしい。 	
(4) 地域との協力について	13
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお年寄りの方に、放課後空き教室を使っておりがみや、習字、茶道など教えてもらえる取組があると嬉しい。夏休みのプール教室もやってほしい。 ・仕事と育児で手一杯のため、正直、地域との交流は余裕がない。外に出て、つながりをつくれればとは思っているが、そこまでの体力、気力が持てない。 	
(5) 教育環境や学習支援について	3
<ul style="list-style-type: none"> ・経済格差による子どもたちの経験格差があると思う。もっと子どもたちが受けられる、勉強やスポーツ、何かの体験学習などがあると良いと思う。 	
(6) 防犯・安全面について	30
<ul style="list-style-type: none"> ・人通りが少なく、子どもを一人で歩かせることが不安な道が多い。防犯カメラの設置、カーブミラーの整備や街路樹の整備をお願いしたい。 ・歩道が狭く、ガードレールや歩道すらない場所も多いため、ベビーカーや自転車でも移動が怖い。 	
(7) まちづくりについて	54
<ul style="list-style-type: none"> ・車がないと行きづらい場所が多く、駅近辺以外は乳児、幼児を育てづらいと感じる。 ・子育て世代を集めるためにも、大型ショッピングモールなどをつくるべき。駅前以外はカフェなども少なく、子育て世代が交流できるような場所が少ない。もう少し商業施設を市として特定地域に誘致するなどがあっても良いのではないかな。 ・家賃が安い公営住宅が、今より増えると良い。 	
5 子育て中の保護者の状況について	121
(1) 社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	12
<ul style="list-style-type: none"> ・職場で育児中の時短勤務が制度としてあるものの、取りづらい雰囲気や、部署内で複数の人が取るとは難しい現状がある。また、取得できるのは未就学児の間だけで、小学校入学後は取れず、不安を感じる。社会全体として、子育てと仕事が両立できる勤務形態を選べるようになってほしい。 ・雇用されていない個人事業主にも育児休業手当を保証するなど、自営業の世帯に向けた経済的支援政策があると良いと思った。個人事業主は、育児休業中は収入がゼロになり、出産育児一時金と児童手当だけでは、出産から育児までの経済的負担をカバーできないのが現状である。 	

【主な意見】

回答分類	件数
(2) 子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	109
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産費用、妊婦健診費用の補助を拡充してほしい。オムツ、ミルク代を補助してほしい。 ・ 子育て支援における、子ども〇人以上などの制限は、昨今の晩婚傾向にやさしくない制度だと思う。1人目から充実した支援をしてもらえると、子どもの貧困などが減らせるのではないかと思う。 ・ 子どもはたくさんほしいが、やはり経済面で妥協してしまうため、正直経済的なサポートが一番嬉しい。 ・ 子育てしやすくなるには、子育て世代の交通機関の無償化も必要だと思う。子育て世代がもっと外に出る機会が増えれば経済も充実すると思う。 	
6 その他	41
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠後に受けた「しっかりサポート面接」がとても良かった。0歳時から保育所に預けて仕事復帰を希望していたため、市での保育所の申込状況など教えてもらったのがとても良かった。町田市は子育て支援策が豊富な印象があり、いつも助かっている。 ・ 今回、産後ケアを始めて利用したが、予約が取れないところがほとんどだった。また、3か月未満のみのため、日にちも限られており、利用が大変だった。せめて生後半年以内、連泊でなくても6泊可能など、見直していただきたい。 	

3 【調査②】小学校低学年保護者

(1) 家族の状況について

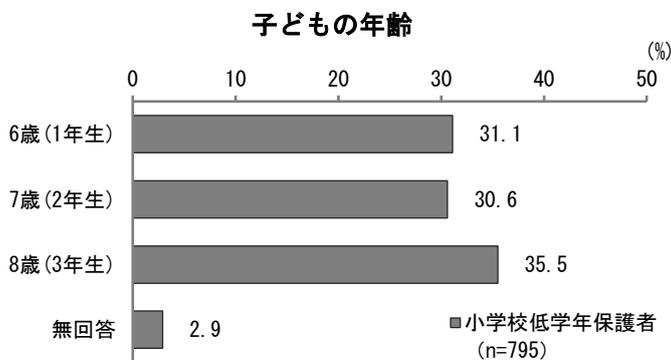
問1 お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

- 「南地域」が26.9%と最も多く、次いで「鶴川地域」が22.1%、「町田地域」が21.5%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

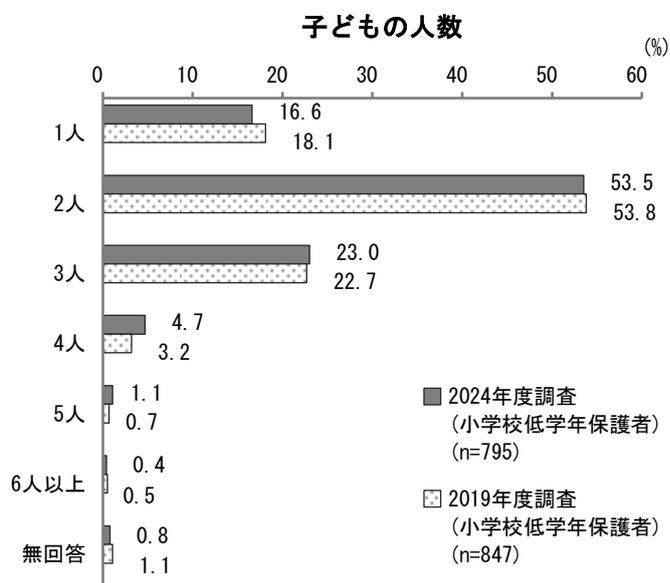
- 「8歳（3年生）」が35.5%と最も多く、次いで「6歳（1年生）」が31.1%、「7歳（2年生）」が30.6%となっています。



問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
 あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
 2人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

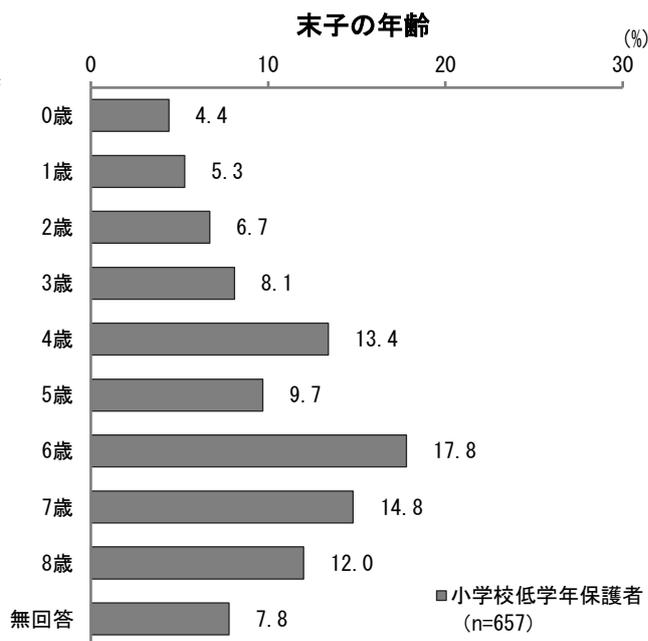
【子どもの人数】

- 「2人」が53.5%と最も多く、次いで「3人」が23.0%、「1人」が16.6%となっています。
- 2019年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



【末子の年齢】

- 「6歳」が17.8%と最も多く、次いで「7歳」が14.8%、「4歳」が13.4%となっています。

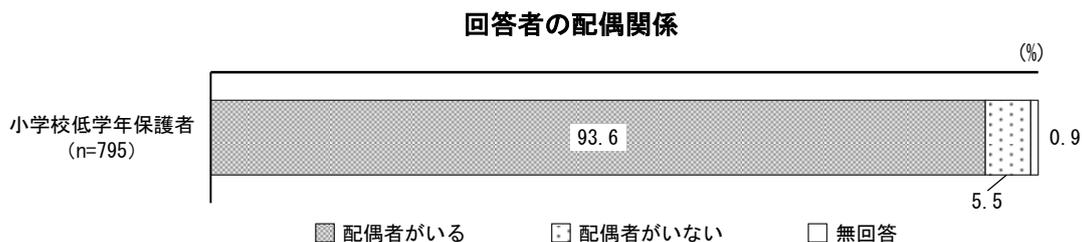


問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
 あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【〇は1つだけ】



※問5は、問4で「父親」または「母親」を選択した人のみ回答

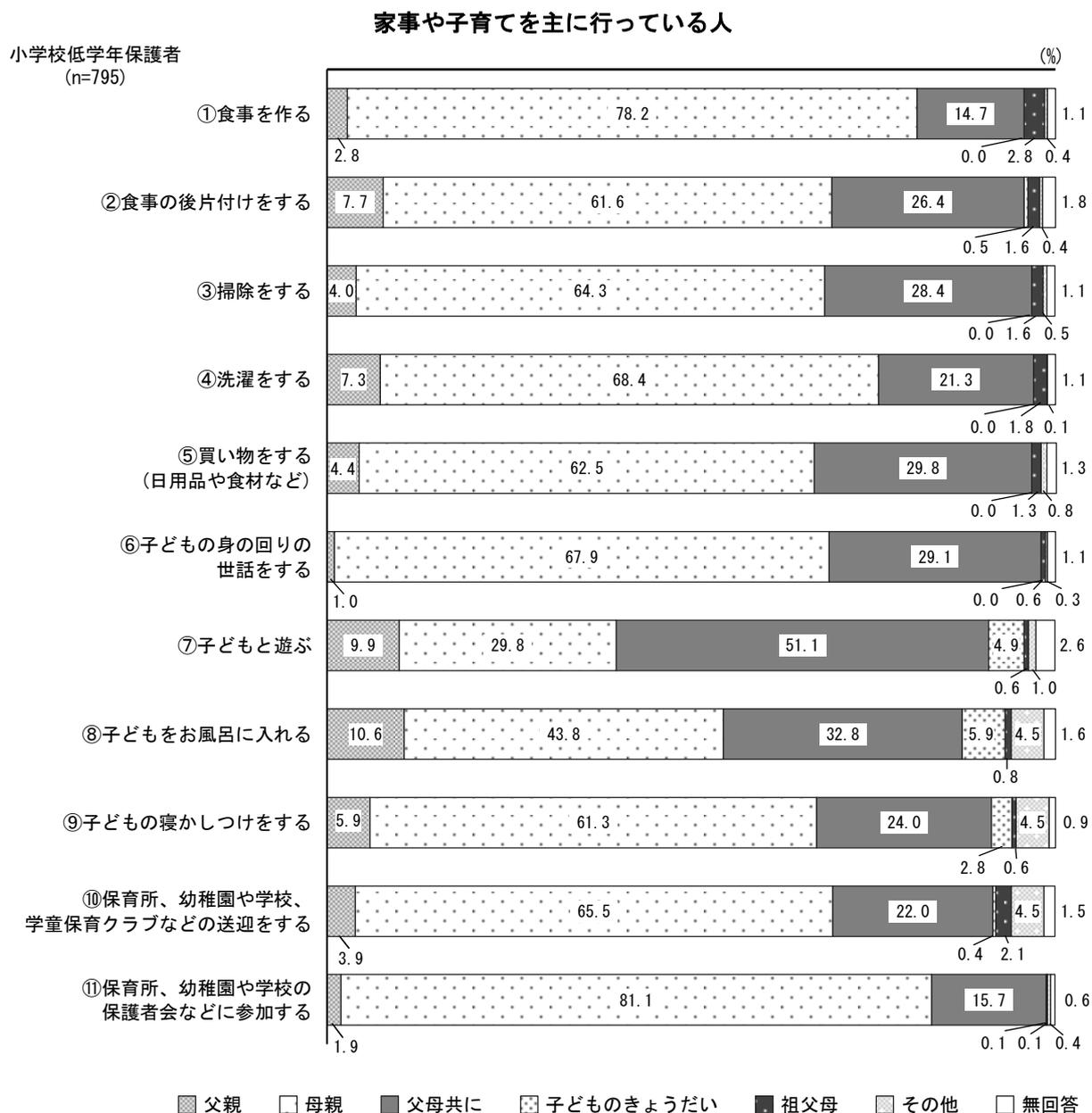
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、教えてください。
 【〇は1つだけ】



(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

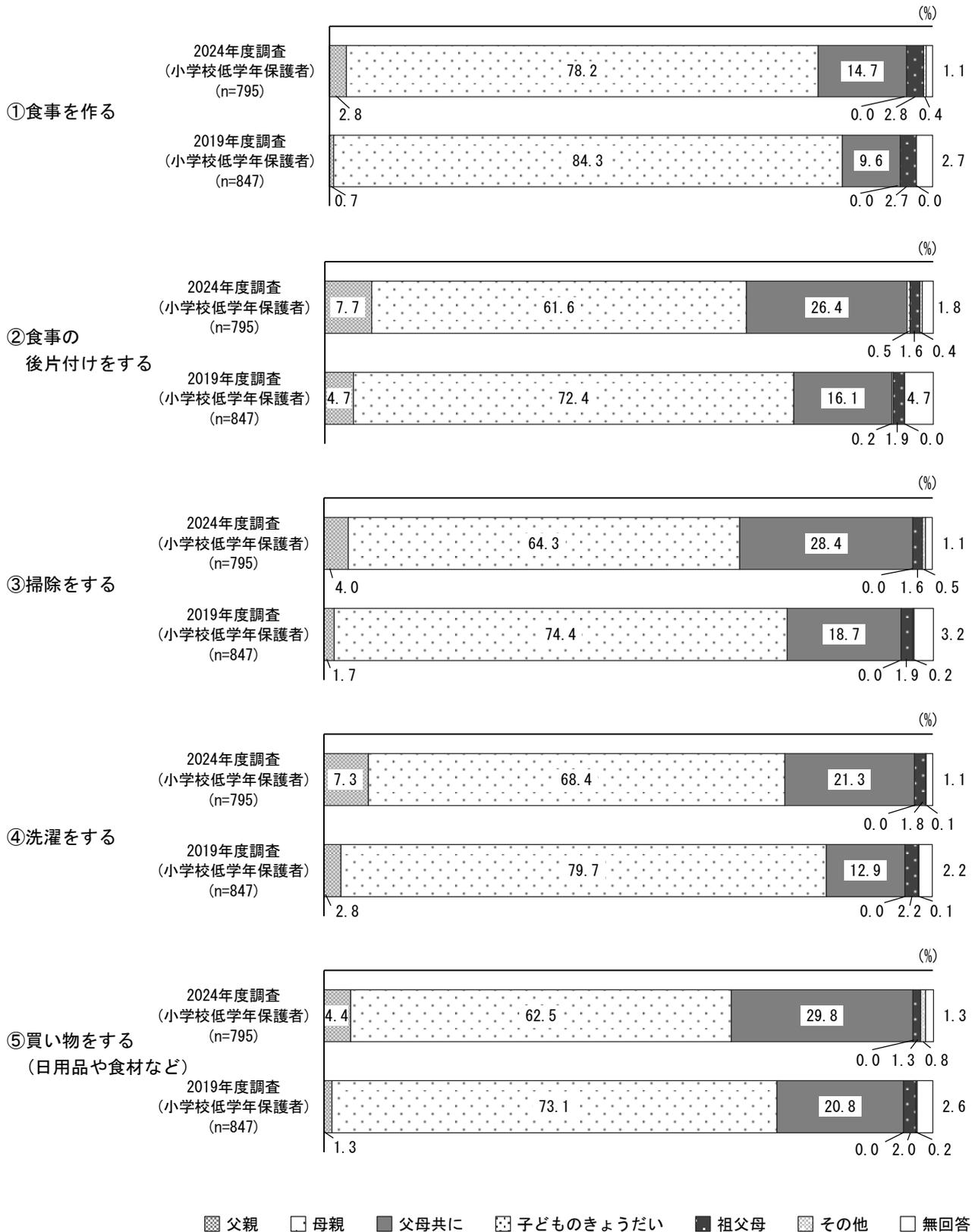
問6 家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。
①～⑪について、それぞれ1つに○をつけてください。

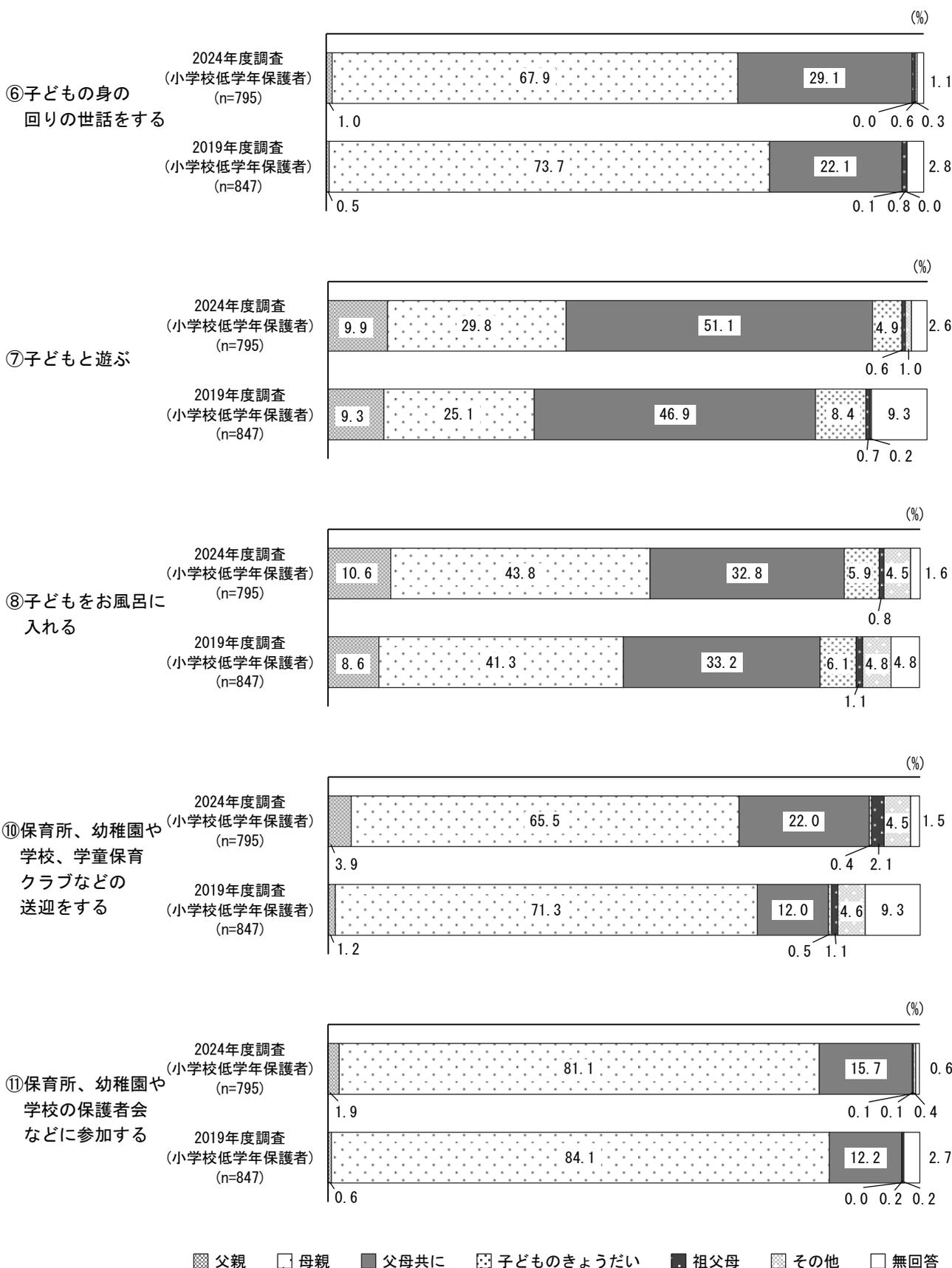
- 『⑦子どもと遊ぶ』を除くすべての項目で、「母親」の割合が最も高くなっています。
- 「父母共に」の割合は、『⑦子どもと遊ぶ』のみ半数以上となっています。



○ 2019年度調査との比較

- 『⑧子どもをお風呂に入れる』を除くすべての項目で、「父母共に」の割合が増加しており、特に『②食事の後片付けをする』『⑩保育所、幼稚園や学校、学童保育クラブなどの送迎をする』では約10ポイント増加しています。



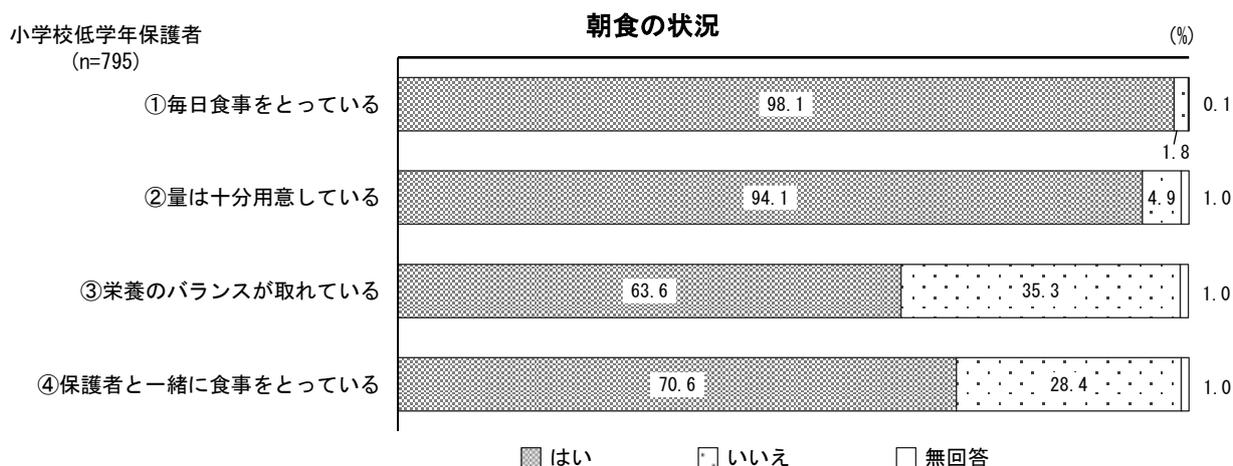


※「⑨子どもの寝かしつけをする」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

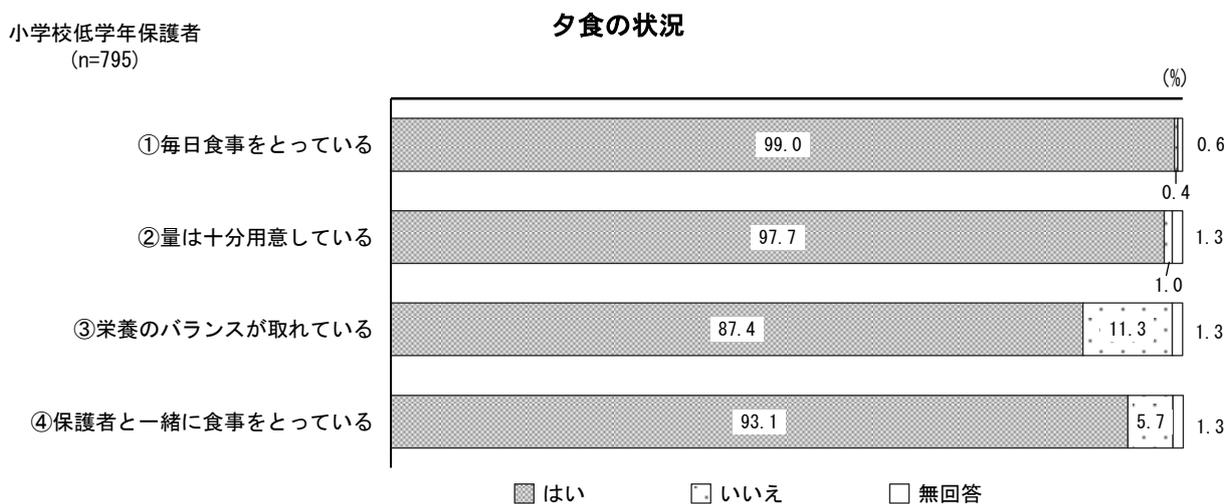
問7 あて名のお子さんの食事について、お答えください。
 ①～④ごとに、A・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 朝食】

- 「はい」の割合は、『①毎日食事をとっている』『②量は十分用意している』では、9割以上と高くなっていますが、『③栄養のバランスが取れている』『④保護者と一緒に食事をとっている』では、7割前後と比較的低くなっています。



【B 夕食】

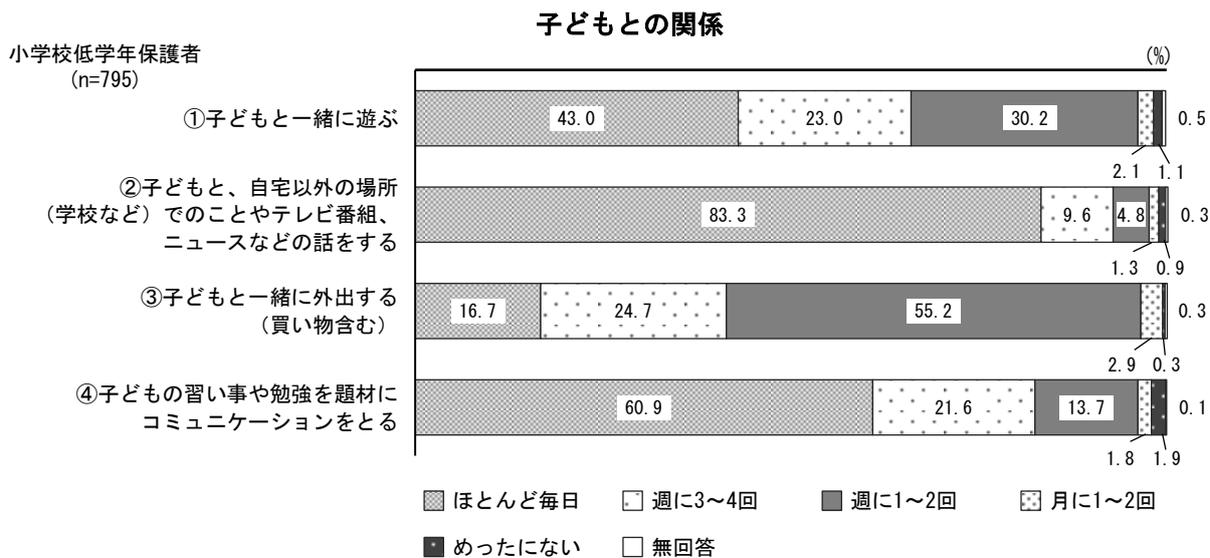


問8 あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る（料理する）ことがどのくらいありますか。【○は1つだけ】
 ※食事を作る（料理する）には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。



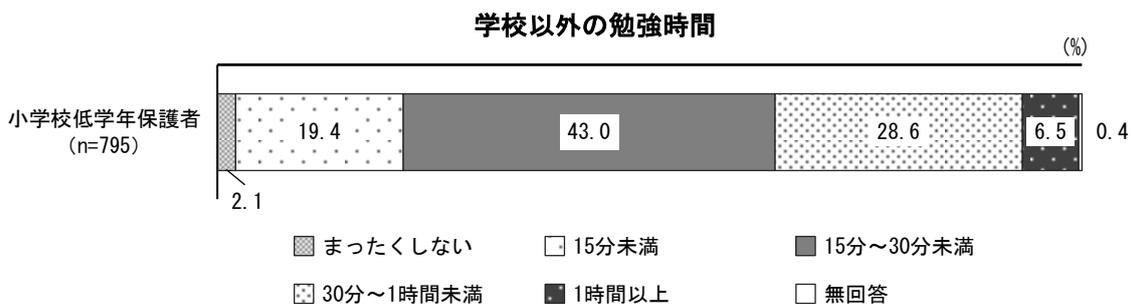
問9 あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
 あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。
 ①~④について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『③子どもと一緒に外出する（買い物含む）』以外の項目では、「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。
- 『③子どもと一緒に外出する（買い物含む）』では、「週に1~2回」の割合が最も高くなっています。



問10 あて名のお子さんの学習環境についてお伺いします。
 あて名のお子さんは、普段（月曜日～金曜日）、学校以外で1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。【〇は1つだけ】
 ※塾などの時間も含まれます。

- 「15分～30分未満」が43.0%と最も多く、次いで「30分～1時間未満」が28.6%、「15分未満」が19.4%となっています。

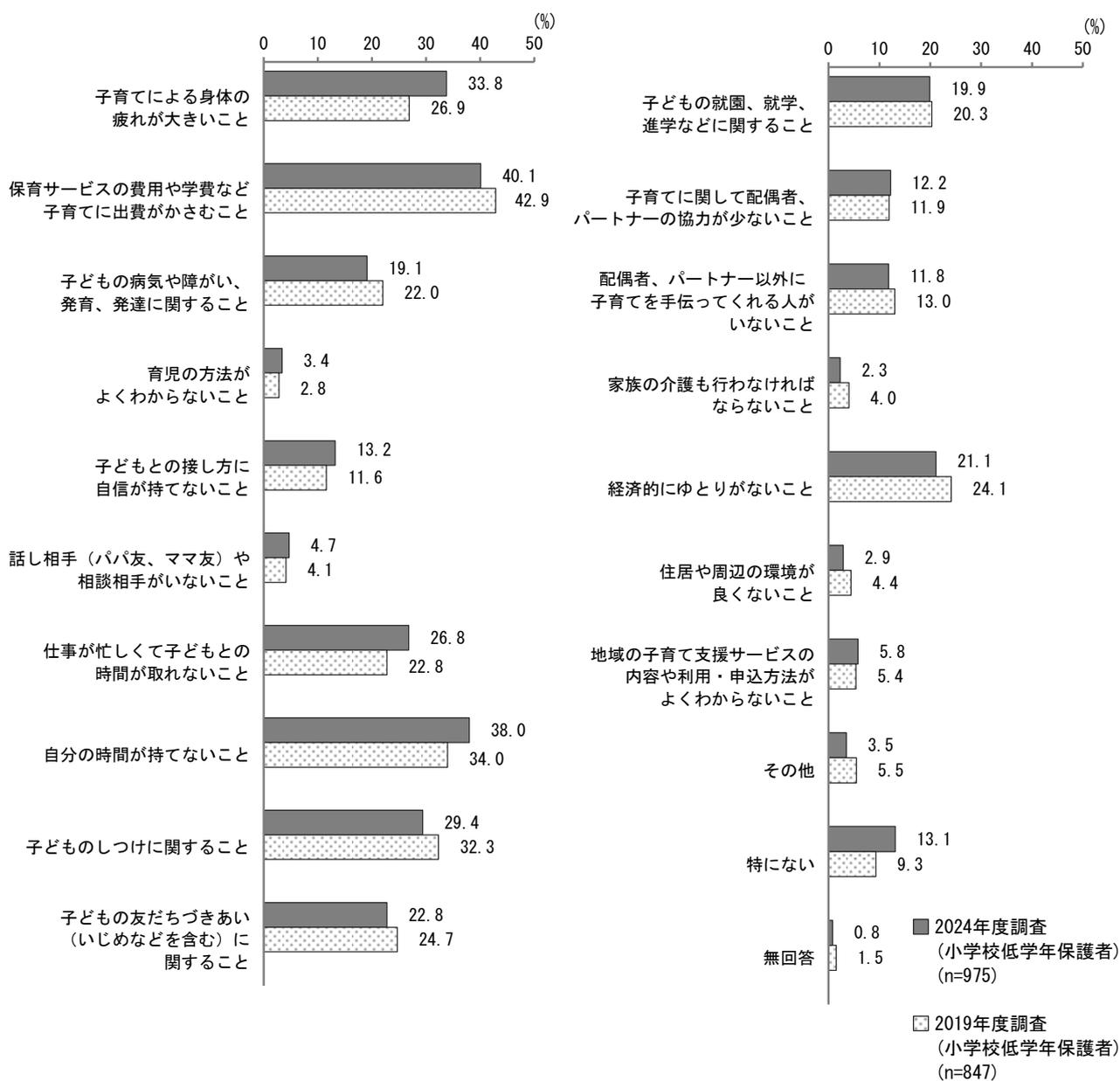


(3) 子育ての悩みについて

問11 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」が40.1%と最も多く、次いで「自分の時間が持てないこと」が38.0%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が33.8%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が最も増加し、「経済的にゆとりがないこと」の割合が最も減少しています。

子育ての悩み
(複数回答)



【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、『フルタイム』では、「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」の割合が最も高く、次いで「自分の時間が持てないこと」の割合が高くなっています。
- 『パートタイム、アルバイトなど』『以前は就労していたが、現在は就労していない』では、どちらも「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が最も高くなっています。次いで、『パートタイム、アルバイトなど』では「自分の時間が持てないこと」、『以前は就労していたが、現在は就労していない』では「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

子育ての悩み【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手(パパ友、ママ友)や相談相手がいらないこと	仕事で忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関すること	子どもの友だちつきあい(いじめなどを含む)に関すること	子どもの就園、就学、進学などに関すること	子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと	配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	家族の介護も行わなければならないこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にない	無回答
フルタイム	261	32.2	37.9	16.9	3.4	11.1	3.4	51.7	47.9	28.4	21.1	21.5	11.5	10.3	1.9	21.8	2.7	5.7	3.8	11.5	0.8
フルタイムで、 現在産休・育休・ 介護休暇中	16	50.0	68.8	6.3	6.3	12.5	12.5	25.0	43.8	37.5	31.3	18.8	-	12.5	-	6.3	6.3	18.8	-	6.3	-
パートタイム、 アルバイトなど	297	32.3	42.8	18.9	3.0	13.5	2.7	20.9	36.7	29.6	22.9	18.5	11.4	12.1	2.4	22.9	3.4	3.4	3.0	11.4	0.7
パートタイム、 アルバイトなどで、 現在産休・育休・ 介護休暇中	5	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	60.0	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-
以前は就労 していたが、 現在は就労 していない	184	36.4	37.5	23.4	3.8	16.3	7.6	3.3	25.0	29.9	23.9	21.7	15.2	14.1	2.7	16.8	2.7	8.7	4.3	18.5	-
これまでに 就労した ことがない	12	25.0	33.3	25.0	-	8.3	-	8.3	41.7	16.7	25.0	-	16.7	16.7	8.3	25.0	-	8.3	-	25.0	-

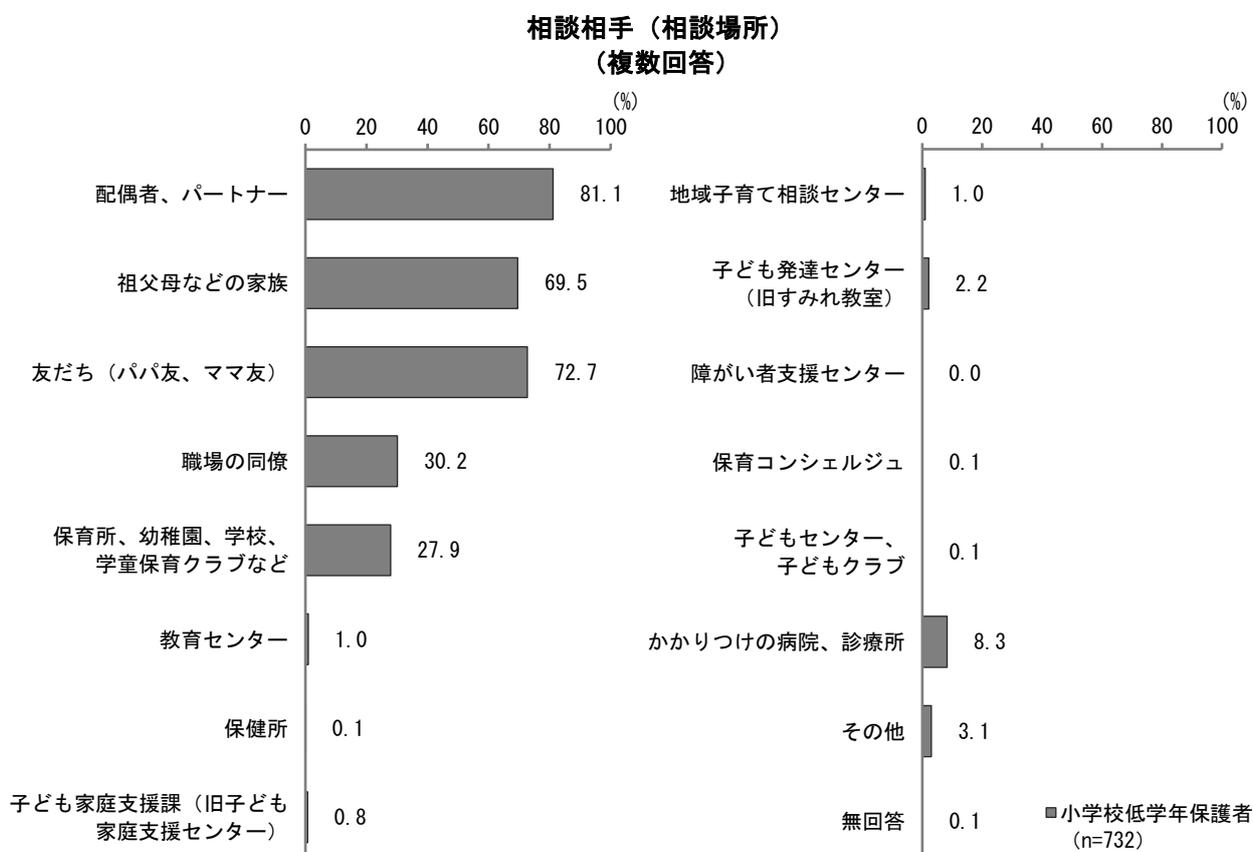
問12 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所がありますか）。
【○は1つだけ】



※問12-1は、問12で「いる／ある」を選択した人のみ回答

問12-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「配偶者、パートナー」が81.1%と最も多く、次いで「友だち（パパ友、ママ友）」が72.7%、「祖父母などの家族」が69.5%となっています。

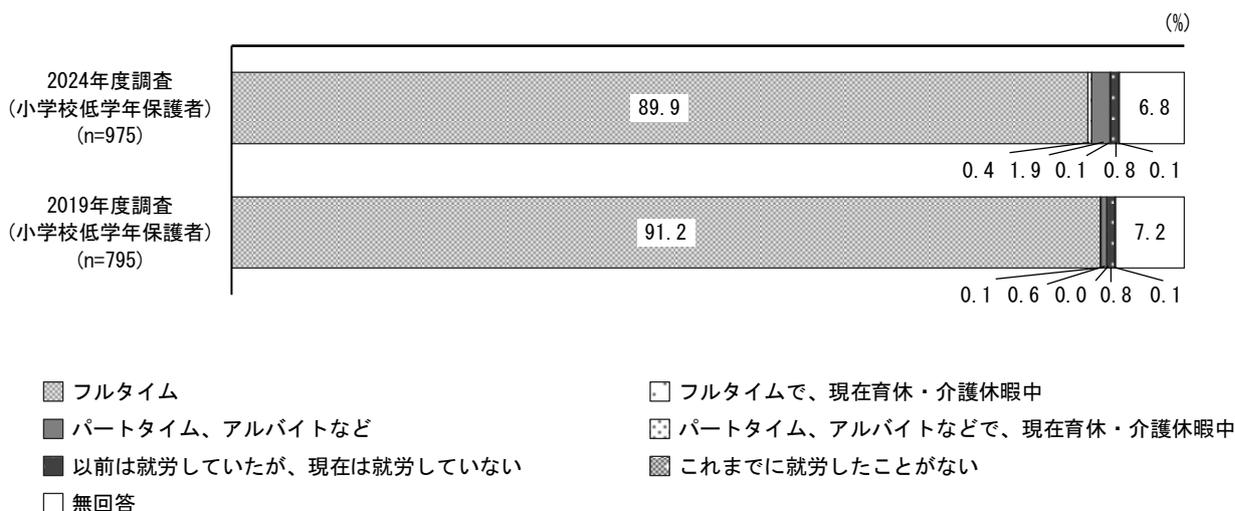


(4) 保護者の就労状況について

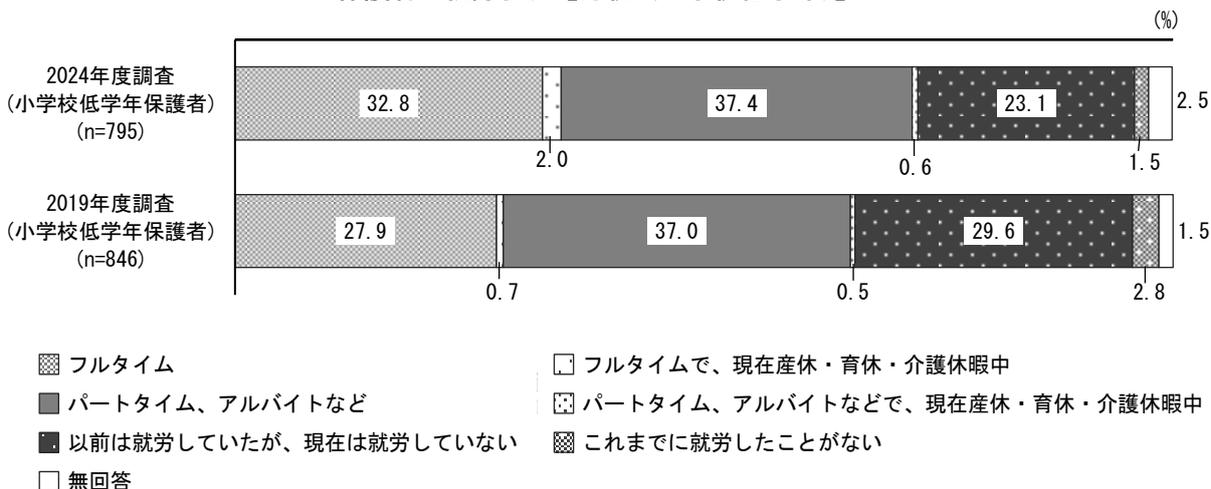
問13 現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は1つだけ】

- 母親は、「パートタイム、アルバイトなど」が37.4%と最も多く、次いで「フルタイム」が32.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.1%となっています。
- 2019年度調査と比較すると、父親は大きな差はありませんが、母親は「フルタイム」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

保護者の就労状況【父親（小学校低学年）】



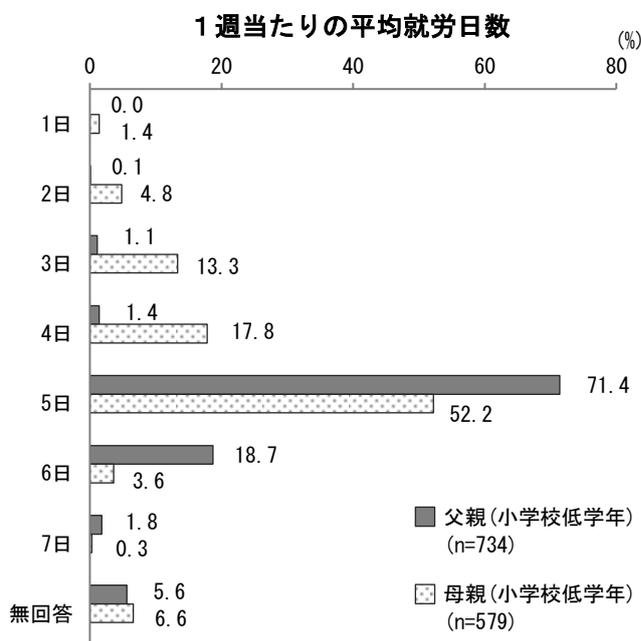
保護者の就労状況【母親（小学校低学年）】



※【1週当たりの就労日数】から【帰宅時間】については、問13で就労中（現在、産休・育休・介護休暇中）の項目を選択した人のみ回答

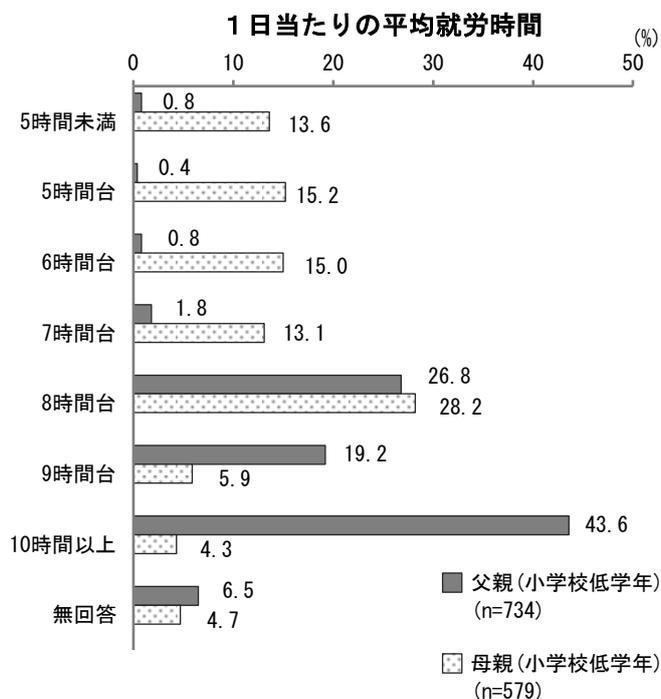
【1週当たりの平均就労日数】

- 父親、母親どちらも「5日」が最も多く、次いで父親では「6日」、母親では「4日」が多くなっています。



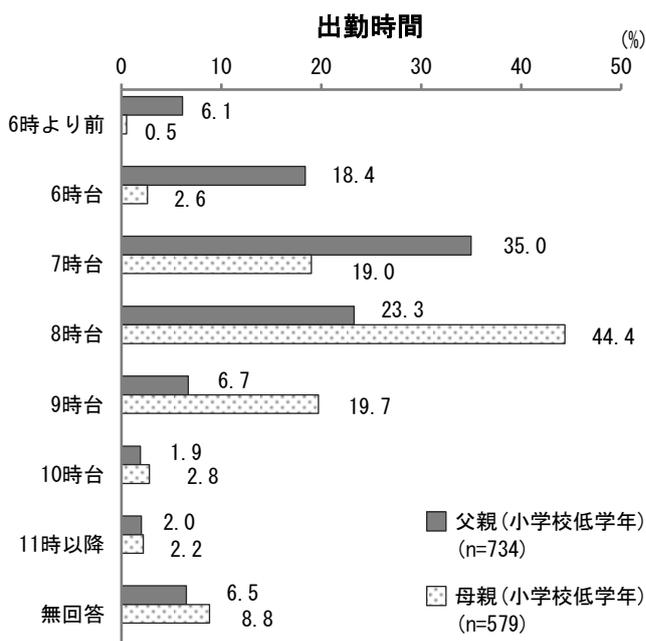
【1日当たりの平均就労時間】

- 父親では「8時間台」以上の割合が比較的高く、「10時間以上」が43.6%と最も高くなっています。また、「5時間台」が0.4%と最も低くなっています。
- 母親では「8時間台」以下の割合が比較的高く、「8時間台」が28.2%と最も高くなっています。また、「10時間以上」が4.3%と最も低くなっています。



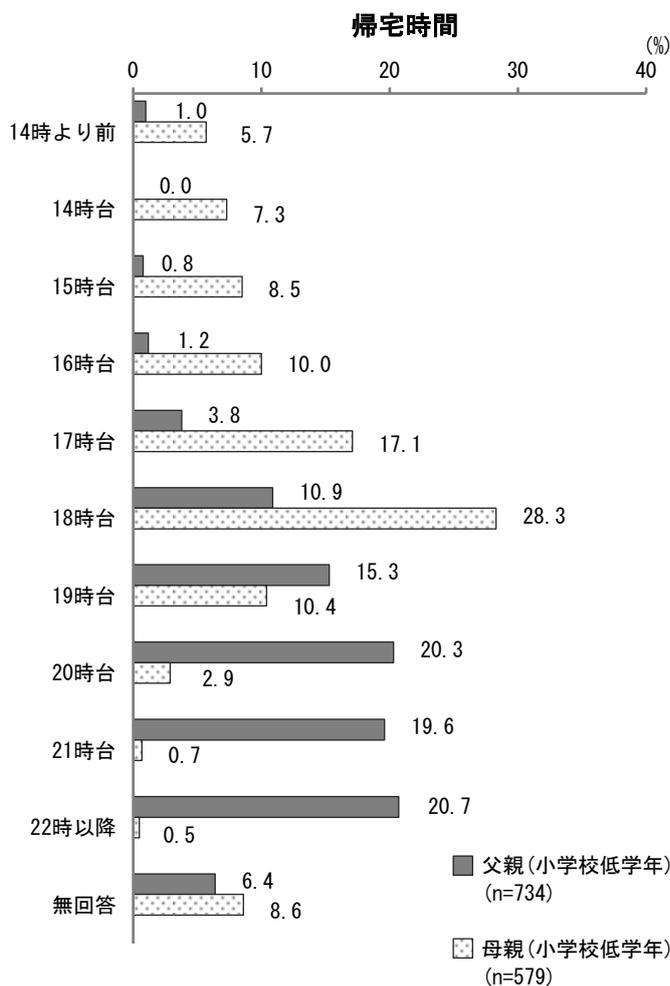
【出勤時間】

- 父親では「6～8時台」の割合が比較的高く、「7時台」が35.0%と最も高くなっています。また、「10時台」が1.9%と最も低くなっています。
- 母親では「7～9時台」の割合が比較的高く、「8時台」が44.4%と最も高くなっています。また、「6時より前」が0.5%と最も低くなっています。



【帰宅時間】

- 父親では「20時台」以降の割合が比較的高く、「22時以降」が20.7%と最も高くなっています。
- 母親では「19時台」以前の割合が比較的高く、「18時台」が28.3%と最も高くなっています。

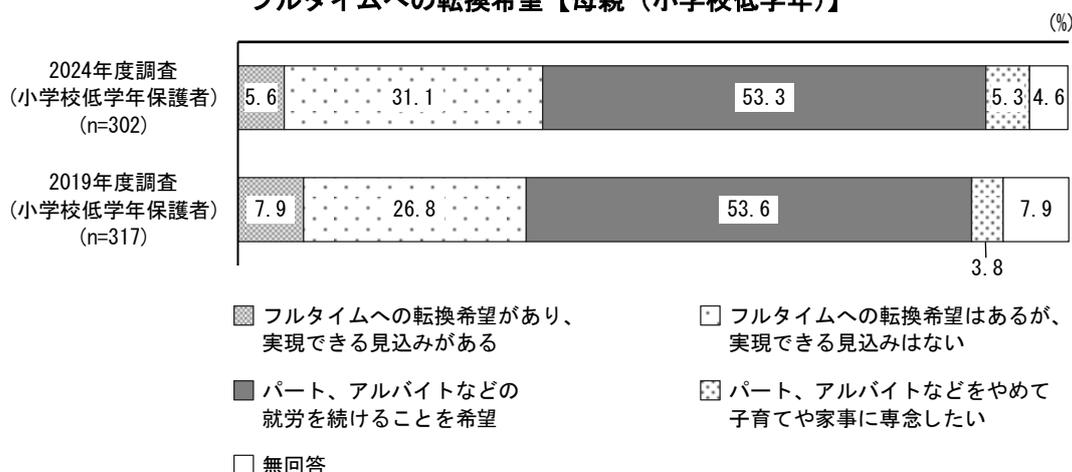


※問13-1は、問13で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中」を選択した人のみ回答

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】

- 母親は、「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」が53.3%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が31.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.6%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が最も増加しています。

フルタイムへの転換希望【母親（小学校低学年）】



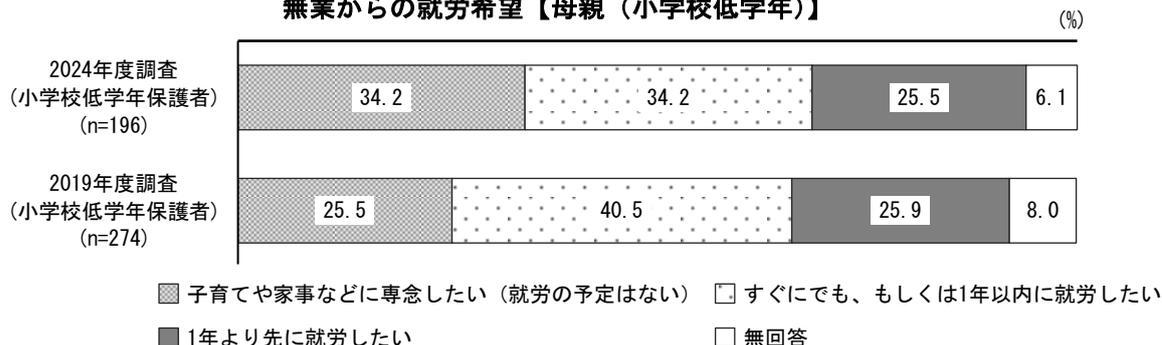
※問13-2は、問13で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選択した人のみ回答

問13-2 就労希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】

「1年より先に就労したい」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

- 母親は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が34.2%と最も多く、次いで、「1年より先に就労したい」が25.5%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加しています。

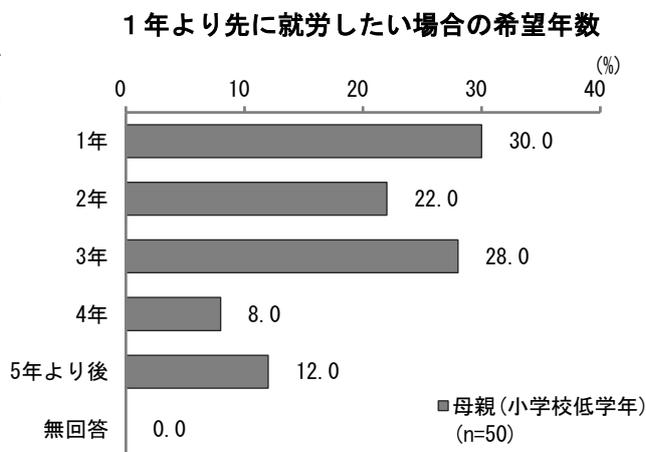
無業からの就労希望【母親（小学校低学年）】



※【1年より先に就労したい場合の希望年数】は、問13-2で「1年より先に就労したい」を選択した人のみ回答

【1年より先に就労したい場合の希望年数】

- 「1年」が30.0%と最も多く、次いで「3年」が28.0%、「2年」が22.0%となっています。



※【希望の就労形態】は、問13-2で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した人のみ回答

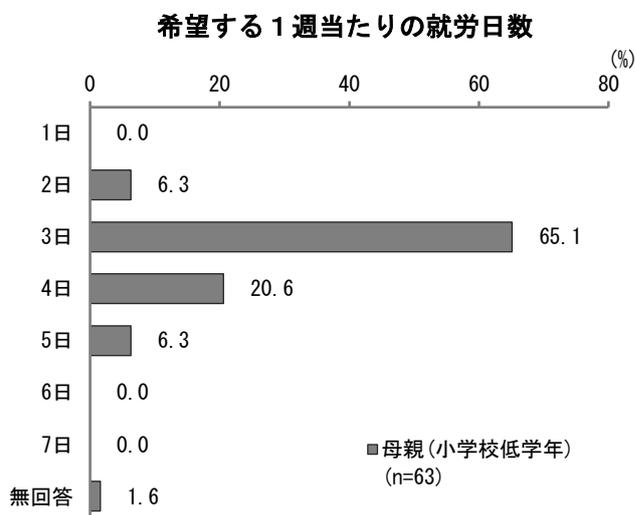
【希望の就労形態】



※【希望する1週当たりの就労日数】【希望する1日当たりの就労時間】は、【希望の就労形態】で「パートタイム、アルバイトなど」を選択した人のみ回答

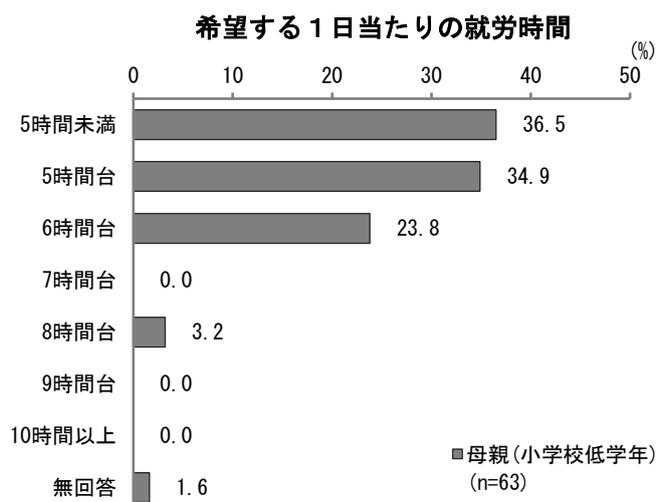
【希望する1週当たりの就労日数】

- 「3日」が65.1%と最も多く、次いで「4日」が20.6%、「2日」「5日」が6.3%となっています。



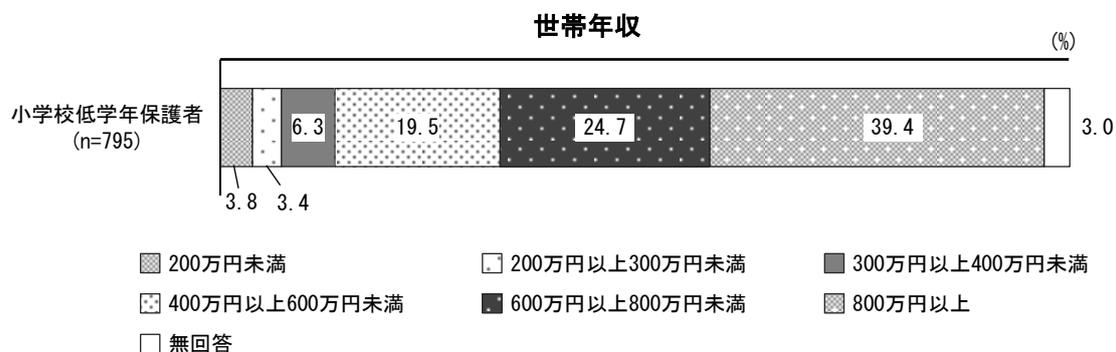
【希望する1日当たりの就労時間】

- 「5時間未満」が36.5%と最も多く、次いで「5時間台」が34.9%、「6時間台」が23.8%となっています。



問14 2023年の世帯合計の年間総収入額（手当、養育費、生活保護費などを含む）をお答えください。【〇は1つだけ】

- 「800万円以上」が39.4%と最も多く、次いで「600万円以上800万円未満」が24.7%、「400万円以上600万円未満」が19.5%となっています。



(5) 子育て支援事業の利用状況について

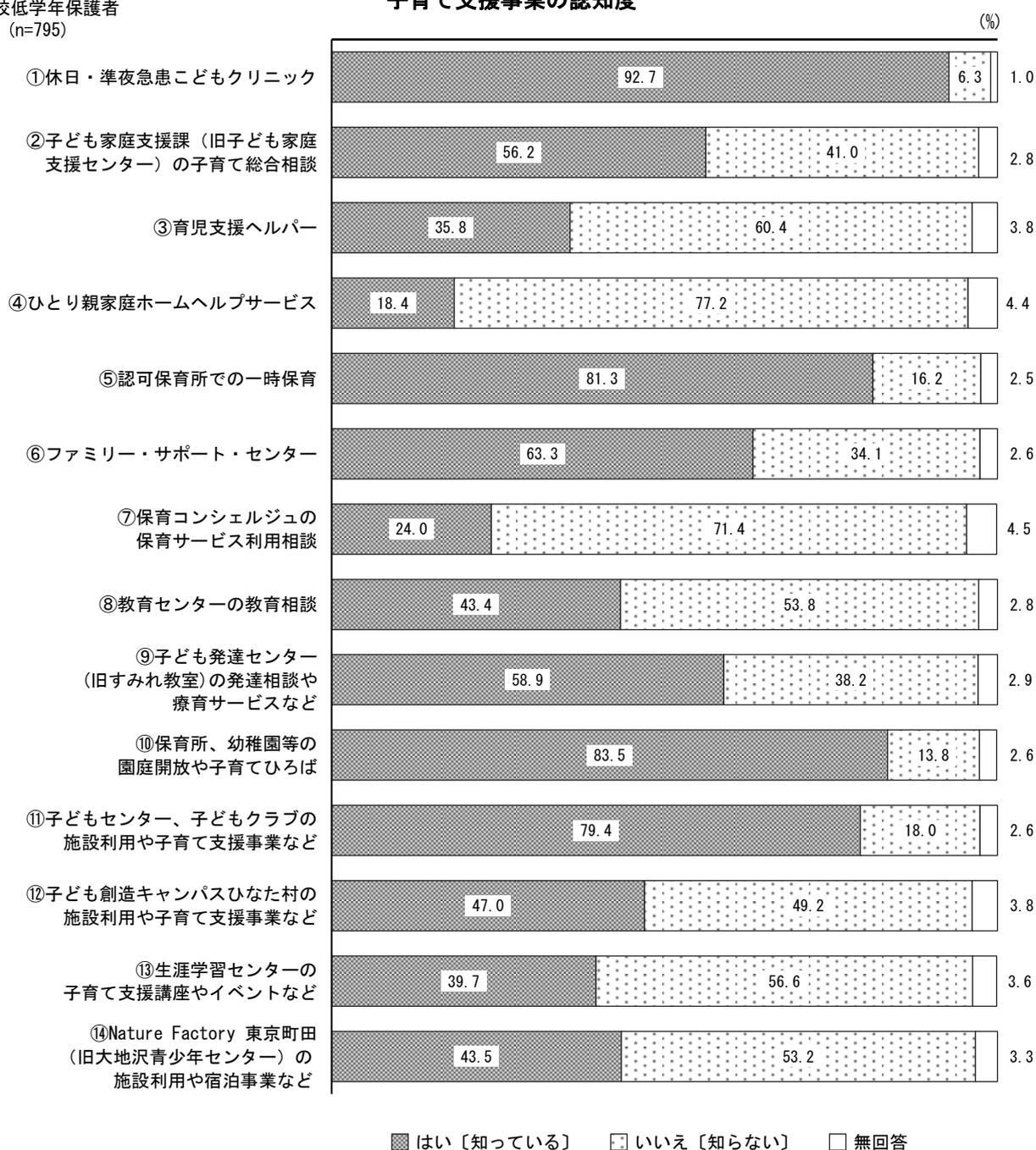
問15 下記のサービスについて、お答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 認知度】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑤認可保育所での一時保育』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』は、知っている人の割合が8割以上と高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は知らない人の割合が7割以上となっています。

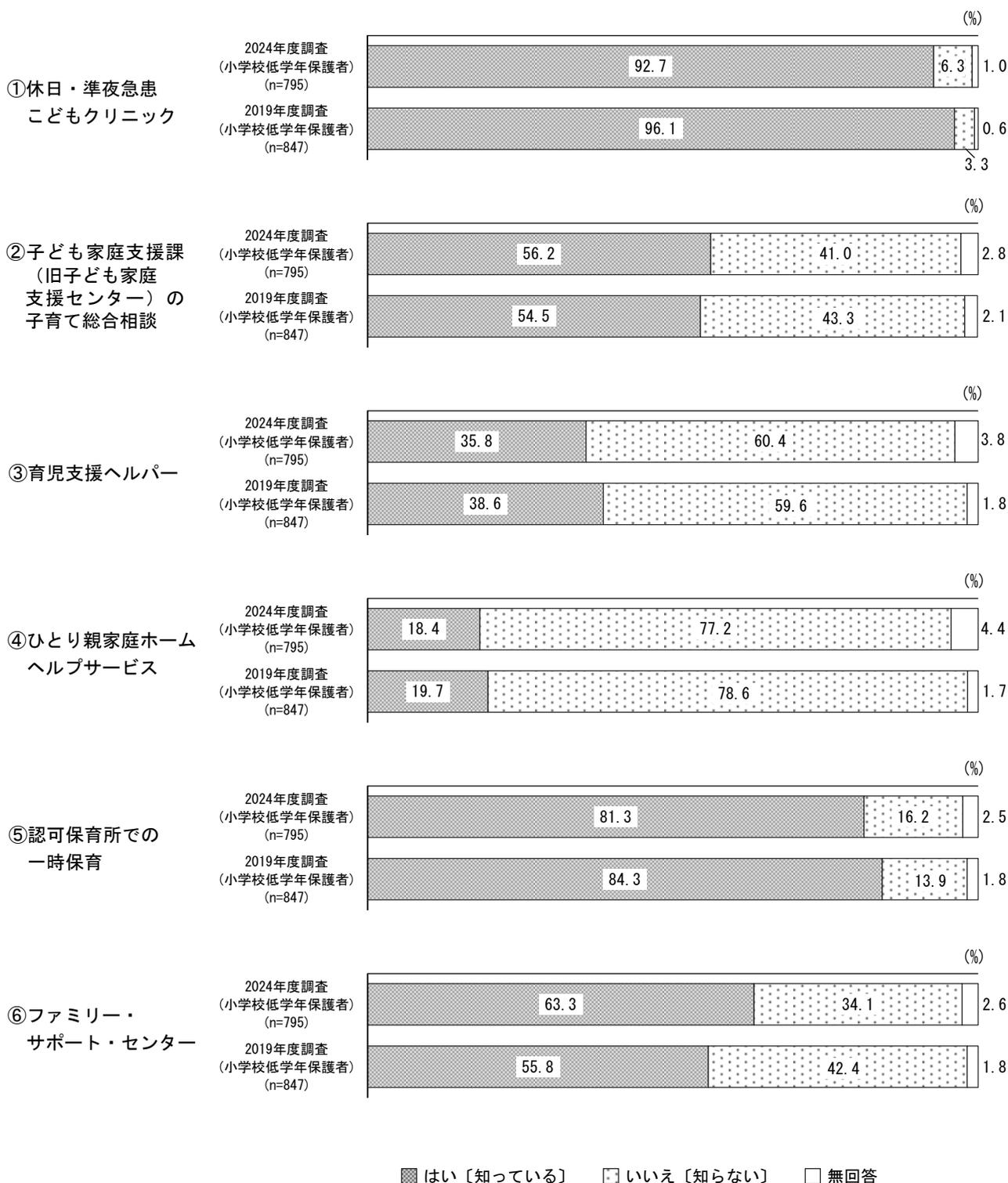
小学校低学年保護者
(n=795)

子育て支援事業の認知度

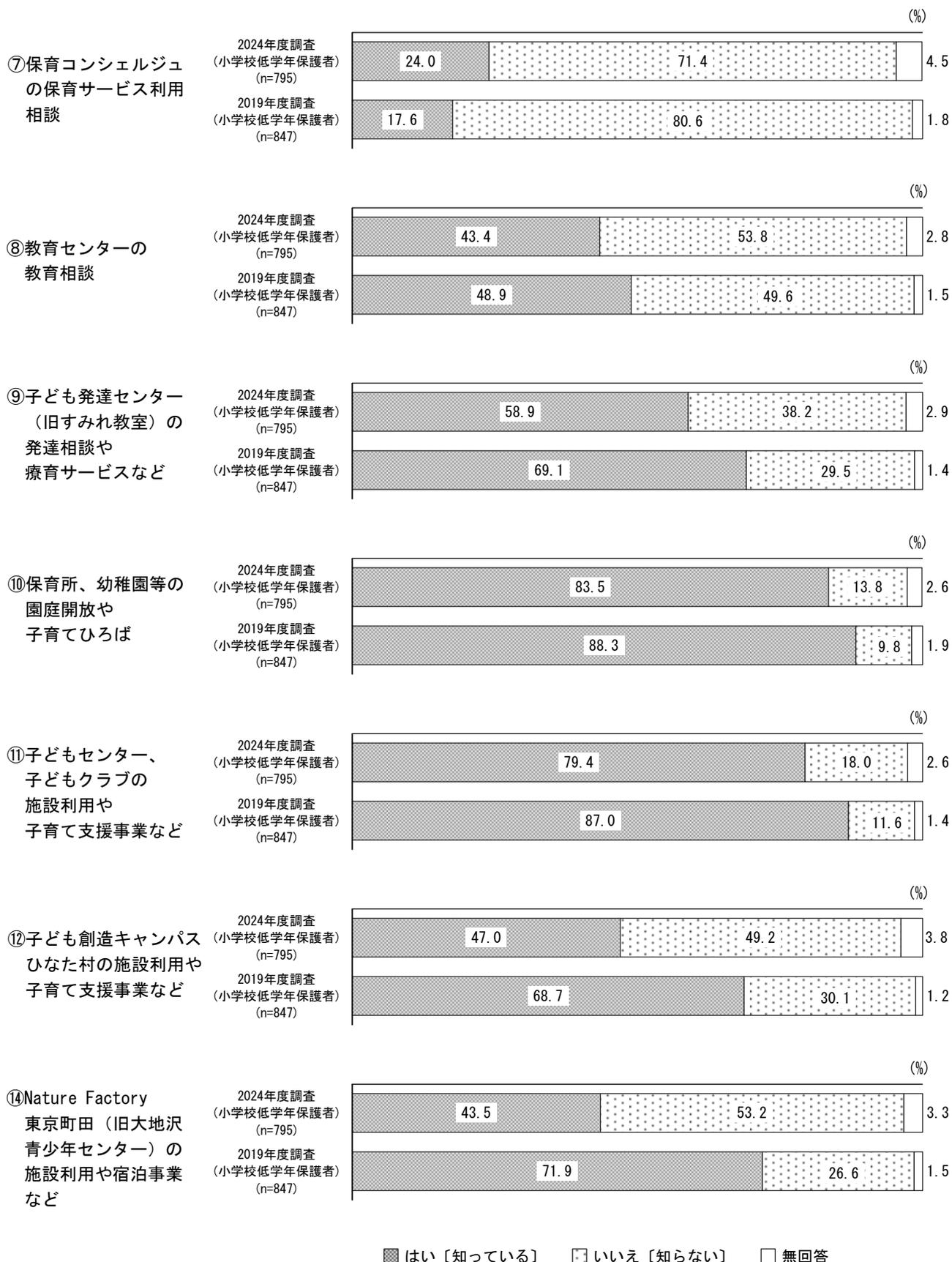


○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、知っている人の割合は、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』が最も増加し、『⑭Nature Factory東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』が最も減少しています。



第2章 調査結果 3 【調査②】小学校低学年保護者



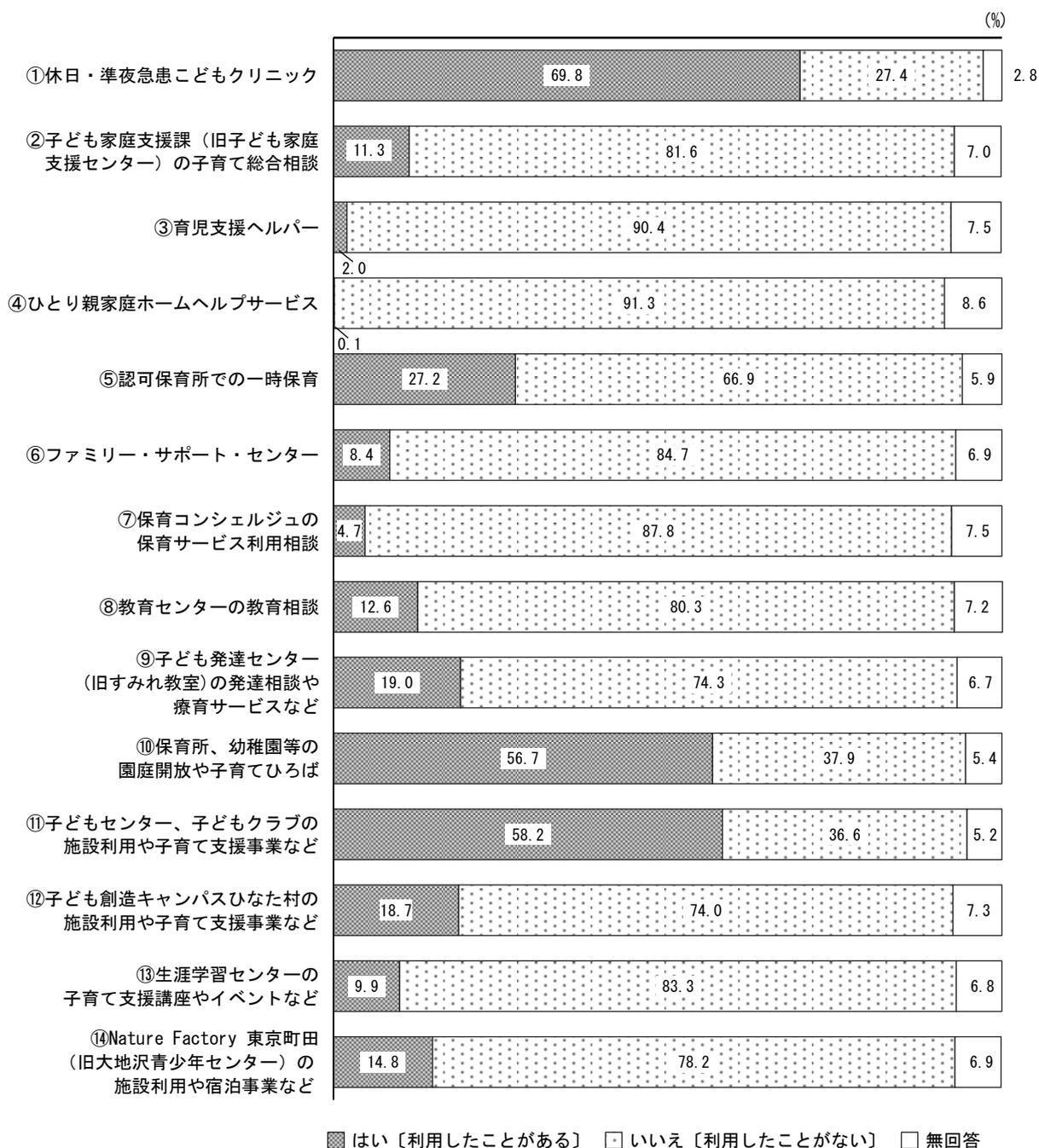
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【B 利用状況】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』は、利用したことがある人の割合が他の項目に比べて高くなっています。
- 『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑥ファミリー・サポート・センター』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』『⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど』は、利用したことがある人が1割未満となっています。

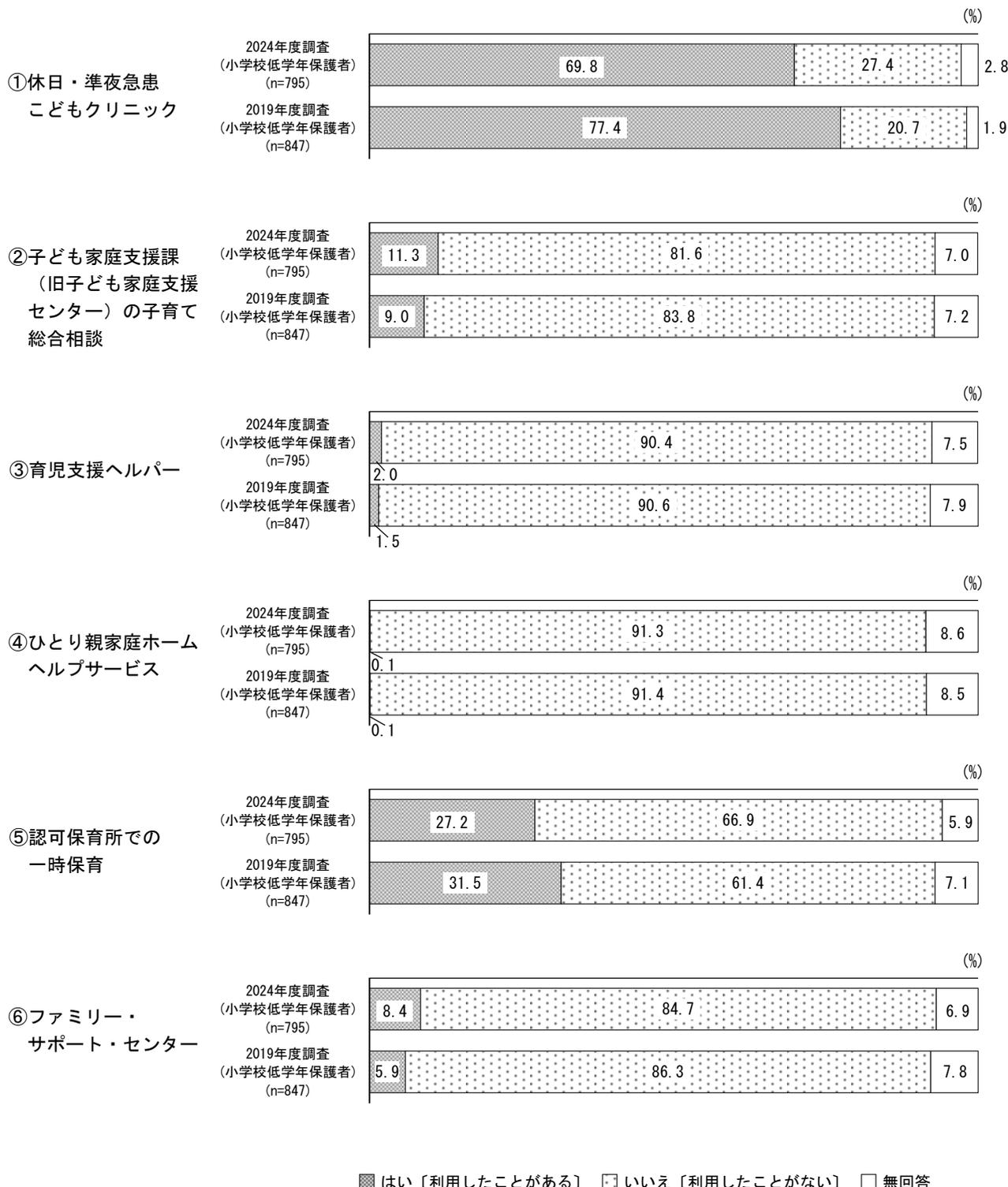
小学校低学年保護者
(n=795)

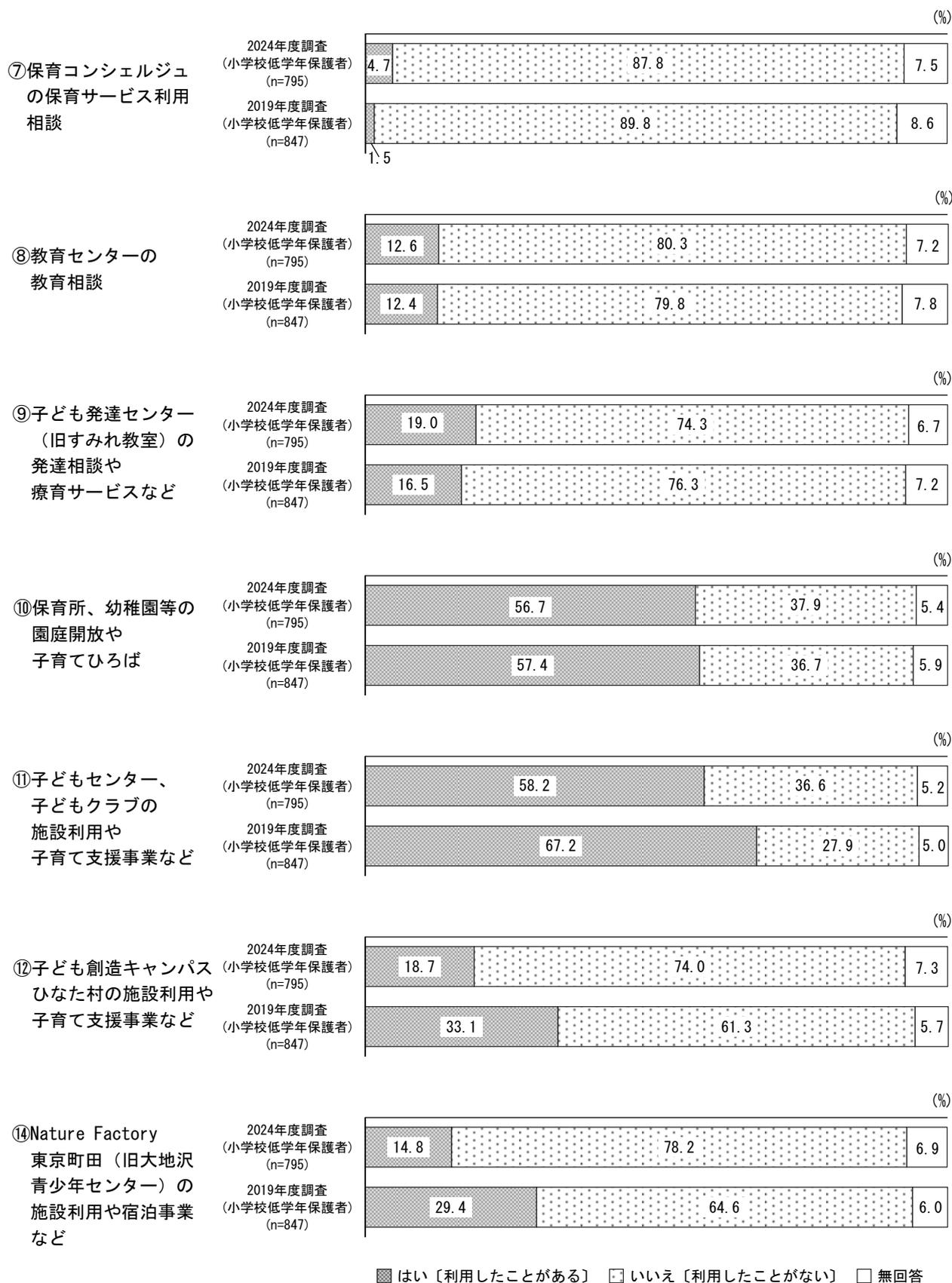
子育て支援事業の利用状況



○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、利用したことがある人の割合は、『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』が最も増加し、『⑭Nature Factory東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』が最も減少しています。





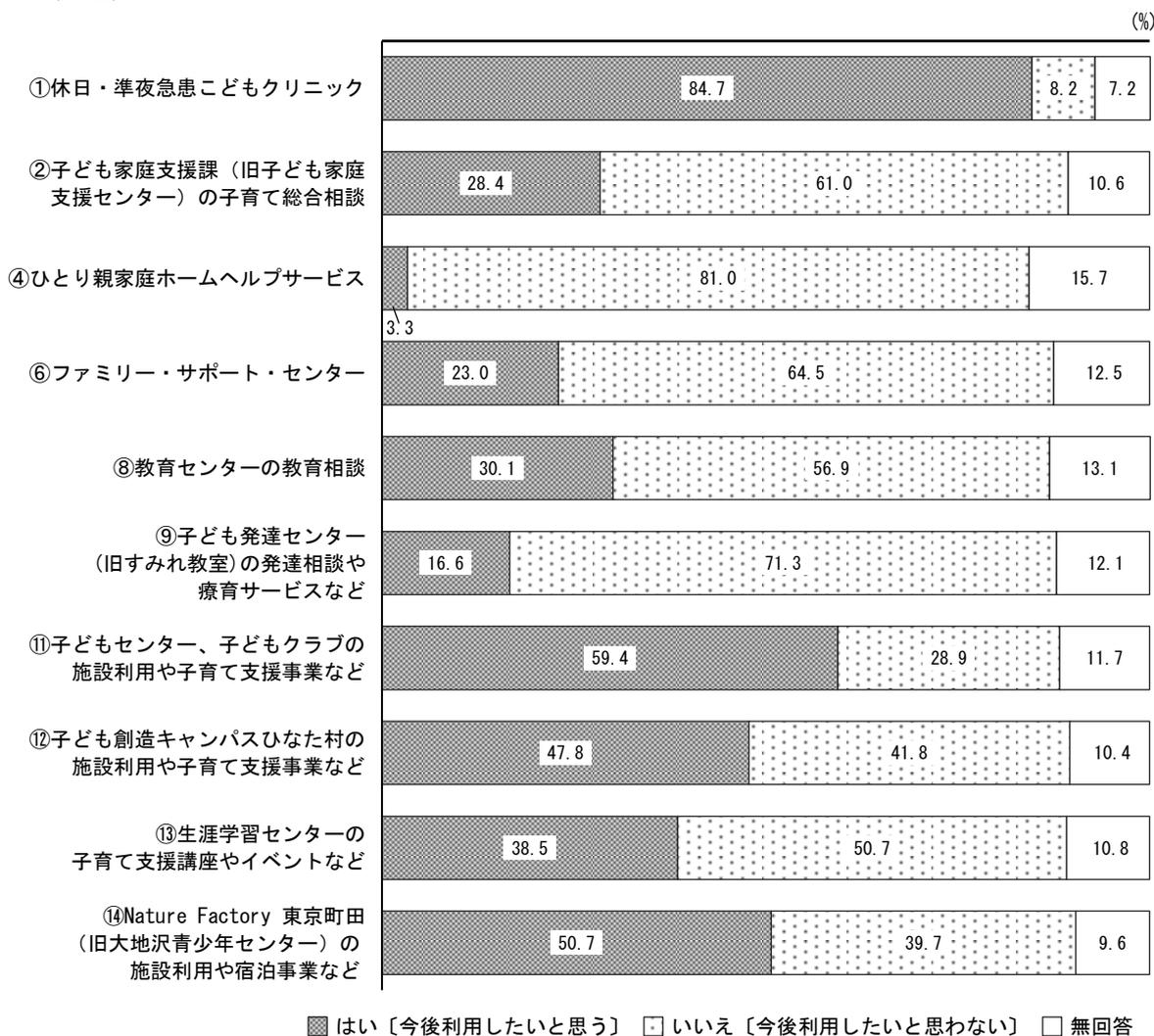
※ 「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【C 利用意向】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』は今後利用したいと思う人の割合が84.7%と、最も利用意向が高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』は、今後利用したいと思う人の割合が2割以下と低くなっています。

小学校低学年保護者
(n=795)

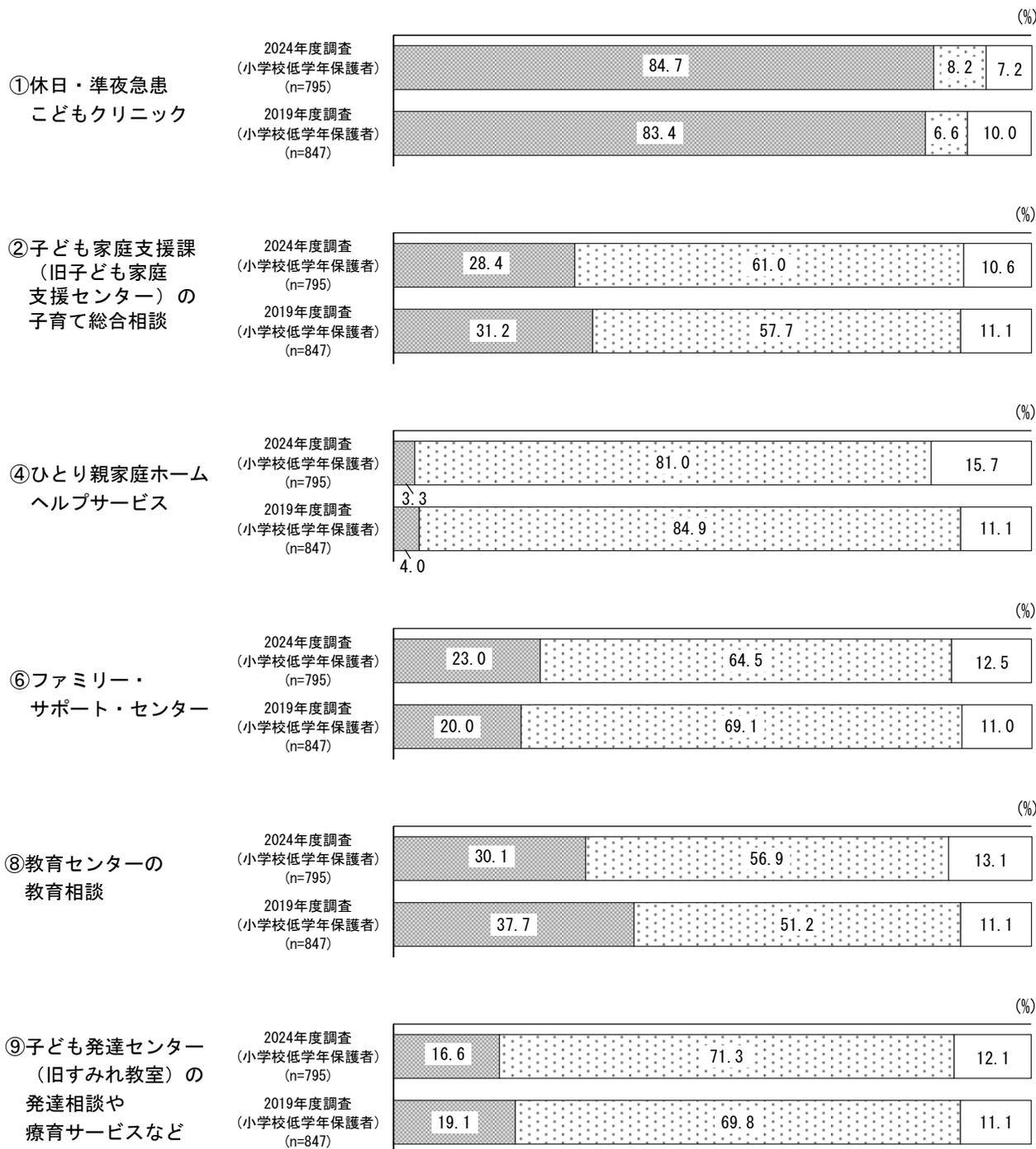
子育て支援事業の利用意向



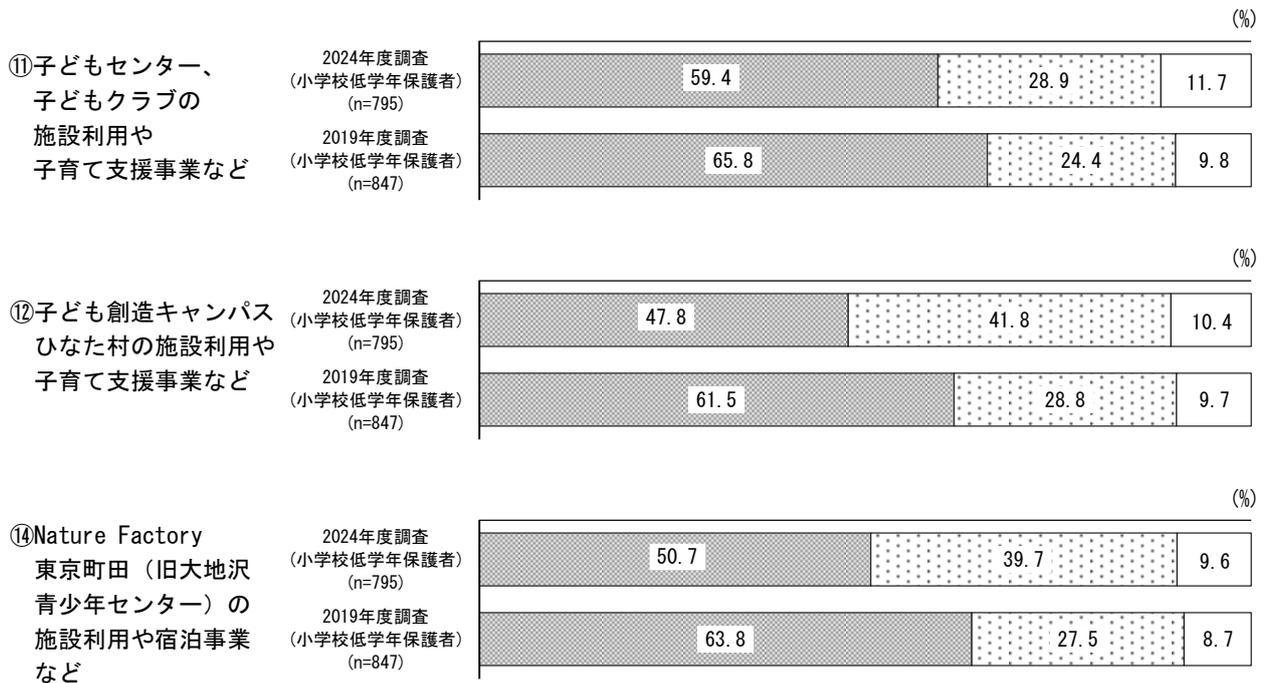
※ 「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、今後利用したいと思う人の割合は、『⑥ファミリー・サポート・センター』が最も増加し、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』が最も減少しています。



■ はい〔今後利用したいと思う〕 □ いいえ〔今後利用したいと思わない〕 □ 無回答

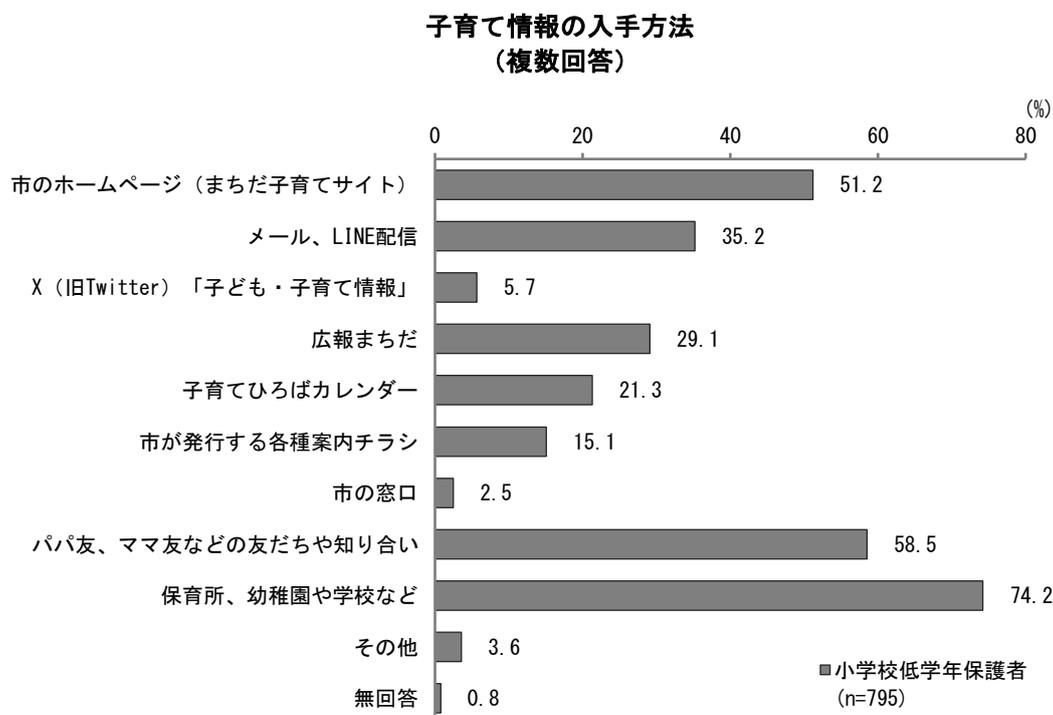


■ はい [今後利用したいと思う] □ 〇 いいえ [今後利用したいと思わない] □ 〇 無回答

※ 「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は、就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

問16 子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

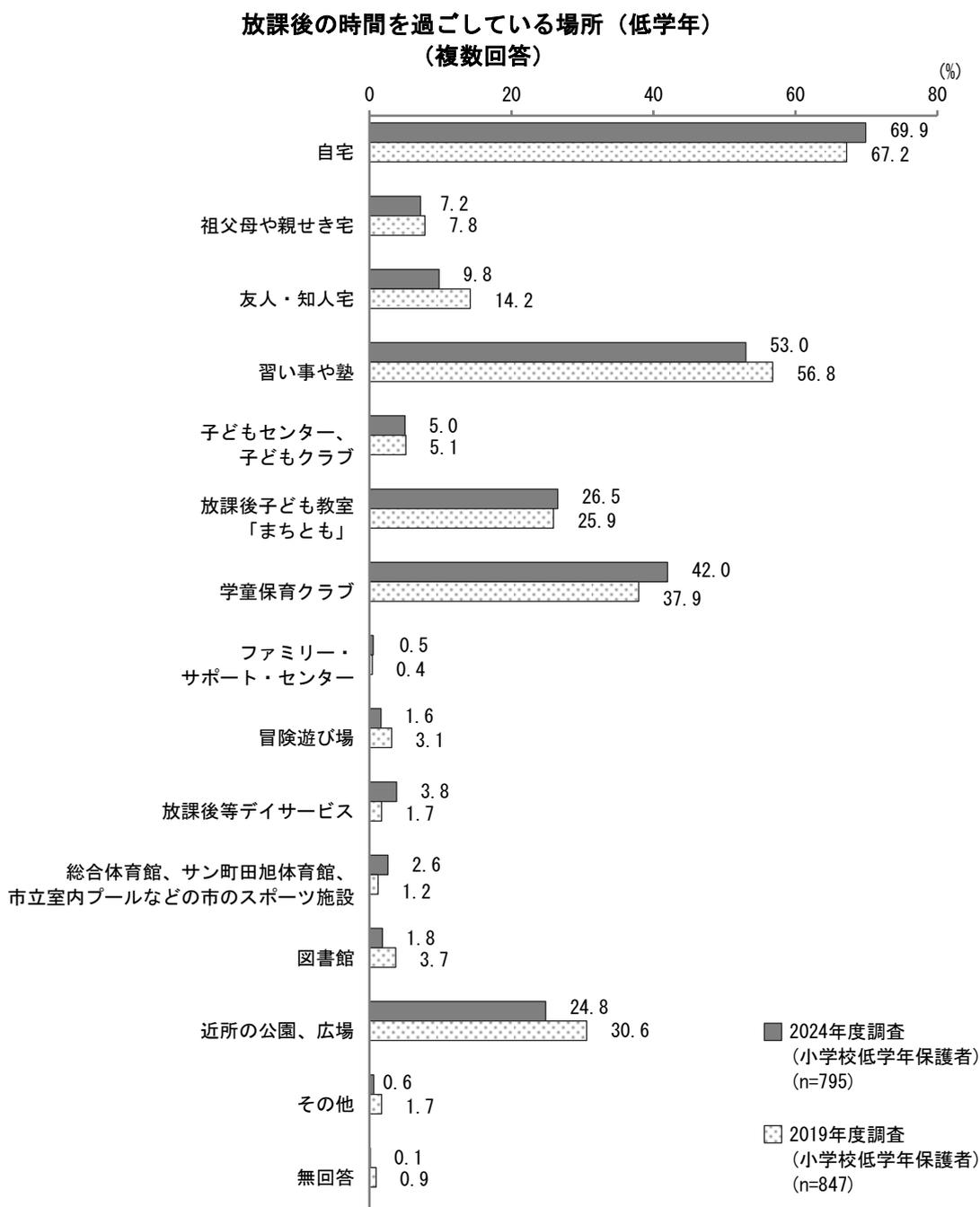
- 「保育所、幼稚園や学校など」が74.2%と最も多く、次いで「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が58.5%、「市のホームページ（まちだ子育てサイト）」が51.2%となっています。



(6) 放課後の過ごし方について

問17 あて名のお子さんは、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。【あてはまるものすべてに○】
 過ごしている場所にあてはまる場合、過ごしている週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「自宅」が69.9%と最も多く、次いで「習い事や塾」が53.0%、「学童保育クラブ」が42.0%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「学童保育クラブ」の割合が最も増加し、「近所の公園、広場」の割合が最も減少しています。



【1週当たりの日数】

- 半数以上の場所で「1日」の割合が最も高くなっています。
- 『自宅』『学童保育クラブ』では「5日」の割合が最も高くなっており、『学童保育クラブ』の「5日」の割合は半数以上となっています。

過ごしている1週当たりの日数（低学年）

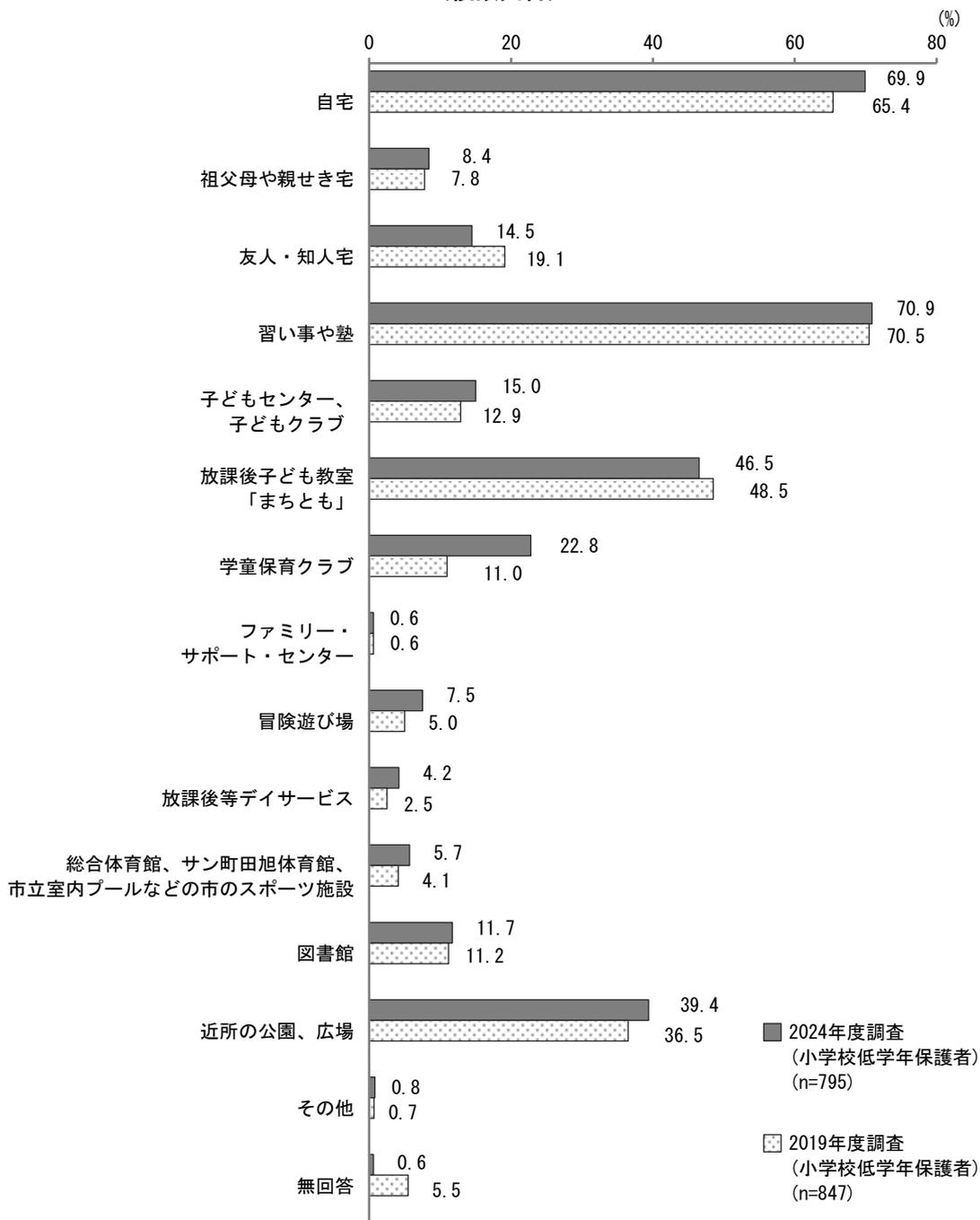
（%）

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	556	14.6	16.5	19.8	11.9	24.3	1.6	7.6	3.8
祖父母や親せき宅	57	45.6	10.5	12.3	7.0	15.8	1.8	1.8	5.3
友人・知人宅	78	69.2	15.4	7.7	-	1.3	-	-	6.4
習い事や塾	421	29.9	34.0	21.9	10.2	2.1	0.2	0.2	1.4
子どもセンター、子どもクラブ	40	60.0	12.5	5.0	5.0	-	5.0	-	12.5
放課後子ども教室「まちとも」	211	49.3	15.2	13.3	9.5	8.1	-	-	4.7
学童保育クラブ	334	1.8	6.6	11.1	22.5	53.3	2.7	-	2.1
ファミリー・サポート・センター	4	50.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0
冒険遊び場	13	38.5	23.1	15.4	-	-	-	-	23.1
放課後等デイサービス	30	13.3	20.0	16.7	23.3	20.0	-	-	6.7
総合体育館、サン町田旭体育館、 市立室内プールなどの市のスポーツ施設	21	95.2	-	-	-	-	-	-	4.8
図書館	14	85.7	7.1	-	-	-	-	-	7.1
近所の公園、広場	197	50.8	27.4	13.7	2.0	2.5	0.5	-	3.0
その他	5	-	40.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0

問18 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
 過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「習い事や塾」が70.9%と最も多く、次いで「自宅」が69.9%、「放課後子ども教室「まちとも」」が46.5%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「友人・知人宅」の割合が最も減少し、「学童保育クラブ」の割合が最も増加しています。

放課後の時間を過ごさせたい場所（高学年）
 （複数回答）



【1週当たりの希望日数】

- 多くの場所で「1日」または「2日」の割合が最も高くなっています。
- 『放課後等デイサービス』では「3日」、『学童保育クラブ』では「5日」の割合が最も高くなっています。

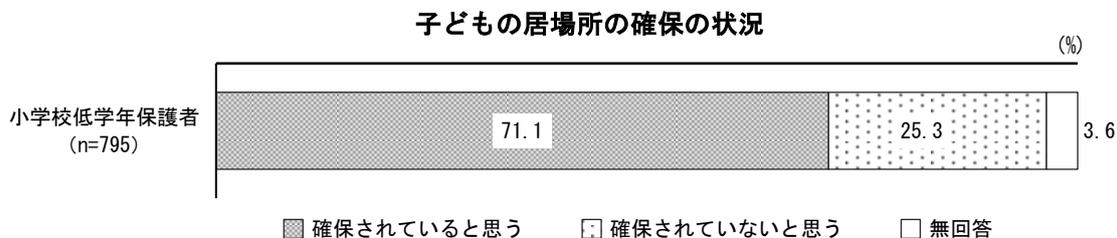
過ごさせたい1週当たりの日数（高学年）

（%）

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	556	18.3	27.3	20.1	4.5	19.4	0.9	3.4	5.9
祖父母や親せき宅	67	38.8	23.9	11.9	1.5	16.4	1.5	1.5	4.5
友人・知人宅	115	65.2	20.0	6.1	-	1.7	-	-	7.0
習い事や塾	564	19.3	37.6	28.4	7.1	3.5	0.2	-	3.9
子どもセンター、子どもクラブ	119	47.1	17.6	16.8	-	4.2	1.7	-	12.6
放課後子ども教室「まちとも」	370	25.9	28.1	21.9	5.4	11.6	0.3	-	6.8
学童保育クラブ	181	8.3	18.2	22.1	11.0	32.6	1.1	-	6.6
ファミリー・サポート・センター	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-
冒険遊び場	60	56.7	18.3	10.0	3.3	1.7	-	-	10.0
放課後等デイサービス	33	18.2	15.2	27.3	18.2	15.2	-	-	6.1
総合体育館、サン町田旭体育館、 市立室内プールなどの市のスポーツ施設	45	73.3	13.3	8.9	-	-	-	-	4.4
図書館	93	66.7	19.4	4.3	-	2.2	-	-	7.5
近所の公園、広場	313	33.5	32.9	18.2	3.8	5.8	0.3	0.3	5.1
その他	6	16.7	16.7	-	16.7	-	-	16.7	33.3

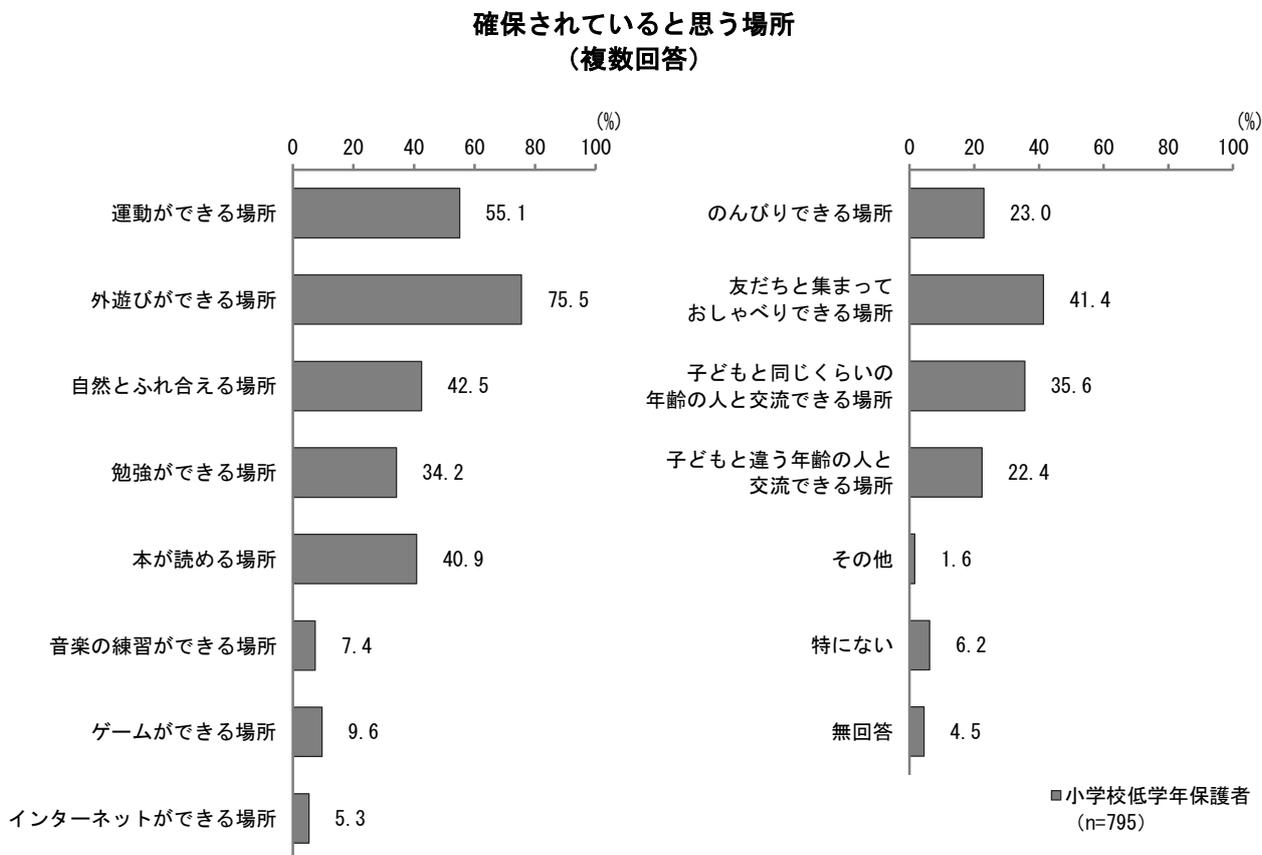
(7) 子どもの居場所について

問19 町田市では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。【○は1つだけ】
 ※家と学校は除きます。



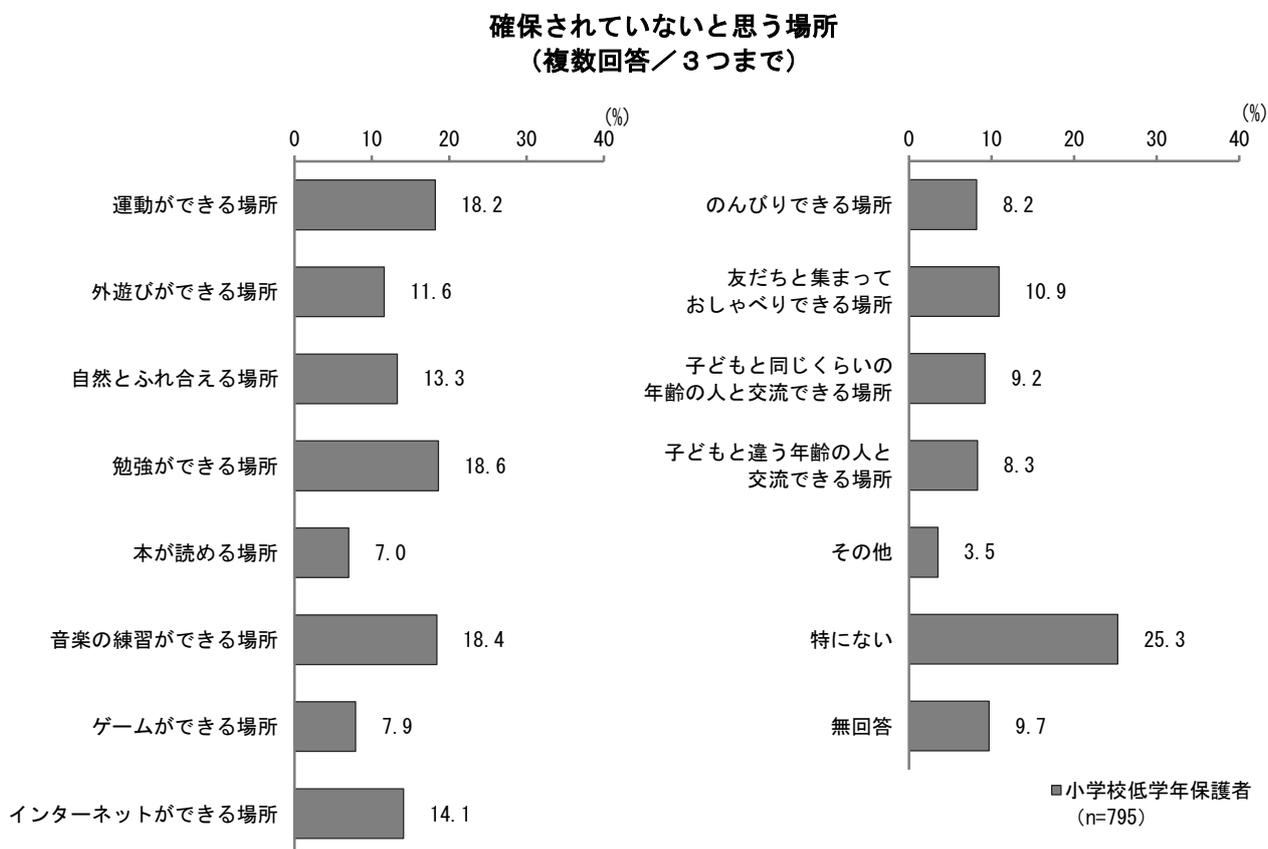
問19-1 子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「外遊びができる場所」が75.5%と最も多く、次いで「運動ができる場所」が55.1%、「自然とふれ合える場所」が42.5%となっています。



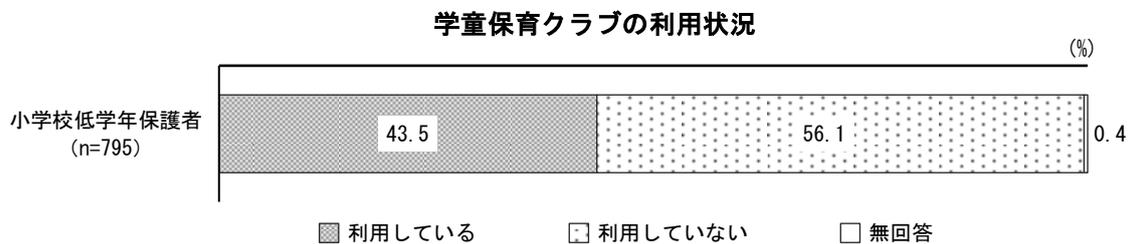
問19-2 子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。【〇は3つまで】

- 「特にない」が25.3%と最も多く、次いで「勉強ができる場所」が18.6%、「音楽の練習ができる場所」が18.4%となっています。



(8) 学童保育クラブについて

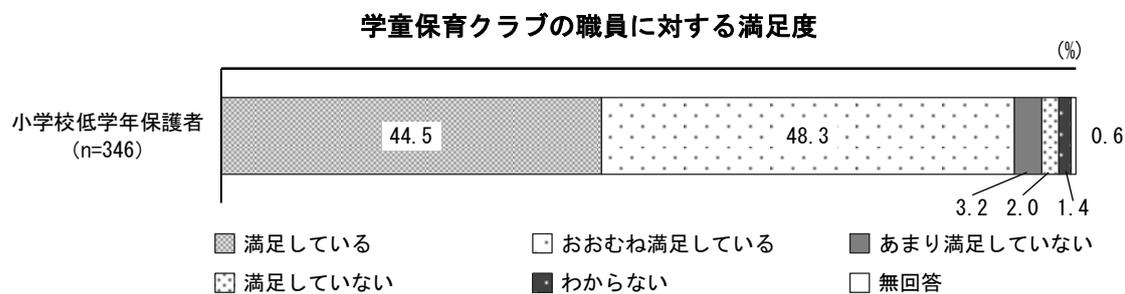
問20 あて名のお子さんは学童保育クラブを利用していますか。【○は1つだけ】



※問21～23は、問20で「利用している」を選択した人のみ回答

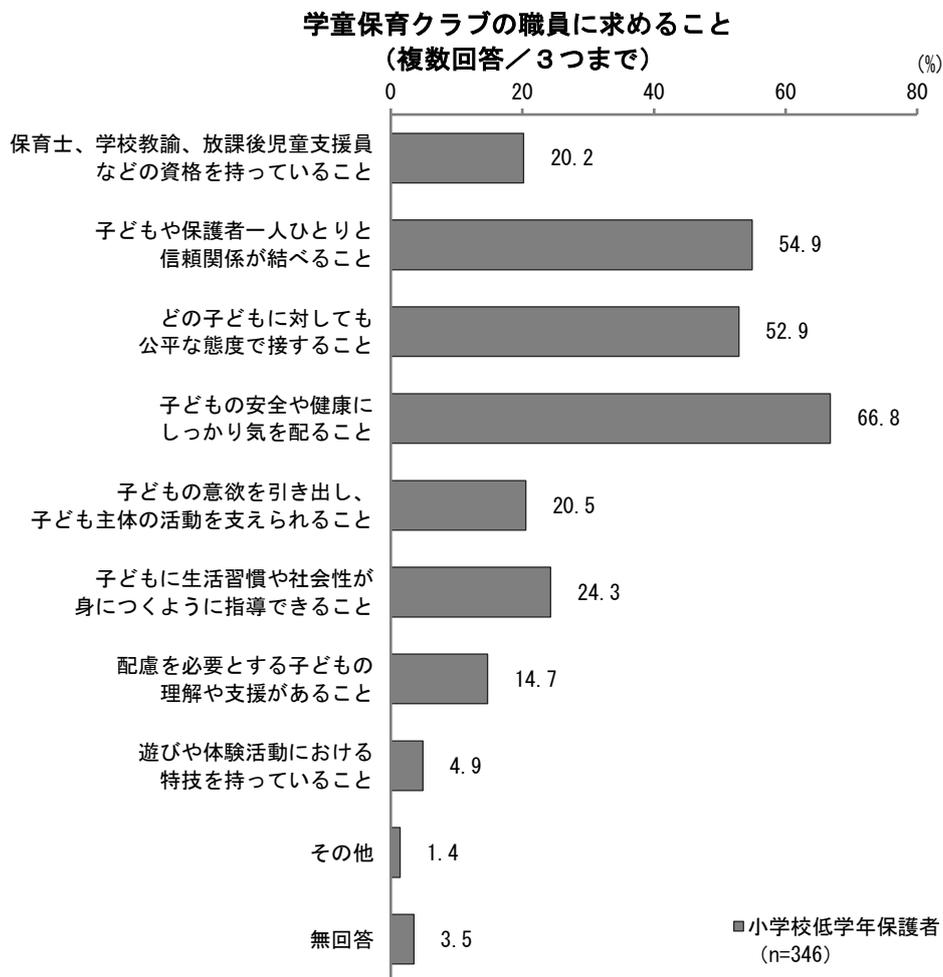
問21 学童保育クラブの職員に満足していますか。【○は1つだけ】

- 「おおむね満足している」が48.3%と最も多く、次いで「満足している」が44.5%、「あまり満足していない」が3.2%となっています。



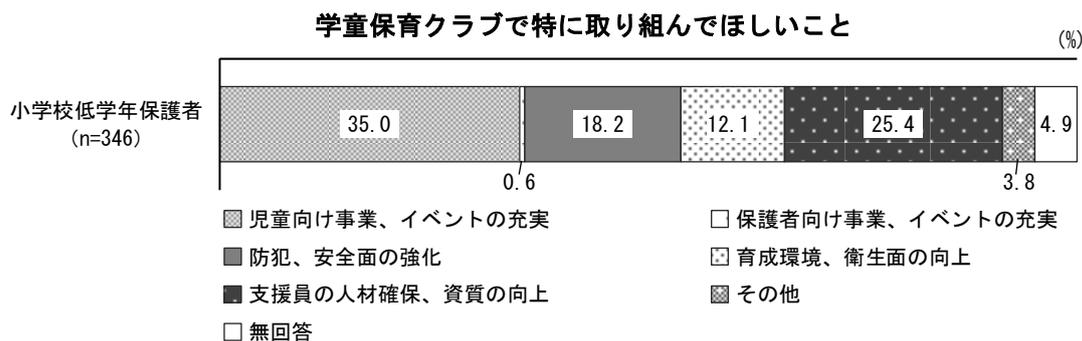
問22 学童保育クラブの職員に求めることは何ですか。【○は3つまで】

- 「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」が66.8%と最も多く、次いで「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」が54.9%、「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」が52.9%となっています。



問23 学童保育クラブで特に取り組んでほしいことは何ですか。【○は1つだけ】

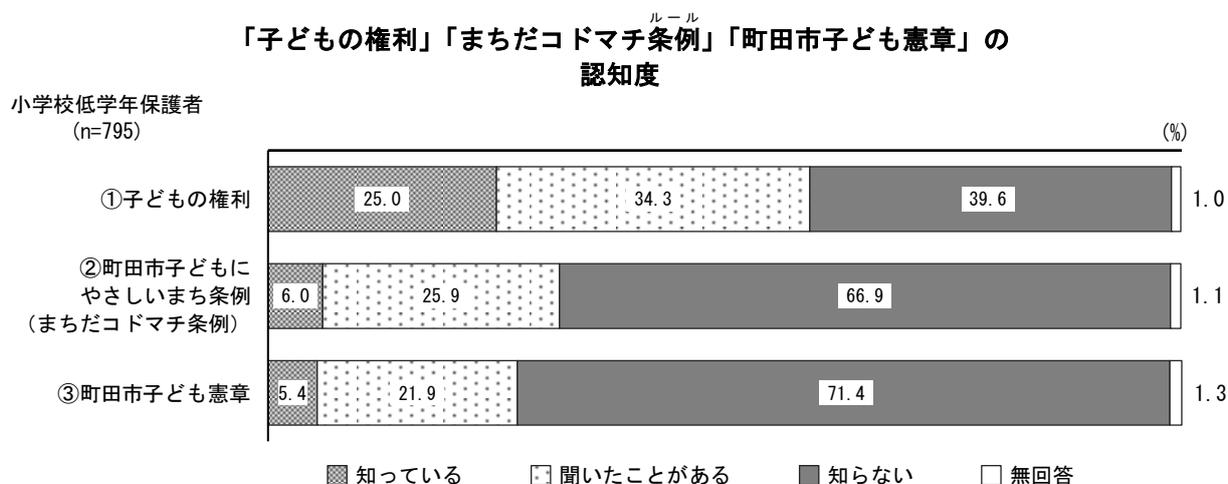
- 「児童向け事業、イベントの充実」が35.0%と最も多く、次いで「支援員の人材確保、資質の向上」が25.4%、「防犯、安全面の強化」が18.2%となっています。



(9)「子どもの権利」について

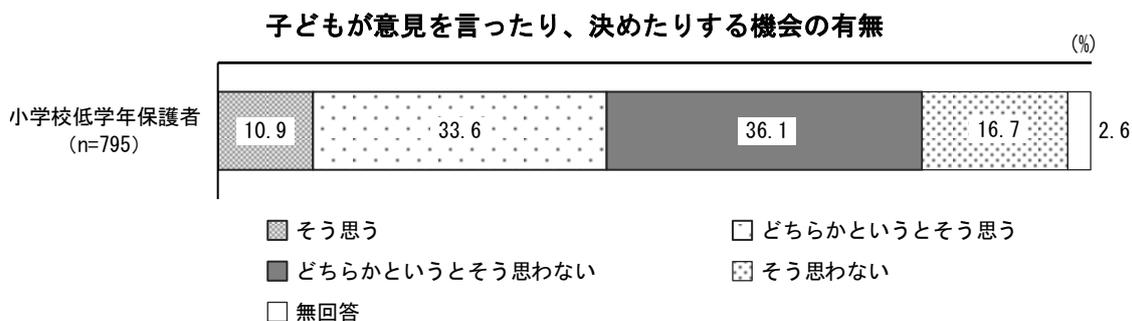
問24 子どもには大切な「子どもの権利」があります。
 町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、
 子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
 あなたは、これらについて知っていますか。
 ①～③について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が約6割と
 になっているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）』『③町田市
 子ども憲章』の認知度は3割程度と低くなっています。



問25 「子どもの権利」の1つに「参加する権利」があります。
 「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされる
 ことが含まれます。
 町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする
 機会があると思いますか。【○は1つだけ】

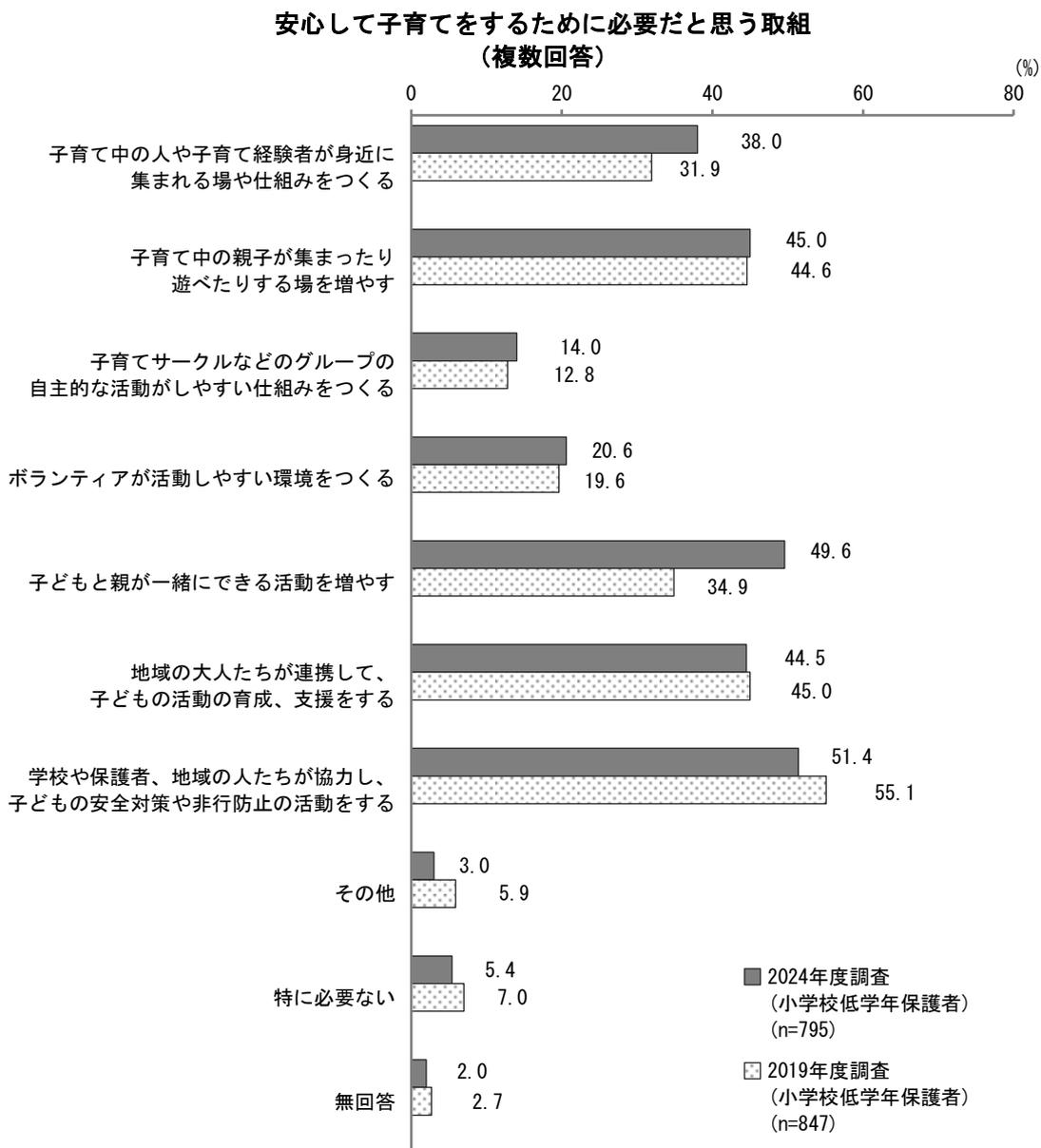
- 「どちらかというと思わない」が36.1%と最も多く、次いで「どちらかというと思
 思う」が33.6%、「そう思う」が10.9%、「そう思わない」が16.7%となっています。



(10) 子育て施策全般について

問26 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

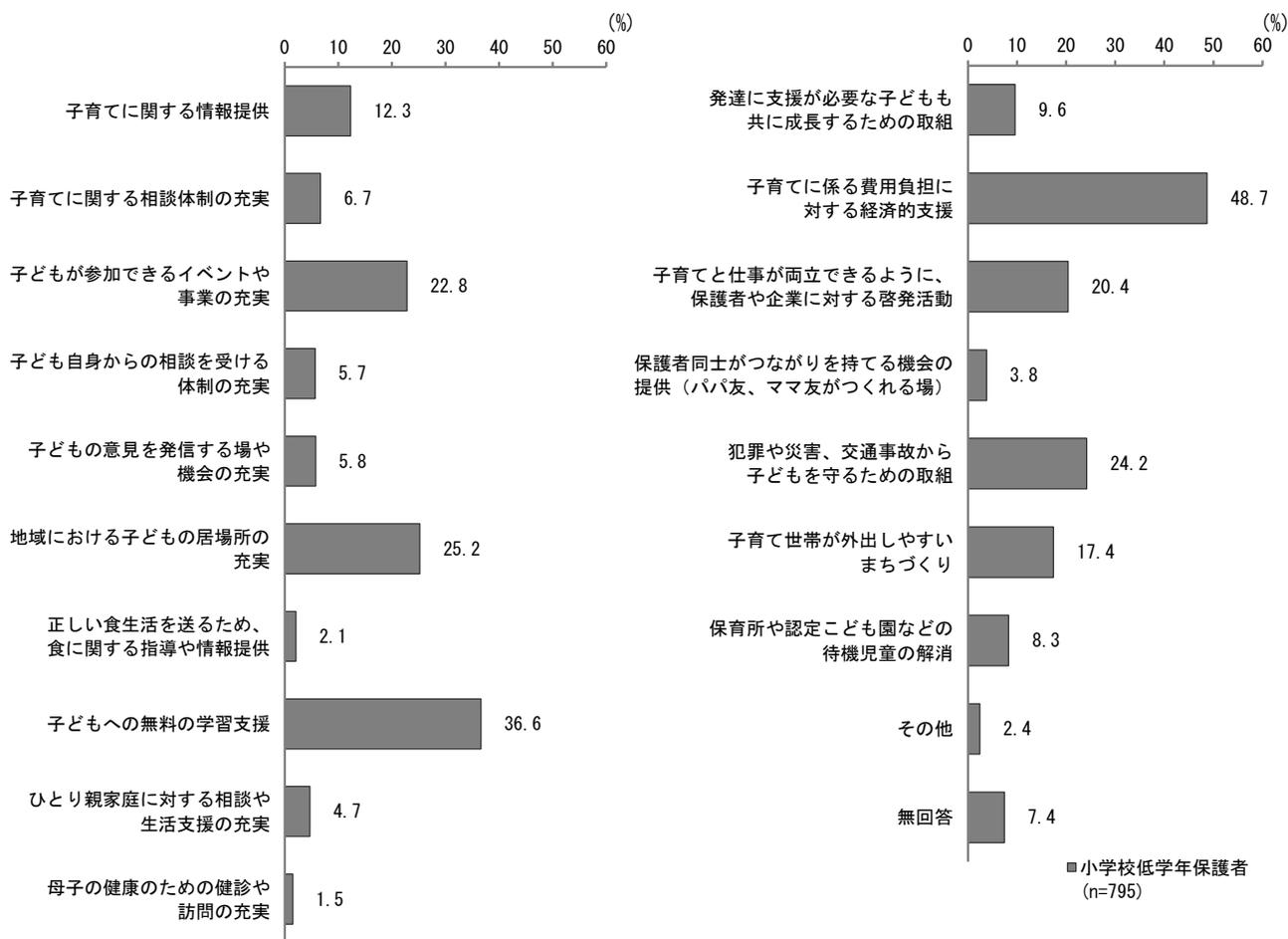
- 「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が51.4%と最も多く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が49.6%、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」が45.0%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」の割合が最も増加し、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が最も減少しています。



問27 市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。
【〇は3つまで】

- 「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が48.7%と最も多く、次いで「子どもへの無料の学習支援」が36.6%、「地域における子どもの居場所の充実」が25.2%となっています。

市に期待する支援や取組
(複数回答/3つまで)



問28 問27の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。【〇は1つだけ】

取組が充実した場合の希望



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、すべての年齢で「今の人数で満足している」の割合が高くなっており、7歳で最も高くなっています。

取組が充実した場合の希望【子どもの年齢別】

区分	回答者数 (件)	(ほし しい か っ た)	満 今 の 人 数 で い る	無 回 答
6歳	247	44.5	54.3	1.2
7歳	243	38.7	57.6	3.7
8歳	282	45.7	52.1	2.1

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、『パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中』以外は「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【母親の就労状況別】

区分	回答者数 (件)	(ほし しい か っ た)	満 今 の 人 数 で い る	無 回 答
フルタイム	261	48.7	50.2	1.1
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	16	43.8	56.3	-
パートタイム、アルバイトなど	297	43.1	54.2	2.7
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	5	60.0	40.0	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	184	35.9	60.9	3.3
これまでに就労したことがない	12	41.7	58.3	-

問29 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、269人の方から、計420件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
1 小学校の生活について	76
(1) 小学校について	32
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団登下校がなく、旗振りの方もいないため、大きな道路を渡るのが不安で、毎日学校まで迎えに行っている。地域の見守り不足だと思う。 ・ タブレット学習等、教育の充実は嬉しい反面、そういったツールを利用した問題（いじめ等）も心配している。勉学面も生活面も大人の目が行き届く環境づくりをお願いしたい。 	
(2) 学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	44
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育クラブの金額を通所日数によって設定してもらえると、パート等で働きやすくなると思う。 ・ 「まちとも」は雨だとやらなかったり、夏休みはやってくれないことも多く、利用しづらい。また、学校によって差もあるので、もっと利用しやすくしてほしい。 	
2 子育て支援全般について	56
(1) 子どもの居場所やイベント（子どもセンター、親子イベントなど）について	16
<ul style="list-style-type: none"> ・ 徒歩圏内に子どもセンターなど夏休みの居場所がほしい。町田の自然を活かした冒険遊び場はありがたい。 ・ 親子で参加できる運動クラブなどをもっと増やしてほしい。 	
(2) 病児・病後児保育や障がい児への支援について	14
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達に支援が必要な子どもに対する施設や支援をもっと充実させてほしい。働きながら利用できる放課後等デイサービスや、特別支援学級の各校への配置、インクルーシブ教育の拡充など、選択肢を増やしてほしい。 ・ サポートルームの利用について、基本1年という縛りなく、利用したい人が利用できる環境にしてほしい。普通級だけではサポートが足りないものの、特別支援学校に行くほどではない発達障がいのある子どもが、安心して通える場所が、学校に常にあるといい。 	
(3) 子育て支援に関する情報、相談先について	12
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生以上向けの情報がほしいので、小学生以上向けの講座を開催してほしい。第1子は、受験や塾などの情報が入りにくいのではないかと不安。そのような情報をもらえる場があれば安心できる。 ・ 市に相談したいが、平日フルタイムで仕事のため窓口に行く時間の確保が難しく、苦慮している。 	

【主な意見】

回答分類	件数
(4) 子どもを預けられる場所の充実について	14
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターは事前の登録が必要で、利用しにくい。急な病気や、学級閉鎖などで急に休みになった場合に、すぐに手頃な金額で預けられたりできる場所があると、大変助かる。 ・就労日数が少ない親でも安心して必ず預けられるところがあると、とてもありがたい。 	
3 子育て環境について	173
(1) 公園・遊び場・外出について	57
<ul style="list-style-type: none"> ・町田市は、ボール遊びできない公園が多く、子どもよりもお年寄り向けの場所が多いため、もう少し子どもが外で遊べるようにしてほしい。 ・子どもたちが楽しく過ごせる場が増えると良いと思う。近所の公園も、遊具が老朽化ではずされてから、一向に新しくなる気配がないなど、そういうところが改善されると良いと思う。 ・室内で遊べる場所を、学校付近につくってほしい。公園の中に屋根があるところをつくってくれると雨の日や、暑い日でも外で遊べる。 	
(2) 公共施設等について	9
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが夏などに、自分の足で行って室内で過ごせる場をつくってほしい。日中仕事で送迎ができないため、小規模でもあったと助かる。 	
(3) 医療費補助・医療・健診体制について	20
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費を23区と同様に無料にしてほしい。 ・小児科が少なく、通院が一苦労なので、通院のための配車割引のようなサービスがほしい(病気の際バスには乗れないため)。 	
(4) 地域との協力について	15
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生になると、親の目の届かないところへ行くようになるが、困った時、どこを頼るよう子どもに伝えれば良いか悩んでいる。子どもを地域で育てるという考え方が復活すると良いと思った。地域のつながりは、子どもだけでなく、高齢者にも必要となってくるため、任意参加の登校班を町内会などで取りまとめるなど、お互いにサポートできるようなまちづくりができれば良いと思う。 ・子どもが豊かに成長していくためには、親(家族)だけではなく、様々な方の関わり・支えが大切になってくると実感している。子どものみならず、地域の方など、みんなが支え合い、思いやり・感謝の気持ちを持った温かいまちになればと思っている。 	
(5) 教育環境や学習支援について	13
<ul style="list-style-type: none"> ・授業についていけない子どもたちが学ぶ場所がほしい。例えば、板書を早くできる練習、決まった時間内に考えたり解いたりする練習、今すべきことを理解し、行動する練習などができる施設。 ・ひとり親であるため、子どもたちの教育をあまり見てあげられていないことに一番困っている。仕事から帰ってきて宿題を見てあげたり、採点をする余裕がなかなかない。 	

【主な意見】

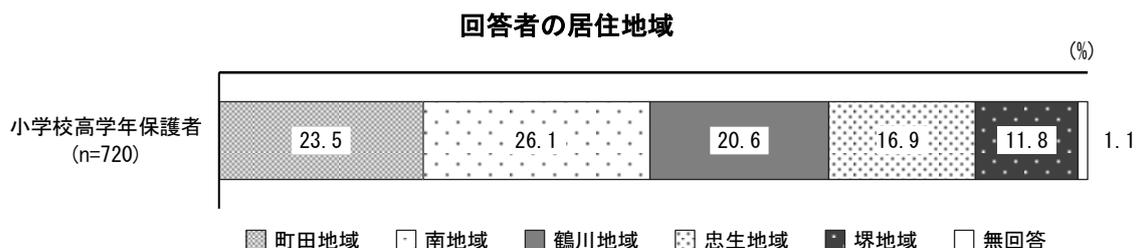
回答分類	件数
(6) 防犯・安全面について	26
<ul style="list-style-type: none"> ・公園で一人または子だけで、とても遊ばせられない。防犯にもっと力を入れてほしい。交通面も道路の白線が消えていたり、非常に危ないまま放置されている。 ・時々不審者が出るため、防犯カメラの設置を検討してほしい。学校下校時は歩行者が少なく、地域の目が足りないと思う。 	
(7) まちづくりについて	33
<ul style="list-style-type: none"> ・町田市には、小さい子ども連れの家族が車で買い物できる場所がとても少なく、多くの人が、相模原方面や座間などに買い物に行っている。町田市にも大型ショッピングモールのような施設ができてほしい。 ・大きな公園に行くには車が必要になったりするが、駐車場料金が負担になるので遊ぶ時間を減らす必要が出てくる。思い切り子どもと遊べるように、市民もしくは子育て世代の駐車場の優遇や無料化をお願いしたい。 	
4 子育て中の保護者の状況について	87
(1) 社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	5
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親を雇用している企業に対して、子育てと仕事の両立の啓発活動を期待する。在宅ワークの推進、子どもの行事のための休暇取得、父親も時短勤務・残業削減の推奨など。 	
(2) 子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	82
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てには、学童保育クラブや習い事など、どうしてもお金がかかる。引き続き、経済的な観点からも支援をいただくと助かる。 ・物価上昇と教育費の上昇などがあり、金銭負担が多い。金銭問題を解決するためにダブルワークしている。そのため、家にいる時間がない。子どもとの時間がつくれないうことや、自由に子どもと使えるお金がない。 ・学費や生活費などの心配がなくなれば、子どもを産みたい方はたくさんいると思うので、もっと子どもも増えるのではないかと思う。 	
5 その他	28
<ul style="list-style-type: none"> ・父親が単身赴任中なためワンオペ状態で、自分の時間も持てず、家事育児で毎日気付いたら次の日という状況である。親が余裕を持てるように支援をしてほしい。 ・町田市では、子どもの意見を取り入れる動きが加速しており、とても良いことだと思う。一方で、市の政策として考えた場合、その効果は厳しく見なければならぬ。町田市のそれぞれの担当者が責任を持って判断し、進めていってほしいと考える。 	

4 【調査③】 小学校高学年保護者

(1) 家族の状況について

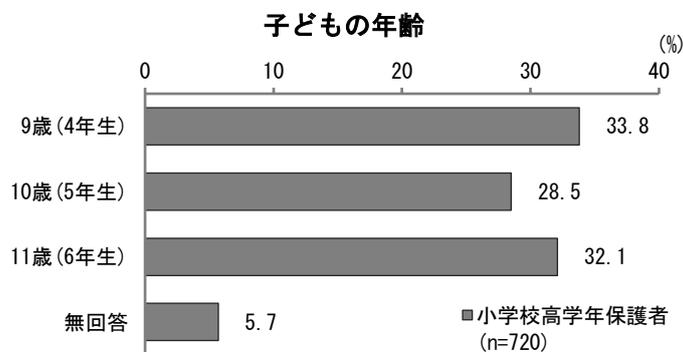
問1 お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

- 「南地域」が26.1%と最も多く、次いで「町田地域」が23.5%、「鶴川地域」が20.6%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

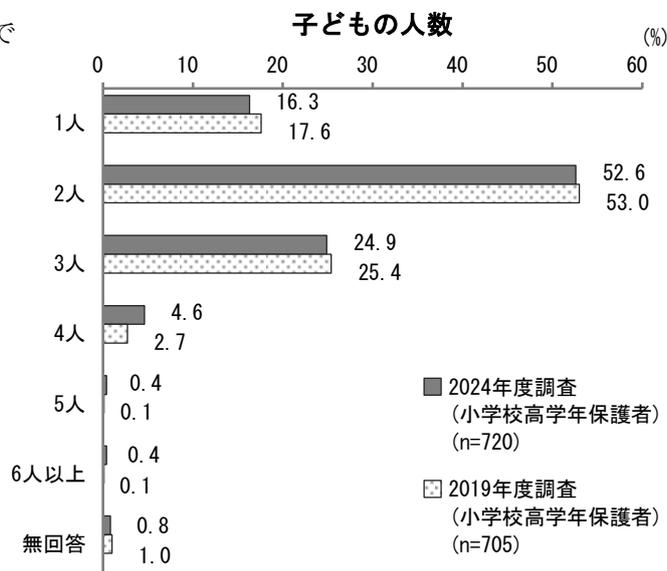
- 「9歳（4年生）」が33.8%と最も多く、次いで「11歳（6年生）」が32.1%、「10歳（5年生）」が28.5%となっています。



問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
 あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
 2人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

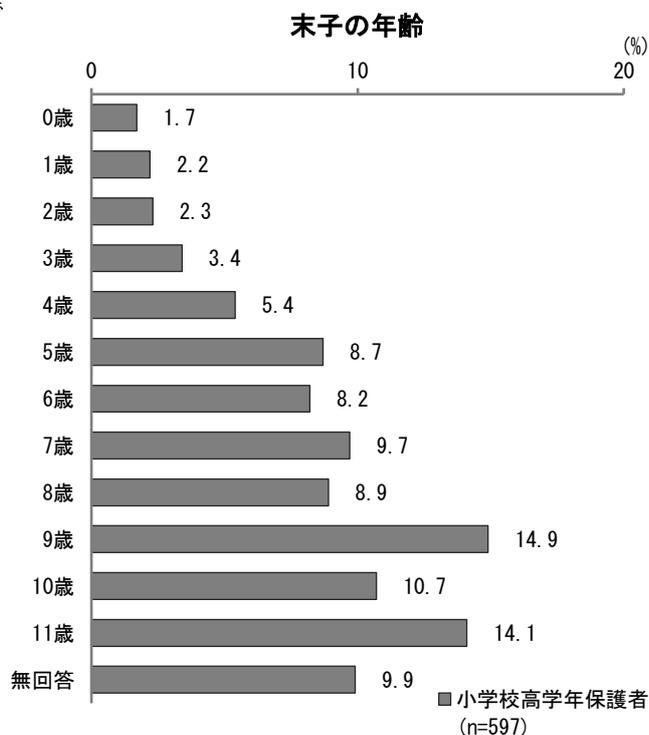
【子どもの人数】

- 「2人」が52.6%と最も多く、次いで「3人」が24.9%、「1人」が16.3%となっています。
- 2019年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



【末子の年齢】

- 「9歳」が14.9%と最も多く、次いで「11歳」が14.1%、「10歳」が10.7%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
 あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【〇は1つだけ】

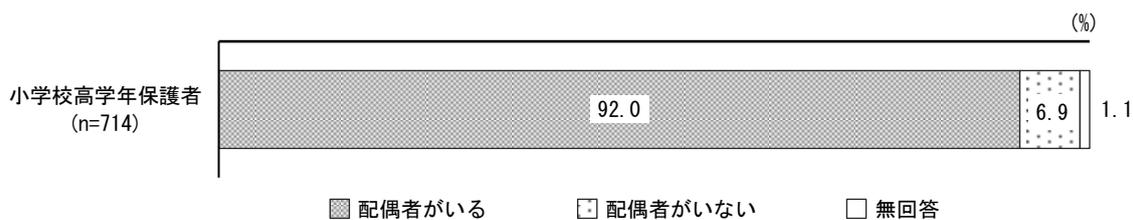
回答者



※問5は、問4で「父親」または「母親」を選択した人のみ回答

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、教えてください。
 【〇は1つだけ】

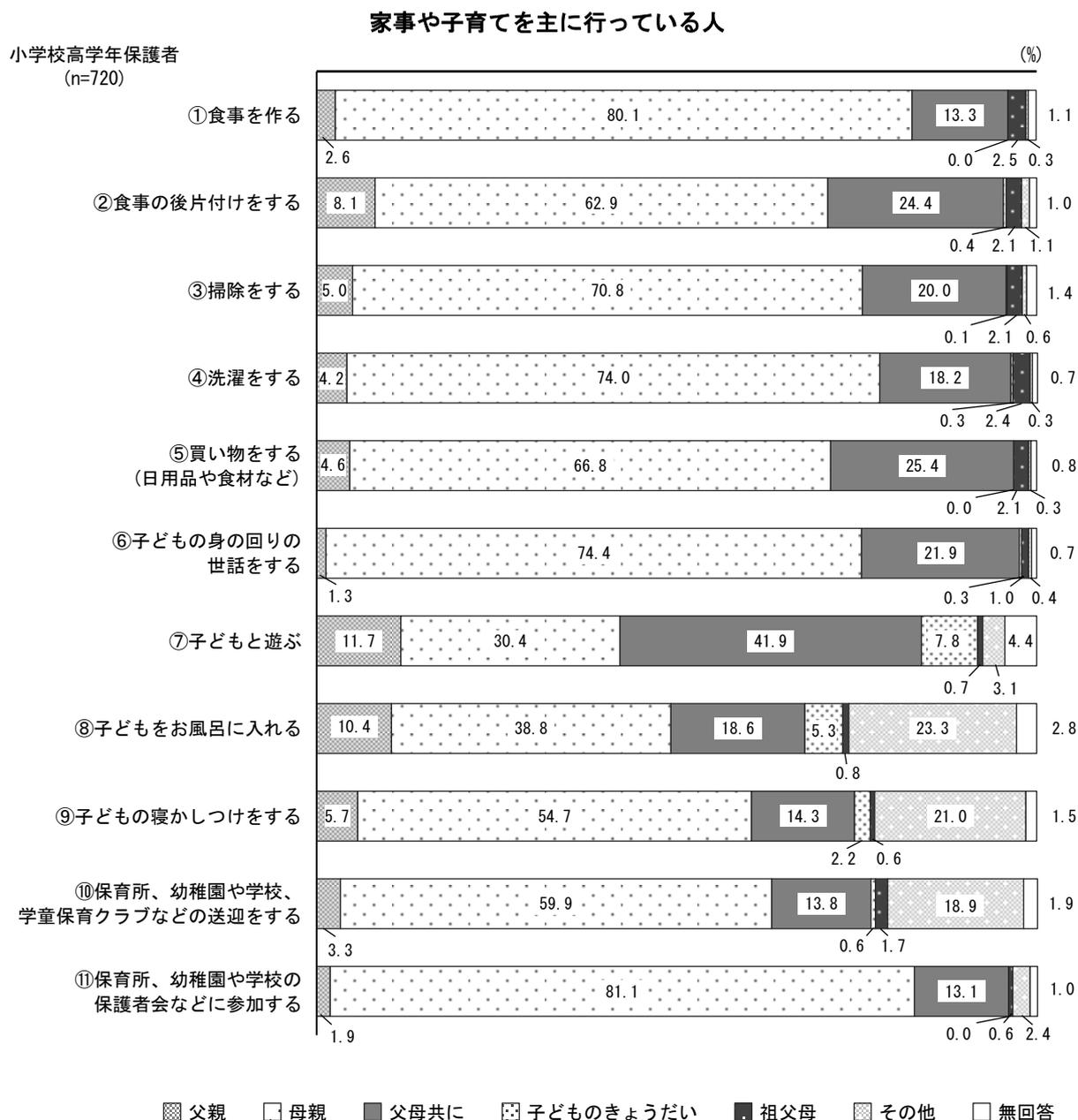
回答者の配偶関係



(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

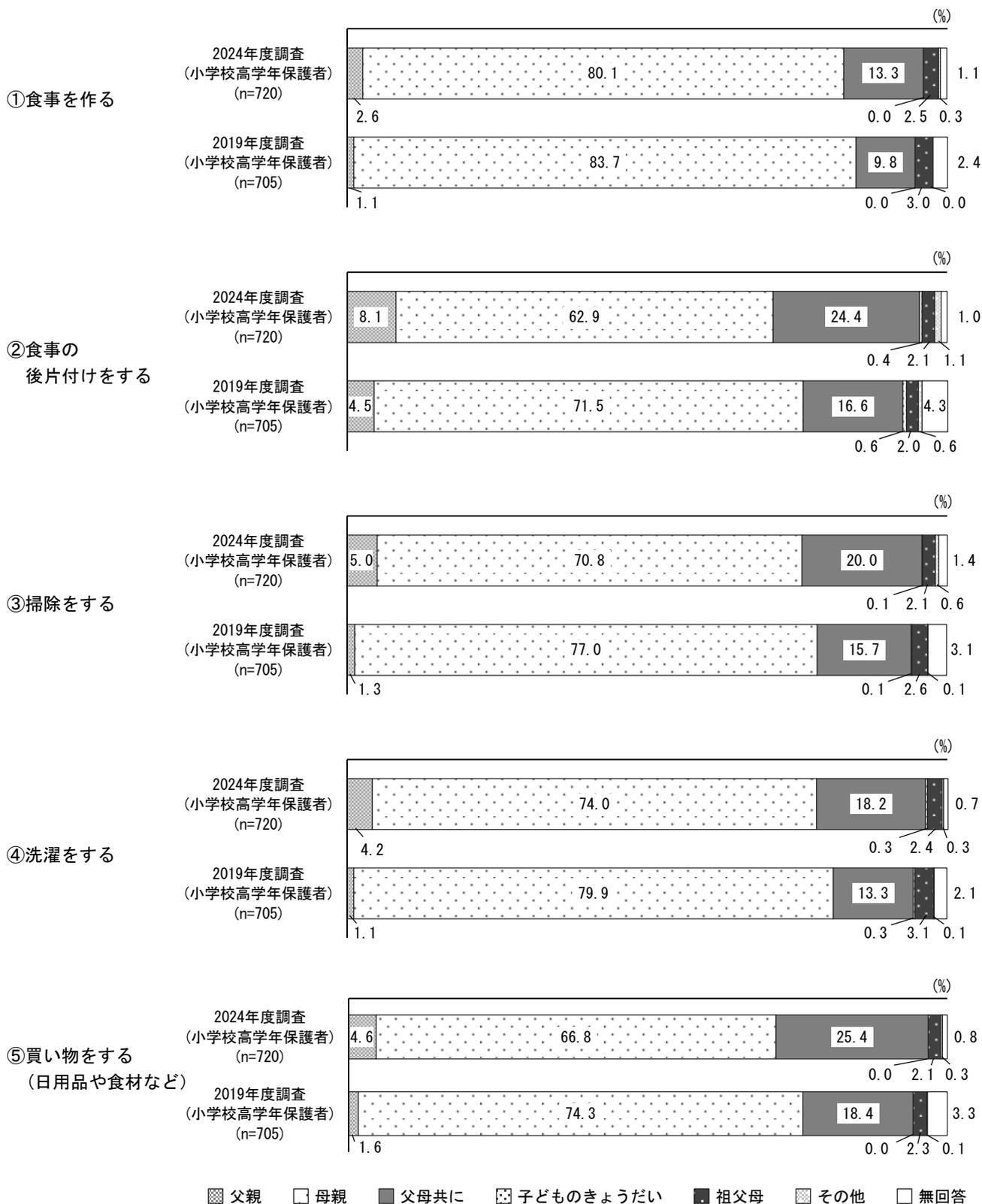
問6 家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。
①～⑪について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『⑦子どもと遊ぶ』を除くすべての項目で、「母親」の割合が最も高くなっています。
- 『⑦子どもと遊ぶ』『⑧子どもをお風呂に入れる』では、他の項目に比べて「父親」の割合が高くなっています。

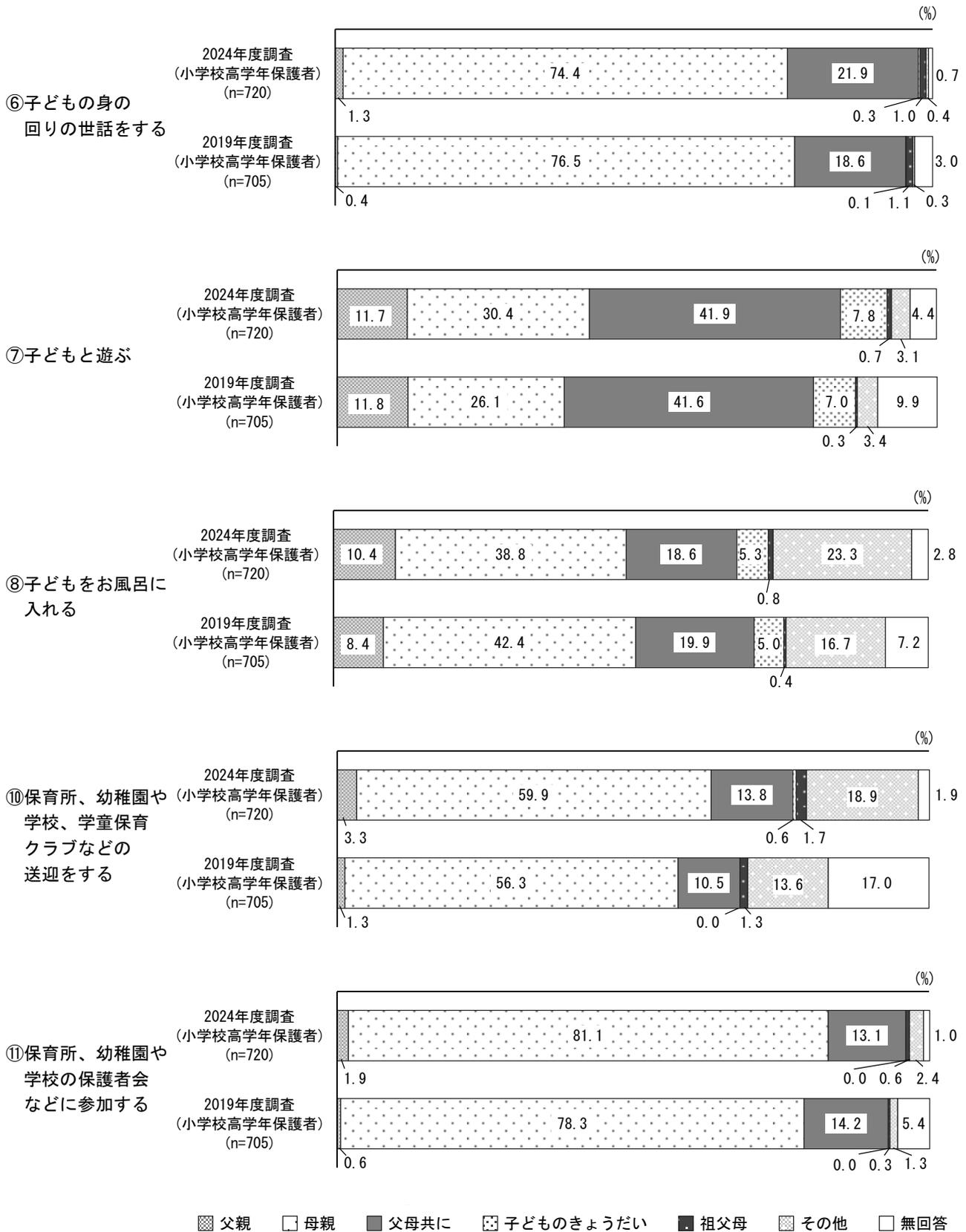


○ 2019年度調査との比較

- 『⑧子どもをお風呂に入れる』『⑩保育所、幼稚園や学校の保護者会などに参加する』を除くすべての項目で、「父母共に」の割合が増加しており、『②食事の後片付けをする』で最も増加しています。



第2章 調査結果 4 【調査③】小学校高学年保護者



※「⑨子どもの寝かしつけをする」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

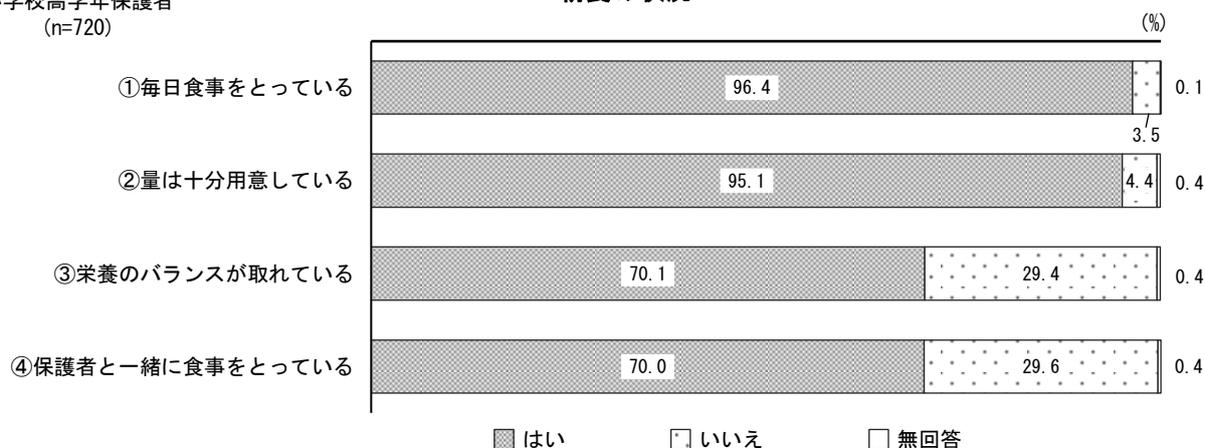
問7 あて名のお子さんの食事について、お答えください。
 ①～④ごとに、A・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 朝食】

- 「はい」の割合は、『①毎日食事をとっている』『②量は十分用意している』では、9割以上と高くなっていますが、『③栄養のバランスが取れている』『④保護者と一緒に食事をとっている』では、7割程度と比較的低くなっています。

小学校高学年保護者
(n=720)

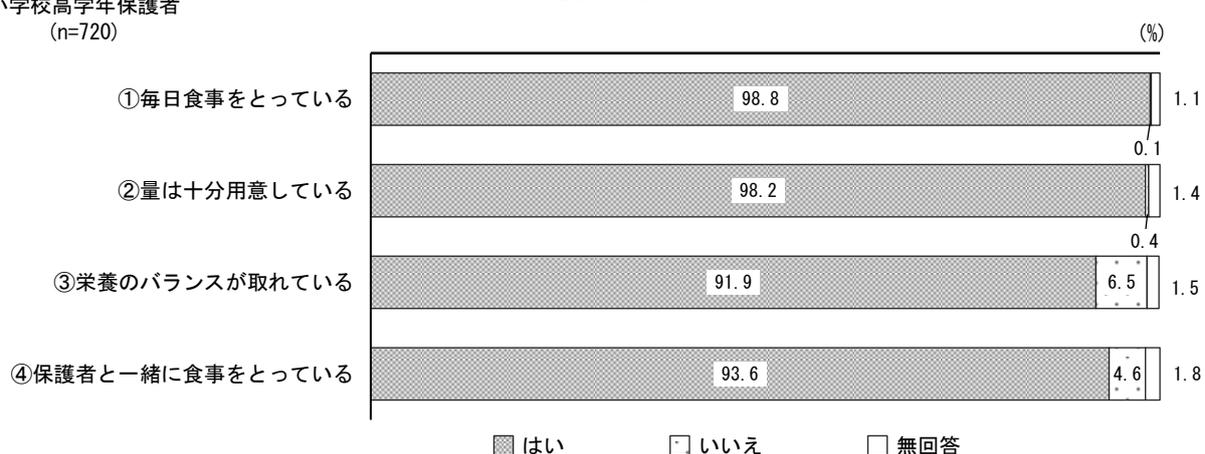
朝食の状況



【B 夕食】

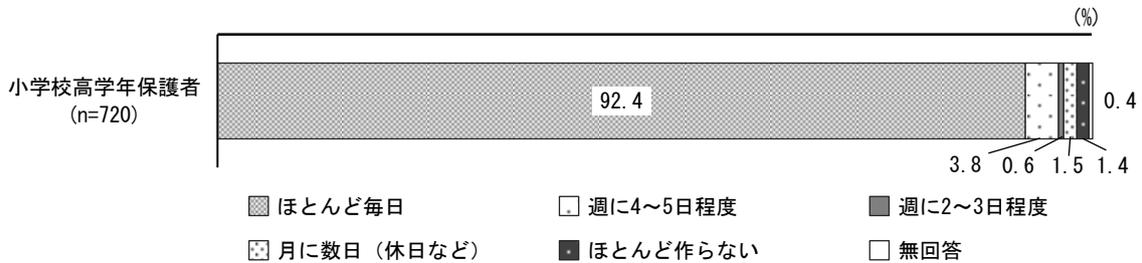
小学校高学年保護者
(n=720)

夕食の状況



問8 あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る（料理する）ことがどのくらいありますか。【○は1つだけ】
 ※食事を作る（料理する）には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。

料理をする頻度

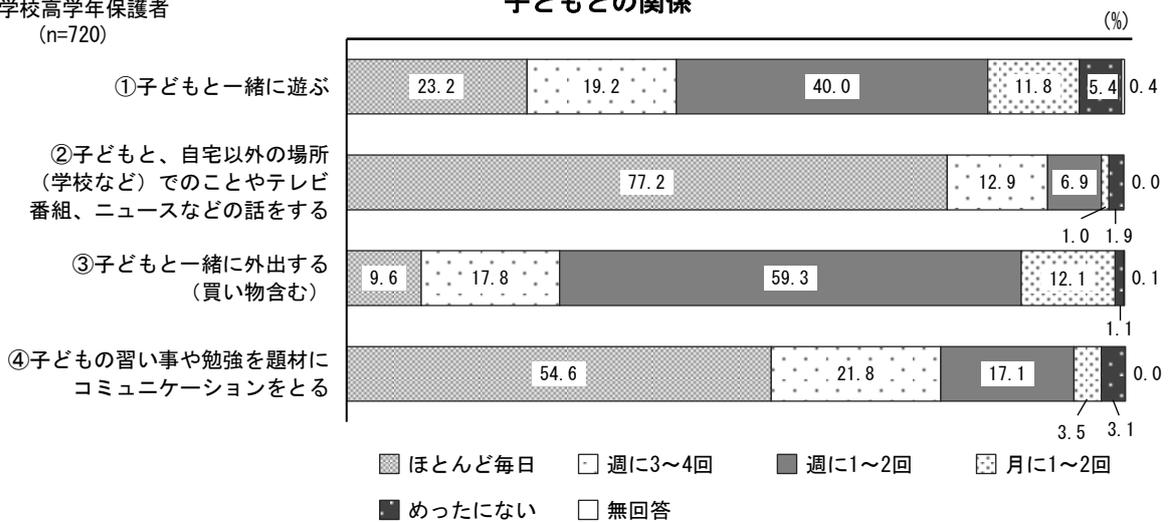


問9 あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
 あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。
 ①~④について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『①子どもと一緒に遊ぶ』『③子どもと一緒に外出する（買い物含む）』では、「週に1~2回」の割合が最も高くなっています。
- 『②子どもと、自宅以外の場所（学校など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする』『④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる』では、「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。

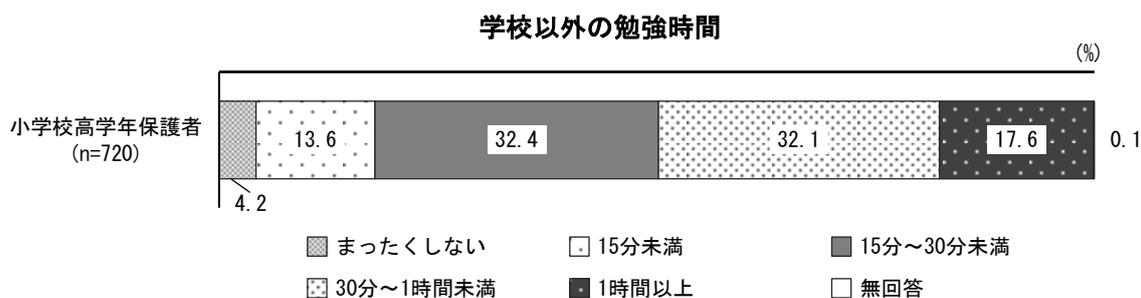
小学校高学年保護者 (n=720)

子どもとの関係



問10 あて名のお子さんの学習環境についてお伺いします。
 あて名のお子さんは、普段（月曜日～金曜日）、学校以外で1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。【〇は1つだけ】
 ※塾などの時間も含まれます。

- 「15分～30分未満」が32.4%と最も多く、次いで「30分～1時間未満」が32.1%、「1時間以上」が17.6%となっています。

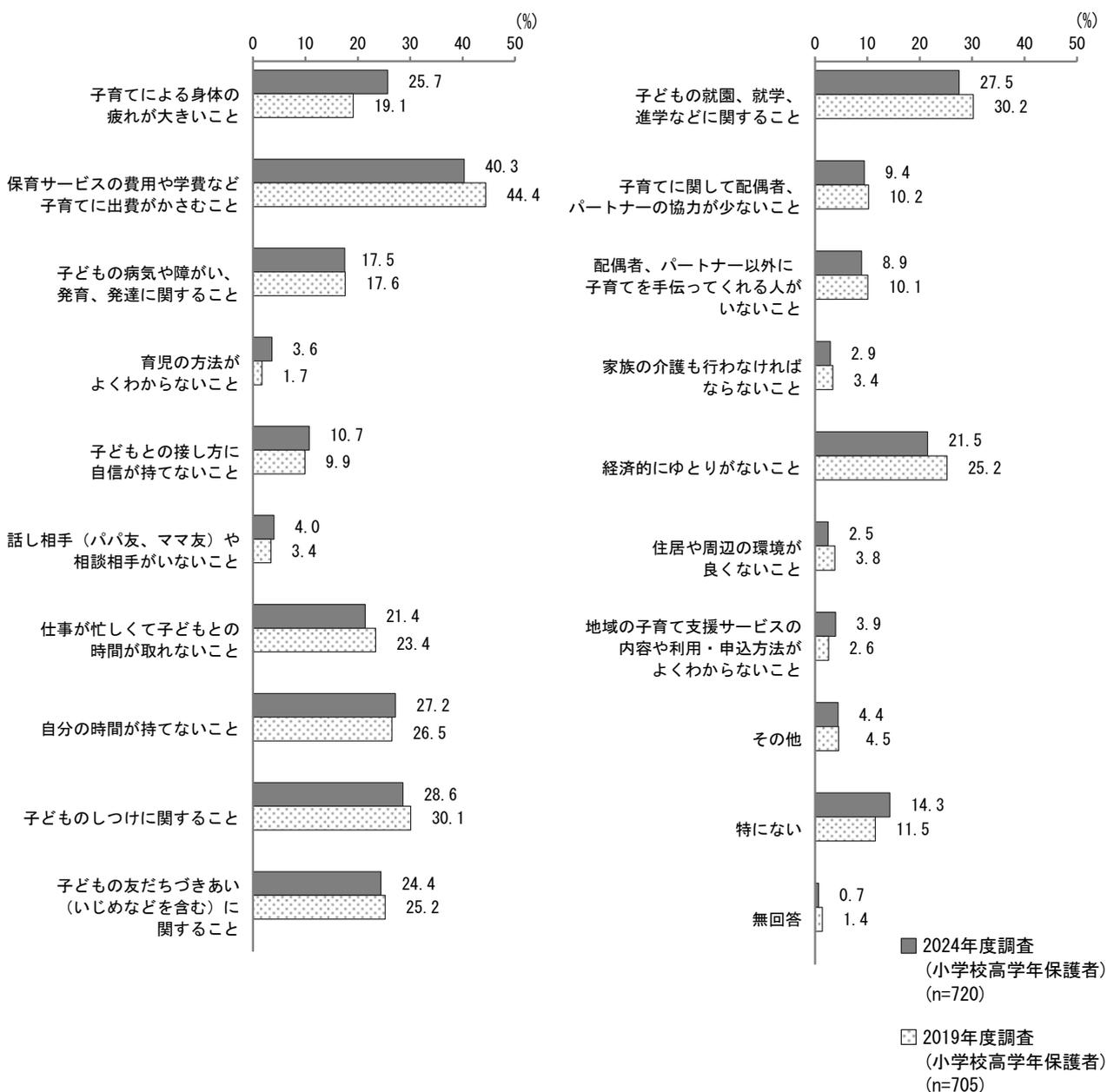


(3) 子育ての悩みについて

問11 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」が40.3%と最も多く、次いで「子どものしつけに関すること」が28.6%、「子どもの就園、就学、進学などに関すること」が27.5%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が最も増加し、「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が最も減少しています。

子育ての悩み
(複数回答)



【母親の就労状況別】

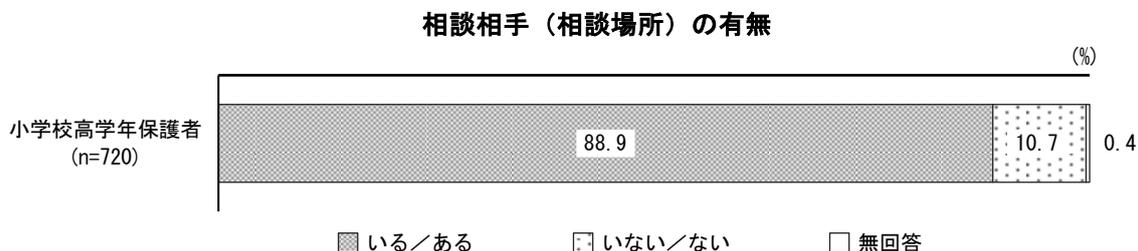
- 母親の就労状況別で見ると、『フルタイム』では「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」の割合が最も高く、次いで「自分の時間が持てないこと」の割合が高くなっています。
- 『パートタイム、アルバイトなど』『以前は就労していたが、現在は就労していない』では、どちらも「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が高くなっています。

子育ての悩み【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手(パパ友、ママ友)や相談相手がいないこと	仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関すること	子どもの友だちつきあい(いじめなどを含む)に関すること	子どもの就園、就学、進学などに関すること	子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと	配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	家族の介護も行わなければならないこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺の環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特になし	無回答
フルタイム	202	22.8	37.6	15.8	4.0	7.9	4.0	44.1	39.1	28.7	19.8	30.2	11.9	7.9	3.0	17.3	3.0	4.5	3.0	14.9	0.5
フルタイムで、 現在産休・育休 ・介護休暇中	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
パートタイム、 アルバイトなど	305	25.2	45.6	14.1	2.6	10.2	3.3	15.7	24.3	27.5	26.6	26.6	8.9	9.2	3.0	24.3	1.3	2.6	3.6	14.1	0.3
パートタイム、 アルバイトなどで、 現在産休・育休・ 介護休暇中	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労 していたが、 現在は就労 していない	170	28.8	38.8	27.6	5.9	15.3	3.5	5.3	21.2	30.6	29.4	28.8	7.1	10.0	2.9	22.4	4.7	5.9	7.6	12.9	1.2
これまでに 就労した ことがない	17	29.4	23.5	5.9	-	5.9	-	5.9	11.8	35.3	11.8	11.8	17.6	17.6	-	17.6	-	5.9	5.9	23.5	5.9

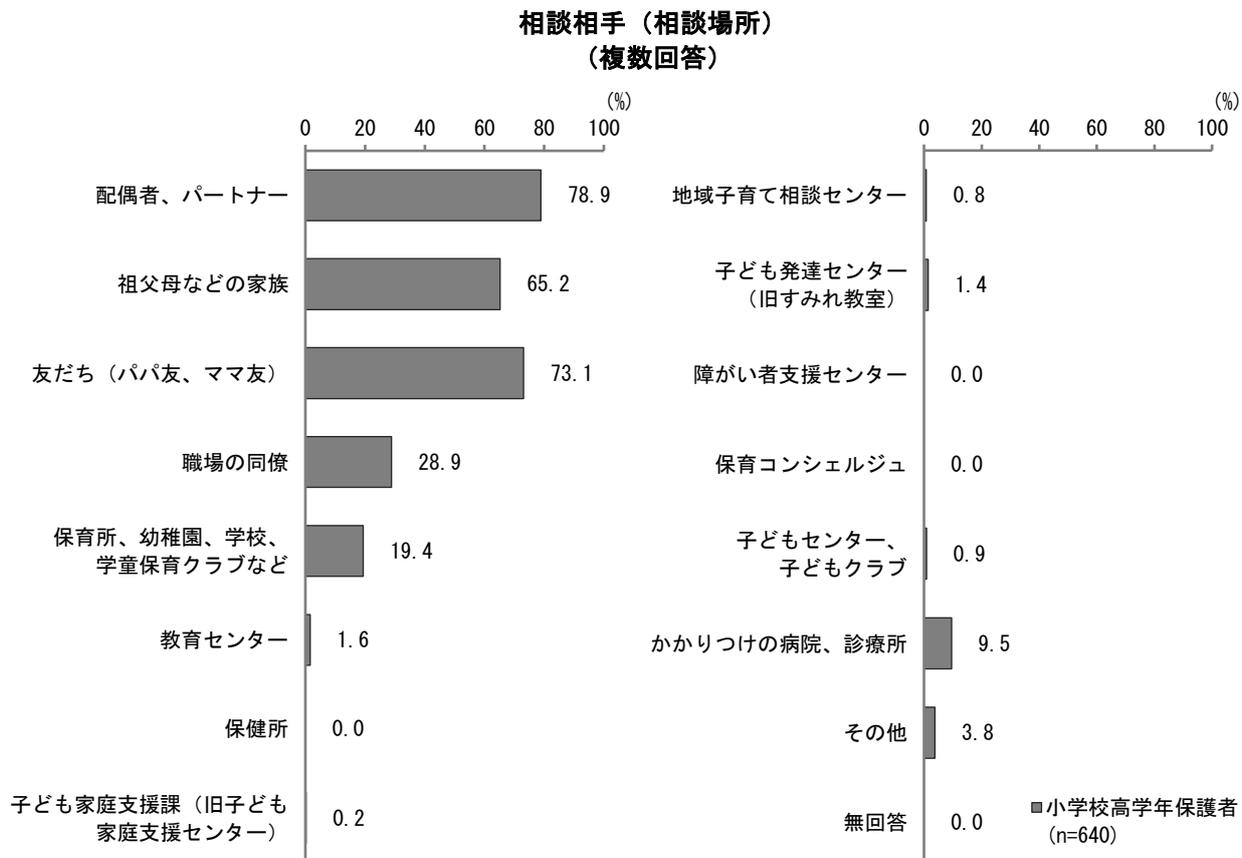
問12 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所がありますか）。
【○は1つだけ】



※問12-1は、問12で「いる／ある」を選択した人のみ回答

問12-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「配偶者、パートナー」が78.9%と最も多く、次いで「友だち（パパ友、ママ友）」が73.1%、「祖父母などの家族」が65.2%となっています。

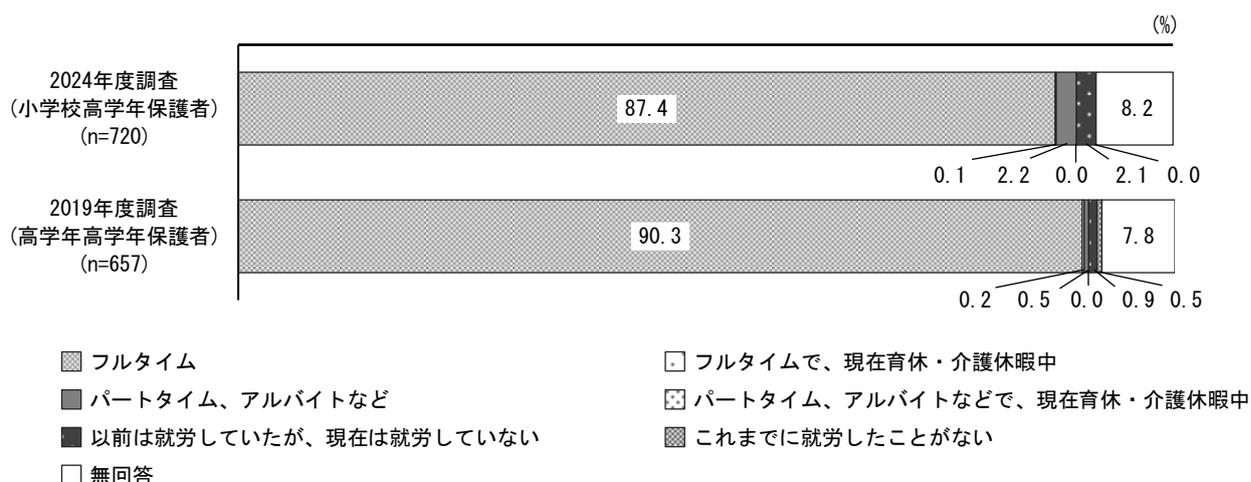


(4) 保護者の就労状況について

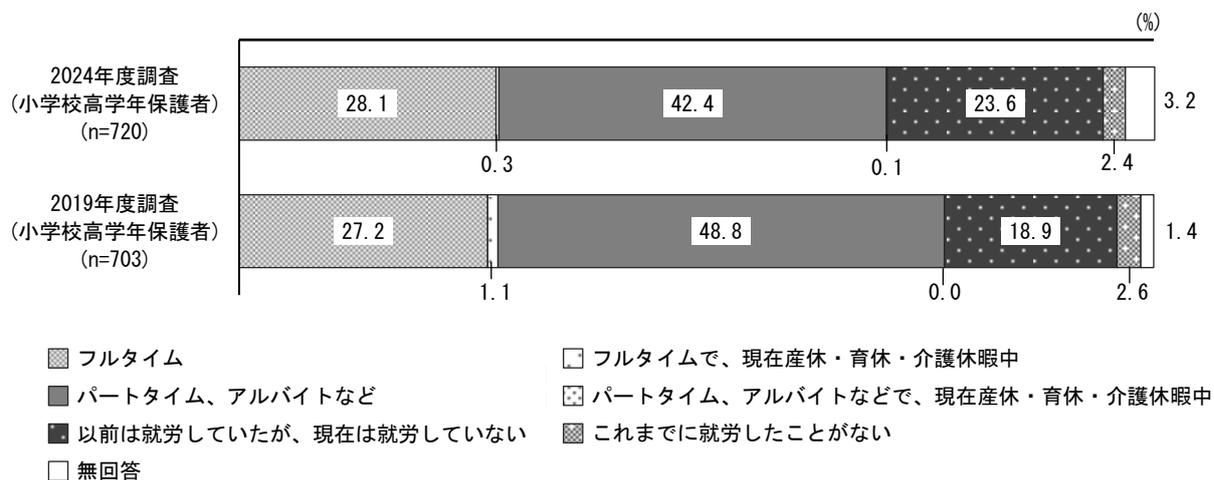
問13 現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は1つだけ】

- 母親は、「パートタイム、アルバイトなど」が42.4%と最も多く、次いで「フルタイム」が28.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.6%となっています。
- 母親の就労状況を2019年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が最も増加し、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が最も減少しています。

保護者の就労状況【父親（小学校高学年）】



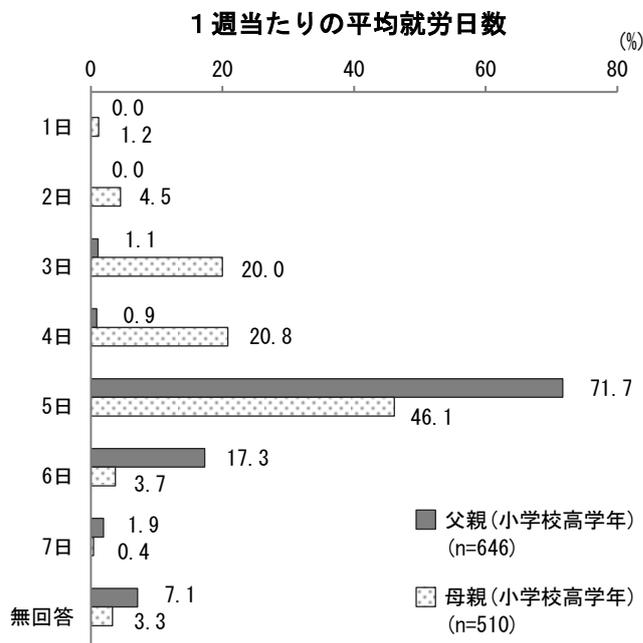
保護者の就労状況【母親（小学校高学年）】



※【1週当たりの就労日数】から【帰宅時間】は、問13で就労中（現在、産休・育休・介護休暇中）の項目を選択した人のみ回答

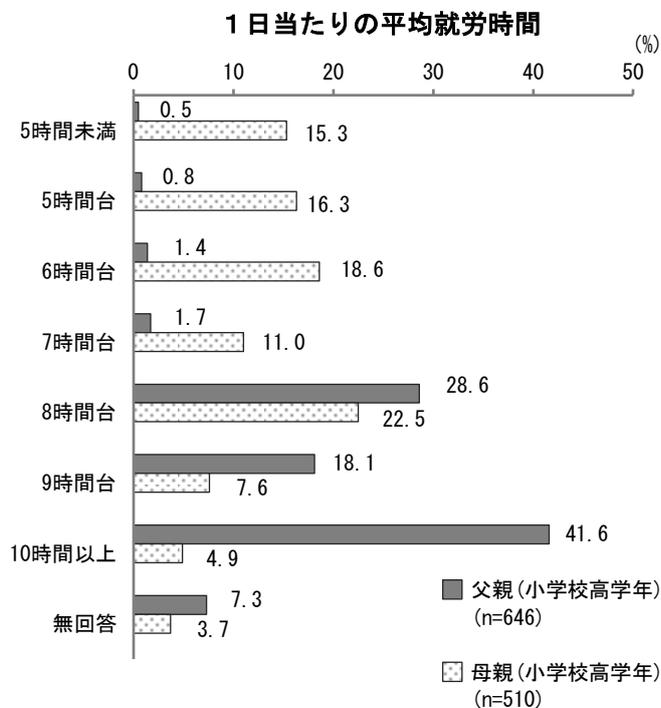
【1週当たりの平均就労日数】

- 父親、母親どちらも「5日」が最も多くなっています。次いで、父親では「6日」が多く、母親では「3日」「4日」が同程度の割合となっています。



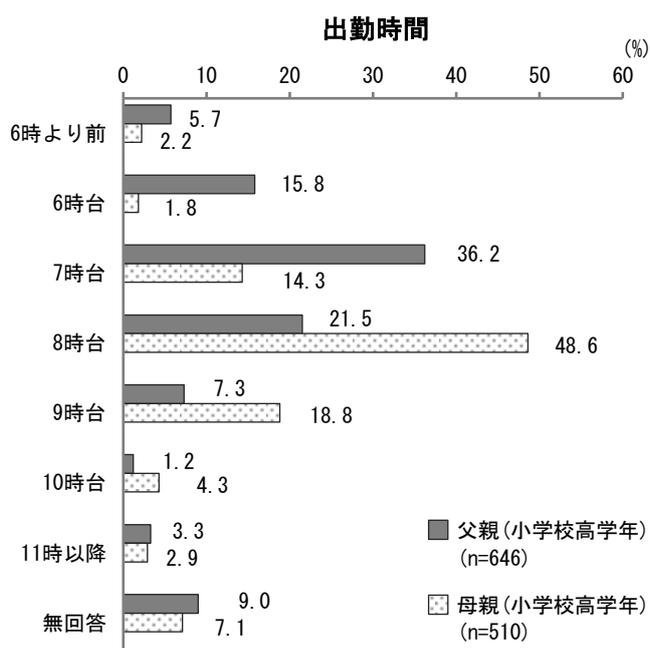
【1日当たりの平均就労時間】

- 父親では「8時間台」以上の割合が比較的高く、「10時間以上」が41.6%と最も高くなっています。また、「5時間未満」が0.5%と最も低くなっています。
- 母親では「8時間台」以下の割合が比較的高く、「8時間台」が22.5%と最も高くなっています。また、「10時間以上」が4.9%と最も低くなっています。



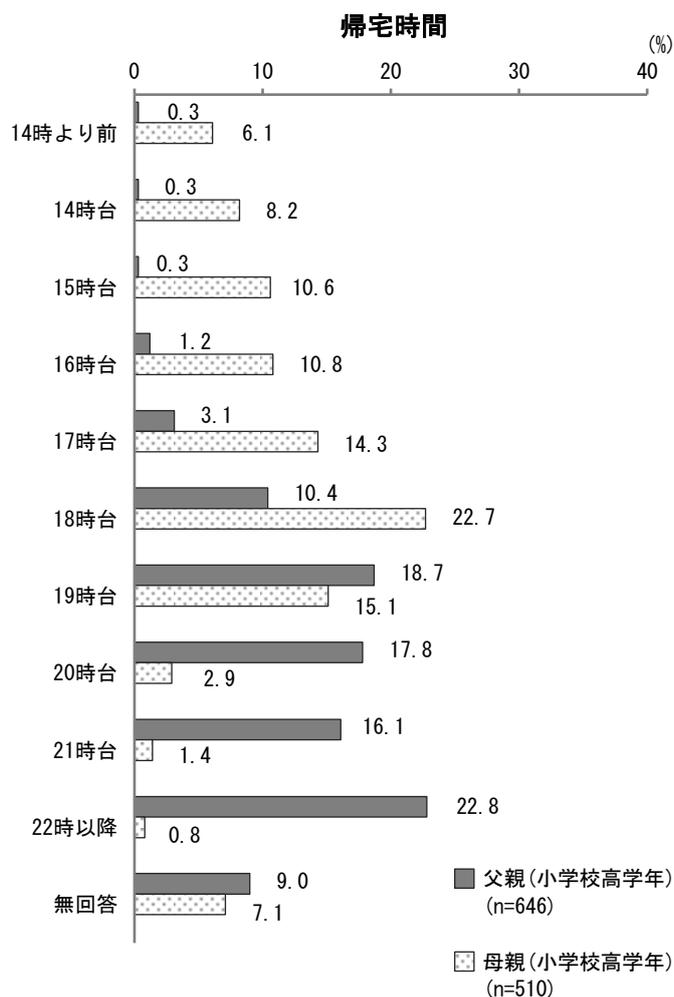
【出勤時間】

- 父親では「6～8時台」の割合が比較的高く、「7時台」が36.2%と最も高くなっています。また、「10時台」が1.2%と最も低くなっています。
- 母親では「7～9時台」の割合が比較的高く、「8時台」が48.6%と最も高くなっています。また、「6時台」が1.8%と最も低くなっています。



【帰宅時間】

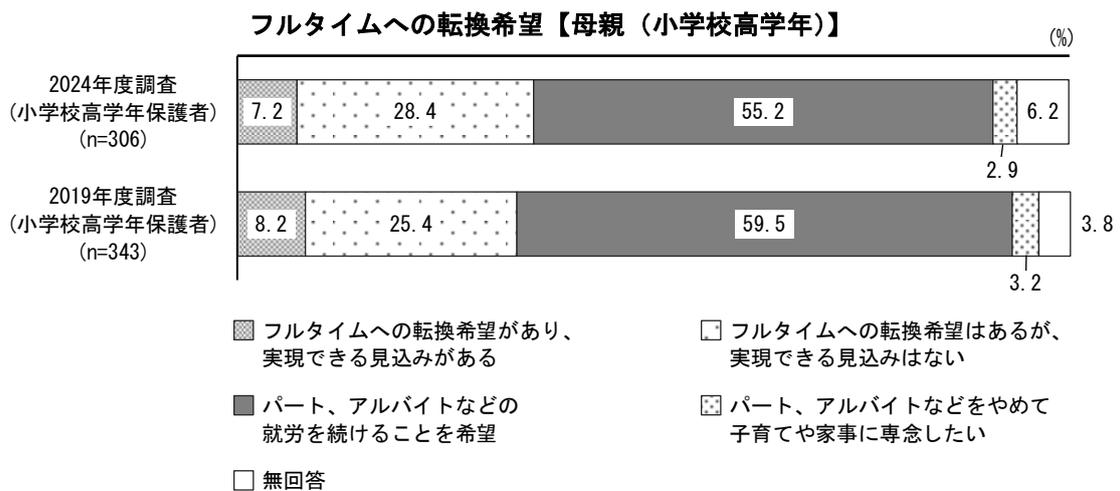
- 父親では「19時台」以降の割合が比較的高く、「22時以降」が22.8%と最も高くなっています。
- 母親では「19時台」以前の割合が比較的高く、「18時台」が22.7%と最も高くなっています。



※問13-1は、問13で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】

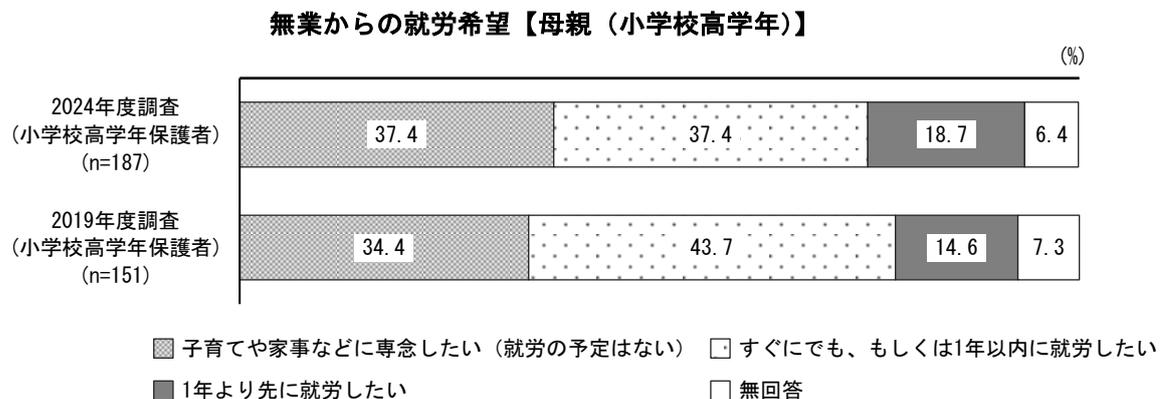
- 母親は、「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」が55.2%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.4%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.2%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。



※問13-2は、問13で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」のいずれかを選択した人のみ回答

問13-2 就労希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】
「1年より先に就労したい」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

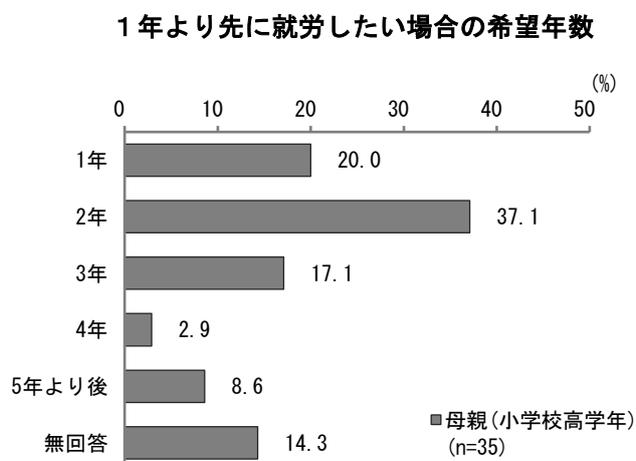
- 母親は、「子育てや家事などに専念したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が37.4%と最も多く、次いで、「1年より先に就労したい」が18.7%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子育てや家事などに専念したい」の割合が増加しています。



※【1年より先に就労したい場合の希望年数】は、問13-2で「1年より先に就労したい」を選択した人のみ回答

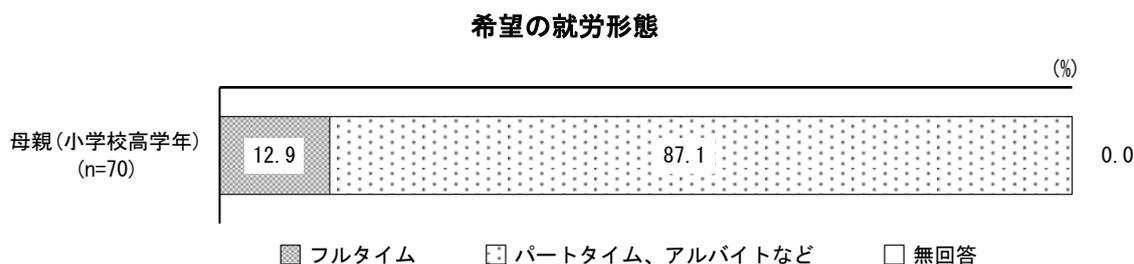
【1年より先に就労したい場合の希望年数】

- 「2年」が37.1%と最も多く、次いで「1年」が20.0%、「3年」が17.1%となっています。



※【希望の就労形態】は、問13-2で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した人のみ回答

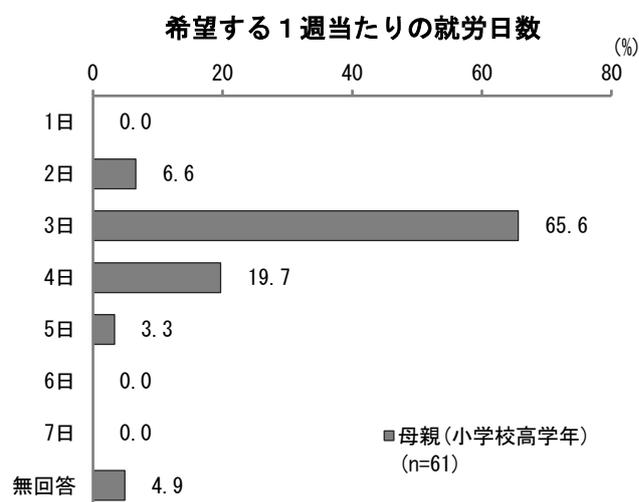
【希望の就労形態】



※【希望する1週当たりの就労日数】【希望する1日当たりの就労時間】は、【希望の就労形態】で「パートタイム、アルバイトなど」を選択した人のみ回答

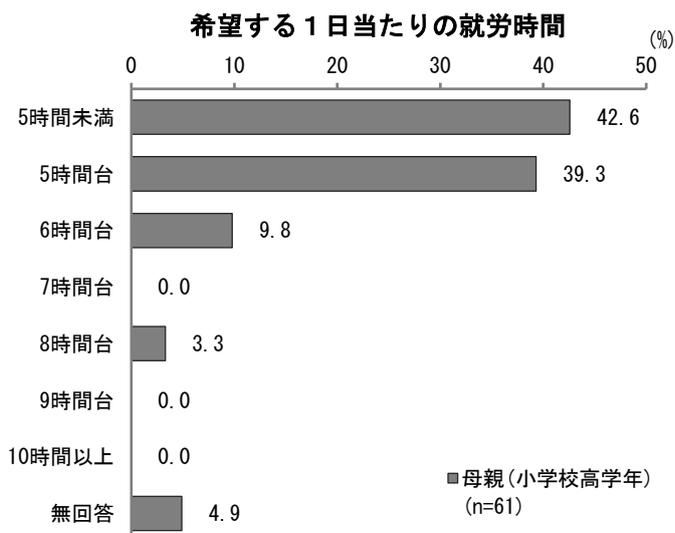
【希望する1週当たりの就労日数】

- 「3日」が65.6%と最も多く、次いで「4日」が19.7%、「2日」が6.6%となっています。



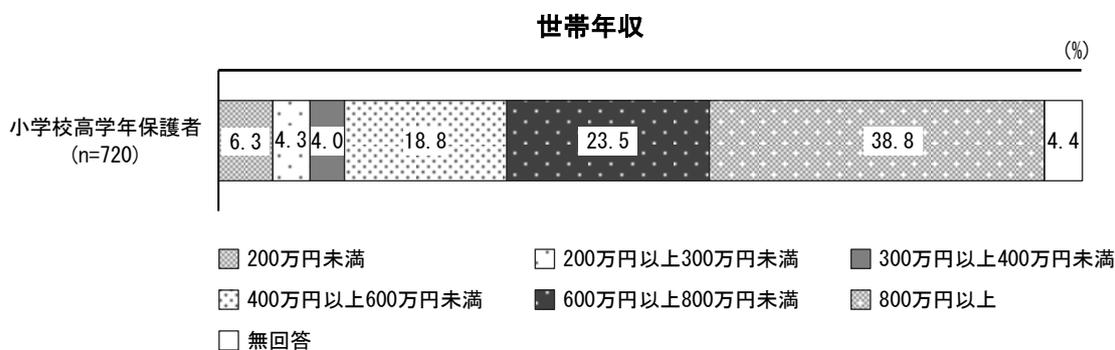
【希望する1日当たりの就労時間】

- 「5時間未満」が42.6%と最も多く、次いで「5時間台」が39.3%、「6時間台」が9.8%となっています。



問14 2023年の世帯合計の年間総収入額（手当、養育費、生活保護費などを含む）をお答えください。【○は1つだけ】

- 「800万円以上」が38.8%と最も多く、次いで「600万円以上800万円未満」が23.5%、「400万円以上600万円未満」が18.8%となっています。



(5) 子育て支援事業の利用状況について

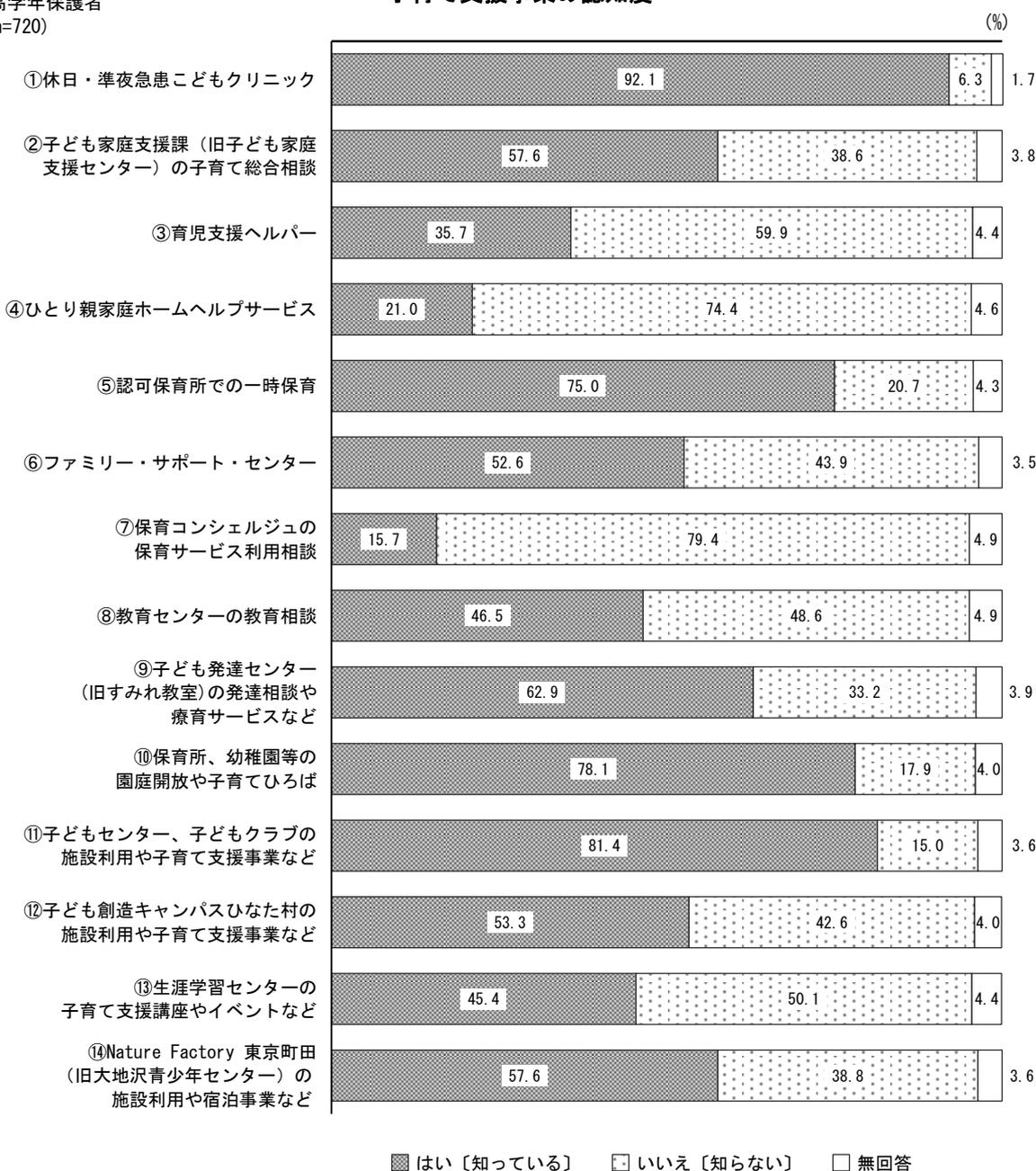
問15 下記のサービスについて、お答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 認知度】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』では、知っている人の割合が8割以上と高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』では、知らない人の割合が7割以上となっています。

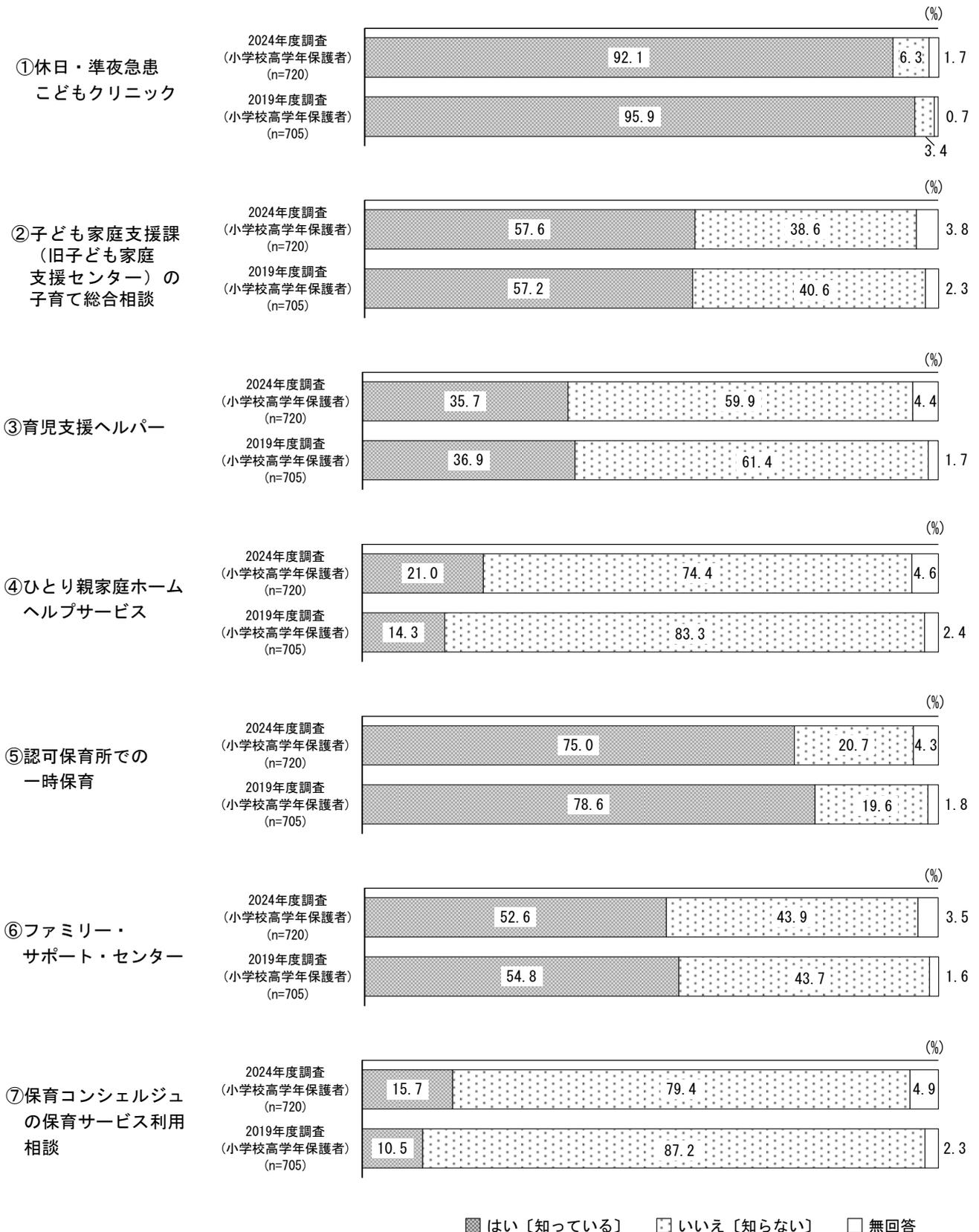
小学校高学年保護者
(n=720)

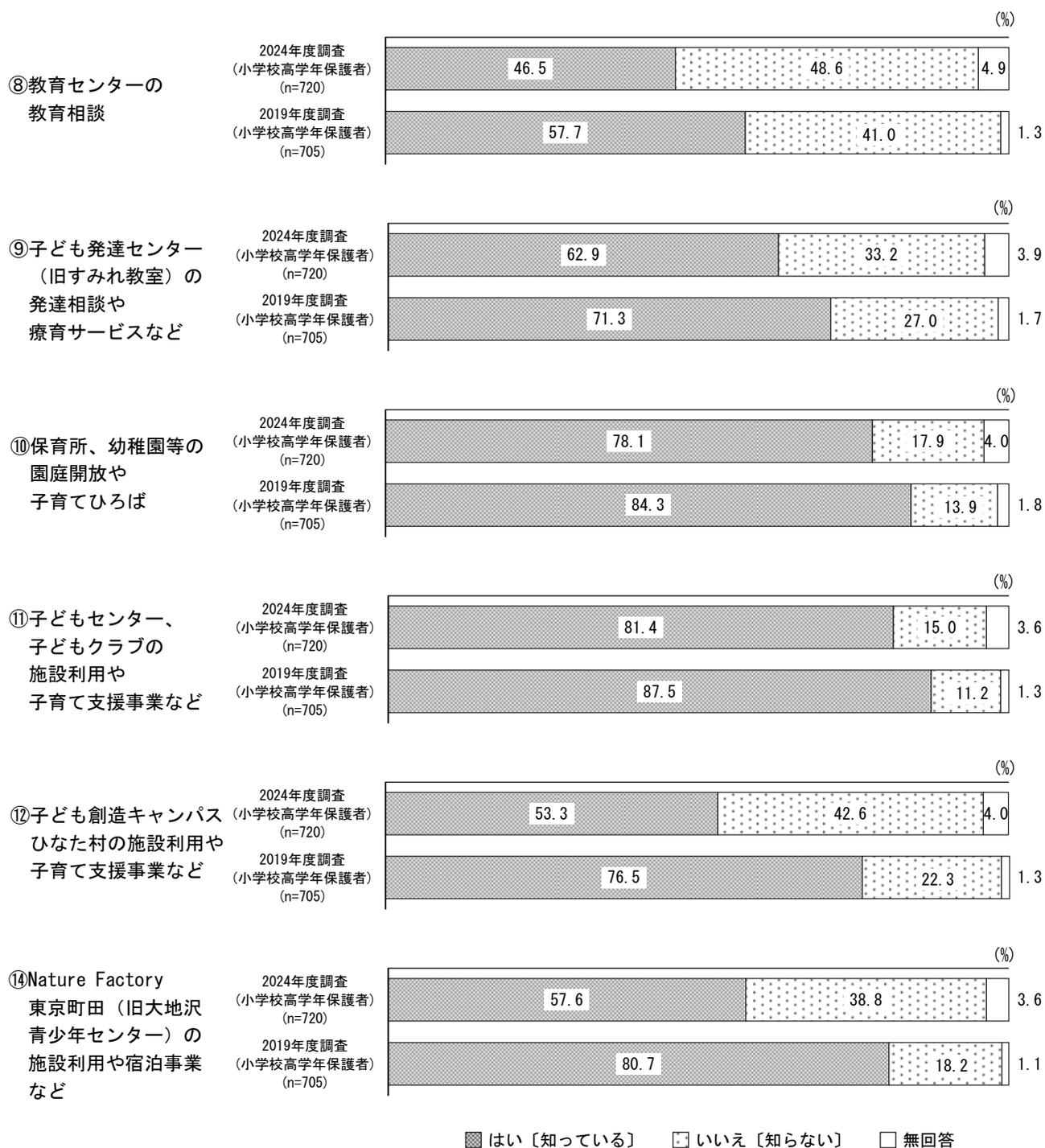
子育て支援事業の認知度



○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、知っている人の割合は、『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』が最も増加し、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』が最も減少しています。





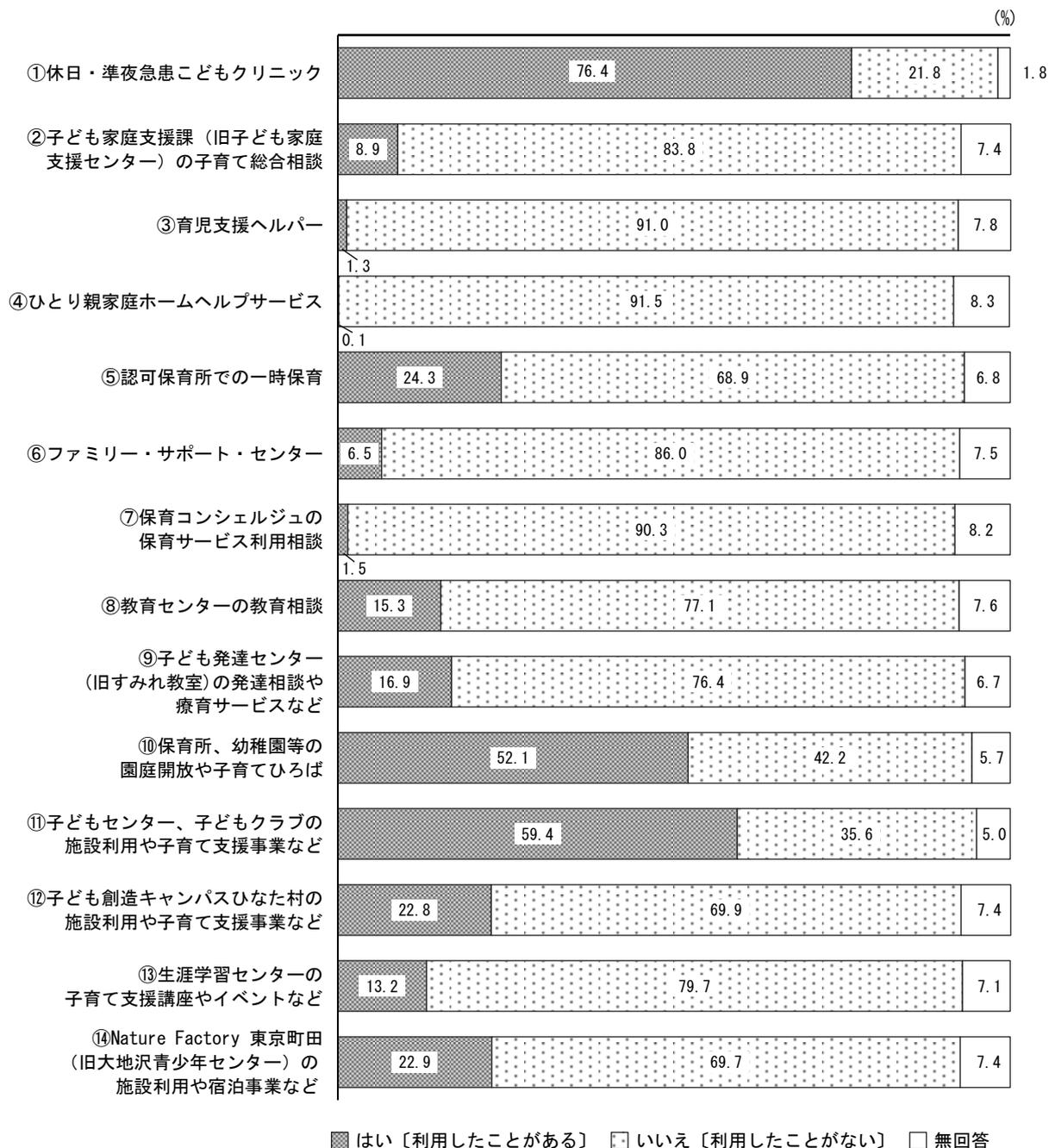
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【B 利用状況】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』では、利用したことがある人の割合が5割以上と、他の項目に比べて高くなっています。
- 『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』では、利用したことがない人が9割以上となっています。

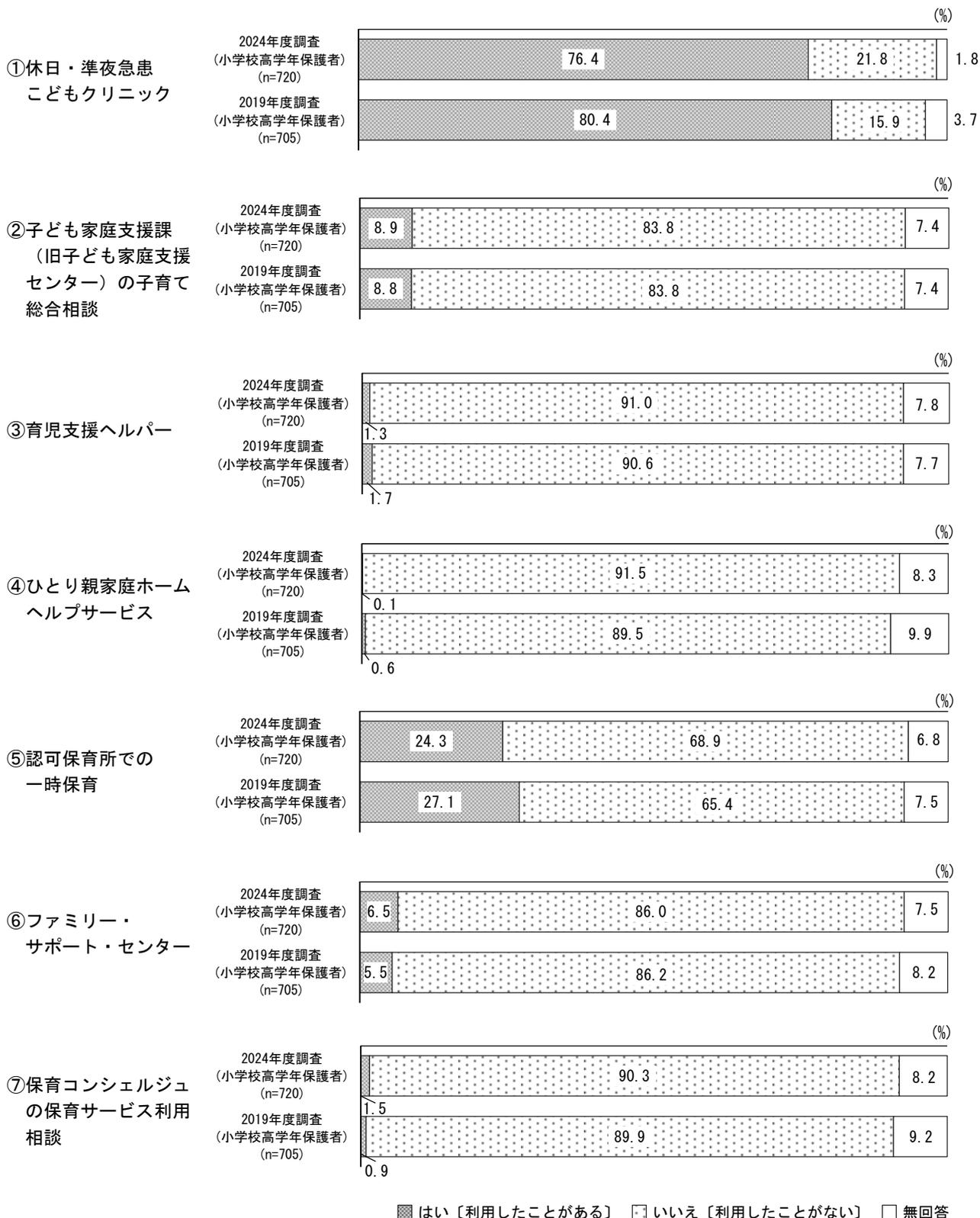
小学校高学年保護者
(n=795)

子育て支援事業の利用状況

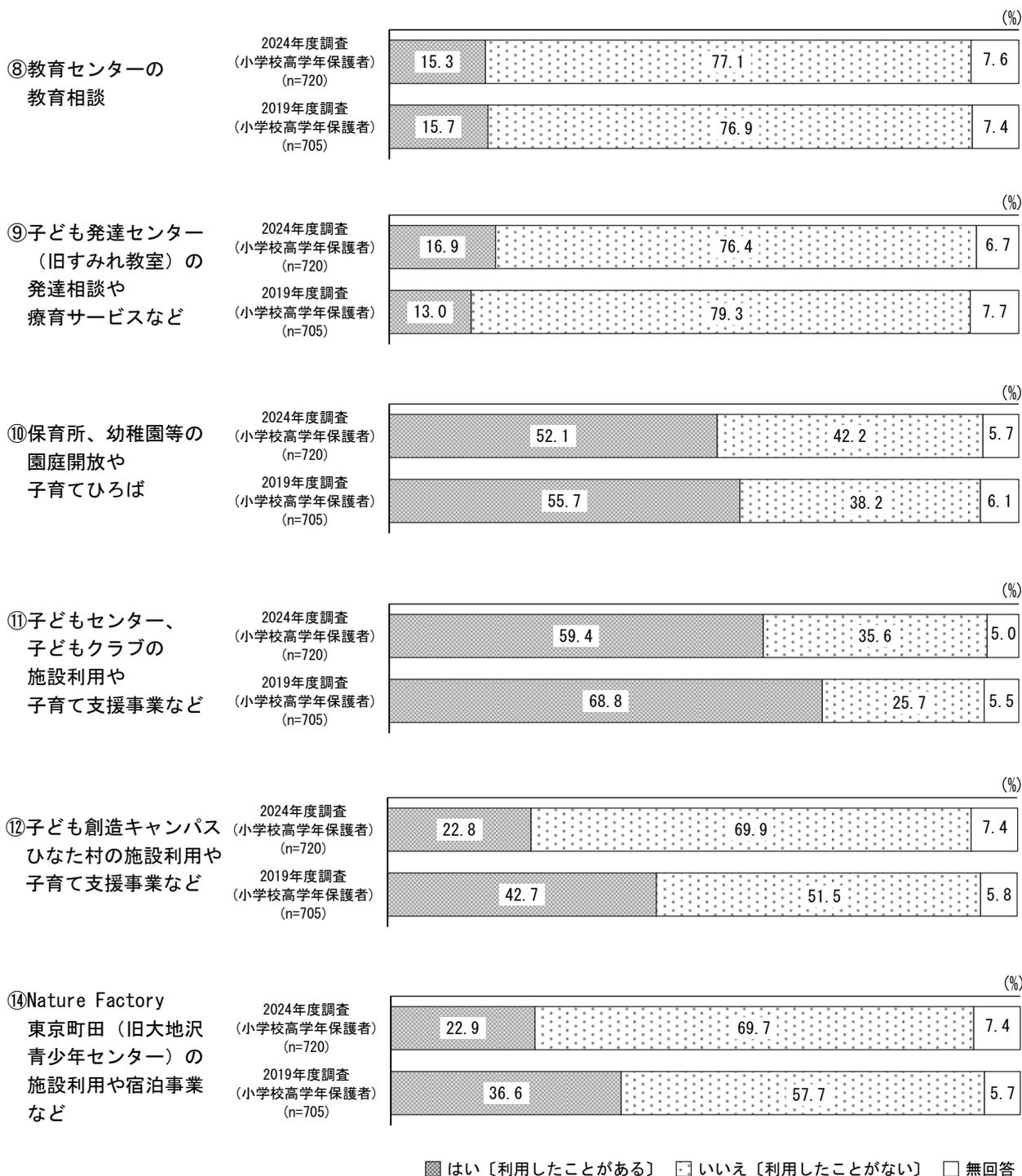


○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、利用したことがある人の割合は、『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』が最も増加し、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』が最も減少しています。



第2章 調査結果 4 【調査③】 小学校高学年保護者



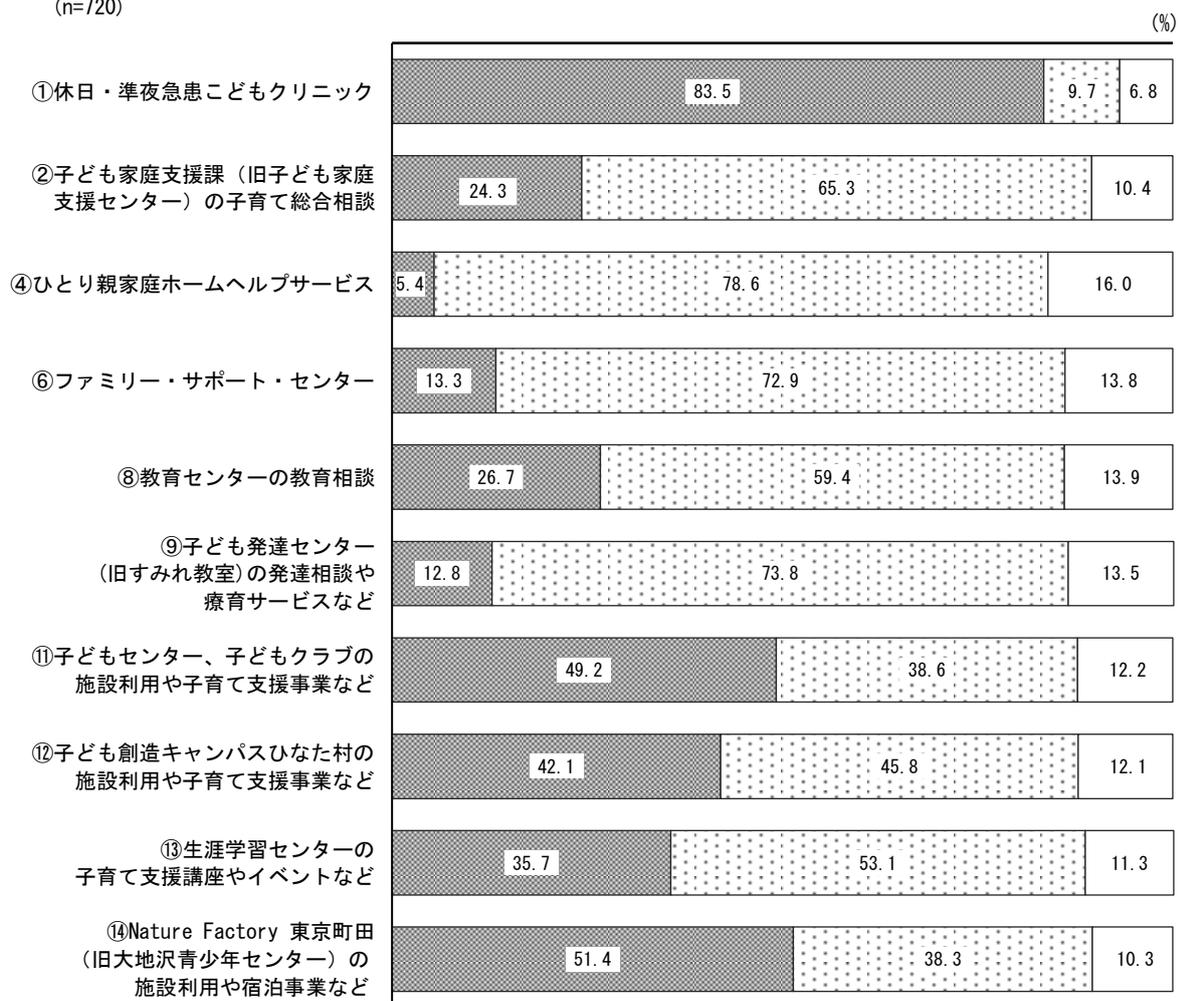
※ 「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は2024年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【C 利用意向】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』は、今後利用したいと思う人の割合が83.5%と、最も利用意向が高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑥ファミリー・サポート・センター』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』では、今後利用したいと思う人の割合が2割未満と低くなっています。

小学校高学年保護者
(n=720)

子育て支援事業の利用意向

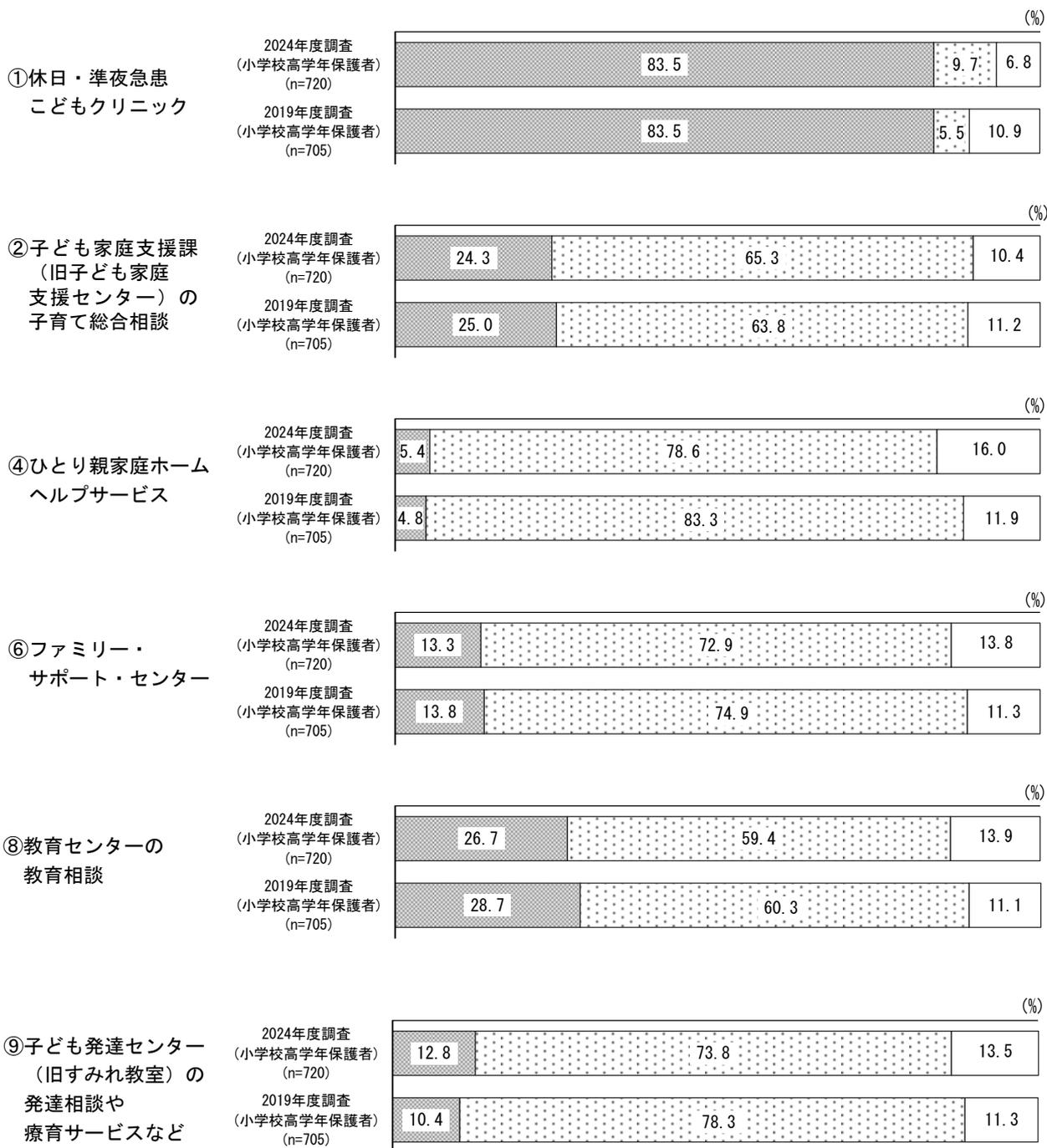


■ はい【今後利用したいと思う】 □ いいえ【今後利用したいと思わない】 □ 無回答

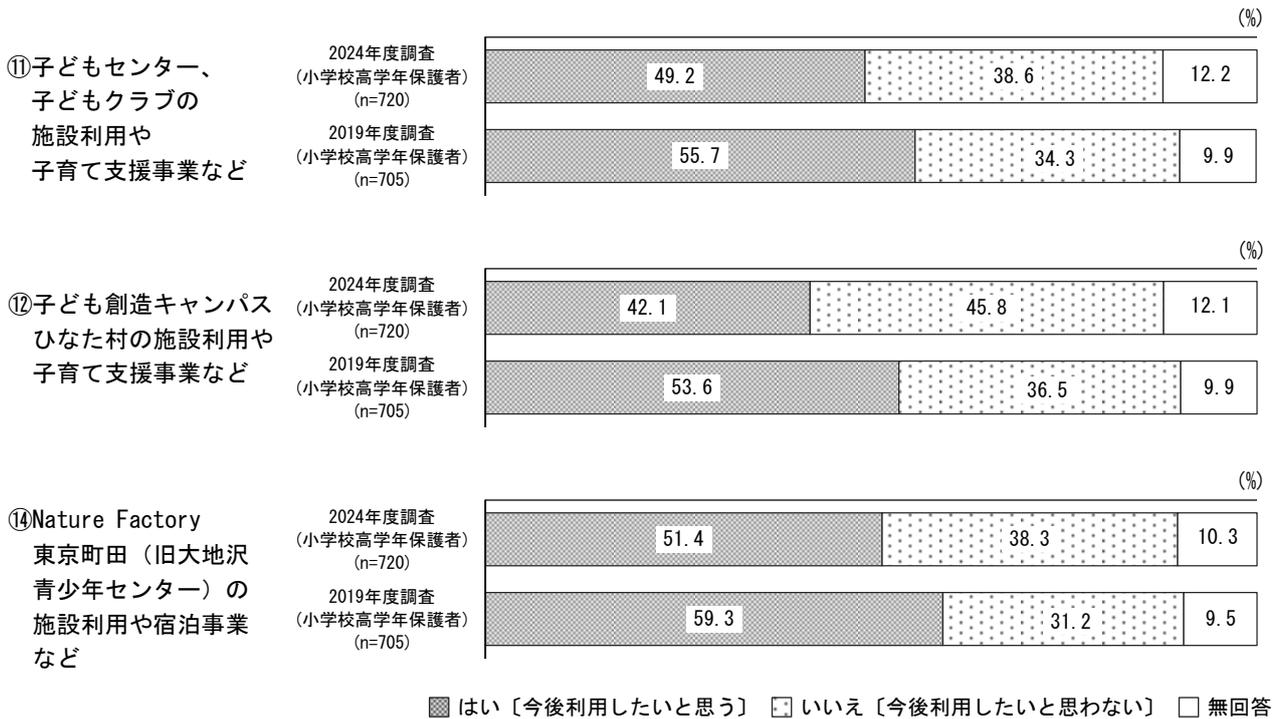
※ 「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

○ 2019年度調査との比較

- 2019年度調査と比較して、今後利用したいと思う人の割合は、『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』が最も増加し、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』が最も減少しています。



■ はい【今後利用したいと思う】 □ いいえ【今後利用したいと思わない】 □ 無回答

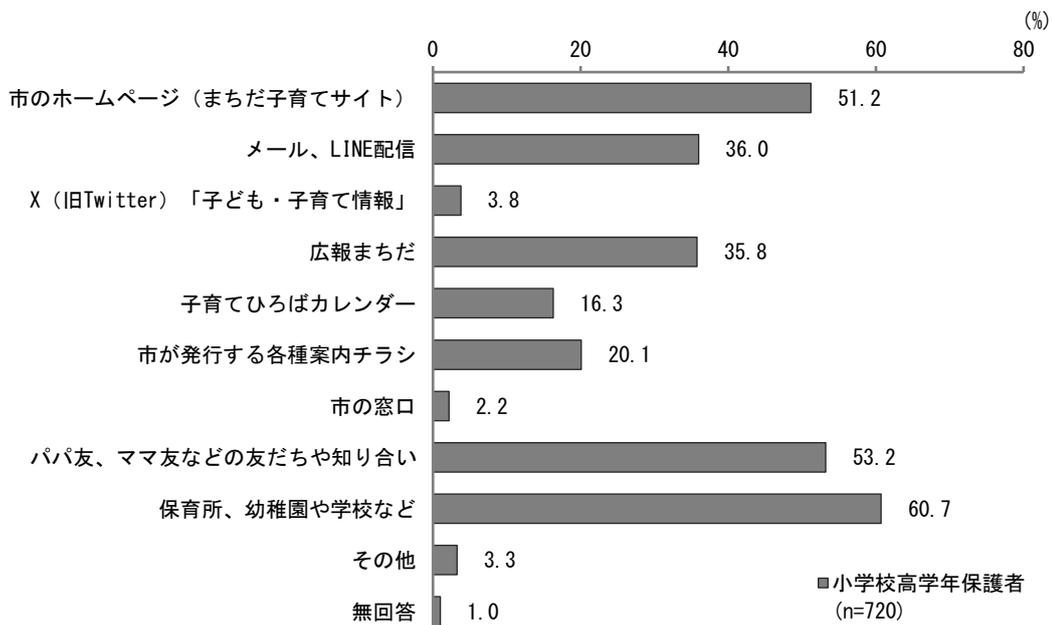


※ 「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は、就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

問16 子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「保育所、幼稚園や学校など」が60.7%と最も多く、次いで「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が53.2%、「市のホームページ（まちだ子育てサイト）」が51.2%となっています。

子育て情報の入手方法
(複数回答)

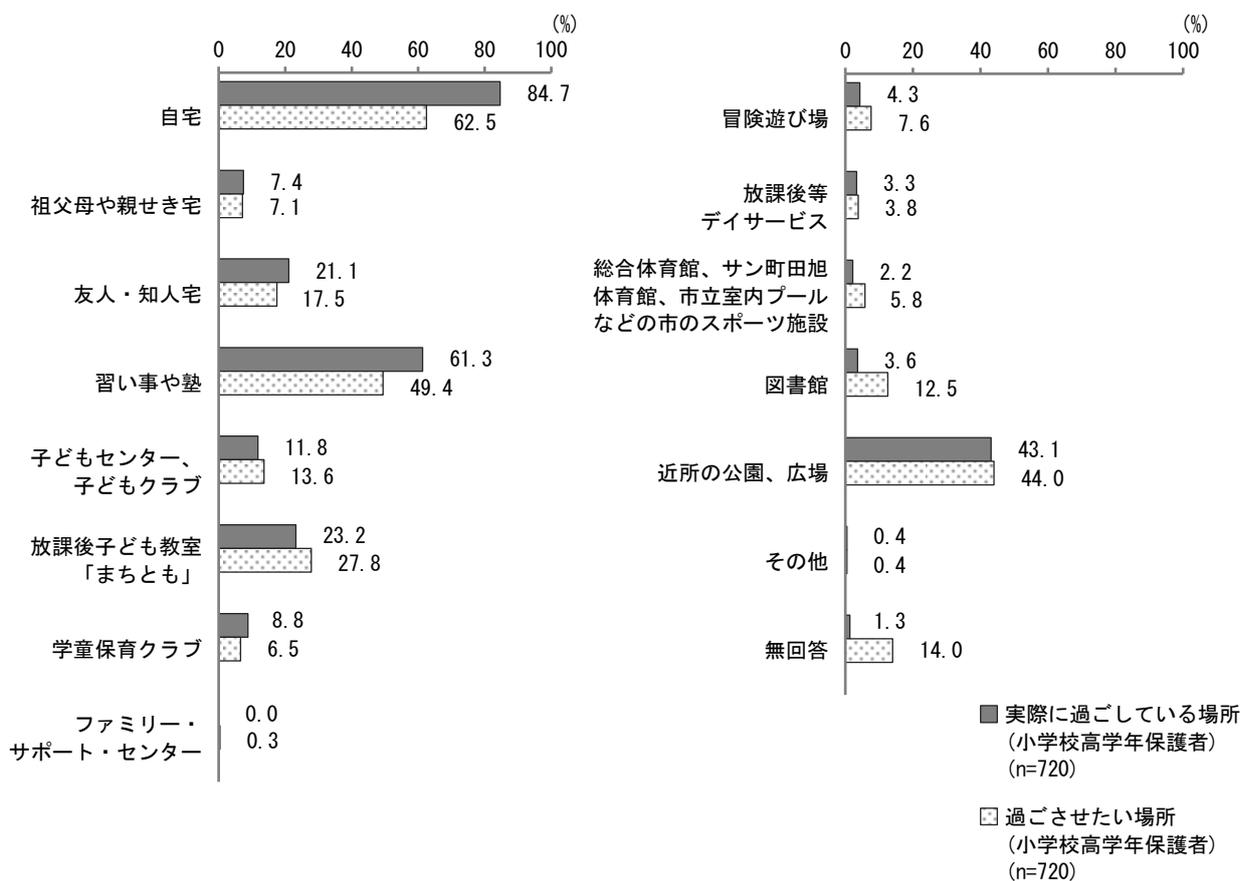


(6) 放課後の過ごし方について

問17 あて名のお子さんは、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
 過ごしている、または、過ごさせたい場所にあてはまる場合、週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 実際に過ごしている場所は、「自宅」が84.7%と最も多く、次いで「習い事や塾」が61.3%、「近所の公園、広場」が43.1%となっています。
- 過ごさせたい場所は、「自宅」が62.5%と最も多く、次いで「習い事や塾」が49.4%、「近所の公園、広場」が44.0%となっています。
- 実際に過ごしている場所と過ごさせたい場所を比較すると、実際に過ごしている場所は「自宅」が過ごさせたい場所を最も大きく上回り、過ごさせたい場所は「図書館」が実際に過ごしている場所を最も大きく上回っています。

放課後の時間を過ごしている場所・過ごさせたい場所
 (複数回答)



【過ごしている1週当たりの日数】

- 半数以上の場所で「1日」の割合が最も高くなっています。
- 『自宅』『学童保育クラブ』では「5日」の割合が最も高くなっています。

過ごしている1週当たりの日数（高学年）

（%）

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	610	11.3	16.2	16.2	13.3	28.9	3.0	11.1	-
祖父母や親せき宅	53	43.4	18.9	3.8	5.7	20.8	1.9	5.7	-
友人・知人宅	152	69.7	19.7	5.9	3.3	1.3	-	-	-
習い事や塾	441	23.4	29.7	21.3	16.1	6.1	2.9	0.5	-
子どもセンター、子どもクラブ	85	64.7	20.0	7.1	1.2	4.7	2.4	-	-
放課後子ども教室「まちとも」	167	50.3	22.2	13.8	8.4	5.4	-	-	-
学童保育クラブ	63	7.9	11.1	14.3	20.6	44.4	1.6	-	-
ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冒険遊び場	31	58.1	22.6	9.7	6.5	3.2	-	-	-
放課後等デイサービス	24	16.7	16.7	33.3	12.5	20.8	-	-	-
総合体育館、サン町田旭体育館、 市立室内プールなどの市のスポーツ施設	16	81.3	12.5	6.3	-	-	-	-	-
図書館	26	96.2	3.8	-	-	-	-	-	-
近所の公園、広場	310	44.8	24.8	16.5	8.4	5.2	0.3	-	-
その他	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-

【過ごさせたい1週当たりの日数】

- 多くの場所で「1日」または「2日」の割合が最も高くなっていますが、『学童保育クラブ』では「5日」の割合が最も高くなっています。
- それぞれの場所の過ごしている日数（183頁参照）と過ごさせたい日数を比較すると、最も割合が高い日数は、おおむね一致しています。一方で、『自宅』『放課後子ども教室「まちとも」』『近所の公園、広場』の最も割合が高い日数は異なっており、特に『自宅』では、過ごしている日数は「5日」、過ごさせたい日数は「2日」が最も多く、実際の状況と希望の差が大きくなっています。

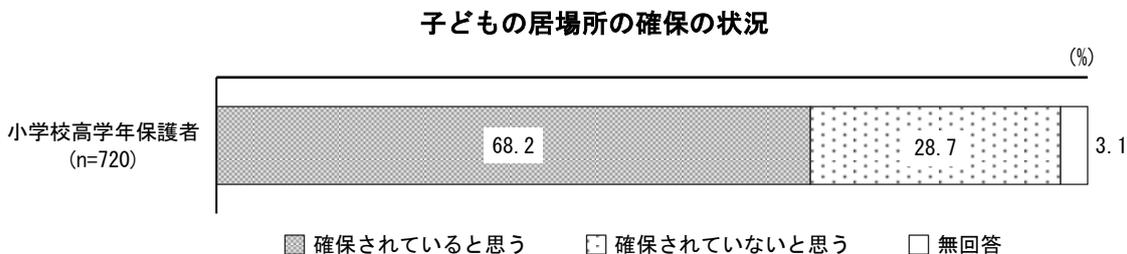
過ごさせたい1週当たりの日数（高学年）

(%)

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	450	12.4	22.9	22.7	10.9	21.8	0.9	8.4	-
祖父母や親せき宅	51	41.2	29.4	11.8	-	13.7	2.0	2.0	-
友人・知人宅	126	77.0	13.5	4.8	2.4	2.4	-	-	-
習い事や塾	356	17.7	31.2	28.9	14.6	5.9	0.8	0.8	-
子どもセンター、子どもクラブ	98	50.0	27.6	15.3	2.0	5.1	-	-	-
放課後子ども教室「まちとも」	200	31.5	33.5	18.0	8.0	9.0	-	-	-
学童保育クラブ	47	6.4	14.9	14.9	27.7	34.0	2.1	-	-
ファミリー・サポート・センター	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
冒険遊び場	55	52.7	32.7	9.1	5.5	-	-	-	-
放課後等デイサービス	27	22.2	22.2	29.6	7.4	18.5	-	-	-
総合体育館、サン町田旭体育館、 市立室内プールなどの市のスポーツ施設	42	66.7	26.2	4.8	-	2.4	-	-	-
図書館	90	77.8	15.6	6.7	-	-	-	-	-
近所の公園、広場	317	28.4	30.3	26.2	6.9	7.6	0.3	0.3	-
その他	3	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	-

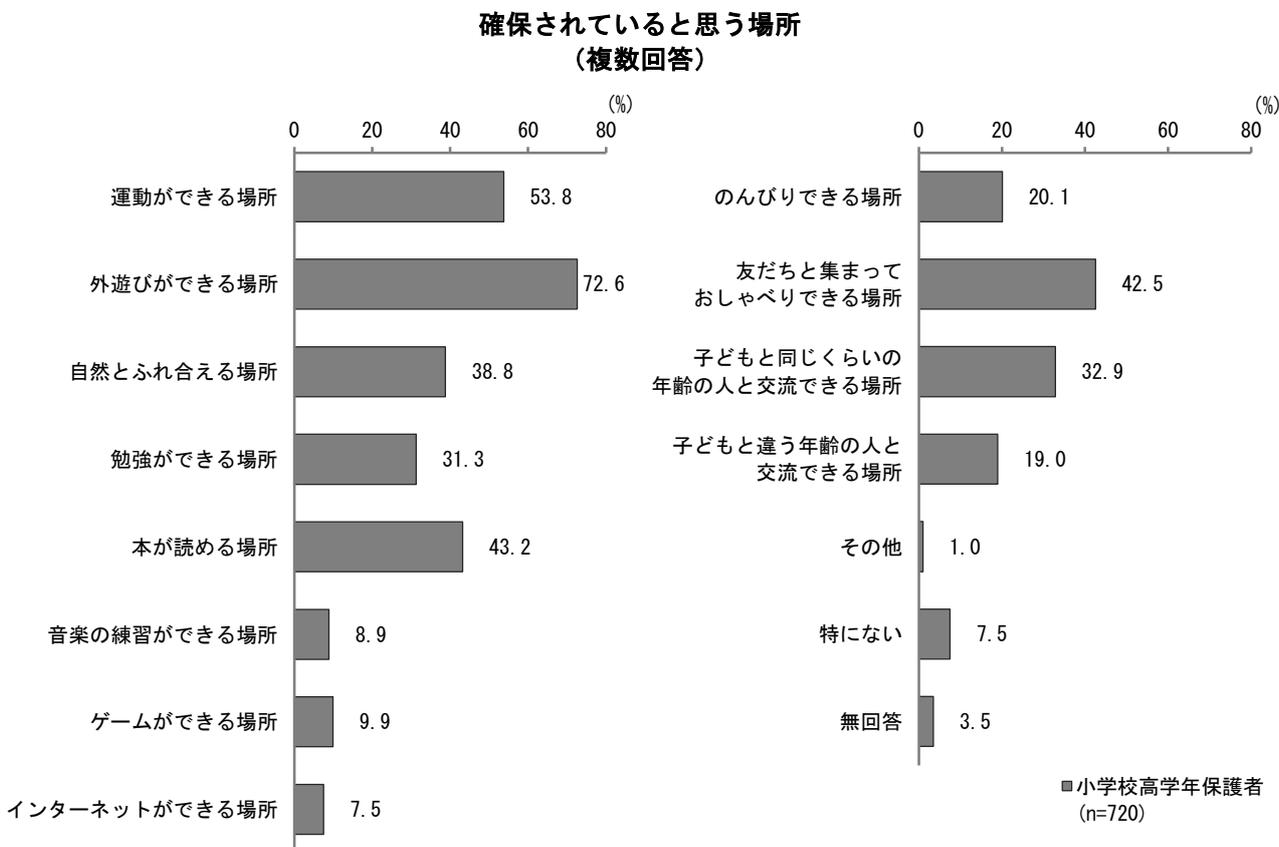
(7) 子どもの居場所について

問18 町田市では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。【○は1つだけ】
 ※家と学校は除きます。



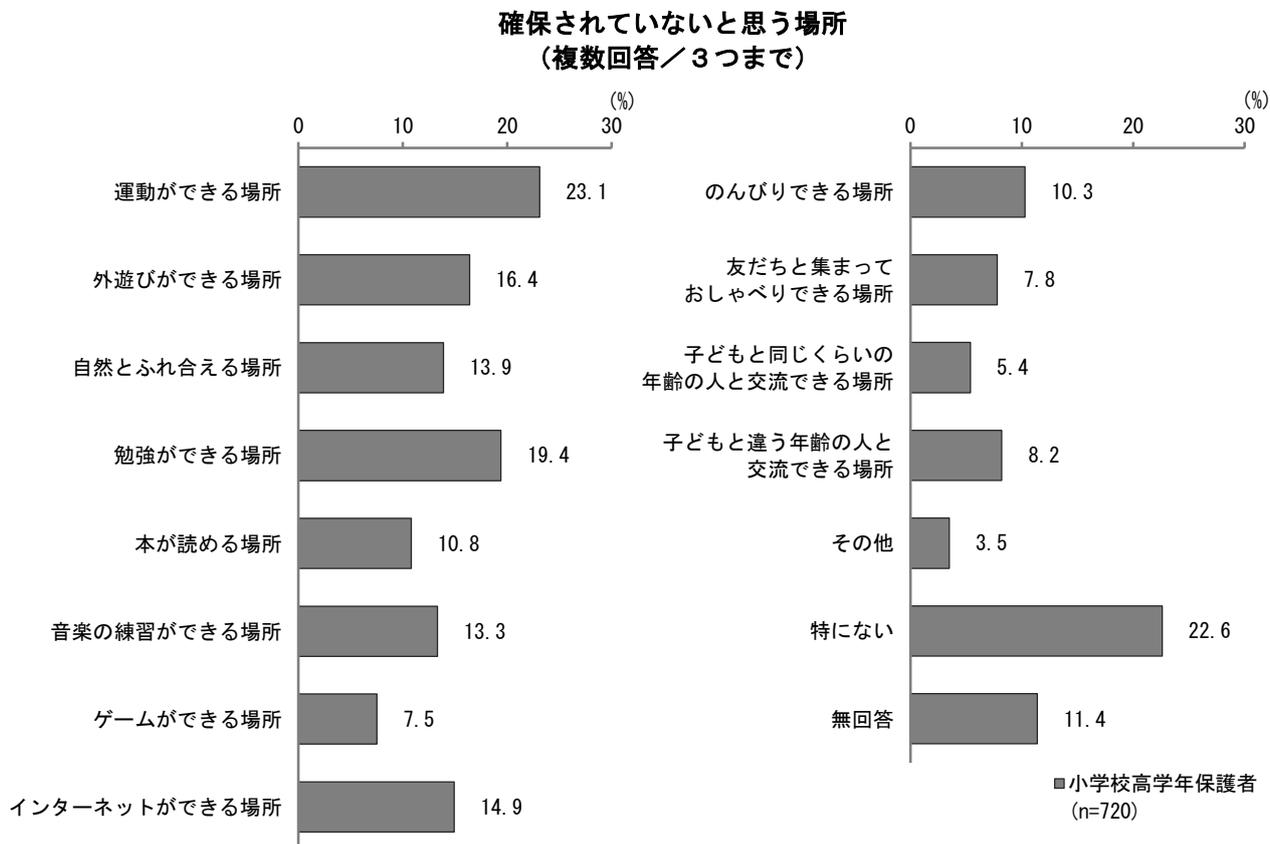
問18-1 子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「外遊びができる場所」が72.6%と最も多く、次いで「運動ができる場所」が53.8%、「本が読める場所」が43.2%となっています。



問18-2 子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。【〇は3つまで】

- 「運動ができる場所」が23.1%と最も多く、次いで「特にない」が22.6%、「勉強ができる場所」が19.4%となっています。



(8) 学童保育クラブについて

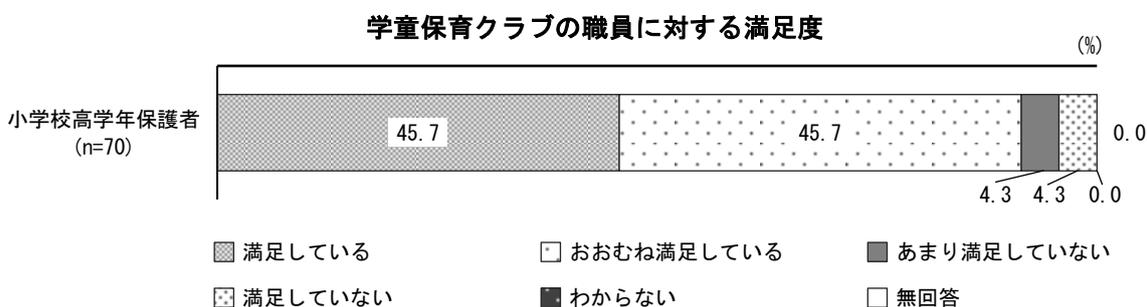
問19 あて名のお子さんは学童保育クラブを利用していますか。【○は1つだけ】



※問20～22は、問20で「利用している」を選択した人のみ回答

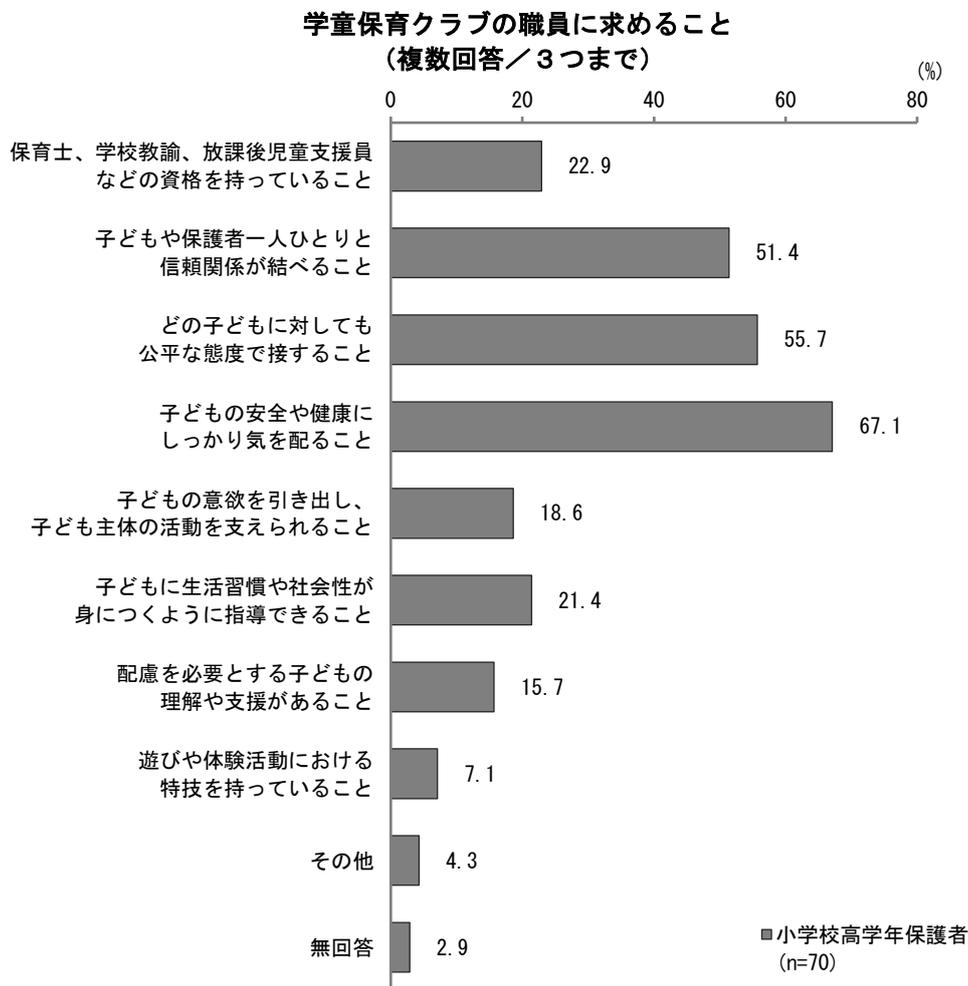
問20 学童保育クラブの職員に満足していますか。【○は1つだけ】

- 「満足している」「おおむね満足している」が45.7%と最も多く、次いで「あまり満足していない」「満足していない」が4.3%となっています。



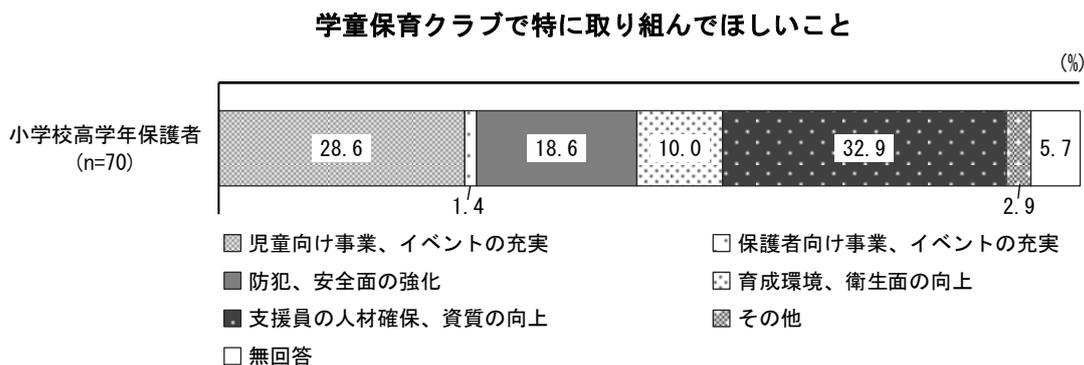
問21 学童保育クラブの職員に求めることは何ですか。【○は3つまで】

- 「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」が67.1%と最も多く、次いで「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」が55.7%、「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」が51.4%となっています。



問22 学童保育クラブで特に取り組んでほしいことは何ですか。【○は1つだけ】

- 「支援員の人材確保、資質の向上」が32.9%と最も多く、次いで「児童向け事業、イベントの充実」が28.6%、「防犯、安全面の強化」が18.6%となっています。



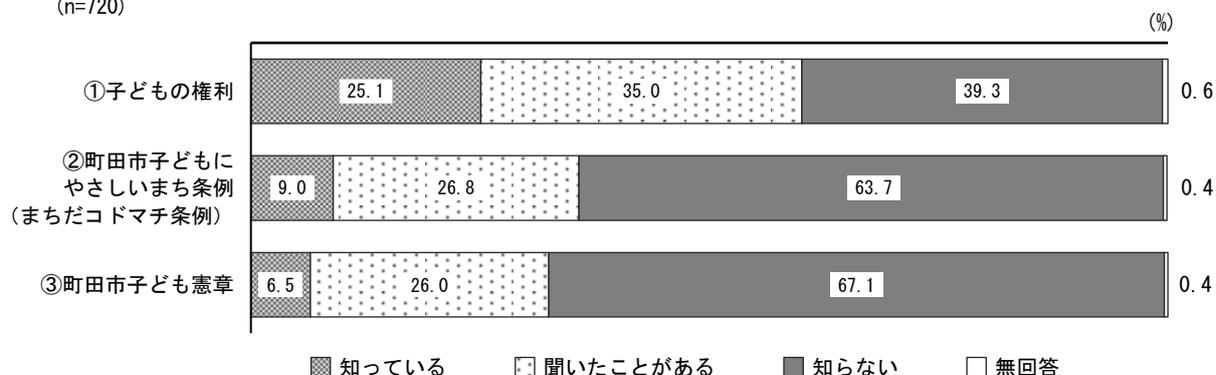
(9)「子どもの権利」について

問23 子どもには大切な「子どもの権利」があります。
 町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
 あなたは、これらについて知っていますか。
 ①～③について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が約6割と
 なっているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）』『③町田市
 子ども憲章』の認知度は3割程度と低くなっています。

「子どもの権利」「まちだコドマチ条例」^{ルール}「町田市子ども憲章」の
 認知度

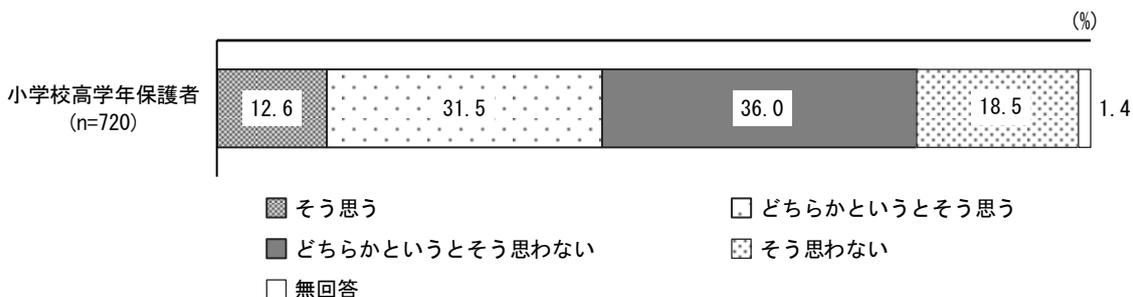
小学校高学年保護者
 (n=720)



問24 「子どもの権利」の1つに「参加する権利」があります。
 「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることが含まれます。町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会があると思いますか。【○は1つだけ】

- 「どちらかというと思わない」が36.0%と最も多く、次いで「どちらかというと思おう」が31.5%、「そう思わない」が18.5%となっています。

子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無

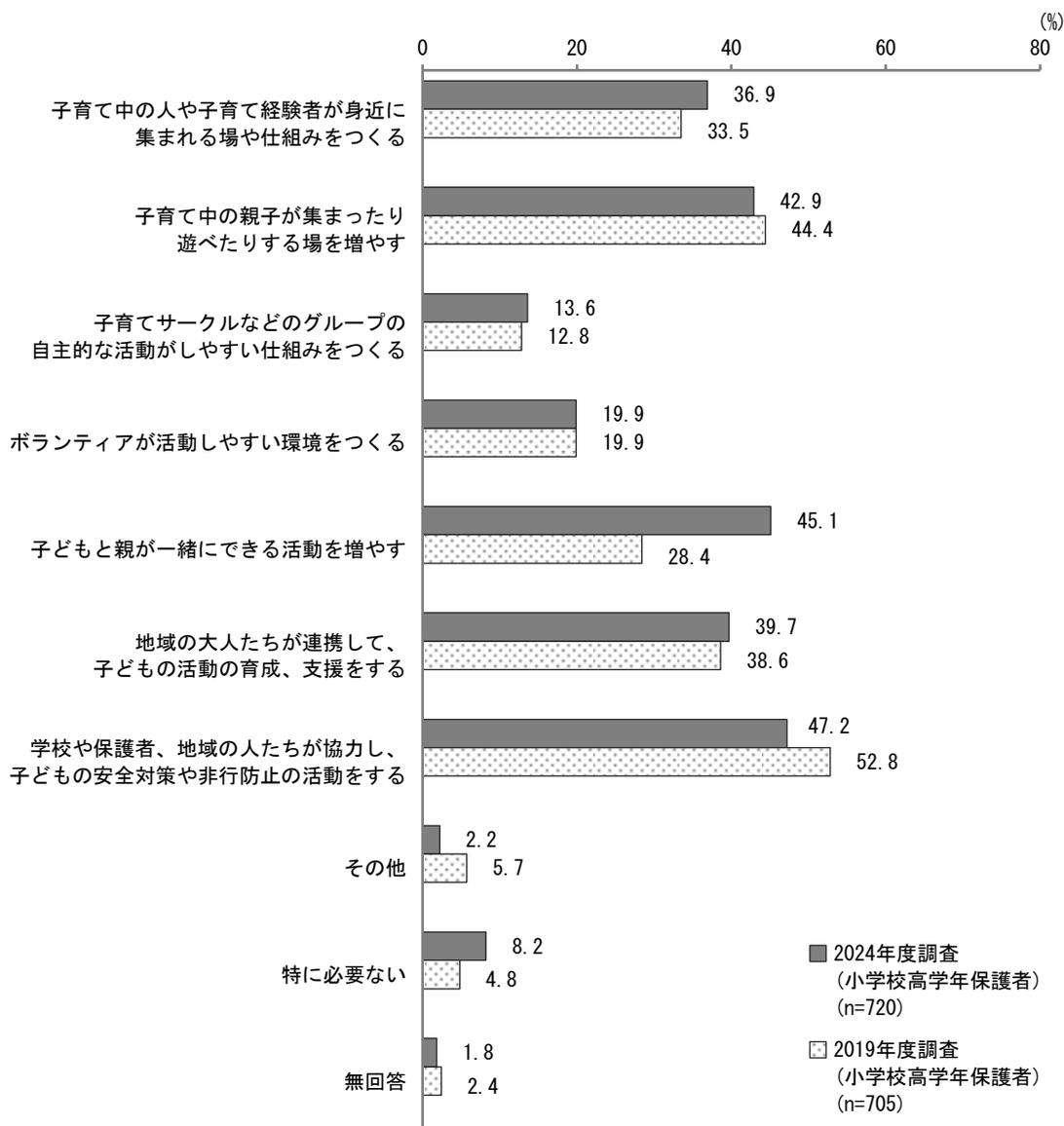


(10) 子育て施策全般について

問25 安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が47.2%と最も多く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が45.1%、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」が42.9%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」の割合が最も増加し、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が最も減少しています。

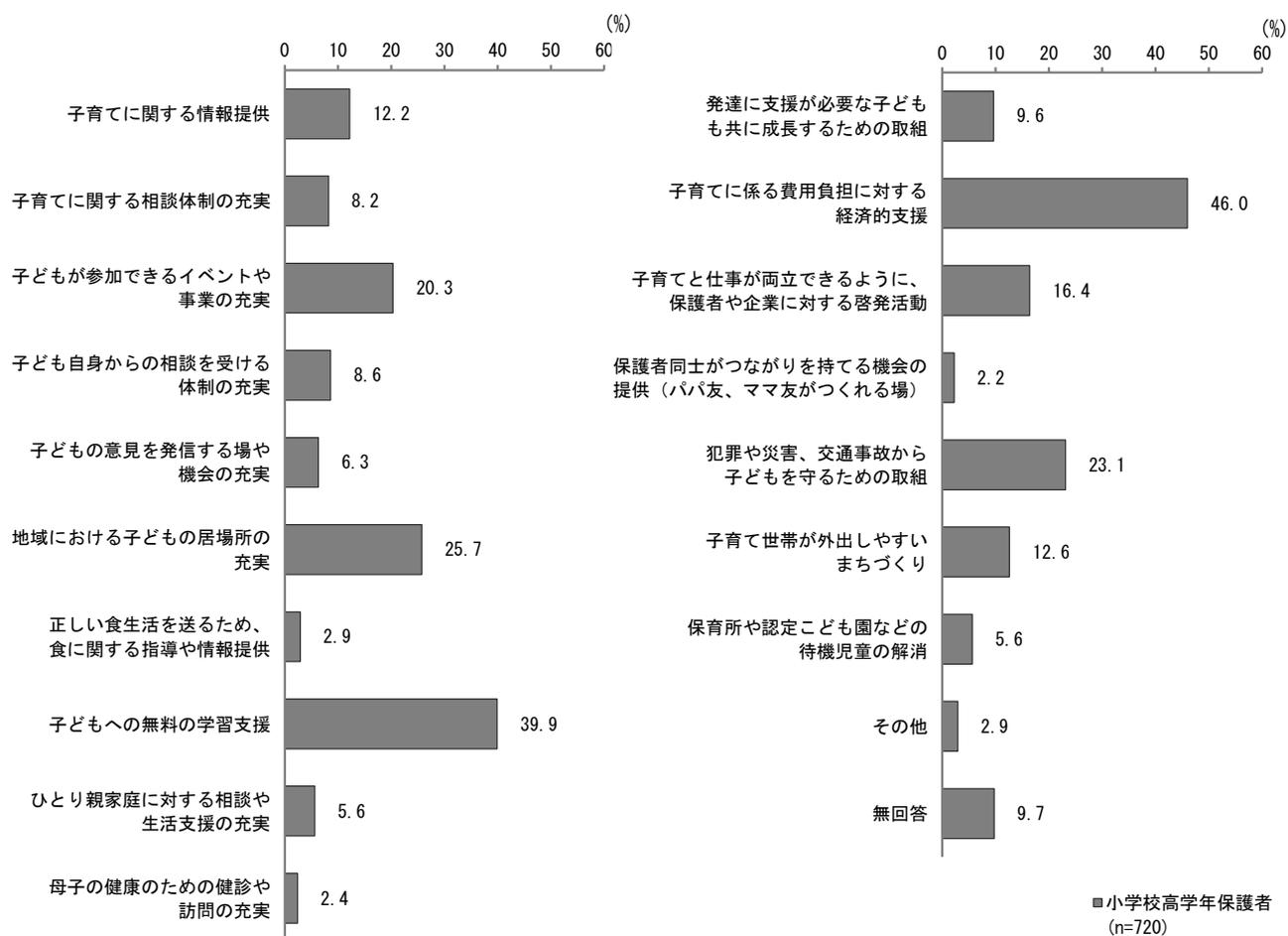
安心して子育てをするために必要だと思う取組
(複数回答)



問26 市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。
【〇は3つまで】

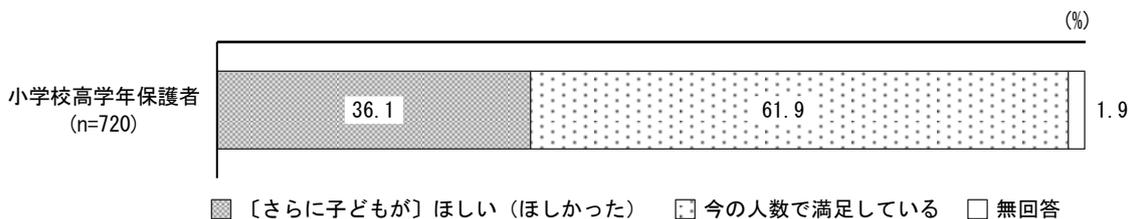
- 「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が46.0%と最も多く、次いで「子どもへの無料の学習支援」が39.9%、「地域における子どもの居場所の充実」が25.7%となっています。

市に期待する支援や取組
(複数回答/3つまで)



問27 問26の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。【○は1つだけ】

取組が充実した場合の希望



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別で見ると、すべての年齢で「今の人数で満足している」の割合が高く、11歳で最も高くなっています。

取組が充実した場合の希望【子どもの年齢別】

区分	回答者数 (件)	（ほしかった）	今の人数で満足している	無回答
9歳	243	38.3	59.3	2.5
10歳	205	35.6	62.9	1.5
11歳	231	32.9	65.8	1.3

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別で見ると、すべての就労状況で「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【母親の就労状況別】

区分	回答者数 (件)	（ほしかった）	今の人数で満足している	無回答
フルタイム	202	35.1	63.9	1.0
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	2	0.0	100.0	0.0
パートタイム、アルバイトなど	305	39.3	59.3	1.3
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	1	0.0	100.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	170	35.3	62.4	2.4
これまでに就労したことがない	17	17.6	70.6	11.8

問28 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、238人の方から、計324件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
1 小学校の生活について	53
(1) 小学校について	38
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化のため、ある程度の小中学校の統廃合はしかたがないが、数の多さに驚いた。統廃合することで、通学時間が伸びたり、1クラスあたりの人数が増えたり、学童の人数も増えたりと子どもたちには負担ばかりの気がする。 ・共働き世帯も増えている中で、PTAのあり方そのものの見直しが必要に感じる。親と先生をつなぐ活動が大切であることは理解できるが、負担の軽減は検討してほしい。 	
(2) 学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	15
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育クラブを利用しているが、長期休みはお弁当を持たせている。保護者の負担軽減や食中毒予防の観点から、町田市でも、長期休みの学童保育クラブ利用時に希望者には弁当や給食の提供をしてほしい。 ・地域のボランティアも活用しながら、「まちとも」が長期休暇中も増えるとありがたい。 	
2 子育て支援全般について	41
(1) 子どもの居場所やイベント（子どもセンター、親子イベントなど）について	16
<ul style="list-style-type: none"> ・近所には、子どもセンターなどの子どもが遊べる場所がない。野球ができるような場所も少ないため、子どもが様々な遊びができる場所を、町田市内に偏りなく確保してほしい。 ・町田市は、適度に市街地と里山などの自然が混在しているので、自然の中で子どもたちや家族連れが遊べる施設やイベントが増えると良いと思う。 	
(2) 障がい児への支援について	9
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが障がい児のため、毎朝隣の学区の小学校の特別支援学級に車で送っている。それ以外にも学校の行事に付き添ったり、発達支援のサービスに同行したりするため、短時間のアルバイト以外（正社員など）で働くのは無理。障害児福祉手当で親の負担を軽減してもらいたいが、せめて兄弟児の負担を軽減してもらえないか（兄弟児の学童保育クラブ無料化など）。 	
(3) 子育て支援に関する情報、相談先について	11
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援講座に興味はあっても日程が合わなかったり、連続で出席するものだったりして断念している。オンラインで見られれば良いと思う。また、市の情報については、いくらチラシを作っても忙しい親は見ない。入学式、卒業式等、親たちが集まるときに直接（やビデオレター等で）アナウンスすれば知ることができていたかもしれない。 ・ひとり親のため、時間（仕事）と資金のバランスがとても難しい。情報を集めたり、支援を利用するために市役所が開いている平日の昼間に休みをとることが大変。お金がないから働いているのに、支援を得るためには仕事を休まなければいけないということが本末転倒。 	

【主な意見】

回答分類	件数
(4) 子どもを預けられる場所の充実について	5
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの預け場所を知らないので、働きたくても働くことができない。春休み、夏休み等の長期休みを含め預かってくれるところを周知してほしい。 	
3 子育て環境について	128
(1) 公園・遊び場・外出について	40
<ul style="list-style-type: none"> ・小さい公園は多いが、もう少し広くボール遊びもできるような場所があれば、子どもたちも年代を越えて集まれると思う。 ・体育館などで、自由にスポーツ（バスケットボールや卓球など）ができる場所があると嬉しい。 	
(2) 公共施設等について	17
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が近くになく、車に乗って行くのが不便。取寄せサービスを利用するだけでは色々な本を見ることができず、読書する意欲もわきにくいと感じている。勉強する場所も確保できず、残念。 ・子どもたちが大きなホール等で、ピアノや楽器を演奏する機会が少ないので、市のホールのピアノ等、平日の空き時間に練習目的で貸し出してほしい。ピアノを習っていても家庭の事情で家にピアノがない子どもが増えているので、練習できる場所があれば良いと思う。 	
(3) 医療費補助・医療・健診体制について	10
<ul style="list-style-type: none"> ・共働きで、子どもを病院に連れて行くのが大変。平日連れていくのが難しく、休日・準夜急患こどもクリニックで診てもらおうとしたら、検査はしてもらえず、翌日にかかりつけで診てもらおうように言われた。働きながらの子育てがしやすい世の中になってほしいと思う。 	
(4) 地域との協力について	13
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で助け合っていく仕組みができると良いと感じた。親たちも忙しく時間的な余裕もないが、親子が安心してホッとできる場所があると良い。 ・今の子育て支援にとっても満足しているが、人生の先輩であるお年寄りとも交流がもてると、心の拠りどころになると思った。 	
(5) 教育環境や学習支援について	6
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の子どもやその家庭支援にさらに目を向けてほしい。子どもの不登校を受け入れた先には、将来の不安や日々の生活の送り方等、困難が絶えない。 	
(6) 防犯・安全面について	22
<ul style="list-style-type: none"> ・信号がない道路が多い上、学校の目の前で、大人が平気な様子で道路を横断しているのは本当に心配になる。また、死角も多く、不審者が多いため心配。 ・子どもとスマホの関係を心配している。インターネットもそうだが、正しい使い方ができているか、犯罪に巻き込まれないか、ずっとスマホを見ているので、脳に与える影響なども気になる。 	

【主な意見】

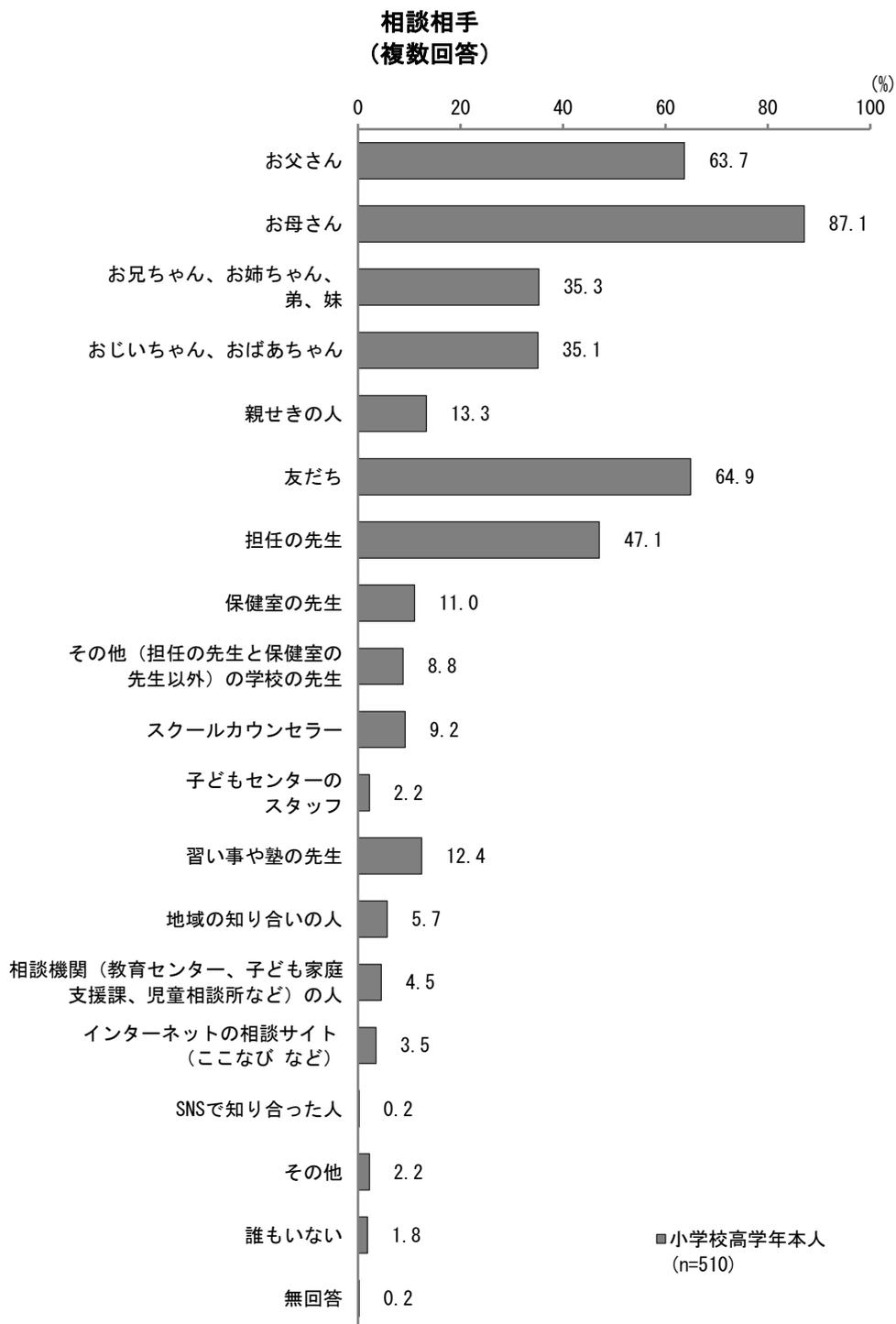
回答分類	件数
(7) まちづくりについて	20
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺に子ども服や子ども用品の店が少ないため、もっと駅周辺で色々揃えられるようになったら嬉しい。 ・ 駅近は、子育て世帯が増えているようだが、駅から遠い地域は子どもが減っているのも、もっと子どもが増えるようなまちになると良いと思う。 	
4 子育て中の保護者の状況について	75
(1) 社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	10
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親ばかりが学校等のイベントなどに出ることが多いため、もっと父親が参加できるような社会になってほしい。 	
(2) 子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	65
<ul style="list-style-type: none"> ・ 習い事の費用も年齢が上がるごとに高くなり、世の中の物価もどんどん上がっていく中で経済的な不安が大きい。 ・ 子どもの人数に関わらずに支援をしてもらえると、母子家庭も少しは生活水準が上がると思う。 ・ 子どもに係る学費の補助金などが所得でもらえないのは、不公平に思う。子どもとの時間を削って仕事をして稼いで、やっと支払いをしているのに、もらえないのはおかしい。 	
5 その他	27
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが一人っ子のため、ほぼ新品なのに不要になる物がある。もったいないので、誰かの役に立てたら良いのにと思っている。 ・ 子育てと仕事の両立の大変さを実感している。ワークライフバランスが充実するような仕組みがあると良いと思っている。例えば、平日（仕事がある日）の食事支援や、家事代行サービスを手軽に利用できるような仕組みがあると、子どもを産んで育てやすいと考える。 	

5 【調査④】小学校高学年本人

(1) 悩み事や相談先について

問1 何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がありますか。
【あてはまるものすべてに○】

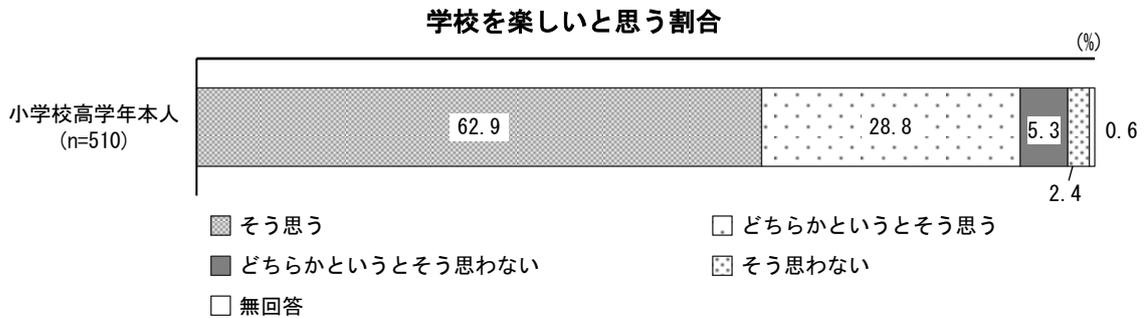
- 「お母さん」が87.1%と最も多く、次いで「友だち」が64.9%、「お父さん」が63.7%となっています。



(2) 学校生活について

問2 学校は楽しいと思いますか。【○は1つだけ】

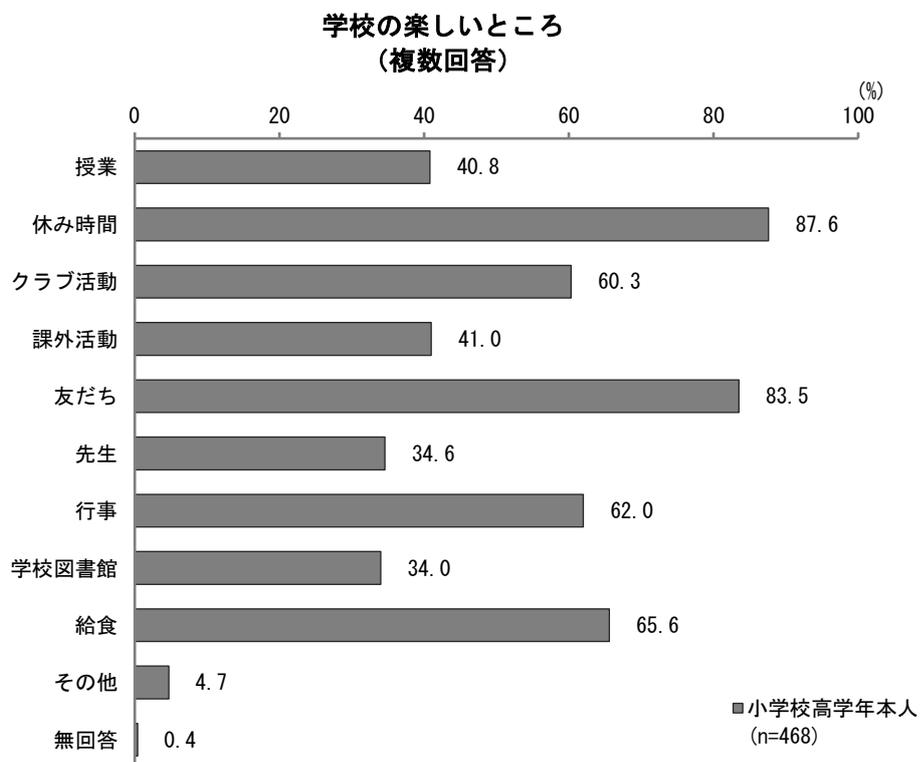
- 「そう思う」が62.9%と最も多く、次いで「どちらかというと思う」が28.8%、「どちらかというと思わない」が5.3%となっています。



※問2-1は、問2で「そう思う」または「どちらかというと思う」を選択した人のみ回答

問2-1 どのようなところが楽しいですか。【あてはまるものすべてに○】

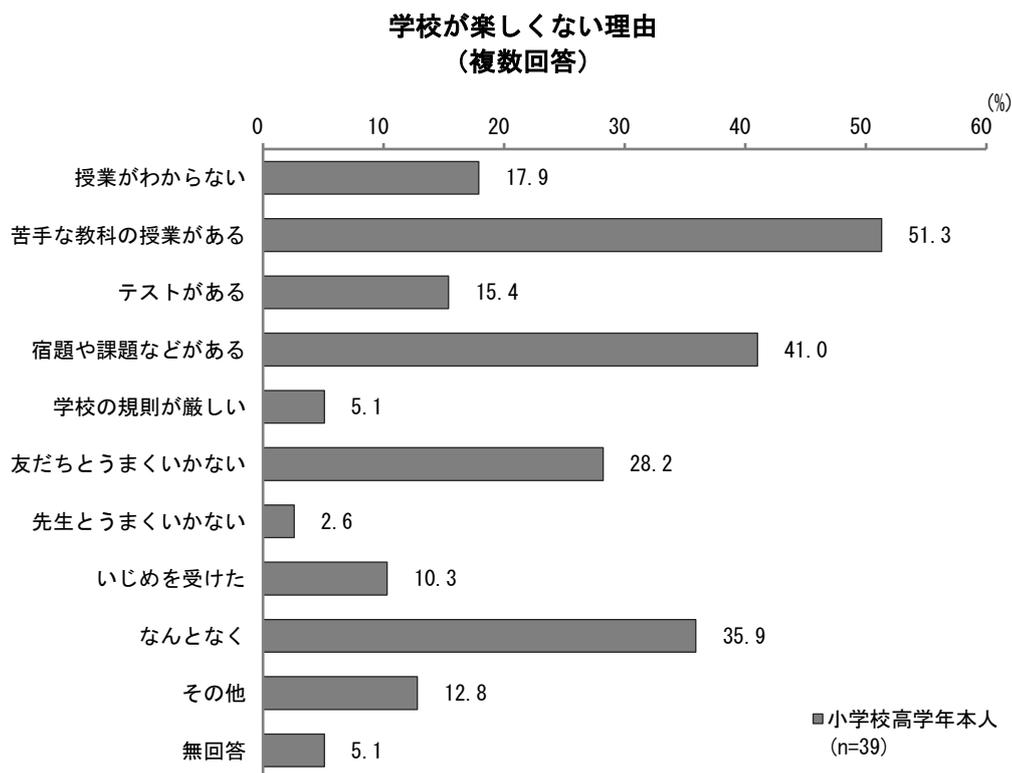
- 「休み時間」が87.6%と最も多く、次いで「友だち」が83.5%、「給食」が65.6%となっています。



※問2-2は、問2で「どちらかというと思わない」または「思わない」を選択した人のみ回答

問2-2 そう思わない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

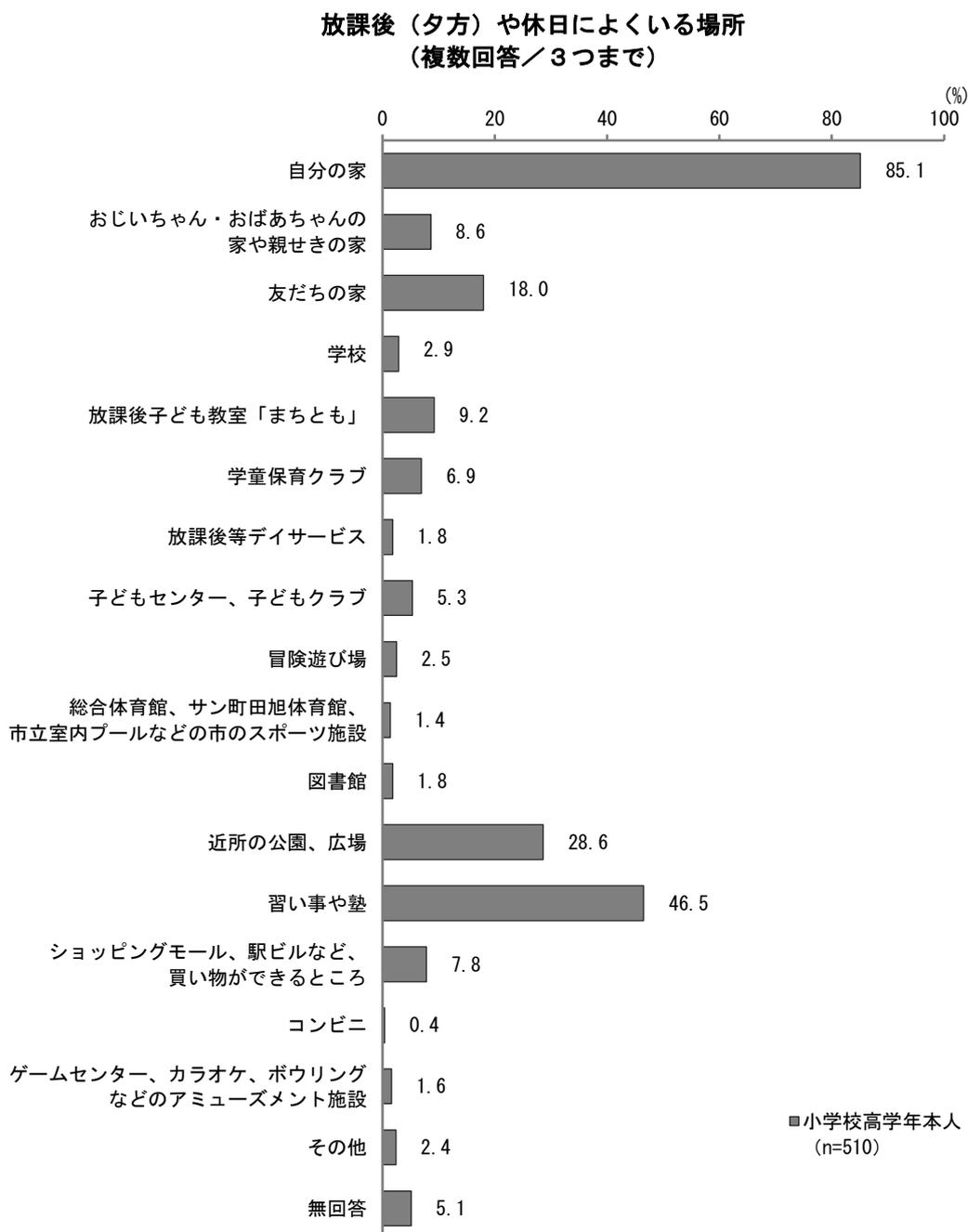
- 「苦手な教科の授業がある」が51.3%と最も多く、次いで「宿題や課題などがある」が41.0%、「なんとなく」が35.9%となっています。



(3) 放課後や休みの日の過ごし方について

問3 放課後（夕方）や休みの日はどこにすることが多いですか。【〇は3つまで】

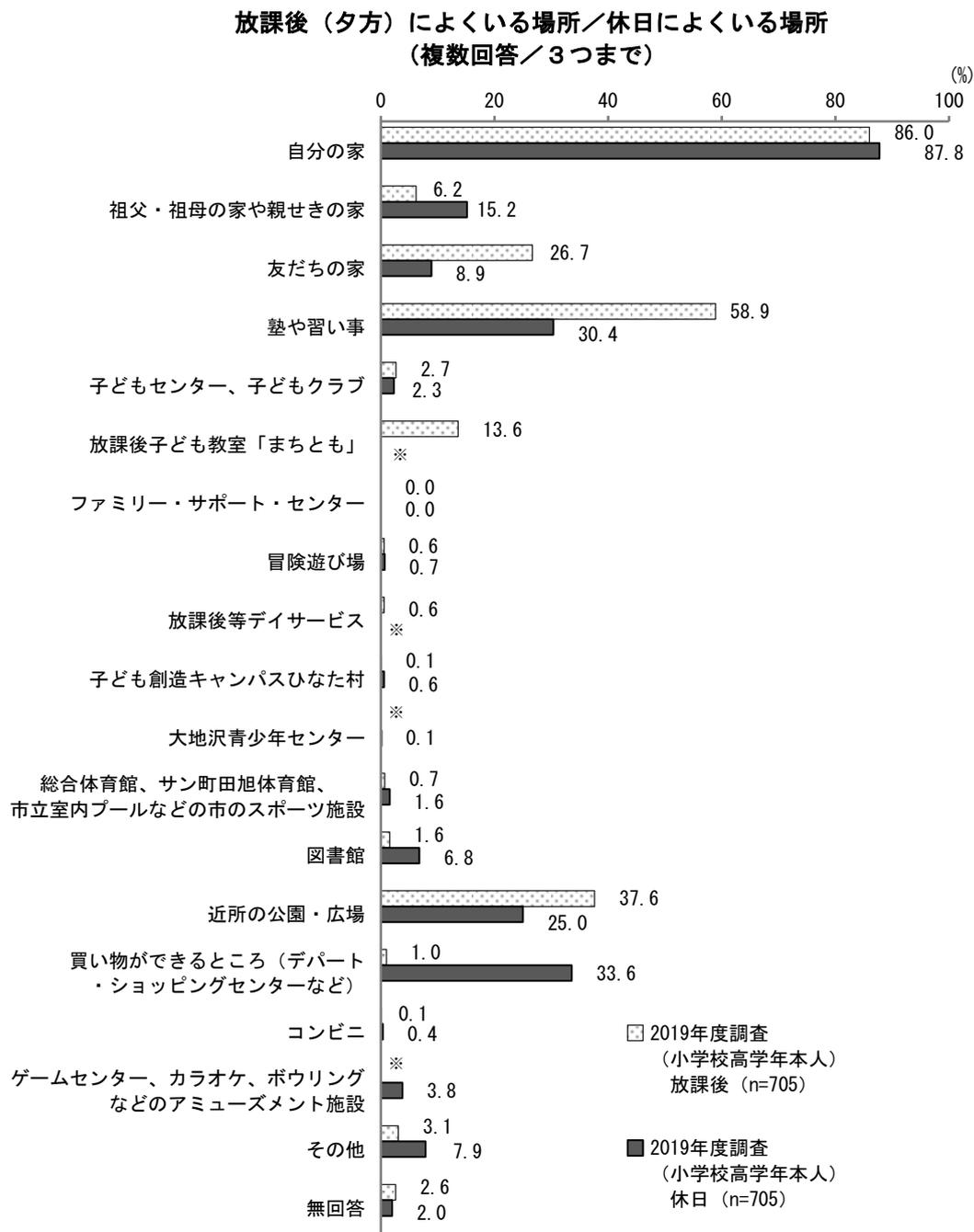
- 「自分の家」が85.1%と最も多く、次いで「習い事や塾」が46.5%、「近所の公園、広場」が28.6%となっています。



○ 参考（2019年度調査時の類似設問）

放課後（夕方）はどこにいることが多いですか。／休日はどこにいることが多いですか。

- 放課後（夕方）では、「自分の家」が86.0%と最も多く、次いで「塾や習い事」が58.9%、「近所の公園・広場」が37.6%となっていました。
- 休日では、「自分の家」が87.8%と最も多く、次いで「買い物ができるところ（デパート・ショッピングセンターなど）」が33.6%、「塾や習い事」が30.4%となっていました。

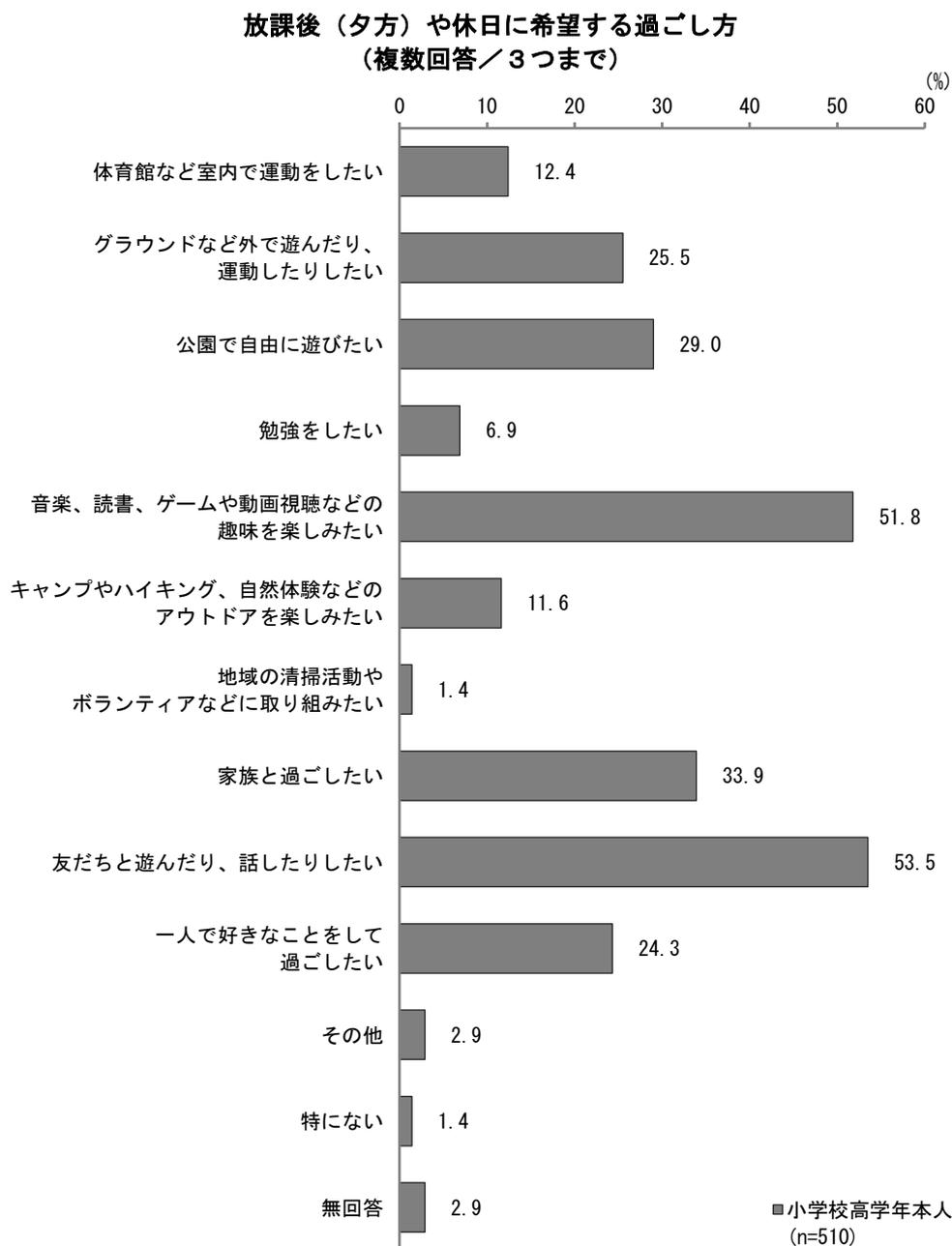


※「放課後等デイサービス」は、放課後（夕方）のみの項目。

「大地沢青少年センター（現在は「Nature Factory 東京町田）」「ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設」は、休日のみの項目。

問4 放課後（夕方）や休みの日はどのように過ごしたいですか。【〇は3つまで】

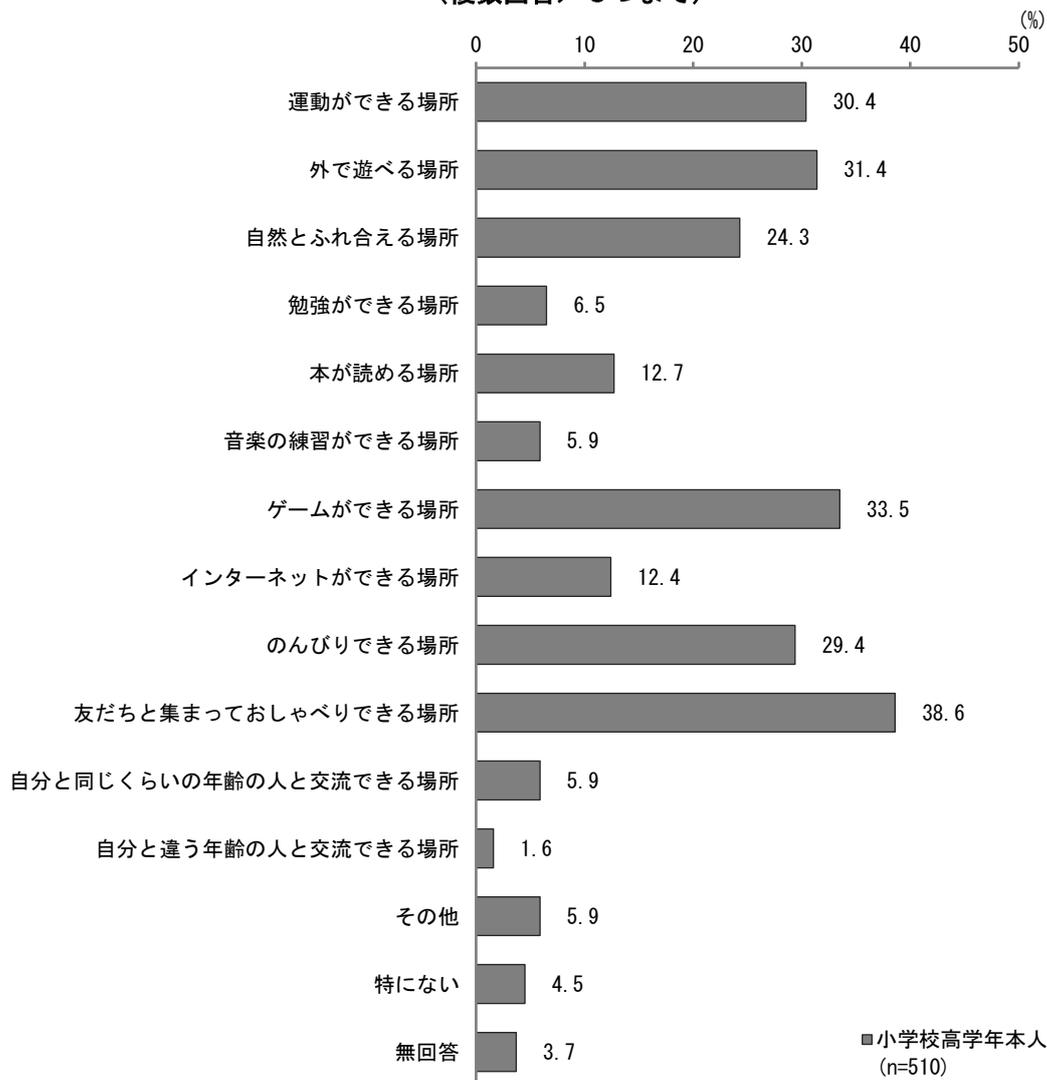
- 「友だちと遊んだり、話したりしたい」が53.5%と最も多く、次いで「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」が51.8%、「家族と過ごしたい」が33.9%となっています。



問5 放課後（夕方）や休みの日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものはありますか。【〇は3つまで】

- 「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が38.6%と最も多く、次いで「ゲームができる場所」が33.5%、「外で遊べる場所」が31.4%となっています。

放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所
（複数回答／3つまで）



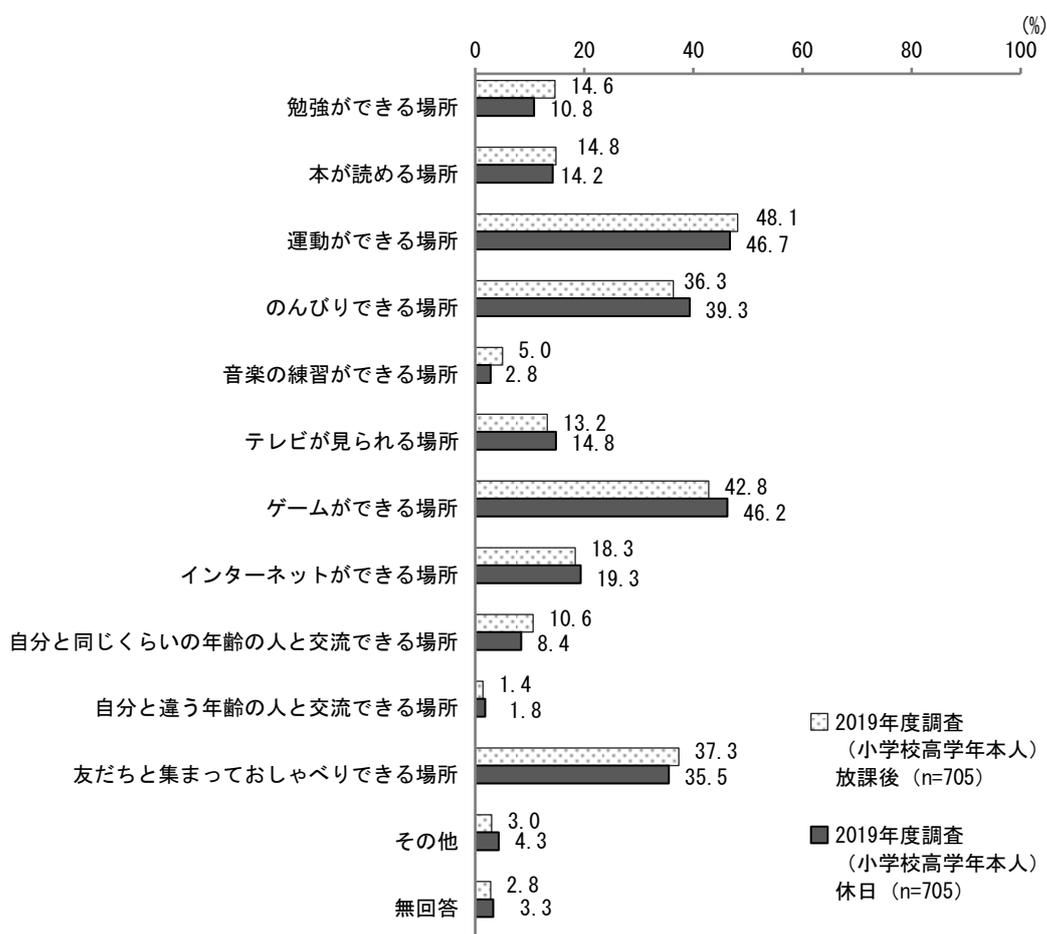
○ 参考（2019年度調査時の類似設問）

放課後（夕方）に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。

／休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。

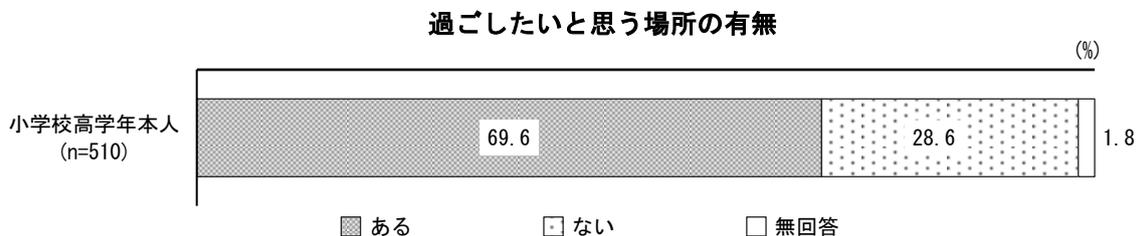
- 放課後（夕方）では「運動ができる場所」が48.1%と最も多く、次いで「ゲームができる場所」が42.8%、「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が37.3%となっていました。
- 休日では、「運動ができる場所」が46.7%と最も多く、次いで「ゲームができる場所」が46.2%、「のんびりできる場所」が39.3%となっていました。

放課後（夕方）に友だちと過ごすためにほしい場所／休日に友だちと過ごすためにほしい場所
（複数回答／3つまで）



(4) 町田市について

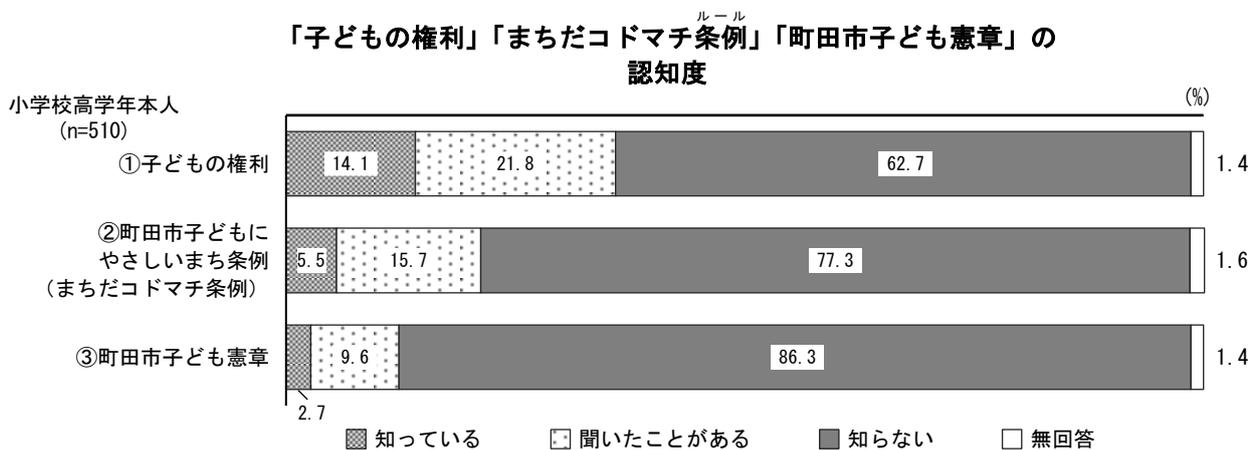
問6 家と学校以外で、放課後（夕方）や休みの日に過ごしたいと思える場所が町田市にありますか。【○は1つだけ】



(5) 「子どもの権利」について

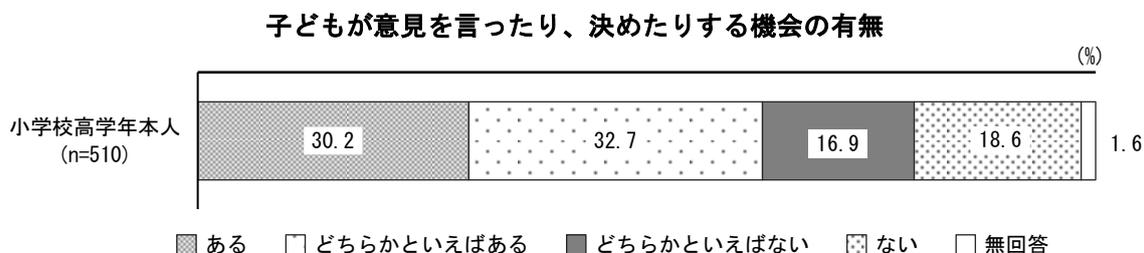
問7 子どもには大切な「子どもの権利」があります。町田市では、「子どもの権利」についての条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。あなたは、これらについて知っていますか。

- 『①子どもの権利』の認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が35.9%と最も高く、『③町田市子ども憲章』が12.3%と最も低くなっています。



問8 自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることは、「子どもの権利」の1つです。
あなたには、学校（授業以外）や地域などで自分の意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。【○は1つだけ】

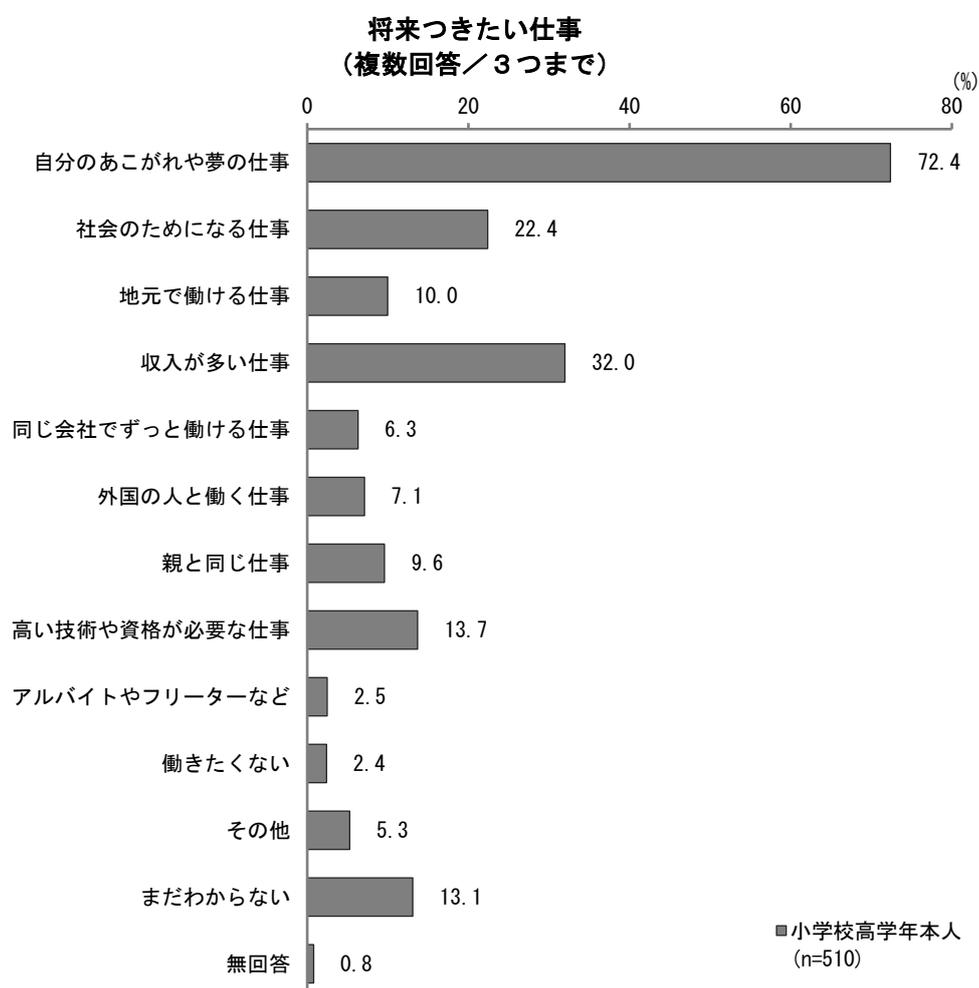
- 「どちらかといえばある」が32.7%と最も多く、次いで「ある」が30.2%、「ない」が18.6%となっています。



(6) 自身の考えについて

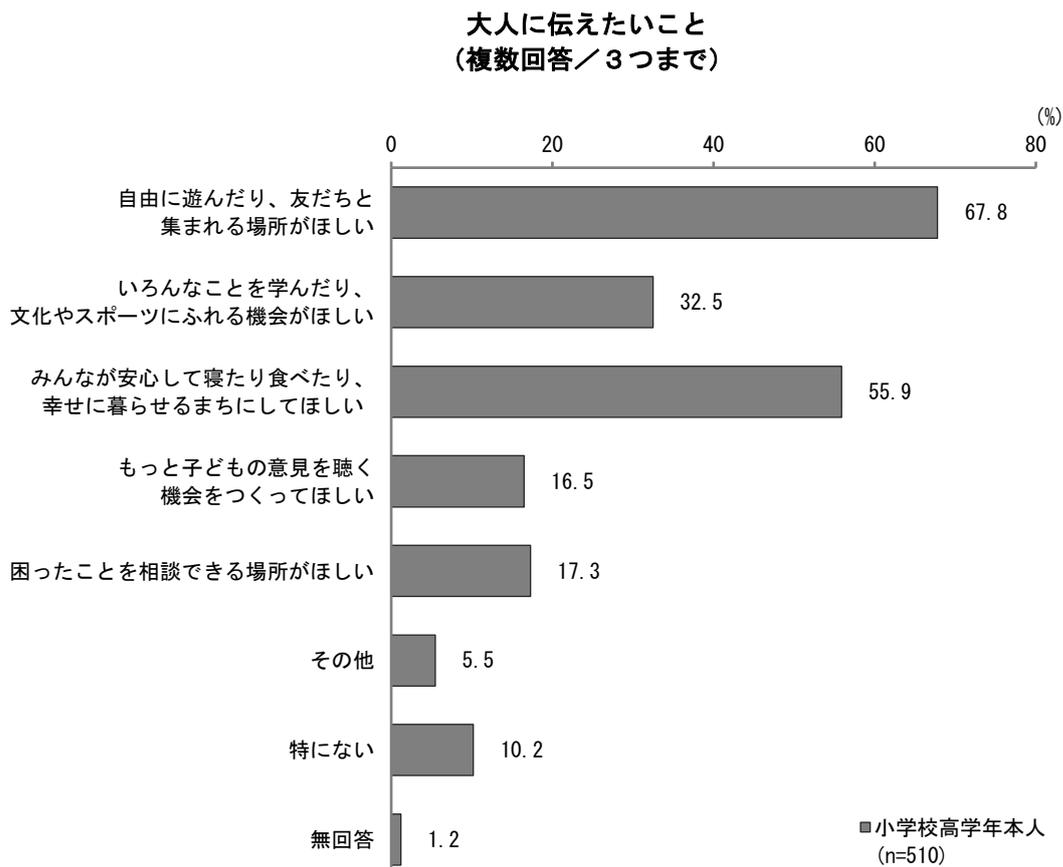
問9 将来はどのような仕事につきたいですか。【○は3つまで】

- 「自分のあこがれや夢の仕事」が72.4%と最も多く、次いで「収入が多い仕事」が32.0%、「社会のためになる仕事」が22.4%となっています。



問10 あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。【〇は3つまで】

- 「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」が67.8%と最も多く、次いで「みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」が55.9%、「いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい」が32.5%となっています。



6 【調査⑤】中学生・高校生（12～18歳の市民）

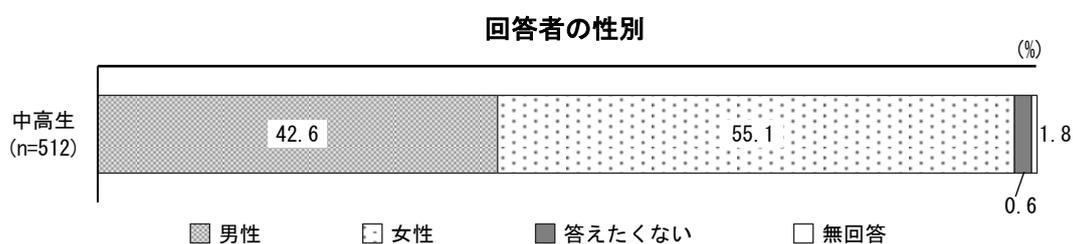
（1）家族の状況について

問1 お住まいの郵便番号を数字で記入してください。

- 「南地域」が28.3%と最も多く、次いで「町田地域」が20.5%、「鶴川地域」が18.9%となっています。

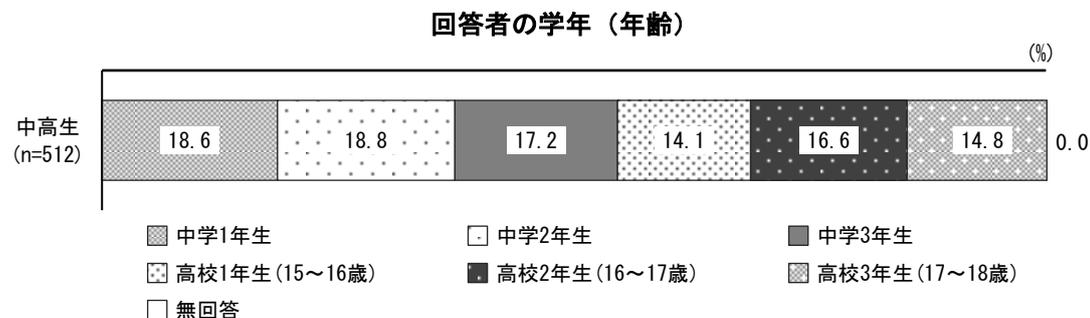


問2 性別を教えてください。【○は1つだけ】



問3 学年（年齢）を教えてください。【○は1つだけ】

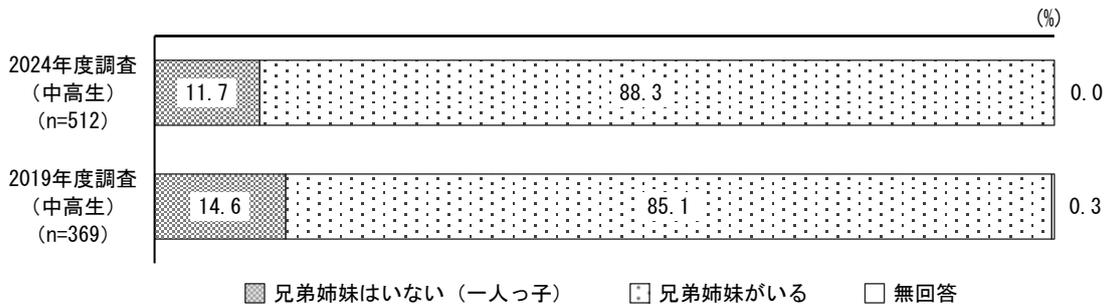
- 「中学2年生」が18.8%と最も多く、次いで「中学1年生」が18.6%、「中学3年生」が17.2%となっています。



問4 兄弟姉妹がいますか。【○は1つだけ】
 「兄弟姉妹がいる」に○をつけた場合は、きょうだいの人数と、上から何番目かを数字で記入してください。

- 2019年度調査と比較して大きな差はありませんが、「兄弟姉妹がいる」の割合が微増しています。

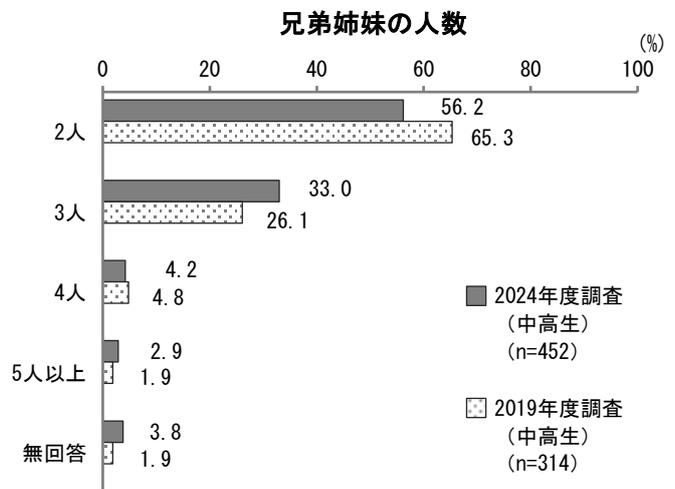
兄弟姉妹の有無



※【兄弟姉妹の人数】【兄弟姉妹の中での順番】は、問4で「兄弟姉妹がいる」を選択した人のみ回答

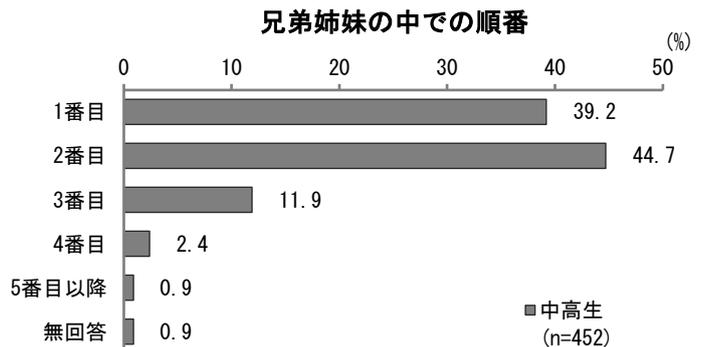
【兄弟姉妹の人数】

- 「2人」が56.2%と最も多く、次いで「3人」が33.0%、「4人」が4.2%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「2人」の割合が最も減少し、「3人」の割合が最も増加しています。



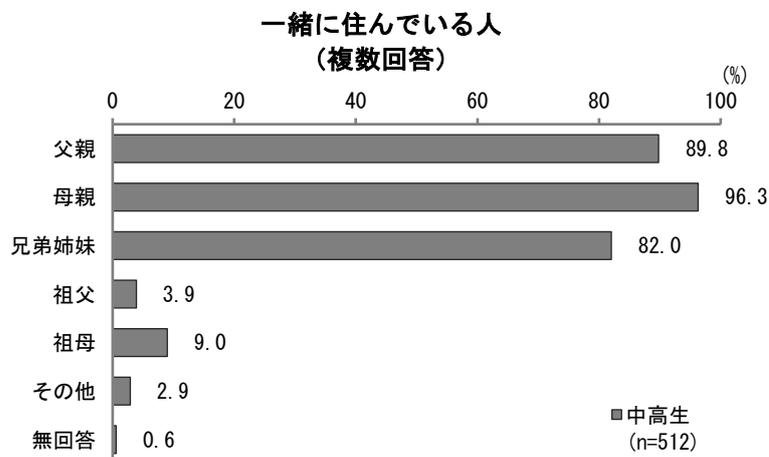
【兄弟姉妹の中での順番】

- 「2番目」が44.7%と最も多く、次いで「1番目」が39.2%、「3番目」が11.9%となっています。



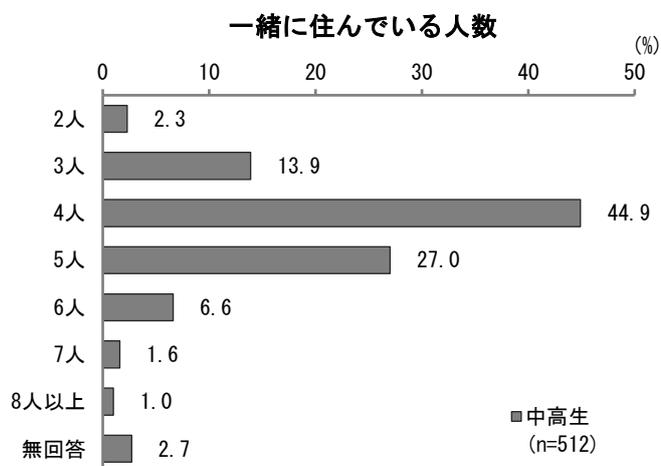
問5 誰と一緒に住んでいますか。【あてはまるものすべてに○】
 また、あなたを含めて、何人で住んでいるかを数字で記入してください。

- 「母親」が96.3%と最も多く、次いで「父親」が89.8%、「兄弟姉妹」が82.0%となっています。



【一緒に住んでいる人数】

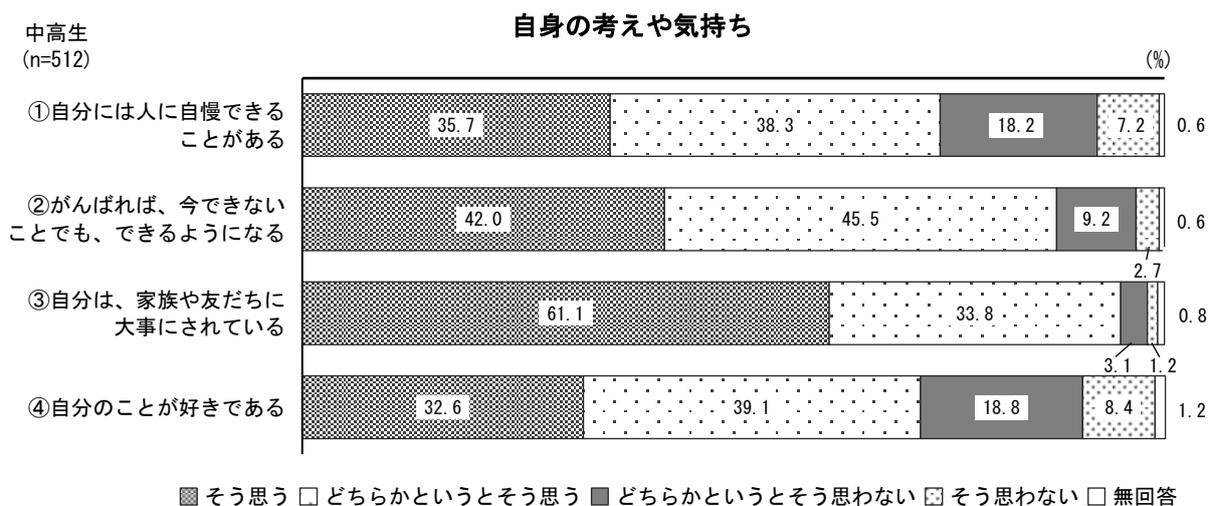
- 「4人」が44.9%と最も多く、次いで「5人」が27.0%、「3人」が13.9%となっています。



(2) 悩み事や相談先について

問6 あなた自身の考えを教えてください。
 ①～④について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計は、『③自分は、家族や友だちに大事にされている』で最も多くなっています。
- 「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計は、『④自分のことが好きである』で最も多くなっています。



【学年別】

- 『①自分には人に自慢できることがある』の「そう思う」の割合は、『中学1年生』『中学2年生』が他の学年に比べて高くなっています。
- 『②がんばれば、今できないことでも、できるようになる』の「そう思う」の割合は、『高校3年生（17～18歳）』の48.7%が最も高くなっています。
- 『③自分は、家族や友だちに大事にされている』の「そう思う」の割合は、すべての学年で最も高くなっていますが、他の学年に比べると、『中学3年生』の割合が低くなっています。
- 『④自分のことが好きである』の「そう思う」の割合は、『中学3年生』『高校2年生（16～17歳）』が2割台と他の学年に比べて低くなっています。

自身の考えや気持ち

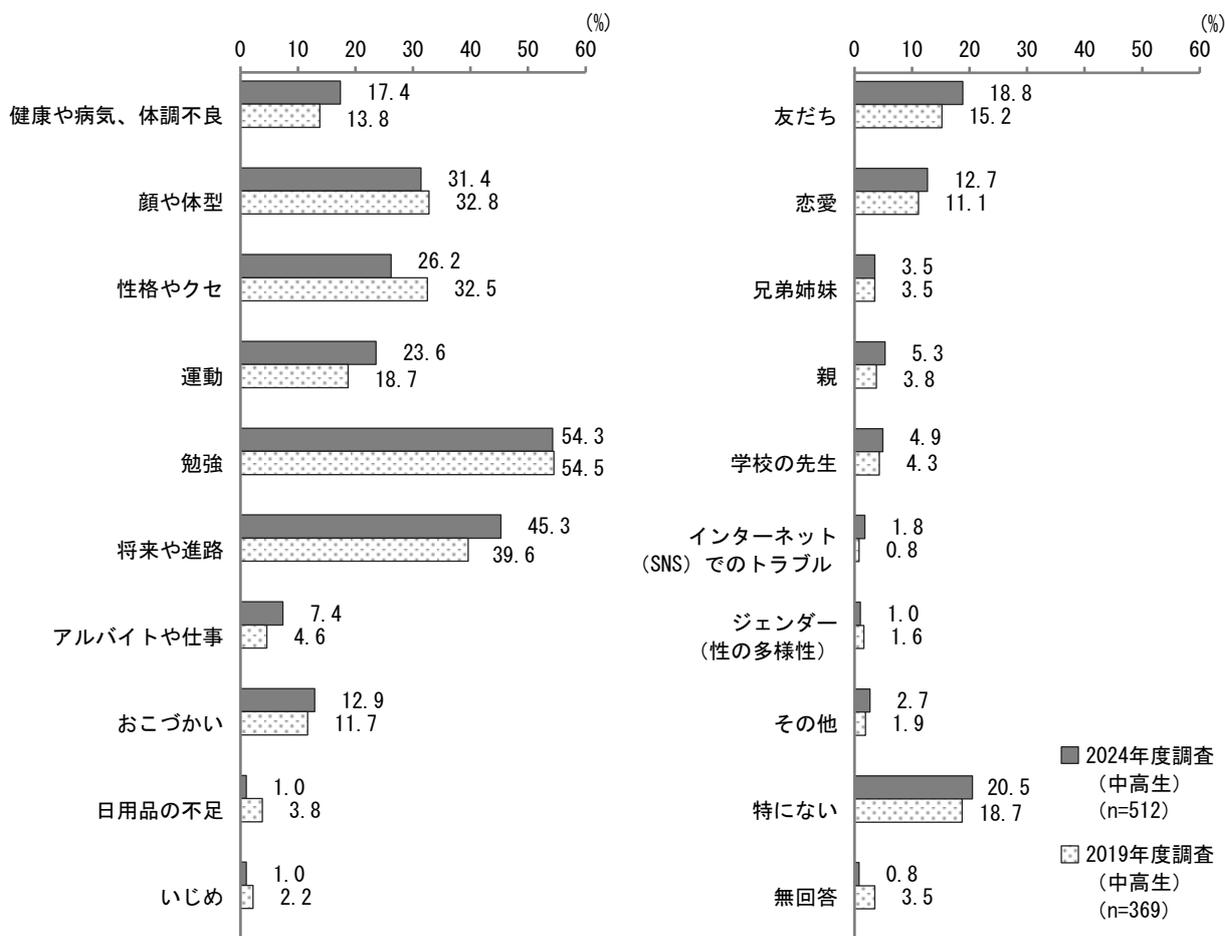
(%)

区分	回答者数(件)	①自分には人に自慢できることがある					②がんばれば、今できないことでも、できるようになる					③自分は、家族や友だちに大事にされている					④自分のことが好きである				
		そう思う	どちらかという	どちらかわない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかという	どちらかわない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかという	どちらかわない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかという	どちらかわない	そう思わない	無回答
中学1年生	95	41.1	36.8	15.8	5.3	1.1	42.1	46.3	9.5	1.1	1.1	60.0	34.7	3.2	-	2.1	37.9	32.6	21.1	6.3	2.1
中学2年生	96	41.7	32.3	16.7	8.3	1.0	40.6	45.8	9.4	3.1	1.0	63.5	28.1	5.2	1.0	2.1	40.6	35.4	15.6	6.3	2.1
中学3年生	88	29.5	38.6	20.5	10.2	1.1	40.9	48.9	5.7	3.4	1.1	53.4	42.0	-	4.5	-	22.7	39.8	25.0	10.2	2.3
高校1年生 (15～16歳)	72	34.7	41.7	19.4	4.2	-	37.5	51.4	8.3	2.8	-	62.5	34.7	2.8	-	-	33.3	37.5	20.8	8.3	-
高校2年生 (16～17歳)	85	30.6	41.2	21.2	7.1	-	42.4	45.9	10.6	1.2	-	64.7	30.6	3.5	1.2	-	23.5	49.4	17.6	9.4	-
高校3年生 (17～18歳)	76	35.5	40.8	15.8	7.9	-	48.7	34.2	11.8	5.3	-	63.2	32.9	3.9	-	-	36.8	40.8	11.8	10.5	-

問7 悩みや心配なことはありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「勉強」が54.3%と最も多く、次いで「将来や進路」が45.3%、「顔や体型」が31.4%となっています。
- 2019年度調査と比較して大きな差はありませんが、「将来や進路」の割合が最も増加し、「性格やクセ」の割合が最も減少しています。

悩みや心配なこと
(複数回答)



【学年別】

- 『中学1年生』から『高校2年生（16～17歳）』では「勉強」の割合が、『高校3年生（17～18歳）』では「将来や進路」の割合が最も高くなっています。また、『高校3年生（17～18歳）』では、他の学年と比べて、「親」の割合が高くなっています。

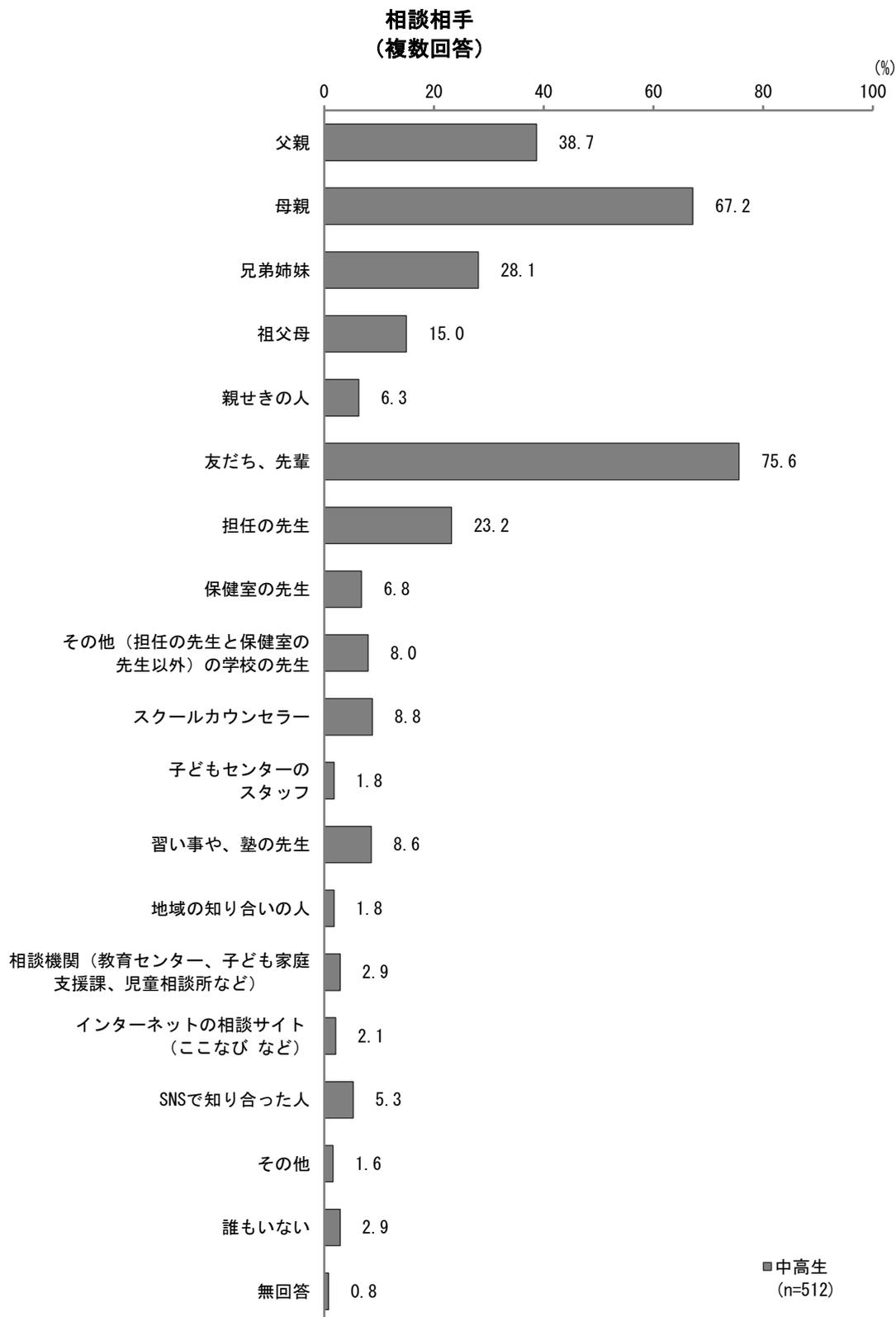
悩みや心配なこと

(%)

区分	回答者数（件）	健康や病気、体調不良	顔や体型	性格やクセ	運動	勉強	将来や進路	アルバイトや仕事	おこづかい	日用品の不足	いじめ	友だち	恋愛	兄弟姉妹	親	学校の先生	インターネット（SNS）での	ジェンダー（性の多様性）	その他	特にない	無回答
中学1年生	95	7.4	24.2	20.0	26.3	45.3	28.4	3.2	10.5	-	2.1	18.9	10.5	4.2	4.2	1.1	3.2	-	4.2	28.4	4.2
中学2年生	96	13.5	24.0	18.8	21.9	47.9	26.0	4.2	12.5	-	1.0	18.8	10.4	3.1	2.1	4.2	1.0	-	2.1	32.3	-
中学3年生	88	21.6	38.6	30.7	27.3	60.2	51.1	3.4	12.5	3.4	2.3	18.2	11.4	3.4	6.8	6.8	-	-	2.3	22.7	-
高校1年生 (15～16歳)	72	16.7	27.8	26.4	19.4	55.6	47.2	8.3	15.3	1.4	-	18.1	15.3	4.2	2.8	4.2	2.8	2.8	1.4	13.9	-
高校2年生 (16～17歳)	85	21.2	37.6	32.9	25.9	67.1	63.5	14.1	15.3	1.2	-	20.0	16.5	3.5	5.9	8.2	3.5	2.4	2.4	8.2	-
高校3年生 (17～18歳)	76	26.3	38.2	30.3	19.7	51.3	61.8	13.2	11.8	-	-	18.4	13.2	2.6	10.5	5.3	-	1.3	3.9	13.2	-

問8 何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手はいますか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「友だち、先輩」が75.6%と最も多く、次いで「母親」が67.2%、「父親」が38.7%となっています。



【学年別】

- 『中学1年生』では「母親」、『中学2年生』では「母親」「友だち、先輩」、それ以外の学年では「友だち、先輩」の割合が最も高くなっています。
- 「父親」の割合は、学年ごとに比べると、『中学1年生』『中学2年生』では5割程度と高く、『高校3年生（17～18歳）』では2割台と最も低くなっています。

相談相手

(%)

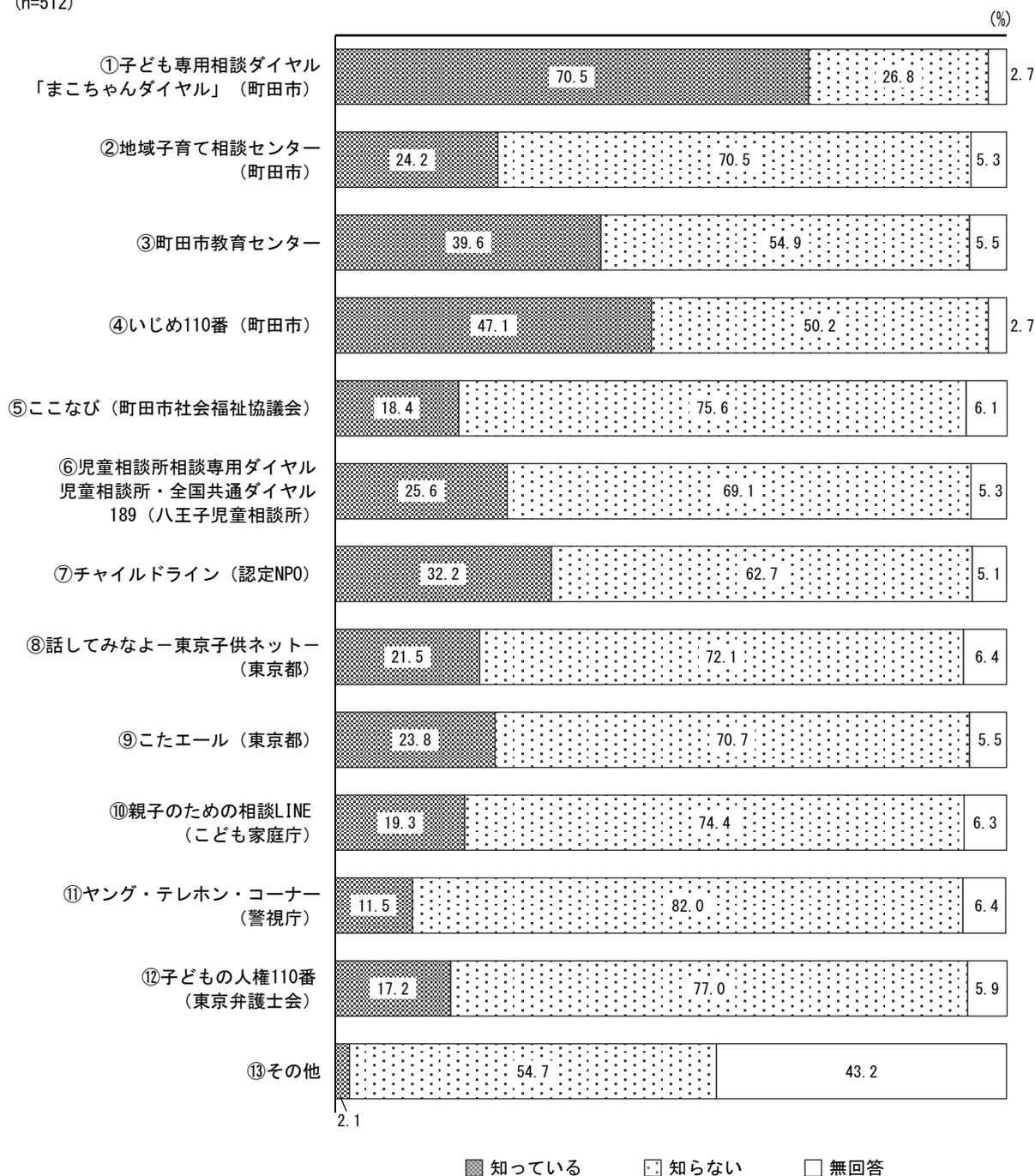
区分	回答者数(件)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	親せきの人	友だち、先輩	担任の先生	保健室の先生	その他(担任の先生と保健室の先生以外)の学校の先生	スクールカウンセラー	子どもセンターのスタッフ	習い事や塾の先生	地域の知り合いの人	相談機関(教育センター、子ども家庭支援課、児童相談所など)の人	インターネットの相談サイト(ここなびなど)	SNSで知り合った人	その他	誰もいない	無回答
中学1年生	95	50.5	75.8	33.7	23.2	9.5	71.6	28.4	14.7	6.3	17.9	4.2	6.3	1.1	1.1	3.2	2.1	-	4.2	2.1
中学2年生	96	44.8	68.8	32.3	18.8	10.4	68.8	26.0	9.4	12.5	8.3	1.0	10.4	2.1	3.1	-	4.2	4.2	2.1	1.0
中学3年生	88	39.8	60.2	23.9	14.8	6.8	78.4	26.1	6.8	12.5	9.1	3.4	15.9	2.3	5.7	4.5	6.8	-	3.4	1.1
高校1年生(15～16歳)	72	30.6	63.9	27.8	12.5	2.8	81.9	19.4	4.2	4.2	6.9	-	6.9	1.4	1.4	1.4	6.9	1.4	1.4	-
高校2年生(16～17歳)	85	37.6	74.1	31.8	16.5	4.7	78.8	18.8	2.4	7.1	5.9	1.2	4.7	1.2	3.5	3.5	5.9	-	1.2	-
高校3年生(17～18歳)	76	23.7	57.9	17.1	1.3	1.3	76.3	18.4	1.3	3.9	2.6	-	6.6	2.6	2.6	-	6.6	3.9	5.3	-

問9 困ったときに、相談できる場所（相談窓口）で知っているところはどこですか。
①～⑬について、それぞれ1つに○をつけてください。

- 『①子ども専用相談ダイヤル「まこちゃんダイヤル」(町田市)』の認知度が最も高く、次いで『④いじめ110番(町田市)』の認知度が高くなっています。

中高生
(n=512)

相談先の認知度



(3) インターネット等について

問10 インターネットにつながるスマートフォンを持っていますか。【○は1つだけ】
 ※Wi-Fi環境で使用しているものも含まれます。



【学年別】

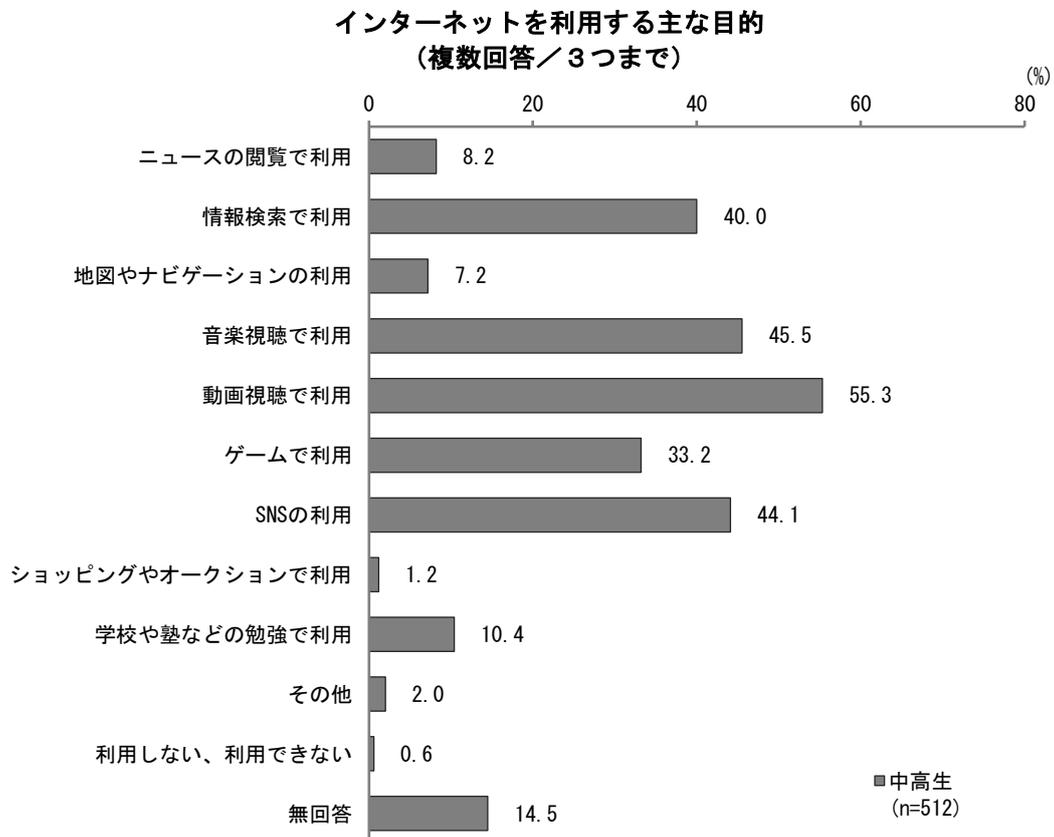
- すべての学年で「持っている」の割合が高くなっており、高校生（15～18歳）では、ほとんどの人が所有しています。

スマートフォンの所有状況 (%)

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていない	無回答
中学1年生	95	89.5	9.5	1.1
中学2年生	96	90.6	8.3	1.0
中学3年生	88	95.5	2.3	2.3
高校1年生 (15～16歳)	72	100.0	-	-
高校2年生 (16～17歳)	85	98.8	-	1.2
高校3年生 (17～18歳)	76	97.4	1.3	1.3

問11 インターネットを主にどのようなことに利用していますか。【○は3つまで】

- 「動画視聴で利用」が55.3%と最も多く、次いで「音楽視聴で利用」が45.5%、「SNSの利用」が44.1%となっています。



【学年別】

- 『高校1年生（15～16歳）』『高校2年生（16～17歳）』では「SNSの利用」の割合が最も高く、それ以外の学年では「動画視聴で利用」の割合が高くなっています。
- 高校生（15～18歳）は、中学生と比較して「ゲームで利用」の割合が低くなっており、『高校2年生（16～17歳）』『高校3年生（17～18歳）』では、「ニュースの閲覧で利用」の割合が比較的高くなっています。

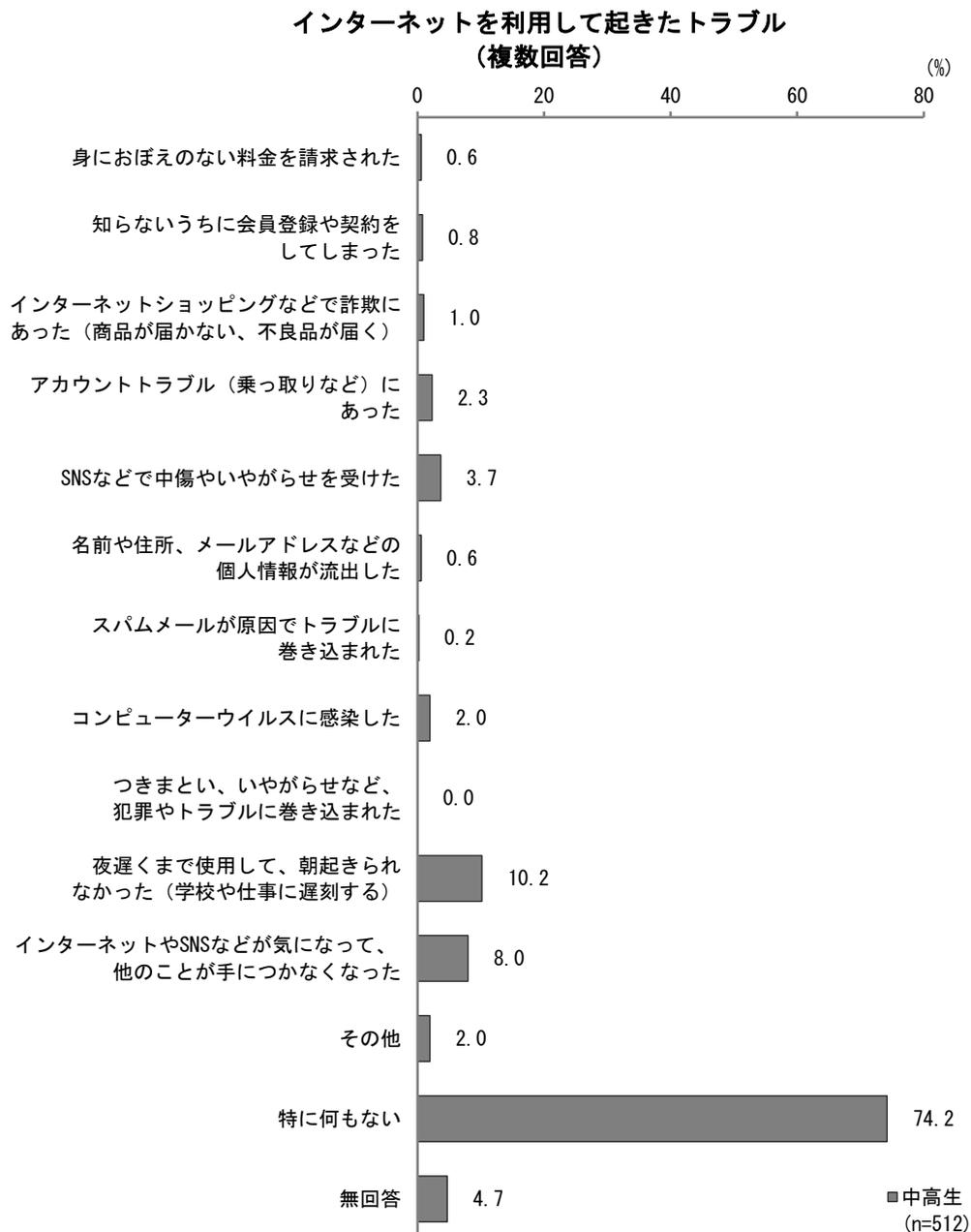
インターネットを利用する主な目的

(%)

区分	回答者数（件）	ニュースの閲覧で利用	情報検索で利用	地図やナビゲーションの利用	音楽視聴で利用	動画視聴で利用	ゲームで利用	SNSの利用	シヨッピングやオークションで利用	学校や塾などの勉強で利用	その他	利用しない、利用できない	無回答
中学1年生	95	8.4	46.3	3.2	38.9	56.8	36.8	31.6	-	11.6	6.3	1.1	12.6
中学2年生	96	8.3	44.8	4.2	41.7	52.1	35.4	39.6	1.0	11.5	2.1	2.1	16.7
中学3年生	88	3.4	35.2	10.2	42.0	60.2	38.6	33.0	-	11.4	-	-	19.3
高校1年生 (15～16歳)	72	8.3	30.6	11.1	51.4	52.8	31.9	65.3	-	6.9	-	-	12.5
高校2年生 (16～17歳)	85	10.6	41.2	7.1	47.1	47.1	30.6	48.2	3.5	10.6	1.2	-	16.5
高校3年生 (17～18歳)	76	10.5	39.5	9.2	55.3	63.2	23.7	53.9	2.6	9.2	1.3	-	7.9

問12 インターネットを使用して、何かトラブルが起きたことはありますか。
【あてはまるものすべてに○】

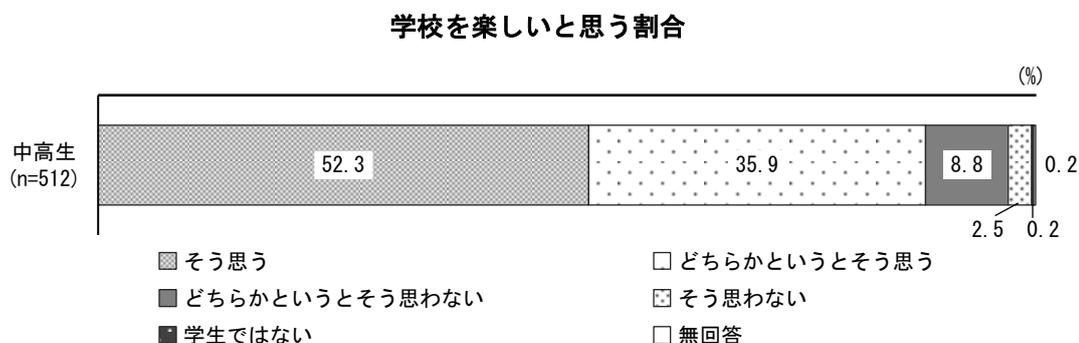
- 「特に何も無い」が74.2%と最も多く、次いで「夜遅くまで使用して、朝起きられなかった（学校や仕事に遅刻する）」が10.2%、「インターネットやSNSなどが気になって、他のことが手につかなくなった」が8.0%となっています。



（4）学校生活について

問13 学校は楽しいと思いますか。【○は1つだけ】

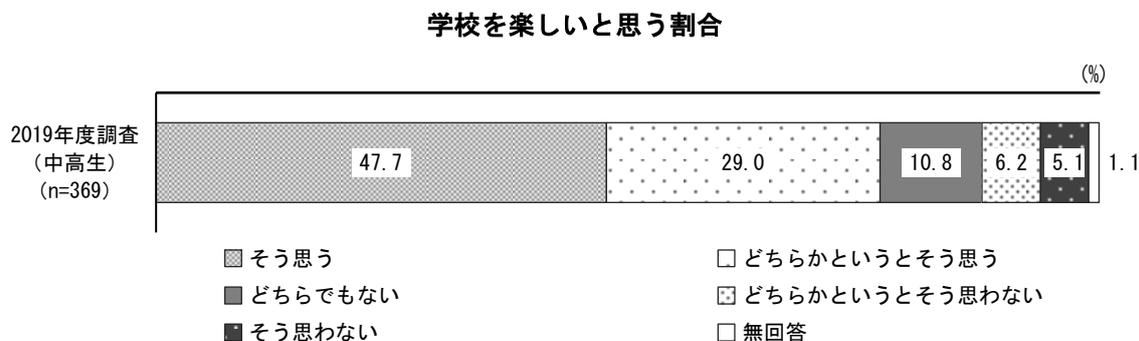
- 「そう思う」が52.3%と最も多く、次いで「どちらかというと思う」が35.9%、「どちらかというと思わない」が8.8%となっています。



○ 参考（2019年度調査時の類似設問※）

学校は楽しいと思いますか。

- 「そう思う」が47.7%と最も多く、次いで「どちらかというと思う」が29.0%、「どちらでもない」10.8%となっていました。



※2024年度調査と2019年度調査では選択肢が異なるため、比較なし。

【学年別】

- すべての学年で「そう思う」の割合が最も高くなっていますが、『中学3年生』『高校2年生（16～17歳）』『高校3年生（17～18歳）』では、他の学年と比べて「そう思う」の割合が低くなっています。

学校を楽しいと思う割合

(%)

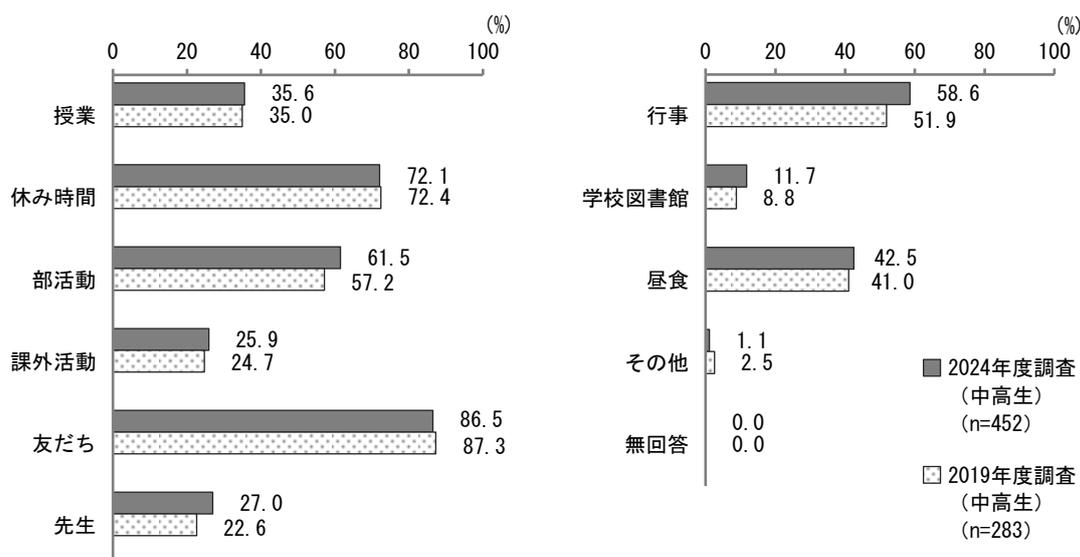
区分	回答者数（件）	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	学生ではない	無回答
中学1年生	95	56.8	41.1	1.1	1.1	-	-
中学2年生	96	56.3	32.3	7.3	3.1	-	1.0
中学3年生	88	48.9	34.1	15.9	1.1	-	-
高校1年生 (15～16歳)	72	52.8	33.3	12.5	1.4	-	-
高校2年生 (16～17歳)	85	49.4	37.6	9.4	3.5	-	-
高校3年生 (17～18歳)	76	48.7	36.8	7.9	5.3	1.3	-

※問13-1は、問13で「そう思う」または「どちらかというと思う」を選択した人のみ回答

問13-1 どのようなところが楽しいですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「友だち」が86.5%と最も多く、次いで「休み時間」が72.1%、「部活動」が61.5%となっています。
- 2019年度調査と比較して大きな差はありませんが、「行事」の割合が最も増加しています。

学校の楽しいところ
(複数回答)



【学年別】

- すべての学年で「友だち」の割合が最も高く、次いで「休み時間」や「部活動」の割合が高くなっています。

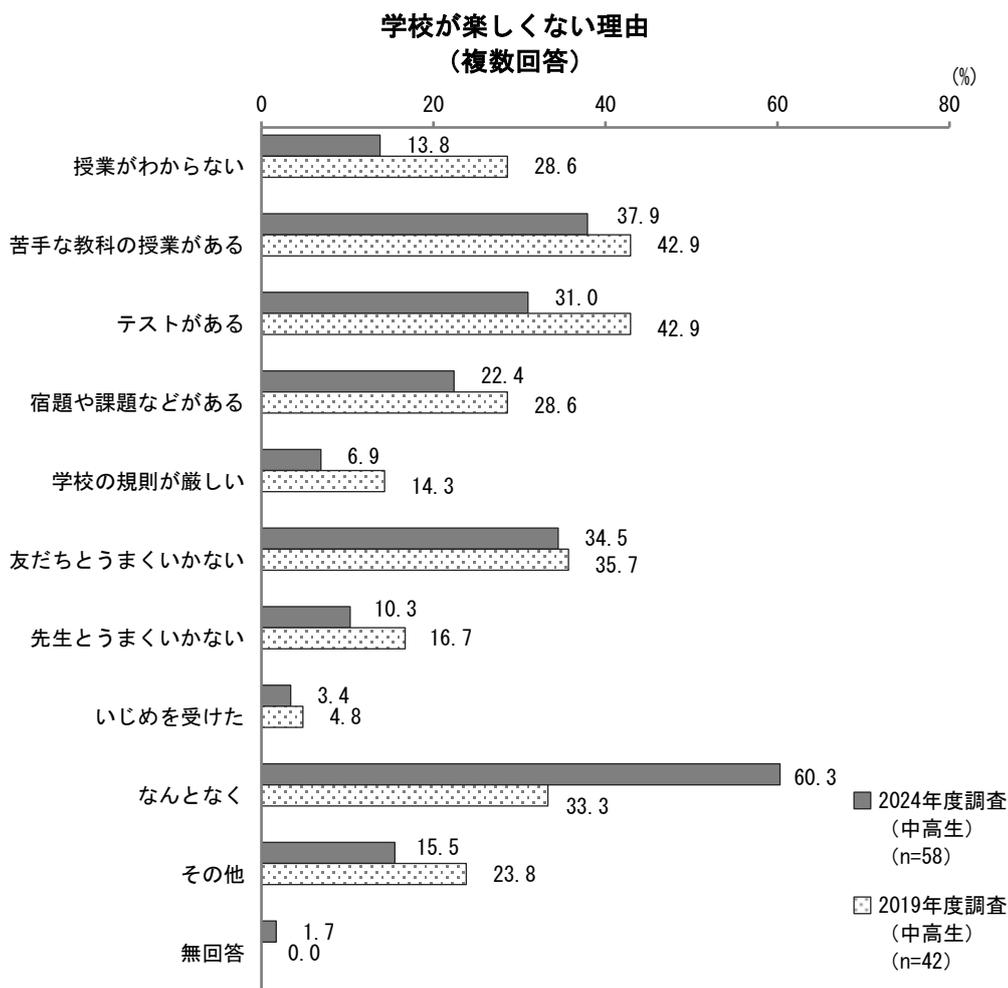
学校の楽しいところ

区分	回答者数 (件)	授業	休み時間	部活動	課外活動	友だち	先生	行事	学校図書館	昼食	その他	無回答
中学1年生	93	38.7	80.6	67.7	18.3	89.2	38.7	52.7	16.1	55.9	-	-
中学2年生	85	36.5	77.6	58.8	32.9	84.7	25.9	64.7	11.8	38.8	-	-
中学3年生	73	41.1	79.5	65.8	32.9	83.6	30.1	60.3	11.0	31.5	1.4	-
高校1年生 (15～16歳)	62	30.6	66.1	71.0	25.8	95.2	19.4	59.7	12.9	56.5	-	-
高校2年生 (16～17歳)	74	36.5	67.6	52.7	27.0	86.5	21.6	62.2	9.5	41.9	1.4	-
高校3年生 (17～18歳)	65	27.7	55.4	52.3	18.5	80.0	21.5	52.3	7.7	27.7	4.6	-

※問13-2は、問13で「どちらかというと思わない」または「そう思わない」を選択した人のみ回答

問13-2 そう思わない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

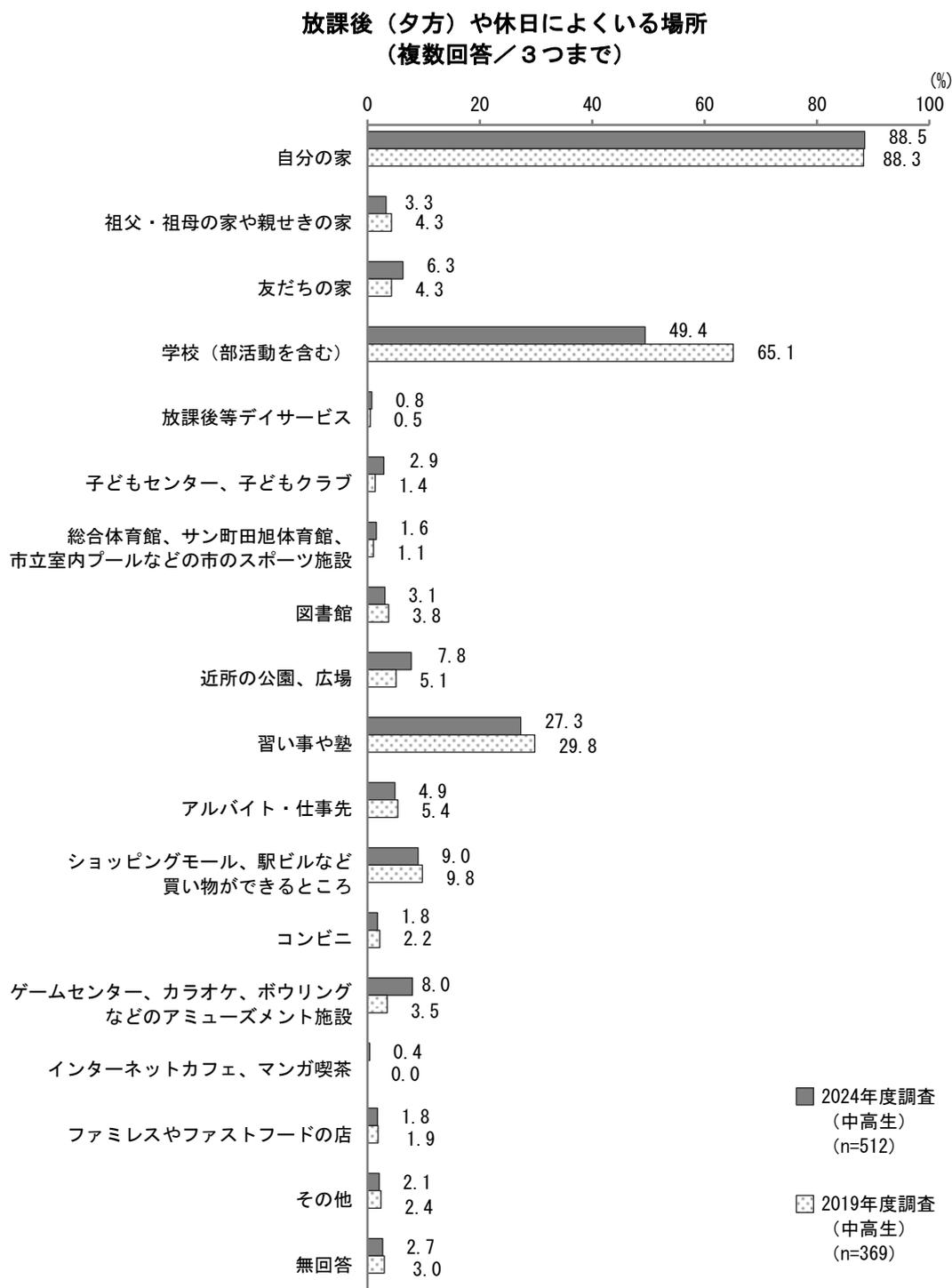
- 「なんとなく」が60.3%と最も多く、次いで「苦手な教科の授業がある」が37.9%、「友だちとうまくいかない」が34.5%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「授業がわからない」の割合が最も減少し、「なんとなく」の割合が最も増加しています。



(5) 放課後や休日の過ごし方について

問14 放課後（夕方）や休日はどこにすることが多いですか。【〇は3つまで】

- 「自分の家」が88.5%と最も多く、次いで「学校（部活動を含む）」が49.4%、「習い事や塾」が27.3%となっています。
- 2019年度調査と比較して、「学校（部活動を含む）」の割合が最も減少し、「ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設」の割合が最も増加しています。



【学年別】

- すべての学年で「自分の家」の割合が最も高く、次いで「学校（部活動を含む）」の割合が高くなっています。
- 『中学3年生』では、他の学年と比べて「習い事や塾」の割合が高くなっています。

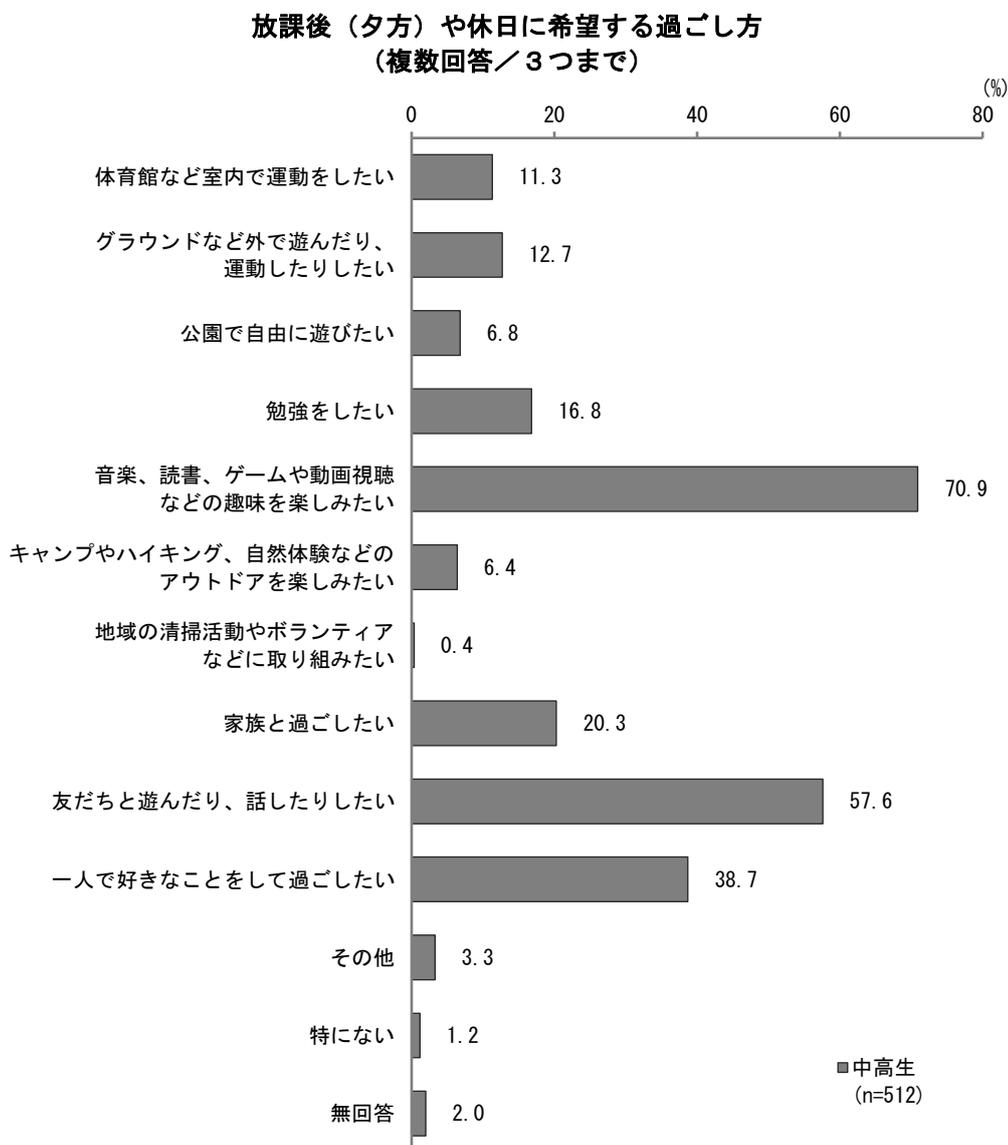
放課後（夕方）や休日によくいる場所

(%)

区分	回答者数（件）	自分の家	祖父・祖母の家や親せきの家	友だちの家	学校（部活動を含む）	放課後等デイサービス	子どもセンター、子どもクラブ	総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	図書館	近所の公園、広場	習い事や塾	アルバイト・仕事先	ショッピングモール、駅ビルなど 買い物ができる場所	コンビニ	ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設	インターネットカフェ、マンガ喫茶	ファミレスやファーストフードの店	その他	無回答
中学1年生	95	88.4	2.1	7.4	51.6	2.1	6.3	1.1	3.2	14.7	26.3	-	5.3	1.1	2.1	-	1.1	3.2	5.3
中学2年生	96	93.8	4.2	8.3	50.0	-	1.0	2.1	2.1	16.7	31.3	-	9.4	-	3.1	1.0	-	1.0	2.1
中学3年生	88	89.8	5.7	9.1	53.4	1.1	2.3	2.3	-	6.8	48.9	-	5.7	1.1	6.8	-	2.3	1.1	3.4
高校1年生 (15～16歳)	72	93.1	2.8	4.2	54.2	1.4	-	1.4	6.9	-	15.3	2.8	6.9	2.8	16.7	-	4.2	4.2	-
高校2年生 (16～17歳)	85	84.7	2.4	3.5	48.2	-	5.9	2.4	2.4	2.4	11.8	15.3	15.3	2.4	14.1	-	2.4	2.4	1.2
高校3年生 (17～18歳)	76	80.3	2.6	3.9	38.2	-	1.3	-	5.3	2.6	27.6	13.2	11.8	3.9	7.9	1.3	1.3	1.3	3.9

問15 放課後（夕方）や休日にはどのように過ごしたいですか。【〇は3つまで】

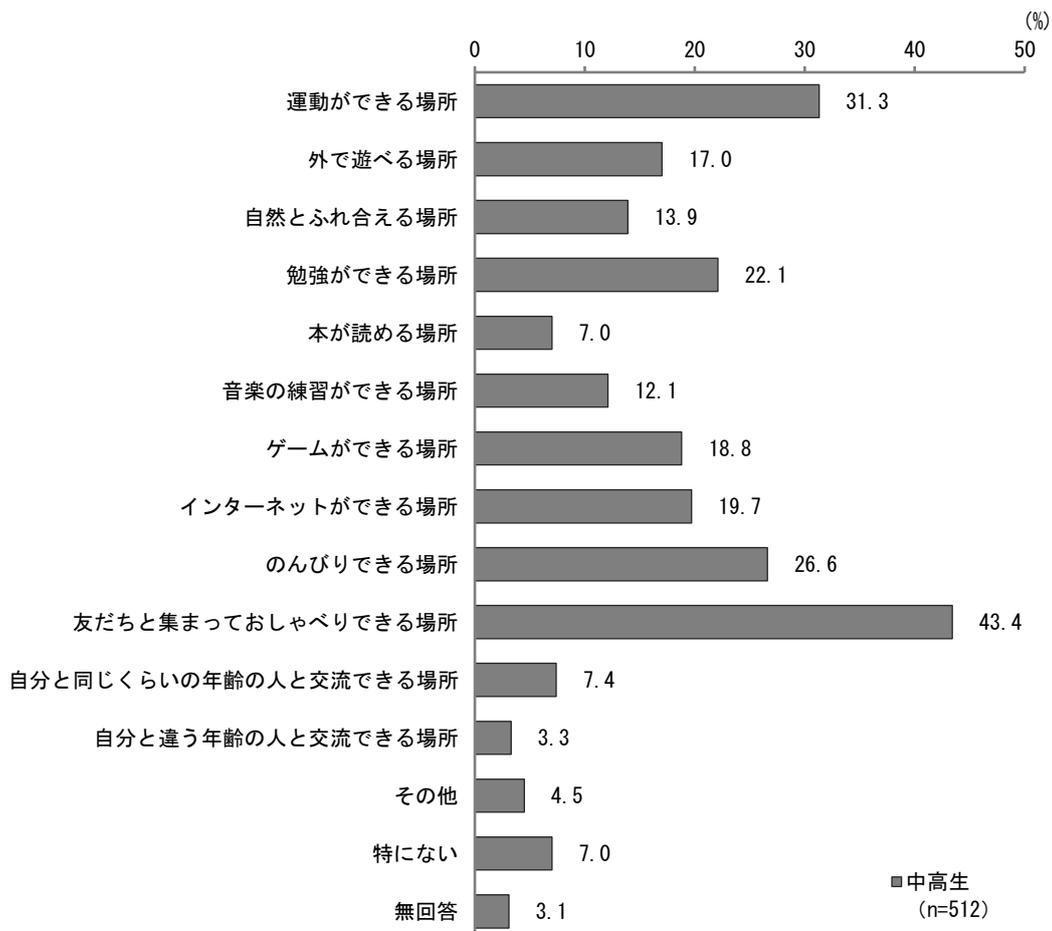
- 「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」が70.9%と最も多く、次いで「友だちと遊んだり、話したりしたい」が57.6%、「一人で好きなことをして過ごしたい」が38.7%となっています。



問16 放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものはありますか。【〇は3つまで】

- 「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が43.4%と最も多く、次いで「運動ができる場所」が31.3%、「のんびりできる場所」が26.6%となっています。

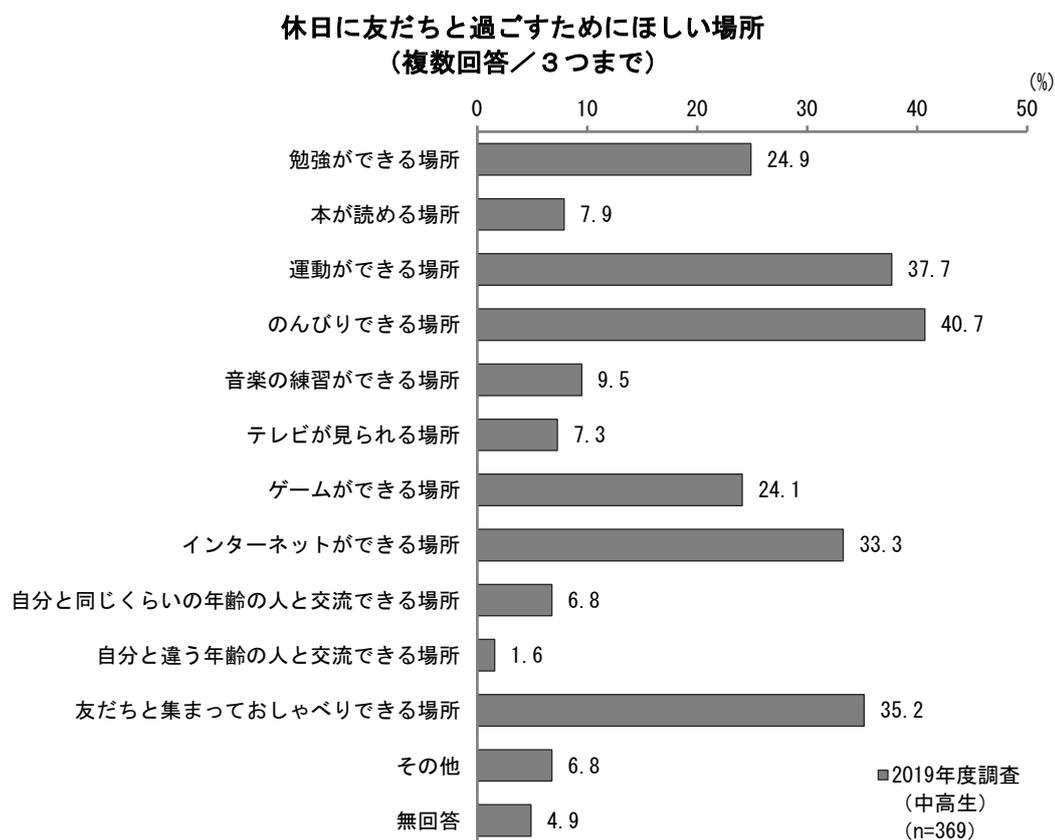
放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所
（複数回答／3つまで）



○ 参考（2019年度調査時の類似設問）

放課後（夕方）や休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。

- 「のんびりできる場所」が40.7%と最も多く、次いで「運動ができる場所」が37.7%、「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が35.2%となっていました。



【学年別】

- 『高校3年生（17～18歳）』では「運動ができる場所」、それ以外の学年では「友だちと集まっておしゃべりできる場所」の割合が最も高くなっています。
- 「勉強ができる場所」の割合は、『高校1年生（15～16歳）』を除き、学年が上がるにつれて高くなっていく傾向がみられます。

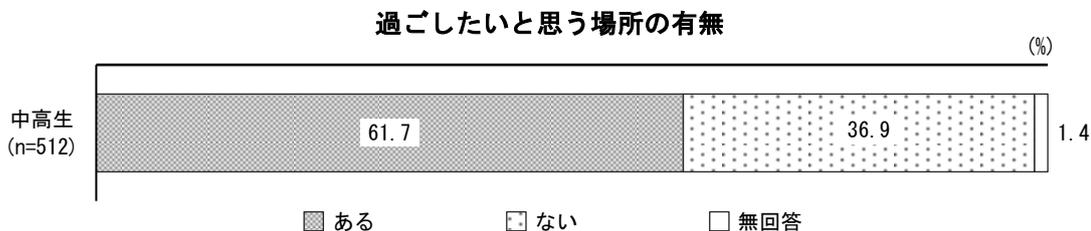
放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所

(%)

区分	回答者数（件）	運動ができる場所	外で遊べる場所	自然とふれ合える場所	勉強ができる場所	本が読める場所	音楽の練習ができる場所	ゲームができる場所	インターネットができる場所	のんびりできる場所	友だちと集まっておしゃべりできる場所	自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所	自分と違う年齢の人と交流できる場所	その他	特にない	無回答
中学1年生	95	26.3	22.1	7.4	8.4	9.5	7.4	24.2	22.1	25.3	54.7	4.2	2.1	7.4	7.4	7.4
中学2年生	96	28.1	21.9	14.6	16.7	6.3	10.4	21.9	20.8	27.1	50.0	9.4	1.0	8.3	5.2	2.1
中学3年生	88	25.0	18.2	17.0	22.7	2.3	9.1	25.0	25.0	33.0	34.1	5.7	2.3	-	10.2	4.5
高校1年生（15～16歳）	72	36.1	16.7	9.7	22.2	11.1	20.8	12.5	19.4	26.4	41.7	6.9	1.4	4.2	5.6	1.4
高校2年生（16～17歳）	85	31.8	8.2	16.5	31.8	9.4	10.6	16.5	11.8	27.1	41.2	11.8	3.5	3.5	8.2	2.4
高校3年生（17～18歳）	76	43.4	13.2	18.4	34.2	3.9	17.1	9.2	18.4	19.7	35.5	6.6	10.5	2.6	5.3	-

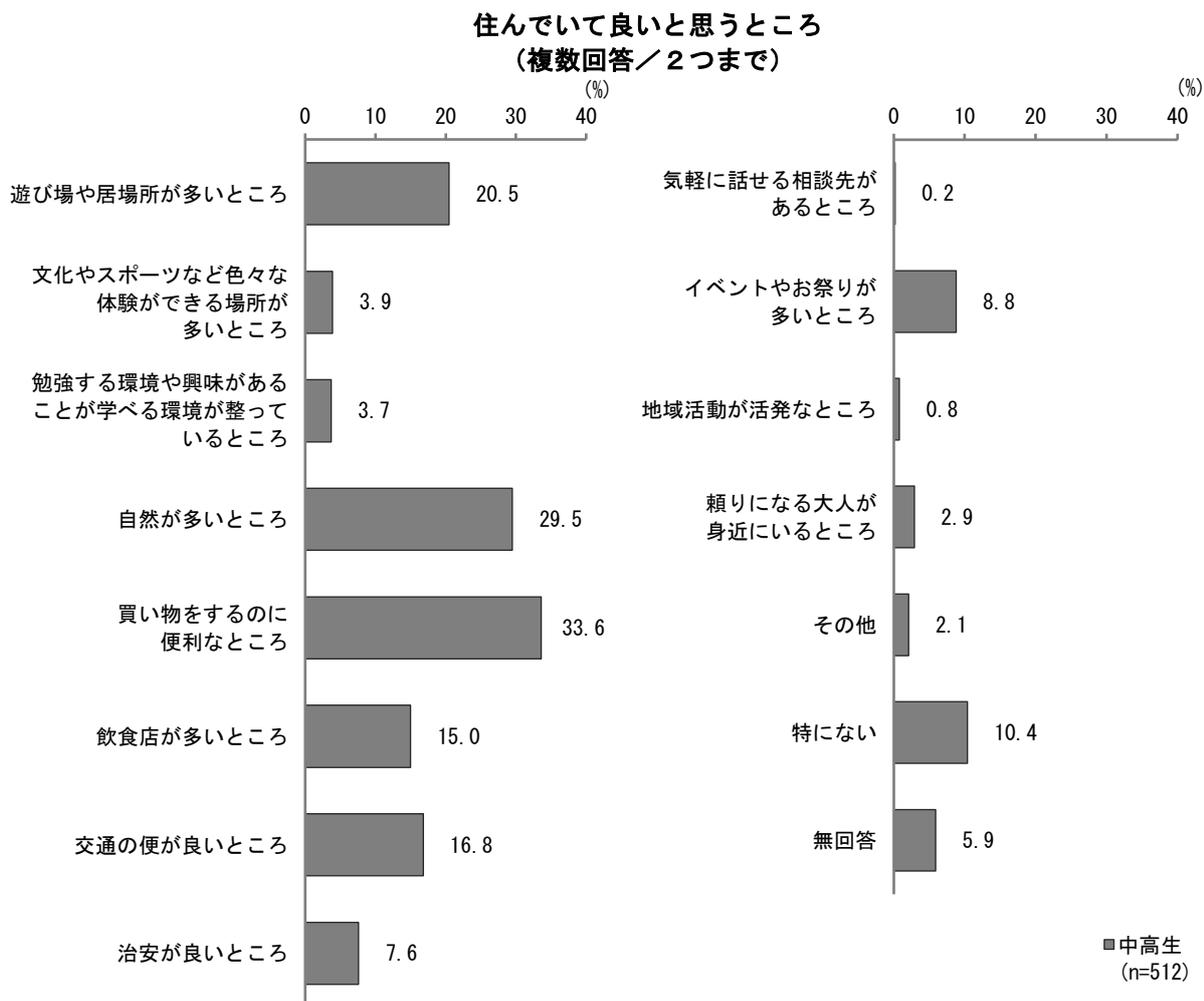
(6) 町田市について

問17 家と学校以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が町田市にありますか。
【○は1つだけ】



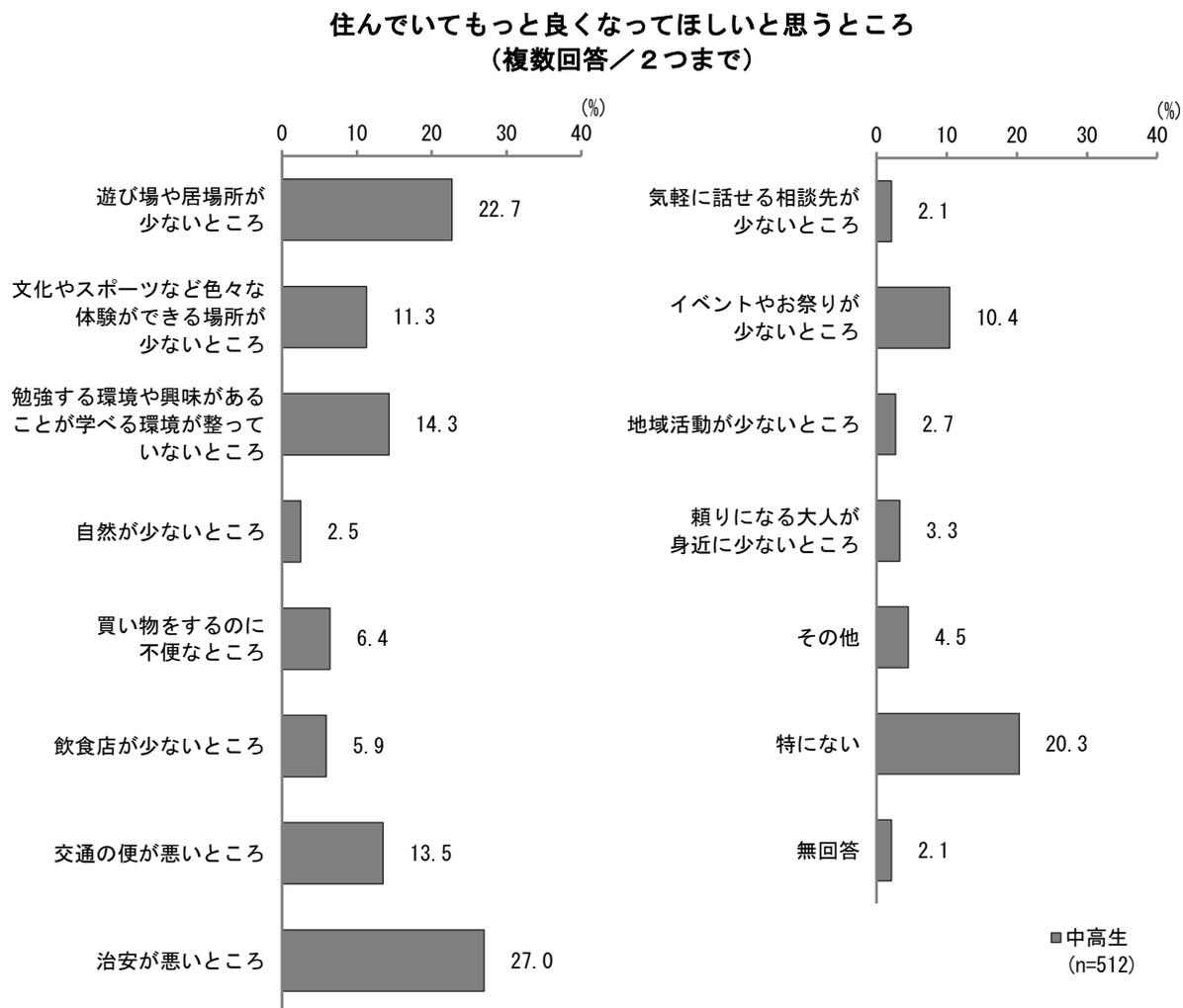
問18 町田市に住んでいて「良いな」と思うところは何ですか。【○は2つまで】

- 「買い物をするのに便利なところ」が33.6%と最も多く、次いで「自然が多いところ」が29.5%、「遊び場や居場所が多いところ」が20.5%となっています。



問19 町田市に住んでいて「もっと良くなってほしいな」と思うところは何ですか。
【〇は2つまで】

- 「治安が悪いところ」が27.0%と最も多く、次いで「遊び場や居場所が少ないところ」が22.7%、「特にない」が20.3%となっています。

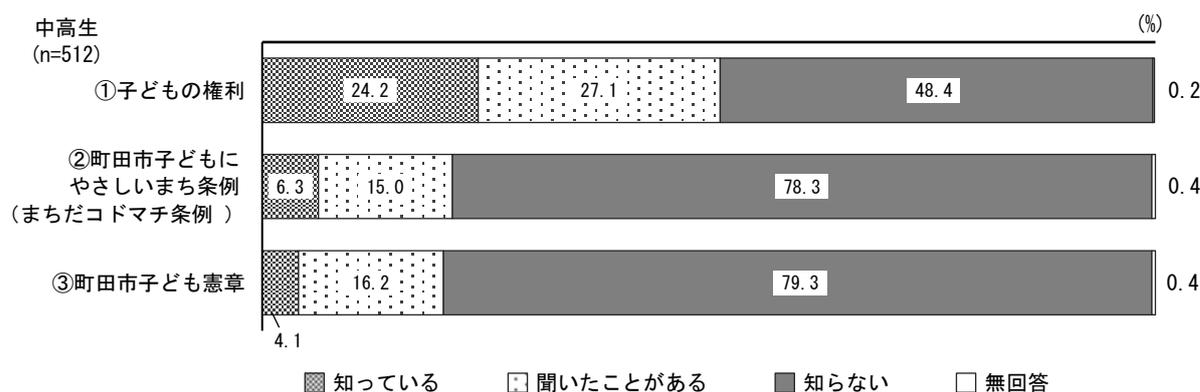


(7)「子どもの権利」について

問20 子どもには大切な「子どもの権利」があります。
町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
あなたは、これらについて知っていますか。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が5割以上と
なっているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）』『③町田市
子ども憲章』の認知度は2割程度と低くなっています。

「子どもの権利」「まちだコドマチ条例」「町田市子ども憲章」の認知度



【学年別】

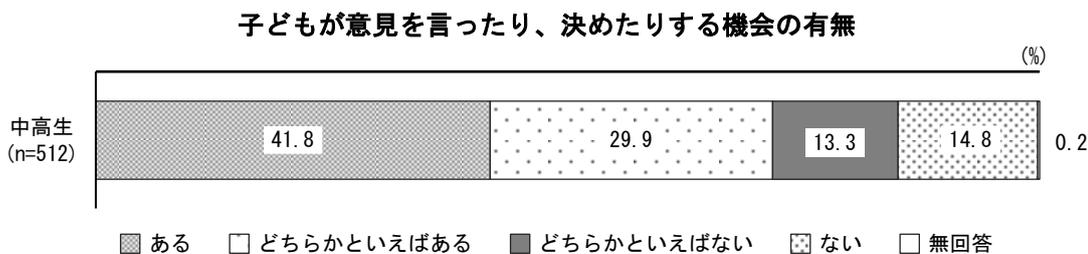
- 『①子どもの権利』の認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）は、『高校1年生（15～16歳）』で6割以上と最も高くなっています。
- 『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）』の認知度は、すべての学年で2割程度と、学年による大きな違いは見受けられません。
- 『③町田市子ども憲章』の認知度は、『中学2年生』『中学3年生』が1割台と、他の学年と比べて低くなっています。

「子どもの権利」「まちだコドマチ条例」「町田市子ども憲章」の認知度

区分	回答者数（件）	①子どもの権利				②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）				③町田市子ども憲章			
		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
中学1年生	95	27.4	28.4	43.2	1.1	7.4	15.8	75.8	1.1	3.2	25.3	71.6	-
中学2年生	96	27.1	24.0	49.0	-	8.3	12.5	79.2	-	2.1	9.4	87.5	1.0
中学3年生	88	20.5	18.2	61.4	-	8.0	10.2	80.7	1.1	5.7	5.7	87.5	1.1
高校1年生（15～16歳）	72	27.8	37.5	34.7	-	4.2	18.1	77.8	-	2.8	22.2	75.0	-
高校2年生（16～17歳）	85	21.2	27.1	51.8	-	3.5	15.3	81.2	-	5.9	20.0	74.1	-
高校3年生（17～18歳）	76	21.1	30.3	48.7	-	5.3	19.7	75.0	-	5.3	15.8	78.9	-

問21 自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることは、「子どもの権利」の1つです。
 あなたには、学校（授業以外）や地域などで自分の意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。【〇は1つだけ】

- 「ある」が41.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばある」が29.9%、「ない」が14.8%となっています。



【学年別】

- すべての学年で「ある」の割合が高く、『中学3年生』の47.7%が最も高くなっています。

「子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無

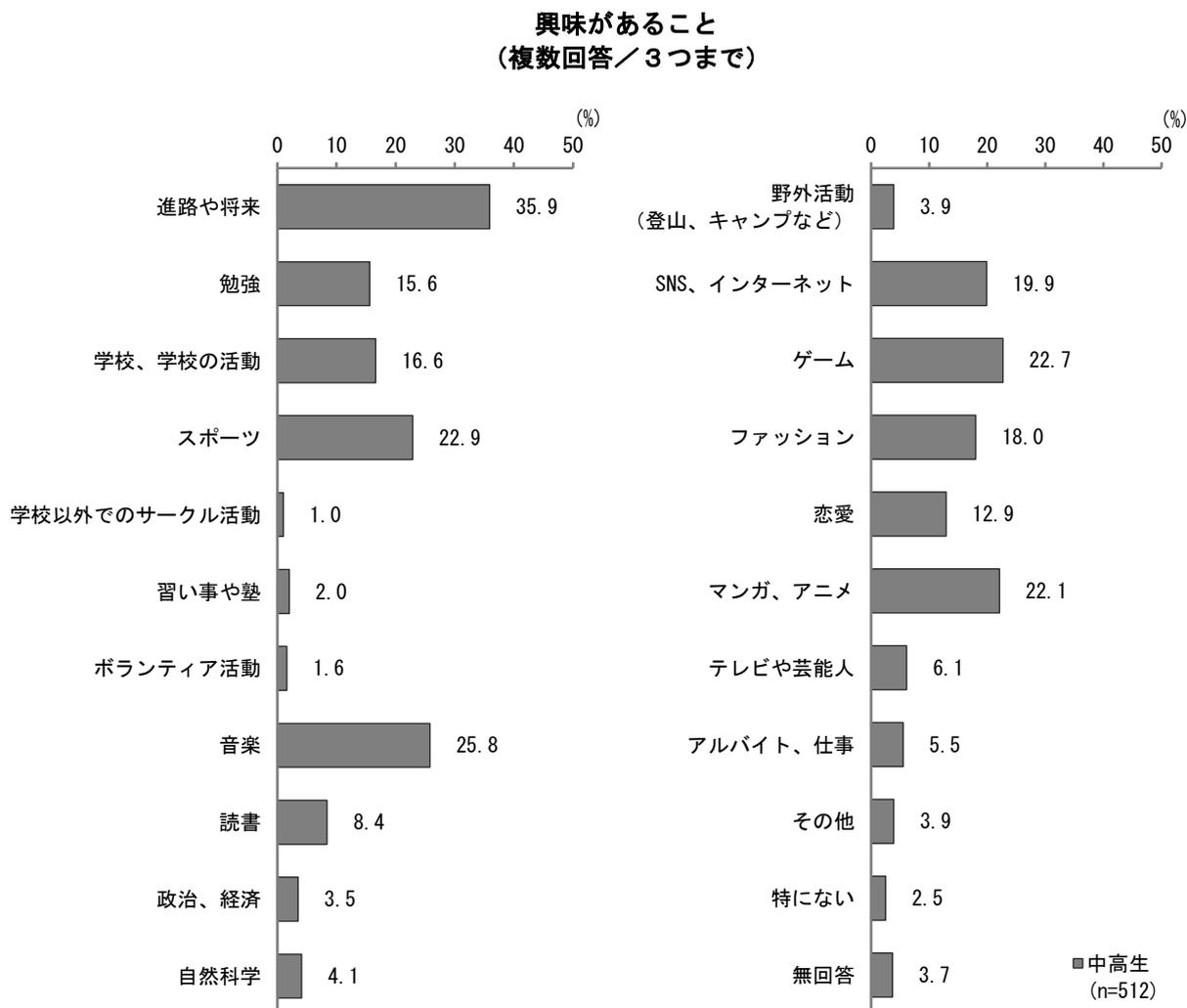
(%)

区分	回答者数 (件)	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない	無回答
中学1年生	95	33.7	25.3	18.9	22.1	-
中学2年生	96	44.8	30.2	14.6	10.4	-
中学3年生	88	47.7	33.0	11.4	8.0	-
高校1年生 (15～16歳)	72	38.9	30.6	11.1	18.1	1.4
高校2年生 (16～17歳)	85	45.9	27.1	10.6	16.5	-
高校3年生 (17～18歳)	76	39.5	34.2	11.8	14.5	-

(8) 自身の考えや将来像について

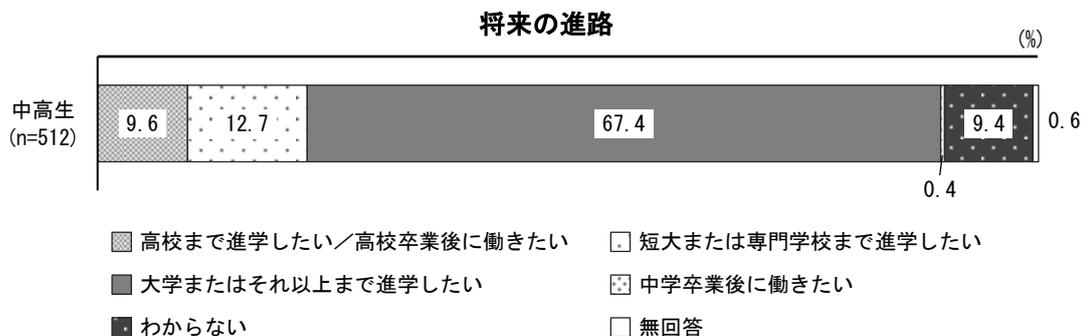
問22 今、どのようなことに興味がありますか。【〇は3つまで】

- 「進路や将来」が35.9%と最も多く、次いで「音楽」が25.8%、「スポーツ」が22.9%となっています。



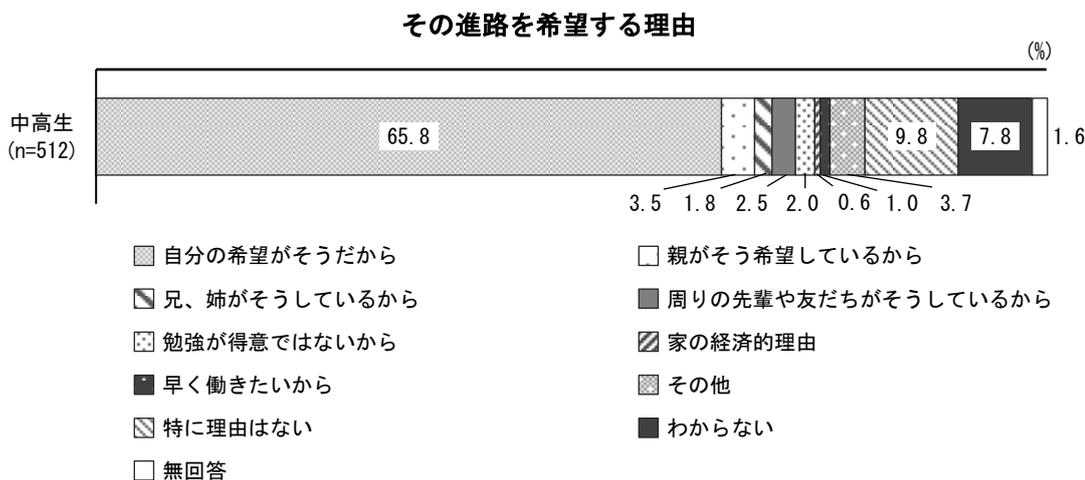
問23 あなたは、将来の進路をどのように考えていますか。【○は1つだけ】
 ※高校生の方は、「中学卒業後に働きたい」以外から選んでください。

- 「大学またはそれ以上まで進学したい」が67.4%と最も多く、次いで「短大または専門学校まで進学したい」が12.7%、「高校まで進学したい／高校卒業後に働きたい」が9.6%となっています。



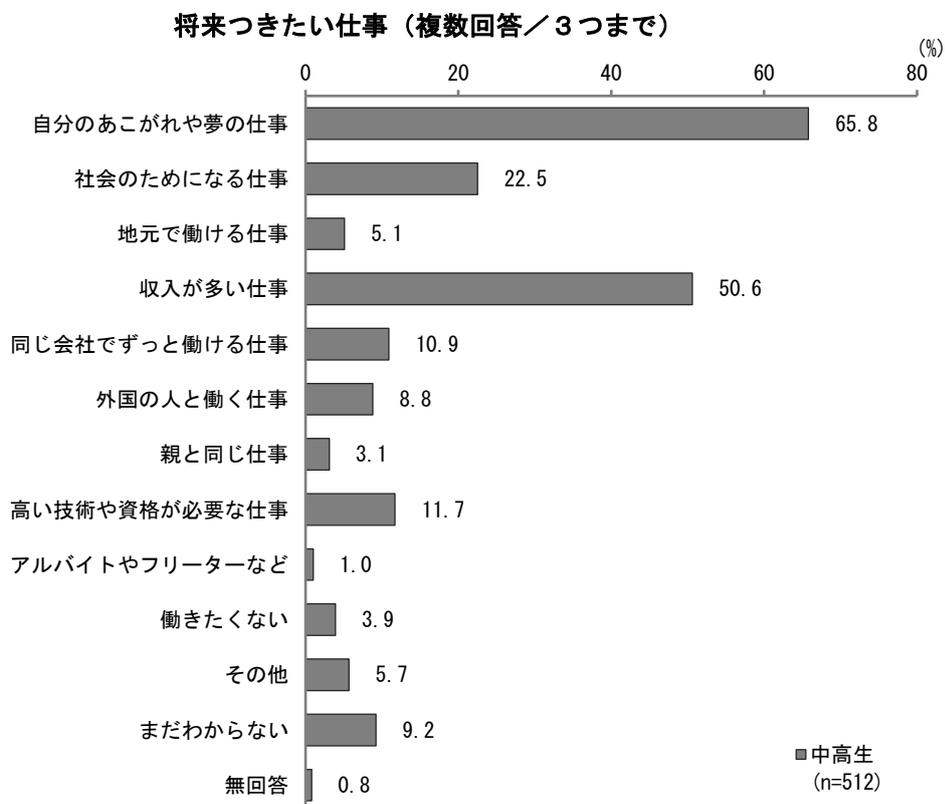
問23-1 問23でそのように答えたのはなぜですか。【○は1つだけ】

- 「自分の希望がそうだから」が65.8%と最も多く、次いで「特に理由はない」が9.8%、「わからない」が7.8%となっています。



問24 将来はどのような仕事につきたいですか。【〇は3つまで】

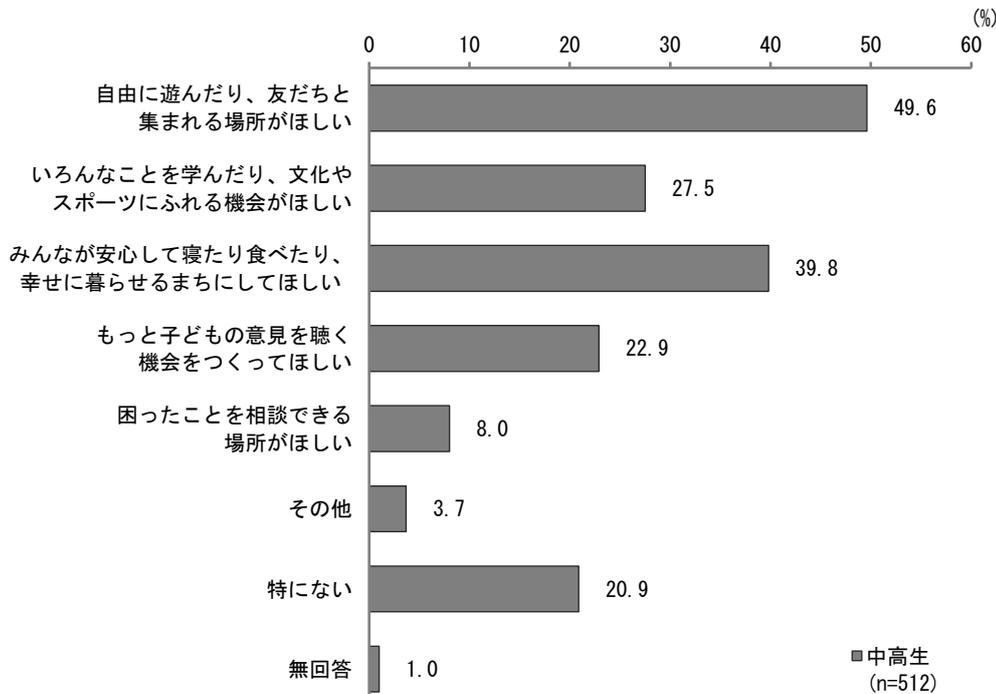
- 「自分のあこがれや夢の仕事」が65.8%と最も多く、次いで「収入が多い仕事」が50.6%、「社会のためになる仕事」が22.5%となっています。



問25 あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。【〇は3つまで】

- 「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」が49.6%と最も多く、次いで「みんなが安心して寝たり食ったり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」が39.8%、「いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい」が27.5%となっています。

大人に伝えたいこと（複数回答／3つまで）



【学年別】

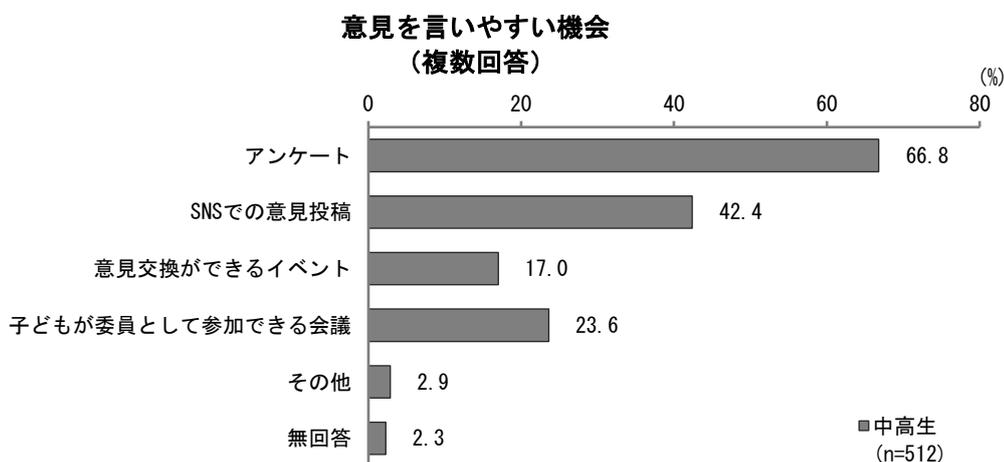
- すべての学年で「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」の割合が最も高く、次いで「みんなが安心して寝たり食ったり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」の割合が高くなっています。

大人に伝えたいこと

区分	回答者数(件)	自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい	みんなが安心して寝たり食ったり、幸せに暮らせるまちにしてほしい	いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい	もっと子どもの意見を聴く機会をつくってほしい	困ったことを相談できる場所がほしい	その他	特にない	無回答
中学1年生	95	50.5	43.2	25.3	28.4	5.3	6.3	22.1	-
中学2年生	96	54.2	34.4	21.9	26.0	10.4	3.1	18.8	1.0
中学3年生	88	50.0	38.6	20.5	23.9	6.8	3.4	25.0	2.3
高校1年生 (15～16歳)	72	47.2	38.9	29.2	22.2	5.6	2.8	26.4	2.8
高校2年生 (16～17歳)	85	47.1	44.7	35.3	17.6	11.8	2.4	21.2	-
高校3年生 (17～18歳)	76	47.4	39.5	35.5	17.1	7.9	3.9	11.8	-

問26 町田市では、大人だけでなく子どもの意見を聴くことを大切にしています。どのような機会があれば、自分の意見を町田市に言えると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「アンケート」が66.8%と最も多く、次いで「SNSでの意見投稿」が42.4%、「子どもが委員として参加できる会議」が23.6%となっています。



【学年別】

- 『高校3年生（17～18歳）』以外の学年で「アンケート」の割合が最も高くなっています。
- 「SNSでの意見投稿」は、『高校3年生（17～18歳）』で61.8%となっています。『高校3年生（17～18歳）』の割合は、『中学1年生』『中学2年生』の割合よりも2倍以上高くなっています。

意見を言いやすい機会 (%)

区分	回答者数 (件)	アンケート	SNSでの意見投稿	意見交換ができるイベント	子どもが委員として参加できる会議	その他	無回答
中学1年生	95	71.6	27.4	20.0	26.3	1.1	3.2
中学2年生	96	69.8	30.2	16.7	22.9	3.1	4.2
中学3年生	88	62.5	46.6	13.6	29.5	4.5	3.4
高校1年生 (15～16歳)	72	68.1	44.4	16.7	20.8	1.4	1.4
高校2年生 (16～17歳)	85	67.1	49.4	17.6	18.8	4.7	1.2
高校3年生 (17～18歳)	76	60.5	61.8	17.1	22.4	2.6	-

問27 町田市へのご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、148人の方から、計206件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
1 学校について	29
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと子どもの意見を取り入れられるよう、学校で定期的にアンケートを取ってほしい。大人が外から見て考えるよりも、子ども自身が体感して考えたことを大切にすべき。 ・学校で支給されているパソコンを毎日持ち帰らないといけなくて、重くて大変。パソコンの宿題だとやり方が分からないこともある。目が疲れるし、授業中に関係ないものを見ている人がいるので、以前のように調べ学習などで使う時だけ貸し出し、学校で管理した方が良いと思う。 	
2 子どもの居場所について	71
（1）公園・遊び場について	35
<ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びが可能な公園を増やしてほしい。 ・小さい子が遊べる場所は多いけど、中学生が楽しんで遊べる場所が少ないと思う。私たち中学生に適した遊び場がほしい。 	
（2）図書館・学習スペースについて	21
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも図書館が好きでよく行くが、自習スペースがもっとほしい。また、ヤングアダルトコーナーを充実させてほしい。 ・少し私語があっても良いような勉強する場所や、時間制限があっても良いので少し誰かに教えてもらう場所がほしい。 	
（3）娯楽（アミューズメント施設等）について	15
<ul style="list-style-type: none"> ・できれば映画館を作してほしい。 ・ショッピングできる場所が少ないと思う。ショッピングモールなどを増やしてほしい。 	
3 生活環境について	43
（1）防犯・安全面について	19
<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない道があるので、街灯を増やしてほしい。（特に小学生や中学生の通学路） ・夜の駅周辺はとても怖い。小さな駅を使っているが、酔っ払いが構内でもめていて、恐怖感と不快感があった。自習室を使って帰ると夜遅いので、どうにかならないかと思っている。 	
（2）まちづくりについて	24
<ul style="list-style-type: none"> ・栄えている場所と栄えていない場所の差が激しいので、老人ホームばかりではなく若いニーズに合った施設を増やしてほしい。 ・中学校にバスで通っているが、バスの数が少ないので増やしてほしい。バスが毎回遅れて来るので、あまり遅れないようにしてほしい。 	

【主な意見】

4 その他	63
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同い年の子と交流する場が、学校以外ではあまりないので、学生が集まれるイベントなどがあれば嬉しい。 ・ 自分の持つ技術を、学校や市などの場で活用できる、役に立てる、そんなチャンスがほしい。学校や市のホームページのリニューアルなどを、無料でやってみたい。 ・ このまま、のどかな町田市でいてほしい。 	

7 総括

調査の結果について、以下の3つの視点で整理しました。

(1) 子どもの状況について

- 学校(授業以外)や地域などで意見を言ったり、決めたりする機会について、小学校高学年本人、中高生どちらも半数以上が「ある」「どちらかというところ」と回答していますが、小学校高学年本人は比較的低い割合となっています。子どもが様々なことに対して意見表明できる機会を確保するとともに、子どもの意見を尊重する仕組みづくりを進める必要があります。
- 気軽に話せる相談相手は、小学校高学年本人、中高生のどちらにおいても、「母親」「友だち、先輩」が比較的高い割合となっています。しかし、「スクールカウンセラー」「相談機関の人」など行政が配置・設置する相談窓口のほか、「誰もいない」の回答も一定数あるため、すべての子どもが困り事や悩み事を相談できる支援体制の充実や情報発信に取り組む必要があります。
- 「町田市子どもにやさしいまち条例(まちだコードマチ条例)」の認知度はすべての対象で低く、「子どもの権利」の認知度は、小学校高学年本人で特に低くなっています。「まちだコードマチ条例」の周知を通じて、「子どもの権利」について知ってもらう必要があります。

(2) 子育て家庭の状況について

- 父親の育児休業の取得状況は、2019年度調査時から増加しています。また、父親の家事や子育ての参加割合も増加傾向にありますが、依然として母親の割合が高い状況です。共働き世帯の保育ニーズに応じた支援を行うとともに、家庭で協力して子育てできるよう、理解や学びの場を提供する必要があります。
- 子育ての悩みは、子どもの年齢が低いほど、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「自分の時間が持てないこと」の割合が高くなっています。各家庭の状況に応じた子育て支援を充実させ、保護者の身体的・精神的な負担の軽減を図ることが必要です。
- 子育ての相談相手は、「配偶者やパートナー」「祖父母などの家族」「友だち(パパ友、ママ友)」が高い割合となっています。誰もが安心して子育てできるよう、身近な場所での相談や保護者同士の交流がしやすい体制づくりを推進する必要があります。

(3) 地域について

- 安心して子育てをするために地域で必要だと思う取組は、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が比較的高い割合となっています。地域と連携した交流・協力の関係づくりや、子どもの安全を守るための取組を推進する必要があります。
- 小学校高学年本人、中高生が、まちづくりについて大人に伝えたいことは、どちらの対象でも、「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」の割合が最も高くなっています。地域における子どもの居場所は重要であるため、子どもが過ごしたいと思える環境を安定的・継続的に提供する必要があります。

第3章 資料（調査票等）

1 【調査①】就学前児童保護者

【就学前のお子さんの保護者の方へ】

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

ご回答にあたってのお願い

1. インターネットまたは郵送のどちらかの方法を選んでご回答ください。
2. ご回答は、できるかぎりあり名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。○をつける数は、それぞれ設問の指示に従ってください。
4. 「その他」に○をつけた場合は、() 内に内容を具体的にご記入ください。
5. 時間や時刻は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

※アンケートは、全35問（回答目安時間 20～30分）です。

ご回答は、5月21日（火）までお願いいたします。

1. 下記のURLか二次元コードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
2. 下記のID・パスワードを使ってログインし、ご回答をお願いします。ログインできない場合は、問合せ先までご連絡ください。
(ID・パスワードは無作為に付与しており、個人は特定されません。)
3. インターネットでご回答された場合は、調査用紙の提出は不要です。

【注意事項】

- 回答を中断する際は、各ページの下の「一時保存」ボタンを押してください。途中から回答するためのURLが表示されます。
- 「一時保存」をせずに回答画面を閉じた場合は、回答内容が保存されません。
- 回答に伴う通信料は、回答される方のご負担になります。

URL : <https://www.6.webcas.net/form/pub/survey/7124/mochida-survey01>



ID :
パスワード :

1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
※消せるボールペンは使わないでください。
2. ご回答が終わりまりましたら、調査用紙を同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。
(封筒に切手・差出人名・住所は不要です。)

問合せ先
町田市 子ども生活部 子ども総務課
〒194-8520 東京都町田市森野2丁目2番22号
電話：042-724-2876（直通） ※受付時間：8時半～17時
FAX：050-3101-8377

家族の状況について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問1 お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

〒()-()-()

問2 あて名のお子さんの生年月日を数字でご記入ください。

西暦()年()月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
2人以上の場合、末のお子さんの生年月日もご記入ください。

()人

末のお子さんの生年月日：西暦()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【○は1つだけ】

1. 父親 2. 母親 3. 祖父母 4. その他()

問5は、【問4で「1」または「2」に○をつけた方】にお伺いします。

問5 この調査票にご回答いただいた方との配偶関係について、教えてください。
【○は1つだけ】

1. 配偶者がいる

2. 配偶者がいない

子どもの育ちをめぐる環境について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問6 家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみたらなだてですか。

①～⑩について、それぞれ一つに○をつけてください	父親	母親	父母共に	子どものきょうだい	祖父母	その他()
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後片付けをする	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする(日用品や食材など)	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの世話をする	1	2	3	4	5	6
⑦子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6
⑧子どもをお風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
⑨子どもの寝かしつけをする	1	2	3	4	5	6
⑩保育園、幼稚園や学校、学童保育クラブなどの送迎をする	1	2	3	4	5	6
⑪保育園、幼稚園や学校の保護者会などに参加する	1	2	3	4	5	6

問7 日頃、あて名のお子さんをみてももらえる親族、知人はいますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 日常的に子どもをみてももらえる祖父母などの親族がいる	
2. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてももらえる祖父母などの親族がいる	
3. 日常的に子どもをみてももらえる友人、知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてももらえる友人、知人がいる	
5. いずれにも該当しない	

問8 あて名のお子さんの食事について、お答えください。

①～④ごとに、A・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください	A 朝食		B 夕食	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①毎日食事をとっている	1	2	1	2
②量は十分用意している	1	2	1	2
③栄養のバランスが取れている	1	2	1	2
④保護者と一緒に食事をとっている	1	2	1	2

問9 あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る(料理する)ことがどのくらいありますか。【○は1つだけ】

※食事を作る(料理する)には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。

1. ほとんど毎日	2. 週に4～5日程度
3. 週に2～3日程度	4. 月に数回(休日など)
5. ほとんど作らない	

問10 あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。あなたのご家庭では、あて名のお子さんど次のようなことをしていますか。

①～④について、それぞれ一つに○をつけてください	ほとんど毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
①子どもと一緒に遊ぶ	1	2	3	4	5
②子どもと、自宅以外の場所(保育園、幼稚園など)でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする	1	2	3	4	5
③子どもと一緒に外出する(買い物含む)	1	2	3	4	5
④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる	1	2	3	4	5

子育ての悩みについて、お伺いします

問1-1 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になること、またはどのようになることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
2. 保育サービス等の費用や学費など子育てに費用がかさむこと
3. 子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること
4. 育児の方法がよくわからぬこと
5. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
6. 話し相手（パパ友、ママ友）や相談相手がいらないこと
7. 仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと
8. 自分の時間が持てないこと
9. 子どものしつけに関すること
10. 子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること
11. 子どもの就園、就学、進学などに関すること
12. 子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと
13. 配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
14. 家族の介護も行わなければならないこと
15. 経済的にゆとりがないこと
16. 住居や周辺の環境が良くないこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
18. その他（ ）
19. 特にない

問1-2 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。
【○は1つだけ】

1. いる/ある
2. いない/ない

問1-2-1は、【問1-2で「1. いる/ある」に○をつけた方】にお伺いします。

問1-2-1 あなたのお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 配偶者、パートナー
2. 祖父母などの家族
3. 友だち（パパ友、ママ友）
4. 職場の同僚
5. 保育所、幼稚園、学校、学童保育クラブなど
6. 教育センター
7. 保健所
8. 子ども家庭支援センター
9. 地域子育て相談センター※
10. 子ども発達センター（旧すみれ教室）
11. 障がい者支援センター
12. 保育コンシェルジュ
13. 子どもセンター、子どもクラブ
14. かかりつけの病院、診療所
15. その他（ ）

※地域子育て相談センター：子育てに関する相談、情報提供、イベント・プログラムなど様々な支援を行う施設。

保護者の就労状況について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問1-3は、(1) 父親と(2) 母親のそれぞれについて、お答えいただけます。
ひとり親家庭の方は、(1) か(2) のどちらかにお答えください。
その他の保護者の方は、8ページの問1-4へお進みください。

問1-3 現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は1つだけ】

(1) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度の就労）
2. フルタイムで、現在育児・介護休暇中
3. パートタイム、アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
4. パートタイム、アルバイトなどで、現在育児・介護休暇中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

「1」～「4」を選んだ方は、①～③を数字でご記入ください。

- ① 1週当たり平均就労日数（ ）日
- ② 1日当たり平均就労時間（ ）時間 ※残業時間を含む平均を記入
- ③ 家を出る時間（ ）時
帰宅時間（ ）時 ※時間は24時間表記で記入

(2) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度の就労）
2. フルタイムで、現在産休・育児・介護休暇中
3. パートタイム、アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
4. パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育児・介護休暇中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

「1」～「4」を選んだ方は、①～③を数字でご記入ください。

- ① 1週当たり平均就労日数（ ）日
- ② 1日当たり平均就労時間（ ）時間 ※残業時間を含む平均を記入
- ③ 家を出る時間（ ）時
帰宅時間（ ）時 ※時間は24時間表記で記入

問13-1は、【問13で「3」または「4」(パート、アルバイトなどで就労)に○をつけた方]にお伺いします。

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】

(1) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート、アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート、アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問13-2は、【問13で「5、以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6、これまでに就労したことがない」に○をつけた方]にお伺いします。

問13-2 就労希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】
「3」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
3. ()年より先に就労したい

「2」を選んだ方は、希望する就労形態に○をつけてください。
「1」を選んだ場合、希望する日数や時間を数字で記入してください。

- ア. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→週()日 1日当たり()時間

(2) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
3. ()年より先に就労したい

「2」を選んだ方は、希望する就労形態に○をつけてください。
「1」を選んだ場合、希望する日数や時間を数字で記入してください。

- ア. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→週()日 1日当たり()時間

すべての方にお伺いします。

問14 2023年の世帯合計の年間総収入額(手当、養育費、生活保護費などを含む)をお答えください。【○は1つだけ】

1. 200万円未満
2. 200万円以上300万円未満
3. 300万円以上400万円未満
4. 400万円以上600万円未満
5. 600万円以上800万円未満
6. 800万円以上

職場の両立支援制度について、お伺いします

問15 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。【○は1つだけ】
 (1) 父親と(2) 母親のそれぞれについて、お答えください。

(1) 父親	(2) 母親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

問15-1は、【問15で「3. 取得していない」に○をつけた方】にお伺いします。

問15-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった
3. (育児休業を取ると) 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 昇給、昇格などが遅れる心配があった
5. 収入が減り、経済的に苦しくなる
6. 保育所などに預けることができた
7. 配偶者が育児休業を取得した
8. 配偶者が働いていなかった
9. 親族、知人にみてもらえた
10. 子育てや家事に専念するため、退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) ※自営業を含む
12. 有期雇用のため、育児休業の取得要件を満たさなかった
13. その他 ()

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった
3. (産休後に) 早く仕事に復帰したかった
4. (育児休業を取ると) 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給、昇格などが遅れる心配があった
6. 収入が減り、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業を取得した
9. 配偶者が働いていなかった
10. 親族、知人にみてもらえた
11. 子育てや家事に専念するため、退職した
12. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) ※自営業を含む
13. 有期雇用のため、育児休業の取得要件を満たさなかった
14. その他 ()

平日の定期的な教育・保育事業等の状況について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問16 あて名のお子さんは現在、保育所、幼稚園等の定期的な教育・保育事業等を利用していますか。【○は1つだけ】

1. 利用している 2. 利用していない

問16-1 ~ 3は、【問16で「1. 利用している」に○をつけた方】にお伺いします。

問16-1 平日、どのような教育・保育事業等を利用していますか。
【あてはまるものすべてに○】
※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」の1~9をご覧ください。

1. 幼稚園(通常の教育時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育
(上記1の通常の就園に加え、教育時間を延長して預かる事業を定期的に利用)
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 小規模保育所
6. 家庭的保育室(保育ママ)
7. 事業所内保育所
8. 認証保育所
9. 定期利用保育事業
10. その他の認可外の教育・保育施設
11. 居宅訪問型保育事業(ベビージッターなど)
12. ファミリー・サポート・センター
13. その他()

問16-2 平日に定期的に利用している主な教育・保育事業等について、どのくらい利用していますか。また、利用したいですか。

①~③ごとに、A・Bのそれぞれについて、数字でご記入ください	A 現在の利用状況	B 希望
①1週間当たり	()日 ()時間	()日 ()時間
②1日当たり	()時~()時	()時~()時
③時間帯	※時間は24時間表記で記入	※時間は24時間表記で記入

問16-3 利用している事業の決め手となった理由は何ですか。【○は3つまで】

1. 自宅からの距離が近い(または、かかる時間が短い)
2. 教育、保育の内容や方針が合う
3. 教員、保育者の印象が良い
4. 保育時間が利用希望に合う
5. 利用料金が適切である
6. 利用する駅から近い(または、かかる時間が短い)
7. 職場からの距離が近い(または、かかる時間が短い)
8. 給食がある
9. 通園バスがある
10. あて名のお子さんの兄、姉が通っている(または、通っていた)
11. 周囲の子が通っている
12. 知り合いや友人がいる
13. やむを得なくそこを利用している
14. その他()

すべての方にお伺いします。

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に定期的に利用したい事業はどれですか。【あてはまるものすべてに○】
※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」の1~9をご覧ください。

1. 幼稚園(通常の教育時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育
(上記1の通常の就園に加え、教育時間を延長して預かる事業を定期的に利用)
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 小規模保育所
6. 家庭的保育室(保育ママ)
7. 事業所内保育所
8. 認証保育所
9. 定期利用保育事業
10. その他の認可外の教育・保育施設
11. 居宅訪問型保育事業(ベビージッターなど)
12. ファミリー・サポート・センター
13. その他()

問17-1は、【問17で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3」~「13」にも○をつけた方】にお伺いします。

問17-1 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。【○は1つだけ】

1. はい 2. いいえ

土曜日と日曜・祝日の教育・保育事業等の利用希望について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問18 土曜日と日曜・祝日に、保育所、幼稚園等の定期的な教育・保育事業等の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。【○は1つだけ】希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯 () 時から () 時まで

3. 月に1~2回は利用したい } ※時間は、24時間表記で記入

問18-1は、【問18で「3、月に1~2回は利用したい」に○をつけた方】にお伺いします。

問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 月に数回仕事が入るため

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他 ()

問19は、【現在「幼稚園」を利用されている方】にお伺いします。

問19 あて名のお子さんについて、夏休み、冬休みなどの長期休暇期間中に、教育・保育事業等の利用を希望しますか。【○は1つだけ】希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯 () 時から () 時まで

3. 休みの期間中、週に数日利用したい } ※時間は、24時間表記で記入

問19-1は、【問19で「3、休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方】にお伺いします。

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物などの用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他 ()

病気の際の対応について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問20 この1年間に、あて名のお子さんの病気やケガで保育所、幼稚園等を利用できなかったことはありますか。【○は1つだけ】

1. あった

2. なかった

問20-1は、【問20で「1、あった」に○をつけた方】にお伺いします。

問20-1 どのように対応しましたか。【あてはまるものすべてに○】あてはまる場合は、対処された年間の日数(おおよそ)を数字でご記入ください。

対処方法	日数
1. 父親が休んだ	年間 () 日
2. 母親が休んだ	年間 () 日
3. (同居者を含む) 親族、知人に子どもを看てもらった	年間 () 日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	年間 () 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	年間 () 日
6. ベビーシッターを利用した	年間 () 日
7. 子どもだけで留守番をさせた	年間 () 日
8. その他 ()	年間 () 日

問20-2は、【問20-1で「1、父親が休んだ」「2、母親が休んだ」に○をつけた方】にお伺いします。

問20-2 病児・病後児保育を利用したいと思いましたが、【○は1つだけ】「1」を選んだ場合は、利用したかった年間の日数(おおよそ)を数字でご記入ください。

1. できれば利用したかった → 年間 () 日

2. 利用したいとは思わなかった

問20-3は、【問20-2で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方】に
お伺いします。

問20-3 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから
2. 施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性が良くないから
3. 利用料がかかる、高いから
4. 利用料がわからないから
5. 親が仕事を休んで対応できるから
6. その他（ ）

不定期の教育・保育事業等や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問21 親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュなどの目的で不定期に利用している
事業はありますか。【あてはまるものすべてに○】
ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）を数字でご記入ください。
※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」の
q～l3をご覧ください。

利用している事業	日数
1. 保育所の一時的預かり	年間（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育	年間（ ）日
3. ファミリー・サポート・センター	年間（ ）日
4. ショートステイ（宿泊保育）	年間（ ）日
5. トワイライトステイ（夜間保育）	年間（ ）日
6. ベビーシッター	年間（ ）日
7. その他（ ）	年間（ ）日
8. 利用していない	

問21-1は、【問21で「8. 利用していない」に○をつけた方】にお伺いします。

問21-1 現在利用していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい預け先が地域にない
3. 保育内容や設備などに不安がある
4. 利便性（場所や利用可能時間、日数など）が良くない
5. 利用料がかかる、高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が対象者になるのかどうかわからない
8. 利用方法（手続きなど）がわからない
9. その他（ ）

問25 下記のサービスについて、お答えください。
 ※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください。

①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①休日・学後急患子どもクリニック	1	2	1	2	1	2
②子ども家庭支援センターの子育て総合相談	1	2	1	2	1	2
③育児支援ヘルパー	1	2	1	2	1	2
④ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	1	2	1	2
⑤認可保育所での一時保育	1	2	1	2	1	2
⑥ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2
⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談	1	2	1	2	1	2
⑧教育センターの教育相談	1	2	1	2	1	2
⑨子ども発達センター(旧すみれ教室)の発達相談や療育サービスなど	1	2	1	2	1	2
⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば	1	2	1	2	1	2
⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など	1	2	1	2	1	2
⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など	1	2	1	2	1	2
⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど	1	2	1	2	1	2
⑭Nature Factory 東京町田(旧大池沢青少年センター)の施設利用や宿泊事業など	1	2	1	2	1	2

問26 子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 市のホームページ(まちだ子育てでサイト)
2. メール、LINE配信
3. X(旧Twitter)「子ども・子育て情報」
4. 広報まちだ
5. 子育てひろばカレンダー
6. 市が発行する各種案内チラシ
7. 市の窓口
8. パパ友、ママ友などの友だちや知り合い
9. 保育所、幼稚園や学校など
10. その他()

就学後の放課後の過ごし方について、お伺いします

問27 あて名のお子さんが小学校低学年(1～3年生)の間は、放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
 過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。
 ※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください。

1. 自宅 週()日くらい
2. 祖父母や親せき宅 週()日くらい
3. 友人・知人宅 週()日くらい
4. 習い事や塾 週()日くらい
5. 子どもセンター、子どもクラブ 週()日くらい
6. 放課後子ども教室「まちども」 週()日くらい
7. 学童保育クラブ 週()日くらい
8. ファミリー・サポート・センター 週()日くらい
9. 冒険遊び場 週()日くらい
10. 放課後等デイサービス 週()日くらい
11. 総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設 週()日くらい
12. 図書館 週()日くらい
13. 近所の公園、広場 週()日くらい
14. その他() 週()日くらい

「子どもの権利」について、お伺いします

問30 子どもには大切な「子どもの権利」があります。町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見が反映された子ども行動指針「町田市子ども憲章」があります。あなたは、これらについて知っていますか。

①～③について、それぞれ1つに○をつけてください	知っている	聞いたことがある	知らない
①子どもの権利	1	2	3
②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコードマチャ条例）	1	2	3
③町田市子ども憲章	1	2	3

問31 「子どもの権利」の1つに「参加する権利」があります。「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることが含まれます。町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。【○は1つだけ】

- 1. そう思う
- 2. どちらかというと思う
- 3. どちらかというと思わない
- 4. そう思わない

子育て施策全般について、お伺いします

問32 安心して子育てをするためには、地域の人々とのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
- 2. 子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす
- 3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
- 4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
- 5. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす
- 6. 地域の大人たちが連携して、子どもの活動の育成、支援をする
- 7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする
- 8. その他（ ）
- 9. 特に必要ない

問33 市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。【○は3つまで】

- 1. 子育てに関する情報提供
- 2. 子育てに関する相談体制の充実
- 3. 子どもが参加できるイベントや事業の充実
- 4. 子ども自身からの相談を受けられる体制の充実
- 5. 子どもの意見を発信する場や機会の充実
- 6. 地域における子どもの居場所の充実
- 7. 正しい食生活を伝えるため、食に関する指導や情報提供
- 8. 子どもへの無料の学習支援
- 9. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
- 10. 母子の健康のための健診や訪問の充実
- 11. 発達に支援が必要な子どもも共に成長するための取組
- 12. 子育てに係る費用負担に対する経済的支援
- 13. 子育てと仕事が両立できるように、保護者や企業に対する啓発活動
- 14. 保護者同士がつながりを持ちやすい機会を提供（パパ友、ママ友がつくれる場）
- 15. 犯罪や災害、交通事故から子どもを守るための取組
- 16. 子育て世帯が外出しやすいまちづくり
- 17. 保育所や認定こども園などの待機児童の解消
- 18. その他（ ）

問34 問33の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。【○は1つだけ】

- 1. ほしい（ほしかった）
- 2. 今の人数で満足している

問35 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

—— アンケート調査へのご協力ありがとうございました ——

ご回答が終わりましたら、調査用紙を同封の返信用封筒に入れて
5月21日（火）までに郵便ポストへご投函をお願いします。

※インターネットで回答された場合は、調査用紙の提出は不要です。

2 【調査②】小学校低学年保護者

【小学校低学年のお子さんの保護者の方へ】 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

ご回答にあたってのお願い

1. インターネットまたは郵送のどちらかの方法を選んでご回答ください。
2. ご回答は、できるかぎりありありなお子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。○をつける数は、それぞれの設問の指示に従ってください。
4. 「その他」に○をつけた場合は、() 内に内容を具体的に記入してください。
5. 時間や時刻は、24時間制（例：午後6時→18時）で記入してください。

※アンケートは、全29問（回答目安時間 20分程度）です。

ご回答は、5月21日（火）までにはお願いいたします。

1. 下記のURLか二次元コードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
2. 下記のID・パスワードを使ってログインし、ご回答をお願いします。ログインできない場合は、問合せ先までご連絡ください。
3. ID・パスワードは無作為に付与しており、個人は特定されません。）インターネットで回答された場合は、調査用紙の提出は不要です。

【注意事項】

○回答を中断する際は、各ページの下にある「一時保存」ボタンを押してください。途中から回答するためのURLが表示されます。「一時保存」をせずに回答画面を閉じた場合は、回答内容が保存されません。

○回答に伴う通信料は、回答される方のご負担になります。

URL : <https://www.i6.webcs.net/form/pub/survey-7124/machida-survey02>

I D :

パスワード :



1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
※消せるボールペンは使わないでください。
2. ご回答が終了しましたら、調査用紙を同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。
(封筒に切手・差出人名・住所は不要です。)

町田市 子ども生活部 子ども総務課
〒119-8520 東京都町田市森野2丁目2番22号
電話：042-724-2876（直通） ※受付時間：8時半～17時
FAX：050-3101-8377

家族の状況について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問1 お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

〒()-()

問2 あて名のお子さんの生年月日を数字でご記入ください。

西暦()年()月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
2人以上の場合、末のお子さんの生年月日もご記入ください。

()人

末のお子さんの生年月日：西暦()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【○は1つだけ】

1. 父親 2. 母親 3. 祖父母 4. その他()

問5は、【問4で「1」または「2」に○をつけた方】にお伺いします。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、教えてください。
【○は1つだけ】

1. 配偶者がいる

2. 配偶者がいない

子どもの育ちをめぐる環境について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問6 家族や子育てを、まに行っている人は、あて名のお子さんからみただけでなただですか。
※選択肢に当てはまるものがない場合は、「その他」を選んでください。

①～⑩について、それぞれ1つに○をつけてください	父親	母親	父母共に	子どものきょうだい	祖父母	その他()
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後片付けをする	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする(日用品や食材など)	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの世話をする	1	2	3	4	5	6
⑦子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6
⑧子どもをお風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
⑨子どもの寝かしつけをする	1	2	3	4	5	6
⑩保育所、幼稚園や学校、学童保育クラブなどの送迎をする	1	2	3	4	5	6
⑪保育所、幼稚園や学校の保護者会などに参加する	1	2	3	4	5	6

問7 あて名のお子さんの食事について、お答えください。

①～④ごとに、A・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください	A 朝食		B 夕食	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①毎日食事をとっている	1	2	1	2
②量は十分用意している	1	2	1	2
③栄養のバランスが取れている	1	2	1	2
④保護者と一緒に食事をとっている	1	2	1	2

問8 あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る(料理する)ことがどのくらいありますか。【○は1つだけ】
※食事を作る(料理する)には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。

1. ほとんど毎日	2. 週に4～5日程度
3. 週に2～3日程度	4. 月に数日(休日など)
5. ほとんど作らない	

問9 あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
あなたのご家庭では、あて名のお子さんとは、どのような関係にいますか。

①～④について、それぞれ1つに○をつけてください	ほとんど毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
①子どもと一緒に遊ぶ	1	2	3	4	5
②子どもと、自宅以外の場所(学校など)でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする	1	2	3	4	5
③子どもと一緒に外出する(買い物含む)	1	2	3	4	5
④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる	1	2	3	4	5

問10 あて名のお子さんの学習環境についてお伺いします。
あて名のお子さんは、普段(月曜日～金曜日)、学校以外で1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。【○は1つだけ】
※塾などの時間も含みます。

1. まったくしない	2. 15分未満
3. 15分～30分未満	4. 30分～1時間未満
5. 1時間以上	

子育ての悩みについて、お伺いします

問1-1 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 1. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
- 2. 保育サービスの費用や学費など子育てに支出がかさむこと
- 3. 子どもの病氣や障がい、発育、発達に関すること
- 4. 育児の方法がよくわからないこと
- 5. 子どもの接し方に自信が持てないこと
- 6. 話し相手（パパ友、ママ友）や相談相手がいらないこと
- 7. 仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと
- 8. 自分の時間が持てないこと
- 9. 子どものしつけに関すること
- 10. 子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること
- 11. 子どもの就園、就学、進学などに関すること
- 12. 子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと
- 13. 配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 14. 家族の介護も行わなければならないこと
- 15. 経済的にゆとりがないこと
- 16. 住居や周辺の環境が良くないこと
- 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
- 18. その他（ ）
- 19. 特にない

問1-2 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。
【○は1つだけ】

- 1. いる/ある
- 2. いない/ない

問1-2-1 は、【問1-2で「1. いる/ある」に○をつけた方】にお伺いします。

問1-2-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 1. 配偶者、パートナー
- 2. 祖父母などの家族
- 3. 友だち（パパ友、ママ友）
- 4. 職場の同僚
- 5. 保育所、幼稚園、学校、学童保育クラブなど
- 6. 教育センター
- 7. 保健所
- 8. 子ども家庭支援センター
- 9. 地域子育て相談センター※
- 10. 子ども発達センター（旧すみれ教室）
- 11. 障がい者支援センター
- 12. 保育コンシェルジュ
- 13. 子どもセンター、子どもクラブ
- 14. かかりつけの病院、診療所
- 15. その他（ ）

※地域子育て相談センター：子育てに関する相談、情報提供、イベント・プログラムなど様々な支援を行う施設。

保護者の就労状況について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問1-3は、(1) 父親と(2) 母親のそれぞれについて、お答えいただけます。
ひとり親家庭の方は、(1) か(2) のどちらかにお答えください。
その他の保護者の方は、8ページの問1-4へお進みください。

問1-3 現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は1つだけ】

(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】

- 1. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在育児・介護休暇中
- 3. パートタイム、アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
- 4. パートタイム、アルバイトなどで、現在育児・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

「1」～「4」を選んだ方は、①～③を数字でご記入ください。

- ① 1週当たり平均就労日数 () 日
- ② 1日当たり平均就労時間 () 時間 ※残業時間を含む平均を記入
- ③ 家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時 ※時間は24時間表記で記入

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】

- 1. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在産休・育児・介護休暇中
- 3. パートタイム、アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
- 4. パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育児・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

「1」～「4」を選んだ方は、①～③を数字でご記入ください。

- ① 1週当たり平均就労日数 () 日
- ② 1日当たり平均就労時間 () 時間 ※残業時間を含む平均を記入
- ③ 家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時 ※時間は24時間表記で記入

問13-1は、【問13で「3」または「4」(パート、アルバイトなどで就労)に○をつけた方]にお伺いします。

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】

(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート、アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート、アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問13-2は、【問13で「5」以前は就労していたが、現在は就労していない]または「6」これまでに就労したことがない]に○をつけた方]にお伺いします。

問13-2 就労希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ】
「3」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
3. ()年より先に就労したい

「2」を選んだ方は、希望する就労形態に○をつけてください。
「1」を選んだ場合、希望する日数や時間を数字で記入してください。

- ア. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→週()日 1日当たり()時間

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
3. ()年より先に就労したい

「2」を選んだ方は、希望する就労形態に○をつけてください。
「1」を選んだ場合、希望する日数や時間を数字で記入してください。

- ア. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→週()日 1日当たり()時間

すべての方にお伺いします。

問14 2023年の世帯合計の年間総収入額(手当、養育費、生活保護費などを含む)をお答えください。【○は1つだけ】

1. 200万円未満
2. 200万円以上300万円未満
3. 300万円以上400万円未満
4. 400万円以上600万円未満
5. 600万円以上800万円未満
6. 800万円以上

子育て支援事業の利用状況について、お伺いします

問15 下記のサービスについて、お答えください。
※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①～④の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください						
①休日・準夜急患子どもクリニック	1	2	1	2	1	2
②子ども家庭支援センターの子育て総合相談	1	2	1	2	1	2
③育児支援ヘルパー	1	2	1	2	-	-
④ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	1	2	1	2
⑤認可保育所での一時保育	1	2	1	2	-	-
⑥ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2
⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談	1	2	1	2	-	-
⑧教育センターの教育相談	1	2	1	2	1	2
⑨子ども発達センター(旧すみれ教室)の発達相談や療育サービスなど	1	2	1	2	1	2
⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば	1	2	1	2	-	-
⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など	1	2	1	2	1	2
⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など	1	2	1	2	1	2
⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど	1	2	1	2	1	2
⑭Nature Factory 東京町田(旧大地沢青少年センター)の施設利用や宿泊事業など	1	2	1	2	1	2

問16 子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 市のホームページ(まちだ子育てサイト)
2. メール、LINE配信
3. X(旧Twitter)「子ども・子育て情報」
4. 広報まちだ
5. 子育てひろばカレンダー
6. 市が発行する各種案内チラシ
7. 市の窓口
8. パパ友、ママ友などの友だちや知り合い
9. 保育所、幼稚園や学校など
10. その他()

放課後の過ごし方について、お伺いします

問17 あて名のお子さんは、放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。【あてはまるものすべてに○】
※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください。

1. 自宅 週()日くらい
2. 祖父母や親せき宅 週()日くらい
3. 友人・知人宅 週()日くらい
4. 習い事や塾 週()日くらい
5. 子どもセンター、子どもクラブ 週()日くらい
6. 放課後子ども教室「まちども」 週()日くらい
7. 学童保育クラブ 週()日くらい
8. ファミリー・サポート・センター 週()日くらい
9. 冒険遊び場 週()日くらい
10. 放課後等デイサービス 週()日くらい
11. 総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設 週()日くらい
12. 図書館 週()日くらい
13. 近所の公園、広場 週()日くらい
14. その他() 週()日くらい

問18 あて名のお子さんが小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所と過ごさせたいですか。
【あてはまるものすべてに○]
過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字で記入してください。
※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください。

1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母や親せき宅	週()日くらい
3. 友人・知人宅	週()日くらい
4. 習い事や塾	週()日くらい
5. 子どもセンター、子どもクラブ	週()日くらい
6. 放課後子ども教室「まちとも」	週()日くらい
7. 学童保育クラブ	週()日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週()日くらい
9. 冒険遊び場	週()日くらい
10. 放課後等デイサービス	週()日くらい
11. 総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	週()日くらい
12. 図書館	週()日くらい
13. 近所の公園、広場	週()日くらい
14. その他()	週()日くらい

子どもの居場所について、お伺いします

問19 町田市では、子どもが放課後や休日に過ごす場所(子どもの居場所)は確保されていると思いますか。【○は1つだけ】
※家と学校は除きます。

1. 確保されていると思う	2. 確保されていないと思う
問19-1 子どもが放課後や休日に過ごす場所(子どもの居場所)として確保されていると思う場所はどこですか。【あてはまるものすべてに○】	
1. 運動ができる場所 2. 外遊びができる場所 3. 自然とふれ合える場所 4. 勉強ができる場所 5. 本が読める場所 6. 音楽の練習ができる場所 7. ゲームができる場所 8. インターネットができる場所 9. のんびりできる場所 10. 友だちと集まっておしゃべりできる場所 11. 子どもと同じくらいの年齢の人と交流できる場所 12. 子どもと違う年齢の人と交流できる場所 13. その他() 14. 特にない	

問19-2 子どもが放課後や休日に過ごす場所(子どもの居場所)として確保されていないと思う場所はどこですか。【○は3つまで】

1. 運動ができる場所 2. 外遊びができる場所 3. 自然とふれ合える場所 4. 勉強ができる場所 5. 本が読める場所 6. 音楽の練習ができる場所 7. ゲームができる場所 8. インターネットができる場所 9. のんびりできる場所 10. 友だちと集まっておしゃべりできる場所 11. 子どもと同じくらいの年齢の人と交流できる場所 12. 子どもと違う年齢の人と交流できる場所 13. その他() 14. 特にない	
---	--

3 【調査③】 小学校高学年保護者

家族の状況について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問1 お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。
〒()-()

問2 あて名のお子さんの生年月月を数字でご記入ください。
西暦()年()月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
2人以上の場合、末のお子さんの生年月月もご記入ください。
()人
末のお子さんの生年月月：西暦()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。【〇は1つだけ】
あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。
1. 父親 2. 母親 3. 祖父母 4. その他()

問5 この調査票にご回答いただいた方への配属関係について、教えてください。【〇は1つだけ】
問5は、【問4で「1」または「2」に〇をつけた方】にお伺いします。
1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

【小学校高学年のお子さんの保護者の方へ】

ご回答にあたってのお願い

1. インターネットまたは郵送のどちらかの方法を選んでご回答ください。
2. ご回答は、できるかぎりありあてのお子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢の番号に〇をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。〇をつける数は、それぞれの設問の指示に従ってください。
4. 「その他」に〇をつけた場合は、()内に内容を具体的に記入してください。
5. 時間や時刻は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

※アンケートは、全28問（回答目安時間 20分程度）です。

ご回答は、5月21日（火）までにお願いたします。

1. 下記のURLか二次元コードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
2. 下記のID・パスワードを使ってログインし、ご回答をお願いします。
ログインできない場合は、問合せ先までご連絡ください。
(ID・パスワードは無作為に付与しており、個人は特定されません。)
3. インターネットでご回答された場合は、調査用紙の提出は不要です。

【注意事項】

〇回答を中断する際は、各ページの下にある「一時保存」ボタンを押してください。途中から回答するためのURLが表示されます。
「一時保存」をせずに回答画面を閉じた場合は、回答内容が保存されません。
〇回答に伴う通信料は、回答される方のご負担になります。

URL： <https://www.16.webcas.net/form/pub/survey-7124/machida-survey03>

ID：
パスワード：


<p>1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。 ※消せるボールペンは使わないでください。</p> <p>2. ご回答が終了しましたら、調査用紙を同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。 (封筒に切手・差出人名・住所は不要です。)</p>
<p>町田市 子ども生活部 子ども総務課 〒1194-8520 東京都町田市森野2丁目2番22号 電話：042-724-2876（直通） ※受付時間：8時半～17時 FAX：050-3101-8377</p>

子どもの育ちをめぐる環境について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問6 家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。
※選択肢に当てはまるものがない場合は、「その他」を選んでください。

①～⑩について、 それぞれ1つに ○をつけてください	父親	母親	父母共に	子どもの きょうだい	祖父母	その他 ()
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後片付けをする	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする (日用品や食材など)	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの 世話をする	1	2	3	4	5	6
⑦子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6
⑧子どもをお風呂に 入れる	1	2	3	4	5	6
⑨子どもの寝かしつけを する	1	2	3	4	5	6
⑩保育園、幼稚園や学校、 学童保育クラブなどの 送迎をする	1	2	3	4	5	6
⑪保育園、幼稚園や 学校の保護者会などに 参加する	1	2	3	4	5	6

問7 あて名のお子さんの食事について、お答えください。

①～④ごとに、A・Bのそれぞれについて、 「はい」「いいえ」のいずれかに ○をつけてください	A 朝食		B 夕食	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①毎日食事をとっている	1	2	1	2
②量は十分用意している	1	2	1	2
③栄養のバランスが取れている	1	2	1	2
④保護者と一緒に食事をとっている	1	2	1	2

問8 あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る(料理する)ことがどのくらい
ありますか。【○は1つだけ】

※食事を作る(料理する)には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。

1. ほとんど毎日	2. 週に4～5日程度
3. 週に2～3日程度	4. 月に数日(休日など)
5. ほとんど作らない	

問9 あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
あなたのご家庭では、あて名のお子さんとは、どのような関係がありますか。

①～④について、 それぞれ1つに ○をつけてください	ほとんど 毎日	週に 3～4回	週に 1～2回	月に 1～2回	めったに ない
①子どもと一緒に遊ぶ	1	2	3	4	5
②子ども、自宅以外の場所 (学校など)でのことや テレビ番組、ニュースなど の話をする	1	2	3	4	5
③子どもと一緒に外出する (買い物含む)	1	2	3	4	5
④子どもの習い事や勉強を 題材にコミュニケーション をとる	1	2	3	4	5

問10 あて名のお子さんの学習環境についてお伺いします。
あて名のお子さんは、普段(月曜日～金曜日)、学校以外で1日当たりどれくらいの
時間、勉強をしますか。【○は1つだけ】

※塾などの時間も含みます。

1. まったくしない	2. 15分未満
3. 15分～30分未満	4. 30分～1時間未満
5. 1時間以上	

子育ての悩みについて、お伺いします

問1-1 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
- 2. 保育サービスの費用や学費など子育てに支出がかさむこと
- 3. 子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること
- 4. 育児の方法がよくわからないこと
- 5. 子どもの接し方に自信が持てないこと
- 6. 話し相手（パパ友、ママ友）や相談相手がいらないこと
- 7. 仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと
- 8. 自分の時間が持てないこと
- 9. 子どものしつけに関すること
- 10. 子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること
- 11. 子どもの就園、就学、進学などに関すること
- 12. 子育てに関して配属者、パートナーの協力が少ないこと
- 13. 配属者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 14. 家族の介護も行わなければならないこと
- 15. 経済的にゆとりがないこと
- 16. 住居や周辺の環境が良くないこと
- 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
- 18. その他（ ）
- 19. 特にない

問1-2 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。【○は1つだけ】

- 1. いる/ある
- 2. いない/ない

問1-2-1は、【問1-2で「1. いる/ある」に○をつけた方】にお伺いします。

問1-2-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1. 配属者、パートナー
- 2. 祖父母などの家族
- 3. 友だち（パパ友、ママ友）
- 4. 職場の同僚
- 5. 保育所、幼稚園、学校、学童保育クラブなど
- 6. 教育センター
- 7. 保健所
- 8. 子ども家庭支援センター
- 9. 地域子育て相談センター※
- 10. 子ども発達センター（旧すみれ教室）
- 11. 障がい者支援センター
- 12. 保育コンシェルジュ
- 13. 子どもセンター、子どもクラブ
- 14. かかりつけの病院、診療所
- 15. その他（ ）

※地域子育て相談センター：子育てに関する相談、情報提供、イベント・プログラムなど様々な支援を行う施設。

保護者の就労状況について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問1-3は、(1) 父親と(2) 母親のそれぞれについて、お答えいただけます。ひとり親家庭の方は、(1) か(2) のどちらかにお答えください。その他の保護者の方は、8ページの問1-4へお進みください。

問1-3 現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は1つだけ】

(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】

- 1. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在育児・介護休暇中
- 3. パートタイム、アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
- 4. パートタイム、アルバイトなどで、現在育児・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

「1」～「4」を選んだ方は、①～③を数字でご記入ください。

- ① 1週当たり平均就労日数 () 日
- ② 1日当たり平均就労時間 () 時間 ※残業時間を含む平均を記入
- ③ 家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時 ※時間は24時間表記で記入

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】

- 1. フルタイム（週5日程度、1日8時間程度の就労）
- 2. フルタイムで、現在産休・育児・介護休暇中
- 3. パートタイム、アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）
- 4. パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育児・介護休暇中
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまでに就労したことがない

「1」～「4」を選んだ方は、①～③を数字でご記入ください。

- ① 1週当たり平均就労日数 () 日
- ② 1日当たり平均就労時間 () 時間 ※残業時間を含む平均を記入
- ③ 家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時 ※時間は24時間表記で記入

問13-1は、【問13で「3」または「4」(パート、アルバイトなどで就労)に○をつけた方]にお伺いします。

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ]

(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要です]

1. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート、アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要です]

1. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート、アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問13-2は、【問13で「5」以前は就労していたが、現在は就労していない]または「6」これまでに就労したことがない]に○をつけた方]にお伺いします。

問13-2 就労希望はありますか。【それぞれ○は1つだけ]
「3」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要です]

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
3. ()年より先に就労したい

「2」を選んだ方は、希望する就労形態に○をつけてください。
「1」を選んだ場合、希望する日数や時間を数字で記入してください。

- ア. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→週()日 1日当たり()時間

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要です]

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
3. ()年より先に就労したい

「2」を選んだ方は、希望する就労形態に○をつけてください。
「1」を選んだ場合、希望する日数や時間を数字で記入してください。

- ア. フルタイム(週5日程度、1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→週()日 1日当たり()時間

すべての方にお伺いします。

問14 2023年の世帯合計の年間総収入額(手当、養育費、生活保護費などを含む)をお答えください。【○は1つだけ]

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万円以上300万円未満 |
| 3. 300万円以上400万円未満 | 4. 400万円以上600万円未満 |
| 5. 600万円以上800万円未満 | 6. 800万円以上 |

子育て支援事業の利用状況について、お伺いします

問15 下記のサービスについて、お答えください。
 ※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①～④の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください						
①休日・深夜急患子どもクリニック	1	2	1	2	1	2
②子ども家庭支援センターの子育て総合相談	1	2	1	2	1	2
③育児支援ヘルパー	1	2	1	2	-	-
④ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	1	2	1	2
⑤認可保育所での一時保育	1	2	1	2	-	-
⑥ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2
⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談	1	2	1	2	-	-
⑧教育センターの教育相談	1	2	1	2	1	2
⑨子ども発達センター(旧すみれ教室)の発達相談や療育サービスなど	1	2	1	2	1	2
⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば	1	2	1	2	-	-
⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など	1	2	1	2	1	2
⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など	1	2	1	2	1	2
⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど	1	2	1	2	1	2
⑭Nature Factory 東京町田(旧大地沢青少年センター)の施設利用や宿泊事業など	1	2	1	2	1	2

問16 子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 市のホームページ(まちだ子育てサイト)
2. メール、LINE配信
3. X(旧Twitter)「子ども・子育て情報」
4. 広報まちだ
5. 子育てひろばカレンダー
6. 市が発行する各種案内チラシ
7. 市の窓口
8. パパ友、ママ友などの友だちや知り合い
9. 保育所、幼稚園や学校など
10. その他()

放課後の過ごし方について、お伺いします

問17 あて名のお子さんは、放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいですか。
 通じている、または、通ごさせたい場所にあってはまる場合、通ごせたい日の数を数字でご記入ください。
 ※用語については、別紙の「アンケート調査票に使われている用語の定義」もあわせてご覧ください。

1～14の場所について あてはまるものすべてに○をつけ、A・Bのうち、あてはまる欄に通ごせたい日の数を数字でご記入ください	A 通じている場所 【実際の場所】	B 通ごせたい場所 【希望の場所】
1. 自宅	週()日くらい	週()日くらい
2. 祖父母や親せき宅	週()日くらい	週()日くらい
3. 友人・知人宅	週()日くらい	週()日くらい
4. 習い事や塾	週()日くらい	週()日くらい
5. 子どもセンター、子どもクラブ	週()日くらい	週()日くらい
6. 放課後子ども教室「まちとも」	週()日くらい	週()日くらい
7. 学童保育クラブ	週()日くらい	週()日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週()日くらい	週()日くらい
9. 冒険遊び場	週()日くらい	週()日くらい
10. 放課後等デイサービス	週()日くらい	週()日くらい
11. 総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	週()日くらい	週()日くらい
12. 図書館	週()日くらい	週()日くらい
13. 近所の公園、広場	週()日くらい	週()日くらい
14. その他()	週()日くらい	週()日くらい

「子どもの権利」について、お伺いします

すべての方にお伺いします。

問23 子どもには大切な「子どもの権利」があります。町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。あなたは、これらについて知っていますか。

①～③について、それぞれ1つに○をつけてください	知っている	聞いたことがある	知らない
①子どもの権利	1	2	3
②町田市子どもにやさしいまち条例 <small>(まちだコードマチ条例)</small>	1	2	3
③町田市子ども憲章	1	2	3

問24 「子どもの権利」の1つに「参加する権利」があります。「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされるが含まれます。町田市では、学校(授業以外)や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会があると思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそう思わない	4. そう思わない

子育て施策全般について、お伺いします

問25 安心して子育てをするためには、地域の人々とのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと親が一緒にできる活動を増やす
6. 地域の大人たちが連携して、子どもの活動の育成、支援をする
7. 学校や保護者、地域の大人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする
8. その他()
9. 特に必要ない

問26 市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。【○は3つまで】

1. 子育てに関する情報提供
2. 子育てに関する相談体制の充実
3. 子どもが参加できるイベントや事業の充実
4. 子ども自身からの相談を受けられる体制の充実
5. 子どもの意見を発信する場や機会の充実
6. 地域における子どもの居場所の充実
7. 正しい食生活を伝えるため、食に関する指導や情報提供
8. 子どもへの無料の学習支援
9. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
10. 母子の健康のための健診や訪問の充実
11. 発達に支援が必要な子どもも共に成長するための取組
12. 子育てに係る費用負担に対する経済的支援
13. 子育てと仕事を両立できるように、保護者や企業に対する啓発活動
14. 保護者同士がつながりを持つ機会を提供(パパ友、ママ友がつくれる場)
15. 犯罪や災害、交通事故から子どもを守るための取組
16. 子育て世帯が外出しやすいまちづくり
17. 保育所や認定こども園などの待機児童の解消
18. その他()

問27 問26の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい(ほしかった)と思いますか。【○は1つだけ】

1. ほしい(ほしかった)
2. 今の人数で満足している

問28 子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

—— アンケート調査へのご協力ありがとうございました ——

ご回答が終わりましたら、調査用紙を同封の返信用封筒に入れて

5月21日（火）までに郵便ポストへご投函をお願いします。

※インターネットで回答された場合は、調査用紙の提出は不要です。

4 【調査④】小学校高学年本人

【小学校高学年のみなさんへ】

みなさんの生活などに関するアンケート

【アンケートの答え方】

1. インターネットまたはアンケート用紙のどちらかの方法を選んで、回答してください。
2. できるかぎり、あなた自身で回答してください。誰が回答したか、ほかの人に知られることはありません。
3. ほかの人と相談しないで、あなたが思ったこと、考えたことを、そのまま回答してください。答えにくい質問は、とばしても大丈夫です。
4. 番号に○をつけて答えてください。○をつける数は、それぞれの質問に書いてあります。
5. 「その他」に○をつけたときは、() の中に、内容を具体的に書いてください。
6. 名前は、書かないでください。

回答は、5月21日(火)までに、おねがいします。

<p>インターネットでの答え方</p>	<p>1. 下に書かれているURLが二次元コードを読み取って、アンケートの回答ページを開いてください。</p> <p>2. 下に書かれているIDとパスワードを入力して、ログインしてください。</p> <p>3. インターネット上で回答した場合は、アンケート用紙を提出する必要はありません。</p> <p>【注 意】</p> <p>○ IDとパスワードは、大切なもので、無くしたり、友だちに教えたりしないようにしてください。</p> <p>○ 回答を途中でやめるときは、ページの下部にある「一時保存」のボタンを押してください。続きから回答するためのURLが表示されます。</p> <p>「一時保存」のボタンを押さずに回答画面を閉じると、最初からやり直しになります。</p> <p>URL : https://www.i6.webcas.net/form/pub/survey-7124/machida-survey04</p> <p>ID :</p> <p>パスワード :</p>
<p>アンケート用紙での答え方</p>	<p>1. 黒のボールペンか鉛筆で書いてください。</p> <p>※消せるボールペンは、使わないでください。</p> <p>2. 回答が終わったら、アンケートと一緒に届いた返信用の封筒にアンケート用紙を入れて、郵便ポストに入れてください。</p> <p>(封筒には、名前・住所は書かないでください。切手は必要ありません。)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>町田市 子ども生活部 子ども総務課 〒194-8520 東京都町田市森野2丁目2番22号 電話：042-724-2876 ※受付時間：8時半～17時 FAX：050-3101-8377</p>

悩み事や相談先について、お聞きします

みなさんにお聞きします。

問1 何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいいますか。
【あてはまるものすべてに○】

1. お父さん
2. お母さん
3. お兄ちゃん、お姉ちゃん、弟、妹
4. おじいちゃん、おばあちゃん
5. 親せきの人
6. 友だち
7. 担任の先生
8. 保健室の先生
9. その他（7と8以外）の学校の先生
10. スクールカウンセラー
11. 子どもセンターのスタッフ
12. 習い事や塾の先生
13. 地域の知り合いの人
14. 相談機関（教育センター、子ども家庭支援センター、児童相談所など）の人
15. インターネットの相談サイト（ここなびなど）
16. SNSで知り合った人
17. その他（
18. 誰もいない

学校生活について、お聞きします

問2 学校は楽しいと思えますか。【○は1つだけ】

1. そう思う
2. どちらかかというと思う
3. どちらかかというと思う
4. そう思わない

問2-1は、【問2で「1. そう思う」「2. どちらかかというと思う」に○をつけた方】にお聞きします。

問2-1 どのようなところが楽しいですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 授業
2. 休み時間
3. クラブ活動
4. 課外活動
5. 友だち
6. 先生
7. 行事
8. 学校図書館
9. 給食
10. その他（

問2-2は、【問2で「3. どちらかかというと思う」に○をつけた方】にお聞きします。

問2-2 そう思わない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 授業がわからない
2. 苦手な教科の授業がある
3. テストがある
4. 宿題や課題などがある
5. 学校の規則が厳しい
6. 友だちとうまくいかない
7. 先生とうまくいかない
8. いじめを受けた
9. なんとなく
10. その他（

放課後や休みの日の過ごし方について、お聞きします

みなさんにお聞きします。

問3 放課後（夕方）や休みの日はどこにすることが多いですか。【〇は3つまで】

1. 自分の家
2. おじいちゃん・おばあちゃんの家や親せきの家
3. 友だちの家
4. 学校
5. 放課後子ども教室「まちとも」
6. 学童保育クラブ
7. 放課後等デイサービス
8. 子どもセンター、子どもクラブ
9. 冒険遊び場
10. 総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設
11. 図書館
12. 近所の公園、広場
13. 習い事や塾
14. ショッピングモール、駅ビルなど買い物ができるところ
15. コンビニ
16. ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設
17. その他（ ）

問4 放課後（夕方）や休みの日はどのように過ごしたいですか。【〇は3つまで】

1. 体育館など室内で運動をしたい
2. グラウンドなど外で遊んだり、運動したりしたい
3. 公園で自由に遊びたい
4. 勉強をしたい
5. 音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい
6. キャンプやハイキング、動物園などのアウトドアを楽しみたい
7. 地域の清掃活動やボランティアなどに取り組みたい
8. 家族と過ごしたい
9. 友だちと遊んだり、話したりしたい
10. 一人で好きなことをして過ごしたい
11. その他（ ）
12. 特にない

問5 放課後（夕方）や休みの日に通ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものはありますか。【〇は3つまで】

1. 運動ができる場所
2. 外で遊べる場所
3. 自然とふれ合える場所
4. 勉強ができる場所
5. 本が読める場所
6. 音楽の練習ができる場所
7. ゲームができる場所
8. インターネットができる場所
9. のんびりできる場所
10. 友だちと集まっておしゃべりできる場所
11. 自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
12. 自分と違う年齢の人と交流できる場所
13. その他（ ）
14. 特にない

町田市について、お聞きます

問6 家と学校以外で、放課後（夕方）や休みの日に過ごしたいと感じる場所が町田市にありますか。【○は1つだけ】

- 1. ある
- 2. ない

「子どもの権利」について、お聞きます

問7 子どもには大切な「子どもの権利」があります。町田市では、「子どもの権利」についての条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。あなたは、これらについて知っていますか。

①～③について、それぞれ1つに○をつけてください	知っている	聞いたことがある	知らない
①子どもの権利	1	2	3
②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコードマチ条例）	1	2	3
③町田市子ども憲章	1	2	3

問8 自分に聞われることについて、意見が言えて、意見が大切にされることは、「子どもの権利」の1つです。あなたには、学校（授業以外）や地域などで自分の意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。【○は1つだけ】

- 1. ある
- 2. どちらかといえはある
- 3. どちらかといえはない
- 4. ない

あなたの考えについて、お聞きます

問9 将来はどのような仕事に就きたいですか。【○は3つまで】

- 1. 自分のおこがれや夢の仕事
- 2. 社会のためになる仕事
- 3. 地元で働ける仕事
- 4. 収入が多い仕事
- 5. 同じ会社でずっと働ける仕事
- 6. 外国の人と働く仕事
- 7. 親と同じ仕事
- 8. 高い技術や資格が必要な仕事
- 9. アルバイトやフリーターなど
- 10. 働きたくない
- 11. その他（ ）
- 12. まだわからない

問10 あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。【○は3つまで】

- 1. 自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい
- 2. いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい
- 3. みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい
- 4. もっと子どもの意見を聞く機会をつくってほしい
- 5. 困ったことを相談できる場所がほしい
- 6. その他（ ）
- 7. 特にない

協力ありがとうございました

回答が終わったら、アンケート用紙を返信用の封筒に入れて5月21日（火）までに郵便ポストに入れてください。

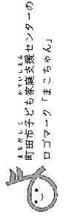
※インターネットで回答した場合は、アンケート用紙を提出する必要はありません。

子ども専用相談ダイヤル「まこちゃんダイヤル」

18歳までの子ども専用ダイヤルです。困っていること、悩んでいること、なんでも相談できます。

☎0120-552-164

相談時間：月曜日～金曜日（年末年始除く）8：30～17：00



5 【調査⑤】中学生・高校生

【12歳から18歳の方へ】

みなさんの生活などに関するアンケート調査

【回答にあたってのお願い】

1. インターネットまたは郵送のどちらかの方法を選んで、回答してください。
2. 回答は、できるかぎり、あなた自身が記入してください。
3. 他の人と相談しないで、あなた自身が考えたことを回答してください。
答えにくい質問は、とばしても構いません。
4. 回答は、番号に○をつけていたただく場合と、数字を記入していただく場合があります。
5. 「その他」に○をつけた場合は、() の中に、内容を具体的に記入してください。

※アンケートは、全27問です。

回答は、5月21日（火）までにお願いたします。

<p>インターネットでの回答方法</p>	<p>1. 下に書かれているURLか二次元コードを読み取り、インターネットのサイトにアクセスしてください。</p> <p>2. 下に書かれているID・パスワードを使ってログインし、回答をお願いします。</p> <p>ログインできない場合は、問合せ先までご連絡ください。 (ID・パスワードからは、誰が回答したか、ほかの人に知られることはありません。)</p> <p>3. インターネット上で回答された場合は、調査用紙の提出は不要です。</p> <p>【注 意】</p> <p>○回答を途中でやめるときは、ページの下にある「一時保存」のボタンを押してください。途中から回答するためのURLが表示されます。「一時保存」をしないで回答画面を閉じると、回答内容が保存されません。</p> <p>○回答するときの通信料は、回答される方のご負担になります。</p> <p>URL : https://www16.webcas.net/form/pub/survey-7124/machida-survey05</p> <p>I D : </p> <p>パスワード :</p>
<p>郵送での回答方法</p>	<p>1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。 ※消せるボールペンは、使わないでください。</p> <p>2. 回答が終わりましたら、調査用紙を同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。 (封筒には、切手、名前・住所の記入は不要です。)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>町田市 子ども生活部 子ども総務課 〒194-8520 東京都町田市森野2丁目2番22号 電話：042-724-2876（直通） ※受付時間：8時半～17時 FAX：050-3101-8377</p>

家族の状況について、お聞きします

みなさんにお聞きします。

問1 お住まいの郵便番号を数字で記入してください。

〒()-()

問2 性別を教えてください。【Oは1つだけ】

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

問3 学年(年齢)を教えてください。【Oは1つだけ】

1. 中学1年生 2. 中学2年生
 3. 中学3年生 4. 高校1年生(15～16歳)
 5. 高校2年生(16～17歳) 6. 高校3年生(17～18歳)

問4 兄弟姉妹がいますか。【Oは1つだけ】

「2」にOをつけた場合は、きょうだいの人数と、上から何番目かを数字で記入してください。

1. 兄弟姉妹はいない(一人っ子) → ()人きょうだいの上から()番目
 2. 兄弟姉妹がいる

問5 誰と一緒に住んでいますか。【あてはまるものすべてにO】

また、あなたを含めて、何人で住んでいるかを数字で記入してください。

1. 父親 2. 母親
 3. 兄弟姉妹 4. 祖父
 5. 祖母 6. その他()
 → 家族全員で()人

悩み事や相談先について、お聞きします

問6 あなた自身の考えを教えてください。

①～④について、それぞれ1つにOをつけてください	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う	そう思わない
①自分には人に自慢できることがある	1	2	3	4
②がんばれば、今できないことでも、できるようになる	1	2	3	4
③自分は、家族や友だちに大事にされている	1	2	3	4
④自分のことが好きである	1	2	3	4

問7 悩みや心配なことはありますか。【あてはまるものすべてにO】

1. 健康や病気、体調不良	2. 顔や体型
3. 性格やクセ	4. 運動
5. 勉強	6. 将来や進路
7. アルバイトや仕事	8. おこづかい
9. 日用品の不足	10. いじめ
11. 友だち	12. 恋愛
13. 兄弟姉妹	14. 親
15. 学校の先生	16. インターネット(SNS)でのトラブル
17. ジェンダー(性の多様性)	18. その他()
19. 特になし	

問8 何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいいますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 父親	
2. 母親	
3. 兄弟姉妹	
4. 祖父母	
5. 親せきの人	
6. 友だち、先輩	
7. 担任の先生	
8. 保健室の先生	
9. その他（7と8以外）の学校の先生	
10. スクールカウンセラー	
11. 子どもセンターのスタッフ	
12. 習い事や塾の先生	
13. 地域の知り合いの人	
14. 相談機関（教育センター、子ども家庭支援センター、児童相談所など）の人	
15. インターネットの相談サイト（ここなび など）	
16. SNSで知り合った人	
17. その他（	
18. 誰もいない	）

問9 困ったときに、相談できるところ（相談窓口）で知っているところはどこですか。

①～⑬について、それぞれ1つに○をつけてください	知っている	知らない
①子ども専用相談ダイヤル「まこちゃんダイヤル」(町田市) 未成年の方向けの困り事、悩みのなんでも相談 電話：0120-552-164	1	2
②地域子育て相談センター(町田市) 18歳までの方と保護者向けのなんでも相談(地域別) URL: https://kosodare-machida.tokyo.jp/soshiki/4/4/6/521.html	1	2
③町田市教育センター 18歳までの方の、不登校、いじめ、体罰、友人関係などの電話相談 電話：042-793-2481	1	2
④いじめ110番(町田市) 市内の公立小・中学校のいじめに関する相談 電話：042-724-2867	1	2
⑤ここなび(町田市社会福祉協議会) 小学生から高校生までのいろいろな悩み事のインターネット相談 URL: https://machida-shakyo.or.jp/kids/kidsmokujij.htm	1	2
⑥児童相談所相談専用ダイヤル 児童相談所・全国共通ダイヤル189(八王子児童相談所) 虐待や子どもの福祉に関する様々な専門相談 電話：0120-189-783	1	2
⑦チャイルドライン(認定NPO) 未成年の方向けのボランティアによる相談 電話：0120-99-7777	1	2
⑧話してみなよ - 東京子供ネット(東京都) いじめ、体罰、虐待についての相談 電話：0120-874-374	1	2
⑨こたエール(東京都) インターネットのトラブル、困り事の相談 電話：0120-1-78302	1	2
⑩親子のための相談LINE(子ども家庭庁) 18歳未満の方と保護者向けの、親子や家族関係の悩みに関するLINE相談 LINE: 公式アカウント「親子のための相談LINE」を友達登録	1	2
⑪ヤング・テレホン・コーナー(警視庁) 未成年の方向けの警察による相談 電話：03-3580-4970	1	2
⑫子どもの人権110番(東京弁護士会) 子どもの人権に関する弁護士による相談 電話：03-3503-0110	1	2
⑬その他()	1	2

インターネット等について、お聞きします

問10 インターネットにつながるスマートフォンを持っているですか。【○は1つだけ】

※Wi-Fi環境で使用しているものも含みます。

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

問11 インターネットを主にどのようなことに利用していますか。【○は3つまで】

- 1. ニュースの閲覧で利用
- 2. 情報検索で利用
- 3. 地図やナビゲーションの利用
- 4. 音楽視聴で利用
- 5. 動画視聴で利用
- 6. ゲームで利用
- 7. SNSの利用
- 8. ショッピングやオークションで利用
- 9. 学校や塾などの勉強で利用
- 10. その他 ()
- 11. 利用しない、利用できない

問12 インターネットを使用して、何かトラブルが起きたことはありますか。

【あてはまるものすべてに○】

- 1. 身におぼえない料金を請求された
- 2. 知らないうちに会員登録や契約をしてしまった
- 3. インターネットショッピングなどで詐欺にあった(商品が届かない、不良品が届く)
- 4. アカウントトラブル(乗っ取りなど)にあった
- 5. SNSなどで中傷やいやがらせを受けた
- 6. 名前や住所、メールアドレスなどの個人情報が出した
- 7. スマホメールが原因でトラブルに巻き込まれた
- 8. コンピューターウイルスに感染した
- 9. つきまとい、いやがらせなど、犯罪やトラブルに巻き込まれた
- 10. 夜遅くまで使用して、朝起きられなかった(学校や仕事に遅刻する)
- 11. インターネットやSNSなどが気になって、他のことが手につかなくなった
- 12. その他 ()
- 13. 特に何もない

学校生活について、お聞きします

問13 学校は楽しいと思いますか。【○は1つだけ】

- 1. そう思う
- 2. どちらかというとそう思う
- 3. どちらかというとそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. 学生ではない

問13-1は、【問13で「1. そう思う」「2. どちらかというとそう思う」に○をつけた方】にお聞きします。

問13-1 どのようなところが楽しいですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1. 授業
- 2. 休み時間
- 3. 部活動
- 4. 課外活動
- 5. 友だち
- 6. 先生
- 7. 行事
- 8. 学校図書館
- 9. 昼食
- 10. その他 ()

問13-2は、【問13で「3. どちらかというとそう思わない」「4. そう思わない」に○をつけた方】にお聞きします。

問13-2 そう思わない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1. 授業がわからない
- 2. 苦手な教科の授業がある
- 3. テストがある
- 4. 宿題や課題などがある
- 5. 学校の規則が厳しい
- 6. 友だちとうまくいかない
- 7. 先生とうまくいかない
- 8. いじめを受けた
- 9. などとなく
- 10. その他 ()

放課後や休日の過ごし方について、お聞きします

みなさんにお聞きします。

問14 放課後(夕方)や休日はどこにしていることが多いですか。【0は3つまで】

1. 自分の家
2. 祖父・祖母の家や親せきの家
3. 友だちの家
4. 学校(部活動を含む)
5. 放課後等デイサービス
6. 子どもセンター、子どもクラブ
7. 総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設
8. 図書館
9. 近所の公園、広場
10. 習い事や塾
11. アルバイト・仕事先
12. ショッピングモール、駅ビルなど買い物ができるところ
13. コンビニ
14. ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設
15. インターネットカフェ、マンガ喫茶
16. ファミレスやファストフードの店
17. その他()

問15 放課後(夕方)や休日はどのように過ごしたいですか。【0は3つまで】

1. 体育館など室内で運動をしたい
2. グラウンドなど外で遊んだり、運動したりしたい
3. 公園で自由に遊びたい
4. 勉強をしたい
5. 音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい
6. キャンプやハイキング、自然体験などのアウトドアを楽しみたい
7. 地域の清掃活動やボランティアなどに取り組みたい
8. 家族と過ごしたい
9. 友だちと遊んだり、話したりしたい
10. 一人で好きなことをして過ごしたい
11. その他()
12. 特にない

問16 放課後(夕方)や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものはありますか。【0は3つまで】

1. 運動ができる場所
2. 外で遊べる場所
3. 自然とふれ合える場所
4. 勉強ができる場所
5. 本が読める場所
6. 音楽の練習ができる場所
7. ゲームができる場所
8. インターネットができる場所
9. のんびりできる場所
10. 友だちと集まっておしゃべりできる場所
11. 自分と同じくくらの年齢の人と交流できる場所
12. 自分と違う年齢の人と交流できる場所
13. その他()
14. 特にない

町田市について、お聞きします

問17 家と学校以外で、放課後（夕方）や休日にご過ごしたいと思える場所が町田市にありますか。【0は1つだけ】

- 1. ある
- 2. ない

問18 町田市に住んでいて「良いな」と思うところはありますか。【0は2つまで】

- 1. 遊び場や居場所が多いところ
- 2. 文化やスポーツなど色々な体験ができる場所が多いところ
- 3. 勉強する環境や興味があることが学べる環境が整っているところ
- 4. 自然が多いところ
- 5. 買い物をするのに便利なところ
- 6. 飲食店が多いところ
- 7. 交通の便が良いところ
- 8. 治安が良いところ
- 9. 気軽に話せる相談先があるところ
- 10. イベントやお祭りが多いところ
- 11. 地域活動が活発なところ
- 12. 頼りになる大人が身近にいるところ
- 13. その他（
- 14. 特にない

問19 町田市に住んでいて「もっと良くなってほしいな」と思うところはありますか。【0は2つまで】

【0は2つまで】

- 1. 遊び場や居場所が少ないところ
- 2. 文化やスポーツなど色々な体験ができる場所が少ないところ
- 3. 勉強する環境や興味があることが学べる環境が整っていないところ
- 4. 自然が少ないところ
- 5. 買い物をするのに不便なところ
- 6. 飲食店が少ないところ
- 7. 交通の便が悪いところ
- 8. 治安が悪いところ
- 9. 気軽に話せる相談先が少ないところ
- 10. イベントやお祭りが少ないところ
- 11. 地域活動が少ないところ
- 12. 頼りになる大人が身近に少ないところ
- 13. その他（
- 14. 特にない

「子どもの権利」について、お聞きします

問20 子どもには大切な「子どもの権利」があります。

町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。あなたは、これらについて知っていますか。

①～③について、それぞれ1つに○をつけてください	知っている	聞いたことがある	知らない
①子どもの権利	1	2	3
②町田市子どもにやさしいまち条例 (まちだこどもちしよ)	1	2	3
③町田市子ども憲章	1	2	3

問21 自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることは、

「子どもの権利」の1つです。

あなたには、学校（授業以外）や地域などで自分の意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。

【Oは1つだけ】

1. ある	2. どちらかといえばある
3. どちらかといえばない	4. ない

あなたの考えや将来像について、お聞きします

問22 今、どのようなことに興味がありますか。【Oは3つまで】

1. 進路や将来	2. 勉強
3. 学校、学校の活動	4. スポーツ
5. 学校以外のサークル活動	6. 習い事や塾 <small>じゆく</small>
7. ボランティア活動	8. 音楽
9. 読書	10. 政治、経済
11. 自然科学	12. 野外活動（登山、キャンプなど）
13. SNS、インターネット	14. ゲーム
15. ファッション	16. 恋愛 <small>れんあい</small>
17. マンガ、アニメ	18. テレビや芸能人
19. アルバイト、仕事	20. その他（ ）
21. 特にない	

問23 あなたは、将来の進路をどのように考えていますか。【Oは1つだけ】

※高校生の方は、「4」以外から選んでください。

1. 高校まで進学したい/高校卒業後に働きたい
2. 短大または専門学校まで進学したい
3. 大学またはそれ以上まで進学したい
4. 中学卒業後に働きたい
5. わからない

問23-1 問23でそのように答えたのはなぜですか。【Oは1つだけ】

1. 自分の希望がそうだから	2. 親がそう希望しているから
3. 兄、姉がそうしているから	4. 周りの先輩や友達がそうしているから
5. 勉強が得意ではないから	6. 家の経済的理由
7. 早く働きたいから	8. その他（ ）
9. 特に理由はない	10. わからない

問 2 7 町田市へのご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

—— アンケート調査へのご協力ありがとうございました ——

回答が завершиましたら、調査用紙を同封の返信用封筒に入れて
5月21日（火）までに郵便ポストへご投函をお願いします。

※インターネットで回答された場合は、調査用紙の提出は不要です。

問 2 4 将来はどのような仕事につきたいですか。【〇は3つまで】

1. 自分のがれや夢の仕事	2. 社会のためになる仕事
3. 地元で働ける仕事	4. 収入が多い仕事
5. 同じ会社ですつと働ける仕事	6. 外国の人と働く仕事
7. 親と同じ仕事	8. 高い技術や資格が必要な仕事
9. アルバイトやフリーターなど	10. 働きたくない
11. その他 ()	12. まだわからない

問 2 5 あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。【〇は3つまで】

1. 自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい
2. いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい
3. みんなが安心して暮らしたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい
4. もっと子どもたちの意見を聴く機会をつくってほしい
5. 困ったことを相談できる場所がほしい
6. その他 ()
7. 特にない

問 2 6 町田市では、大人だけでなく子どもの意見を聴くことを大切にしています。どのような機会があれば、自分の意見を町田市に言えると思いますか。

【あてはまるものすべてに〇】

1. アンケート	2. SNSでの意見投稿
3. 意見交換ができるイベント	4. 子どもが委員として参加できる会議
5. その他 ()	

「町田市子どもマスタープラン25-34」

策定のためのアンケート調査報告書

2025年3月発行

発行・編集：町田市子ども生活部子ども総務課

〒194-8520 町田市森野2-2-22

電話 042-724-2876

FAX 050-3101-8377

刊行物番号：24-68
